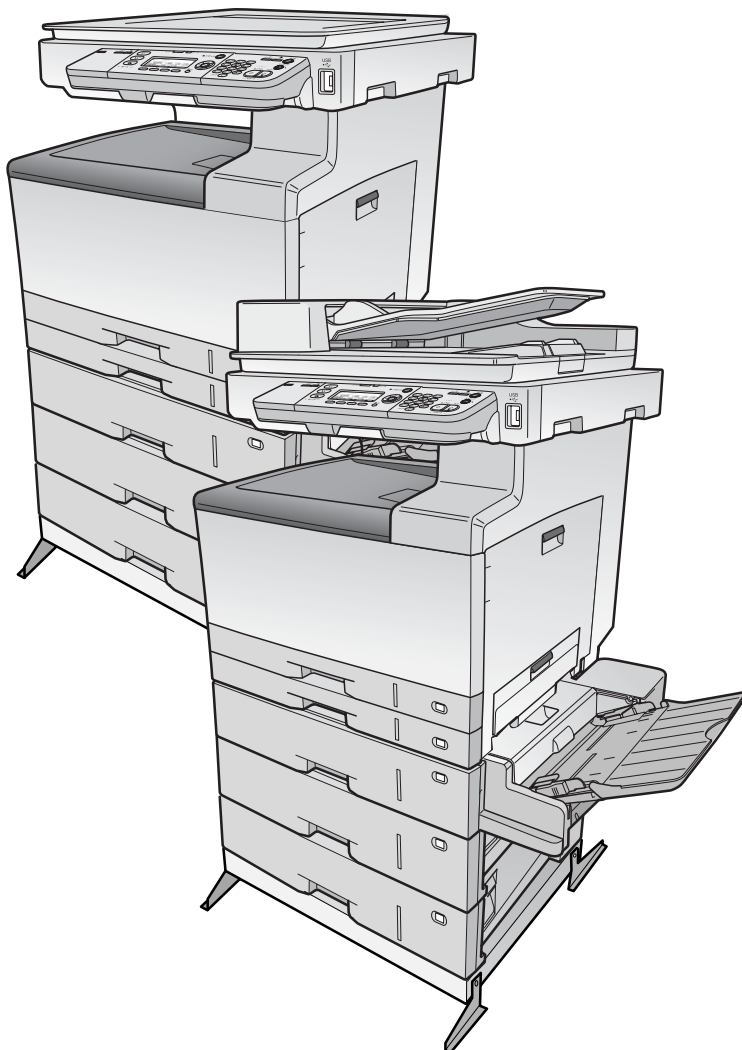
LP-M6000シリーズ
取扱説明書2
使い方編

- 本書は、LP-M6000シリーズの取扱説明書です。コンピュータから印刷する方法や本製品だけでコピーする方法、ファクスの送受信方法と、スキャンしたデータをコンピュータやUSBメモリに保存する方法、操作パネルの設定方法について説明しています。
- 本書は製品の近くに置いてご活用ください。

マークの意味

⚠警告　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠注意　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

!重要　この表示を無視して誤った取り扱いをすると、本製品が損傷したり、本製品、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しなくなる場合があります。この表示は、本製品をお使いいただく上で必ずお守りいただきたい内容を示しています。

参考　補足説明や参考情報を記載しています。

☞　関連した内容の参照ページを示しています。

掲載画面

- 本書の画面は実際の画面と多少異なる場合があります。また、OS の違いや使用環境によっても異なる画面となる場合がありますので、ご注意ください。
- 本書に掲載する Windows の画面は、特に指定がない限り Windows XP の画面を使用しています。
- 本書に掲載する Mac OS X の画面は、特に指定がない限り Mac OS X v10.4 の画面を使用しています。

ハガキの表記

本書では、郵便事業株式会社製のハガキを郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 面連刷ハガキと記載しています。

Windows の表記

Microsoft® Windows® 2000 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Server® 2003 Operating System 日本語版
Microsoft® Windows® XP Operating System 日本語版
Microsoft® Windows Vista® Operating System 日本語版
本書では、上記の OS(オペレーティングシステム)をそれぞれ「Windows 2000」「Windows Server 2003」「Windows XP」「Windows Vista」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

Mac OS の表記

Mac OS X v10.3 ～ v10.4
本書では、上記各オペレーティングシステムを「Mac OS X」と表記しています。

モデル名の表記とイラスト

- 本書では、本製品の製品名を下記のように表記しています。
  LP-M6000　：標準モデル
  LP-M6000A：ADF モデル
  LP-M6000F：ファクスモデル
- 本書では、LP-M6000A のイラストを使用して各種手順を説明しています。

商標

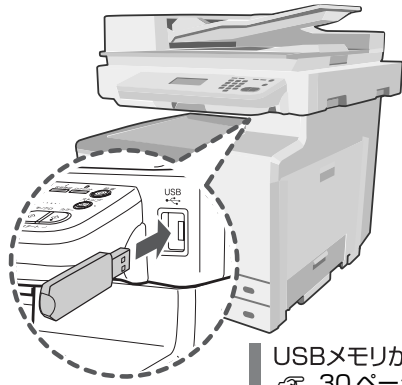
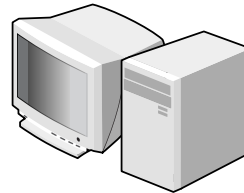
ご注意

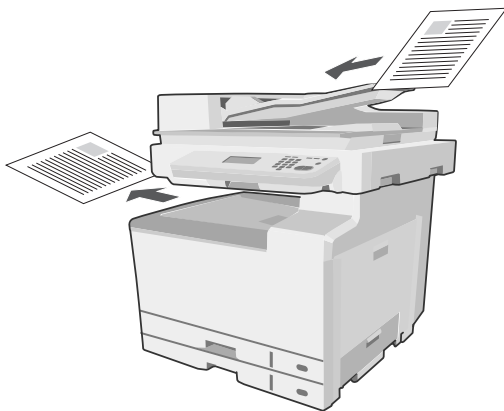
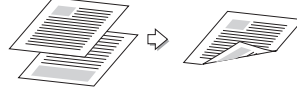
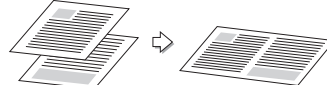
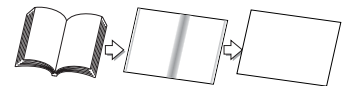
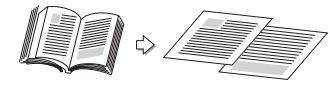
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。
- 弊社純正品以外および弊社品質認定品以外の、オプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任は負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。

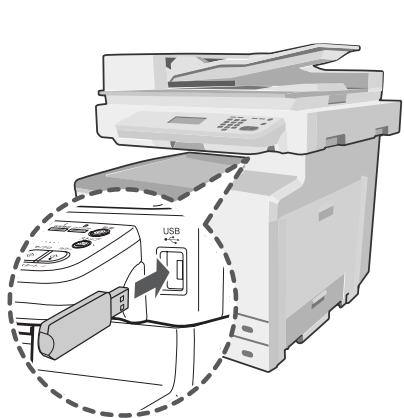
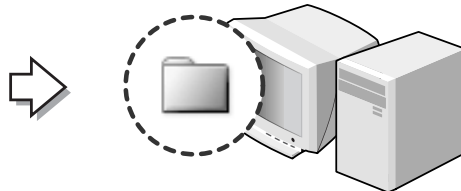
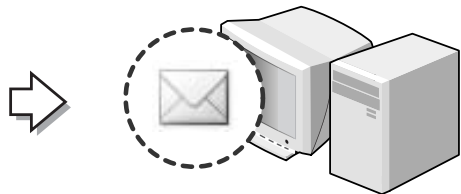
もくじ

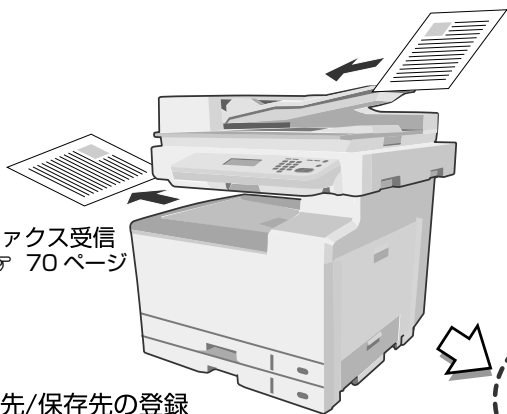
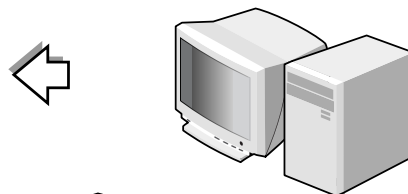
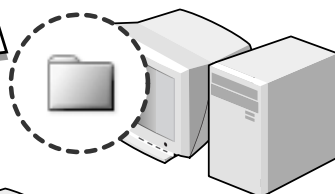
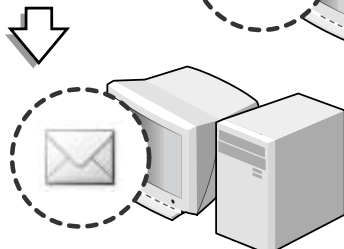
こんなことができます

プリント機能

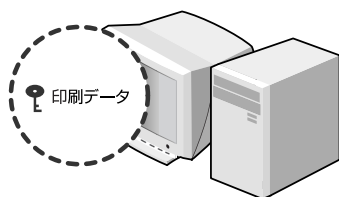
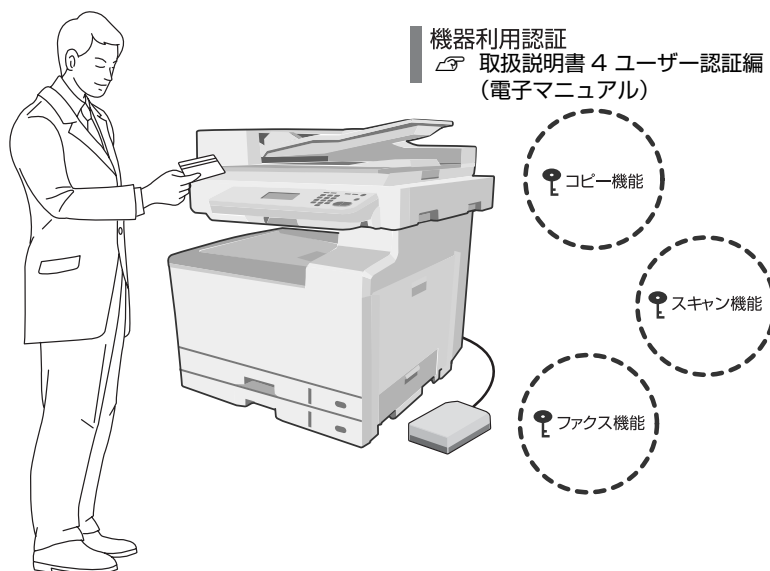
コンピュータからの印刷だけでなく、USB メモリに保存した画像ファイルや文書ファイルも印刷できます。

コピー機能

最大 A3 サイズの用紙にコピーできるほか、拡大・縮小、両面などの便利な応用機能もあります。

スキャン機能

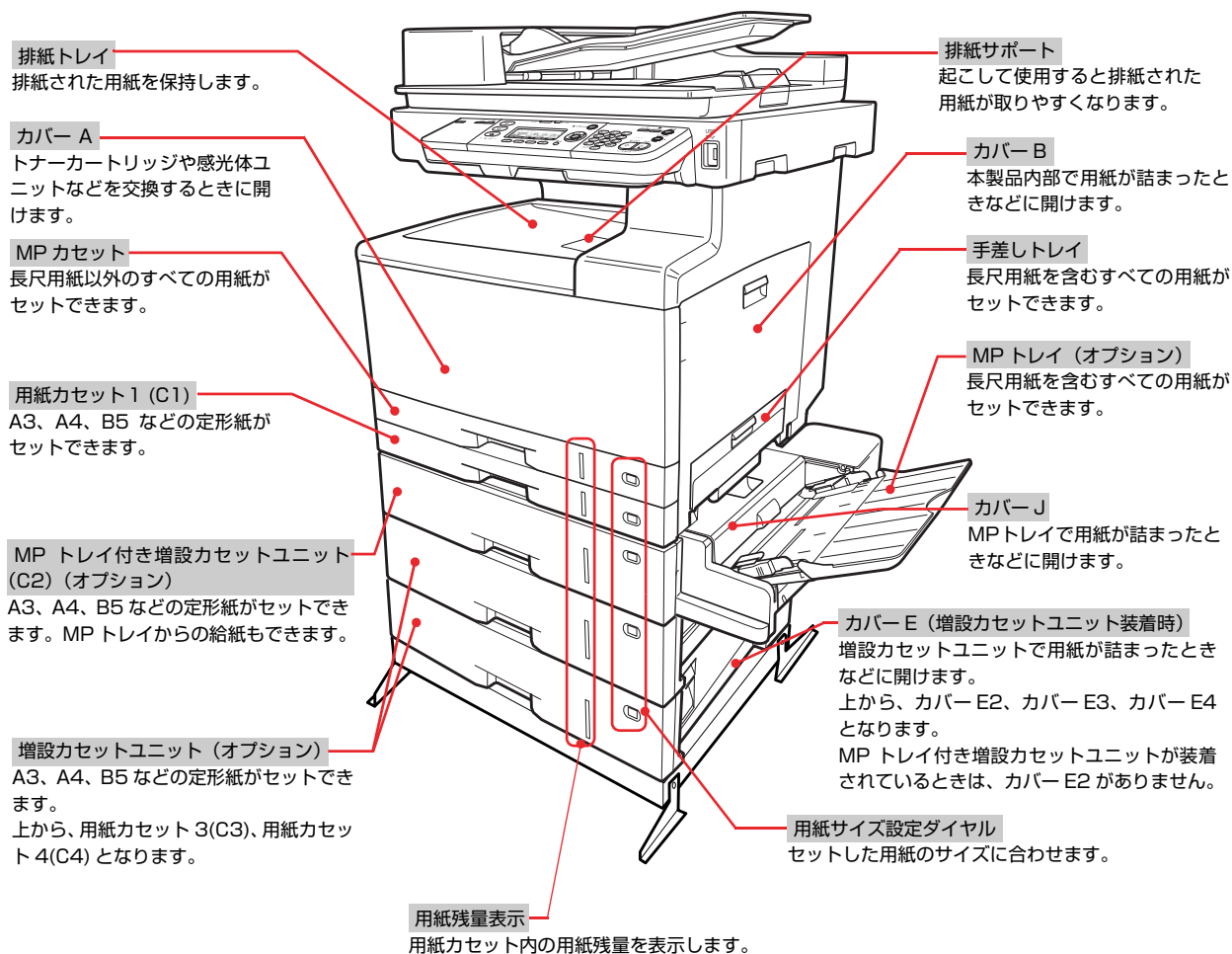
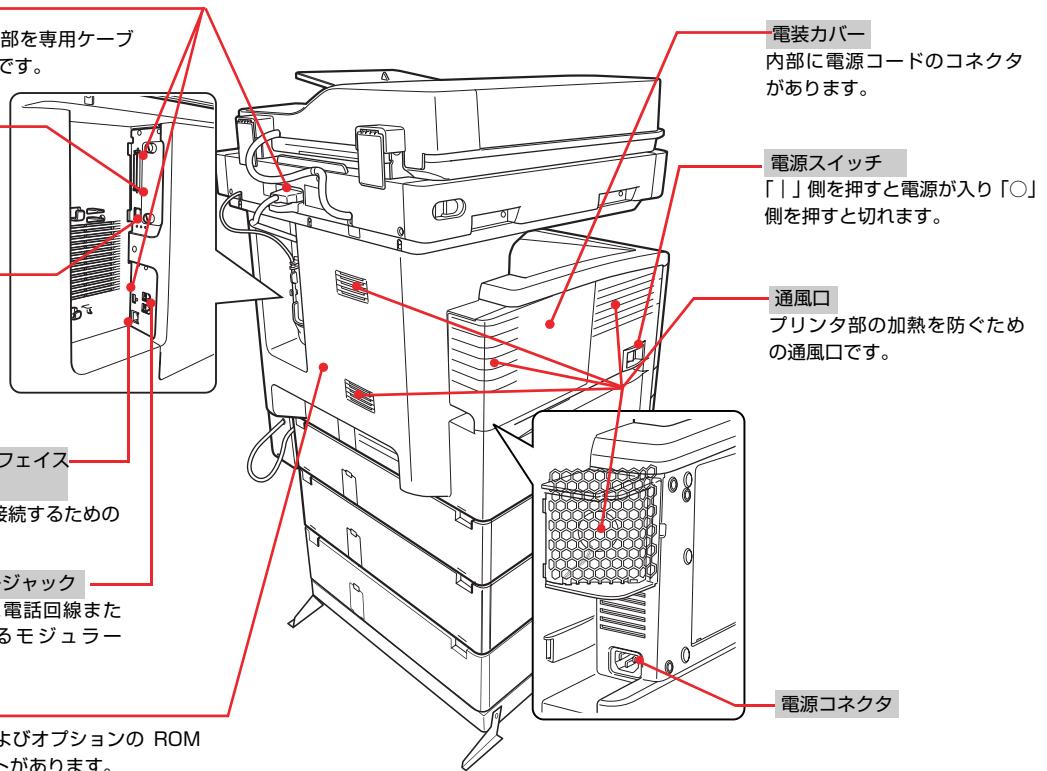
コンピュータからスキャンを実行して、データを保存するだけでなく、スキャンデータを USB メモリに保存したり、操作パネルから原稿をスキャンして電子データ化し、サーバの共有フォルダに保存したり、メールで指定したコンピュータに送信できます。

ファクス機能(ファクスモデルのみ)

カラー原稿、モノクロ原稿をファクス送信、または受信できます。また、接続しているコンピュータからの操作で送付することや、受信したファクスデータをサーバの共有フォルダに保存したり、メールの添付ファイルとして受信できます。

その他の機能

オプションのネットワーク I/F カード PRIFNW7S 、ソフトウェア Offirio SynergyWare 認証プロキシと、市販の認証装置を組み合わせて、ユーザー認証コピーやユーザー認証スキャンができます。

認証印刷
取扱説明書 4 ユーザー認証編
（電子マニュアル）

機器利用認証
取扱説明書 4 ユーザー認証編
（電子マニュアル）

各部の名称と役割

プリンタ部 / 前面･右側面

オプションの増設カセットユニット 2 台 /MP トレイ付き増設カセット 1 台 / プリンタ台取り付け時

背面・左側面

プリンタ部 / 内部

カバー A、カバー B、カバー H を開けた状態

スキャナ部 / 前面

スキャナ部 / 内部・左側面

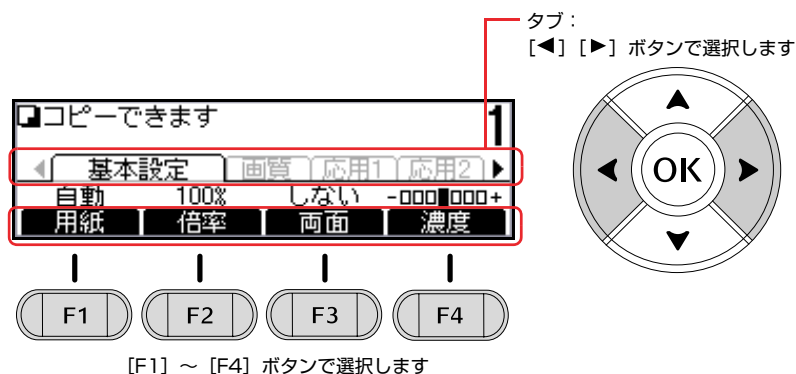
操作パネル

1	［宛先帳］ボタン あらかじめ登録されている宛先を呼び出します。	13	［状態確認］ボタン 消耗品の使用状況やワーニング表示の状態を確認します。
2	［ファクス蓄積文書］ボタン / ランプ * 蓄積文書一覧画面を表示させ、現在のファクス送受信の状態を確認します。	14	［ログアウト］ボタン ユーザー認証時にログアウトします。ユーザー認証機能を利用しているときに有効です。 『取扱説明書 4 ユーザー認証編』（電子マニュアル）
3	［ジョブメモリ］ボタン コピー、スキャン設定の登録と呼び出しをします。	15	［節電］ボタン / ランプ 節電モードと通常の状態を切り替えます。節電モードにより液晶ディスプレイが消灯しているときにランプが点灯します。
4	［各種設定］ボタン 本製品の設定を変更します。	16	［ストップ］ボタン 実行中の動作を中止します。
5	［モード］ボタン / ランプ コピー / スキャン / プリント / ファクス * モードを切り替えます。選択されているモードのランプが点灯します。	17	［スタート］ボタン カラー：カラーでコピーなど各動作を開始します。 モノクロ：モノクロでコピーなど各動作を開始します。
6	エラーランプ エラーが発生したときに点滅または点灯します。	18	テンキー（ダイヤルボタン） ファクスの送付先番号や、コピー枚数、メールアドレスなどを入力します。
7	データランプ 印刷データが残っているときや処理中に点灯または点滅します。	19	［クリア］ボタン テンキーからの入力をクリアし、標準値に戻します。 宛先指定のときは、宛先をクリアします。
8	液晶ディスプレイ 本製品の状態や、機能の設定値を表示します。	20	［OK］ボタン 設定項目や設定値を確定します。
9	［リセット］ボタン 設定した項目を標準値に戻します。	21	［戻る］ボタン 設定画面の表示を 1 つ前の階層に戻します。
10	［▲］［▼］［◀］［▶］ボタン 設定項目や設定値を選択します。	22	［F1］～［F4］ボタン ボタンの位置に対応して表示される機能を選択します。
11	［オンフック］ボタン * 電話回線のオンフックとオフフックを切り替えます。オンフックでは、手動でファクスを送信します。	23	クイックダイヤル * あらかじめ登録したファクス送付先の番号を呼び出します。
12	［リダイヤル / ポーズ］ボタン * 最後の送付先の番号を呼び出します。 ダイヤル番号入力中は、" － "（ハイフン）を入れます。		

* ファクスモデルのみ

液晶ディスプレイの表示

液晶ディスプレイの表示内容は、選択した機能や操作によって異なります。
表示されている機能は、［▲］［▼］［◀］［▶］ボタンや、［F1］～［F4］ボタンで選択します。

例）コピー機能の基本画面

［F1］～［F4］ボタンに割り当てられる機能は、選択しているモードやタブによって異なります。

モード	タブ	[F1]	[F2]	[F3]	[F4]
コピー	基本設定	用紙	倍率	両面	濃度
	画質設定	カラー原稿	モノクロ原稿	コントラスト	その他
	応用設定 1	割り付け	影消し	とじしろ	ページ連写
	応用設定 2	原稿サイズ	全面コピー	原稿混載 *1	ソート *1
スキャン	（機能選択）	USB メモリ	PC フォルダ	メール	
	基本設定	保存先/メール設定 *2	保存形式	解像度	ADF 両面 *1
	ファイル設定	ファイルヘッダ	圧縮率	PDF 設定 *3	
	読取設定	原稿画質	濃度	原稿サイズ	
	機能	レポート印刷			
プリント *4	（機能選択）	USB メモリ	パスワード	ID Print*5	
ファクス *6	基本設定	原稿サイズ	画質	ADF 両面	濃度
	応用設定	海外送信			
	機能設定	レポート印刷	メモリ使用率	メモリ受信 *7	

*1 標準モデルでは非表示になります。
*2 選択した機能により表示が異なります。なお［USB メモリ］選択時は非表示になります。
*3 拡張 PDF キット装着時に表示されます。
*4 選択した機能により表示される設定項目が異なります。
*5 ユーザー認証設定機能を利用しているときに表示されます。
*6 ファクスモデルのみ表示されます。
*7［各種設定］－［ファクス設定］－［受信設定］－［メモリ受信］が「する」の場合に表示されます。

ソフトウェアのご案内

『EPSON ソフトウェア CD-ROM』収録のソフトウェア

ソフトウェア名称	説明
EPSON Scan	本製品のスキャナを使用して、コンピュータに画像を取り込むためのソフトウェアです。
プリンタドライバ	コンピュータから本製品に印刷するために必要なソフトウェアです。
Offirio PC-FAX for MFP （ファクスモデルのみ、かつ Windows のみ）	コンピュータからファクスを送付する PC-FAX 機能や、共有フォルダのファクス受信を通知するソフトウェアです。
取扱説明書（電子マニュアル）	本製品をお使いいただくための情報を説明した、全５種類のPDF形式の取扱説明書です。
EPSON ステータスモニタ	コンピュータから本製品の状態を確認できるソフトウェアです。
ICC プロファイル（Adobe）	EPSON Scan のカラーマネジメント機能で使用する ICC プロファイルです。 アドビシステムズ社が定義したカラースペースプロファイルがインストールされます。
USB メモリプリントメーカー （Windows のみ）	USB メモリをプリンタに直接接続して印刷するファイルが作成できるソフトウェアです。
EPSON バーコードフォント EPSON TrueType フォント（8 書体） OCR-B TrueType フォント （Windows のみ）	ビジネス文書の作成などに役立つフォントです。
EPSON Web-To-Page （Windows のみ）	ホームページを用紙の幅に納まるように自動的に縮小して印刷できるソフトウェアです。インストールすると Microsoft Internet Explorer のツールバーに追加されます。
ユーザー登録「MyEPSON 」 アシスタント	インターネットを通じてユーザー登録していただくためのソフトウェアです。
EpsonNet Print （Windows のみ）	ネットワークに接続したエプソン製プリンタに Windows から TCP/IP 直接印刷をするためのソフトウェアです。
EpsonNet Config	ネットワークインターフェイスの各種アドレス、プロトコルの詳細設定や、ファクス送信用の短縮ダイヤル、グループ登録を編集するためのソフトウェアです。

『Document Storage CD-ROM』収録のソフトウェア

Document Storage （Windows のみ）	紙の書類をデジタル化して効率よく管理するためのソフトウェアです。デジタル化した書類の検索が簡単にできます。

1 原稿と用紙のセット方法

印刷できる用紙、用紙のセット方法などを記載しています。

印刷できる用紙

本製品で印刷できる用紙と、用紙に関する注意事項などを説明します。用紙サイズ、用紙厚などの詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」

特殊紙に関する詳細な情報は以下を参照してください。

☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「コンピュータからの特殊紙への印刷」

印刷できる用紙の種類

本製品で印刷できる用紙の種類は以下の通りです。これ以外の用紙を使用すると、紙詰まりや故障の原因となります。

！重要　本製品で片面印刷した用紙の裏面に印刷する場合、印刷品質は保証できません。

エプソン製の用紙

商品		型番（サイズ）	説明
普通紙	上質普通紙	LPCPPA3（A3） LPCPPA4（A4） LPCPPB4（B4）	普通紙への印刷において、最良の印刷品質を得ることができる用紙です。両面に印刷するときは、用紙の梱包紙の開封面側（包装紙の合わせ目のある側）を先に印刷面として印刷してください。
特殊紙	専用 OHP シート	LPCOHPS1（A4）	エプソン製プリンタ専用の OHP シートです。
	長尺用紙	LPCCJY1	用紙幅 297mm、用紙長 1200mm の長尺サイズの用紙です。

一般の用紙

用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態を確認してください。また、大量に印刷する場合も、試し印刷をして思い通りの印刷結果になることを確認してください。

用紙種類		説明
普通紙	コピー用紙、上質紙、再生紙（古紙配合率 100%の再生紙を含む）	再生紙は、一般の室温環境下（温度 15 ～ 25 ℃、湿度 40 ～ 60% の環境）以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。また、再生紙は品質のばらつきが大きいため、必ず試し印刷をしてからお使いください。給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。
特殊紙	郵便ハガキ	郵便ハガキ、往復郵便ハガキ、4 面連刷ハガキ。 往復郵便ハガキは、中央に折り跡のないものをお使いください。
	封筒	洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、角形 2 号
	厚紙	用紙厚が 101 ～ 216g/m^2 の用紙（ケント紙を含む）
	ラベル紙	ページプリンタ用またはコピー機用の A4 サイズのラベル紙（台紙全体がラベルで覆われているもの）
	定形紙以外の用紙	用紙幅 90 ～ 297mm、用紙長 148 ～ 432mm の用紙
	長尺用紙	用紙幅 210 ～ 297mm、用紙長 433 ～ 1200mm の用紙

印刷できない用紙

以下の用紙には印刷しないでください。

故障の原因となる用紙

- インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙、光沢紙、光沢フィルム、インクジェット用郵便ハガキなど）
- アイロンプリント紙
- 他のモノクロページプリンタ、カラーページプリンタ、熱転写プリンタ、インクジェットプリンタなどのプリンタや、複写機で印刷したプレプリント紙
- 他のプリンタで一度印刷した後の裏紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙、和紙
- のり、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- バインダ用の穴が開いている用紙
- 貼り合わせた用紙

給紙不良、紙詰まりを起こしやすい用紙

- 薄すぎる用紙（63g/m^2 以下）、厚すぎる用紙（217g/m^2 以上）
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙
- 表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- 折り跡、カール、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- ミシン目のある用紙
- 吸湿して波打ちしている用紙

約 200 ℃で変質、変色する用紙

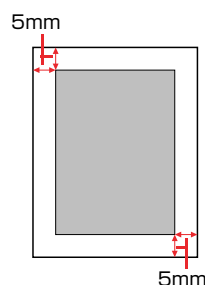
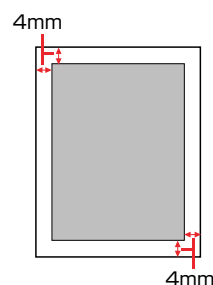
- 表面に特殊コート（またはプレプリント）が施された用紙

印刷できる領域

本製品は各機能ごとに印刷保証領域が異なります。

プリンタ機能時は用紙の各辺の端から 5mm を除く領域、コピー / ファクス機能時は用紙の各辺の端から 4mm を除く領域です。

またコピー時は、原稿の各端面から 4mm の範囲はコピーされません。ただし、［全面コピー］機能を使用すると、原稿サイズ全体が保証領域内に納まるように、自動的に縮小してコピーします。

アプリケーションソフトによっては印刷領域が上記より小さくなることがあります。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ホコリが付かないよう、包装紙などに包んで保管してください。

用紙一覧と設定早見表

本製品で印刷できる用紙と、印刷の際に必要な設定などを一覧表示しています。基本的な印刷の手順は以下を参照してください。

☞ 本書 30 ページ「印刷方法」

①用紙種類		②用紙サイズ		③用紙厚	④給紙装置と用紙容量（総厚）					
					手差しトレイ	MP カセット	カセット 1	増設カセット	MP トレイ付き増設カセット	
								カセット2～4	カセット 2	MP トレイ
					印刷面を下	印刷面を上	印刷面を上	印刷面を上	印刷面を上	印刷面を下
エプソン製	上質普通紙	A3（型番：LPCPPA3）	297 × 420mm	−	1 枚	150 枚	250 枚	550 枚	550 枚	100 枚
		A4（型番：LPCPPA4）	210 × 297mm	−	1 枚					
		B4（型番：LPCPPB4）	257 × 364mm	−	1 枚					
	OHP シート	A4（型番：LPCOHPS1）	210 × 297mm	−	1 枚	50 枚	×	×	×	50 枚
	長尺用紙	（型番 LPCCJY1）	297 × 1200mm	−	1 枚	×	×	×	×	1 枚
一般	普通紙 コピー用紙 上質紙 再生紙	A3	297 × 420mm	64 ～ 100g/m^2	1 枚	150 枚[*1] （15mm）	250 枚[*1] （25mm）	550 枚[*1] （55mm）	550 枚[*1] （55mm）	100 枚[*1] （10mm）
		A4	210 × 297mm		1 枚					
		B4	257 × 364mm		1 枚					
		B5	182 × 257mm		1 枚					
		Legal (LGL)	8.5 × 14 インチ		1 枚					
		Letter (LT)	8.5 × 11 インチ		1 枚					
		Ledger (B)	11 × 17 インチ		1 枚					
		A5	148 × 210mm		1 枚		×	×	×	
		Half-Letter (HLT)	5.5 × 8.5 インチ		1 枚		×	×	×	
		Government Letter (GLT)	8 × 10.5 インチ		1 枚		×	×	×	
		Government Legal (GLG)	8.5 × 13 インチ		1 枚		×	×	×	
		Executive (EXE)	7.3 × 10.5 インチ		1 枚		×	×	×	
		F4	210 × 330mm		1 枚		×	×	×	
		定形紙以外	90 ～ 297mm × 148 ～ 432mm		1 枚		×	×	×	
		長尺用紙	210 ～ 297mm ×433～1200mm		1 枚	×	×	×	×	1 枚
	郵便ハガキ	ハガキ	100 × 148mm	190 g /m^2	1 枚	30 枚	×	×	×	30 枚 （8mm）
		往復ハガキ	148 × 200mm							
		4 面連刷ハガキ	200 × 296mm							
	封筒	洋形 0 号	235 × 120mm	64 ～ 100 g /m^2	1 枚	10 枚 （15mm）	×	×	×	10 枚 （8mm）
		洋形 4 号	235 × 105mm							
		洋形 6 号	190 × 90mm							
		長形 3 号	235 × 120mm							
		角形 2 号	332 × 240mm							
	ラベル紙	A4	210 × 297mm	−	1 枚	30 枚	×	×	×	30 枚 （8mm）
	厚紙	A3	297 × 420mm	101 ～ 128g/m^2 厚紙 129 ～216g/m^2 特厚紙	1 枚	100 枚[*2] （15mm）	×	×	×	50 枚[*2] （8mm）
		A4	210 × 297mm		1 枚					
		B4	257 × 364mm		1 枚					
		B5	182 × 257mm		1 枚					
		Letter (LT)	8.5 × 11 インチ		1 枚					
		Legal (LGL)	8.5 × 14 インチ		1 枚					
		Ledger (B)	11 × 17 インチ		1 枚					
		A5	148 × 210mm		1 枚					
		Half-Letter (HLT)	5.5 × 8.5 インチ		1 枚					
		Government Letter (GLT)	8 × 10.5 インチ		1 枚					
		Government Legal (GLG)	8.5 × 13 インチ		1 枚					
		Executive (EXE)	7.3 × 10.5 インチ		1 枚					
		F4	210 × 330mm		1 枚					
		定形紙以外	90 ～ 297mm × 148 ～ 432mm		1 枚					
		長尺用紙	210 ～ 297mm ×433～1200mm		1 枚	×				1 枚

*1　64g/m^2 の用紙をセットした場合の枚数です。
*2　128 g /m^2 の用紙をセットした場合の枚数です。
*3　操作パネルの［プリンタ設定］－［給紙装置設定］－［MP カセットサイズ］で用紙サイズを設定してください。

×：不可
－：設定不要

⑤セット方向 （↑は給紙方向）	⑥自動両面印刷	⑦用紙サイズ設定ダイヤル		⑧操作パネル	⑨プリンタドライバ		
		MP カセット	カセット 1 ～ 4 *5	カセットタイプ *6	用紙サイズ	給紙装置	用紙種類
縦長	○	A3	A3	上質紙	A3	④参照	上質紙
横長	○	A4	A4		A4		
縦長	○	B4	B4		B4		
横長	×	A4	A4	OHP シート	A4		OHP シート
縦長	×	×	×	×	ユーザー定義サイズ		普通紙 / 再生紙
縦長	○	A3	A3	指定しない 普通紙 / 再生紙 再生紙 2 再生紙 3 上質紙 印刷済み レターヘッド 色つき	A3		指定しない 普通紙 / 再生紙 再生紙 2 再生紙 3 上質紙 トレイ・カセット用紙タイプ 指定しない 普通紙 / 再生紙 再生紙 2 再生紙 3 上質紙 印刷済み レターヘッド 色つき
横長	○	A4	A4		A4		
縦長	○	B4	B4		B4		
横長	○	B5	B5		B5		
縦長	○	その他 *3	LGL		LGL		
横長	○	その他 *3	LT		LT		
縦長	○	その他 *3	LDG		B		
横長	○	A5	×		A5		
縦長	×	その他 *3	×		HLT		
横長	○	その他 *3	×		GLT		
縦長	○	その他 *3	×		GLG		
横長	○	その他 *3	×		EXE		
縦長	○	その他 *3	×		F4		
登録した向き	○	その他 *4	×		ユーザー定義サイズ		
縦長	×	×	×	×	ユーザー定義サイズ		
縦長	×	ハガキ	×	－	ハガキ		ハガキ
縦長		その他 *3	×		往復ハガキ		
横長					4 連ハガキ		
縦長	×	その他 *3	×	－	洋形 0 号		－
					洋形 4 号		
					洋形 6 号		
縦長 ※フラップを開く					長形 3 号		
					角形 2 号		
横長	×	A4	×	ラベル	A4		ラベル
縦長	×	A3		101 ～ 128g/m^2 厚紙 *7 129 ～ 216g/m^2 特厚紙 *7	A3		101 ～ 128g/m^2 厚紙 129 ～ 216g/m^2 特厚紙
横長	×	A4			A4		
縦長	×	B4			B4		
横長	×	B5			B5		
横長	×	その他 *3			LT		
縦長	×	その他 *3			LGL		
縦長	×	その他 *3			B		
横長	×	A5			A5		
縦長	×	その他 *3			HLT		
横長	×	その他 *3			GLT		
縦長	×	その他 *3			GLG		
横長	×	その他 *3			EXE		
縦長	×	その他 *3			F4		
登録した向き	×	その他 *4			ユーザー定義サイズ		
縦長	×	×		×	ユーザー定義サイズ		

*4　プリンタドライバで用紙サイズを設定してください。
*5　MP トレイ付き増設カセットユニットのカセットも同様です。
*6　操作パネルでは［MP トレイタイプ］、［MP カセットタイプ］、［カセット 1 タイプ］～［カセット 4 タイプ］と表示されます。
*7　［MP トレイタイプ］、［MP カセットタイプ］のときのみ設定可能です。

用紙のセットと排紙

用紙のセット方法と排紙方法を説明します。

用紙のセット方法

用紙カセット（標準／オプション）への用紙のセット方法を説明します。

⚠注意

印刷用紙の端を手でこすらないでください。
用紙の側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

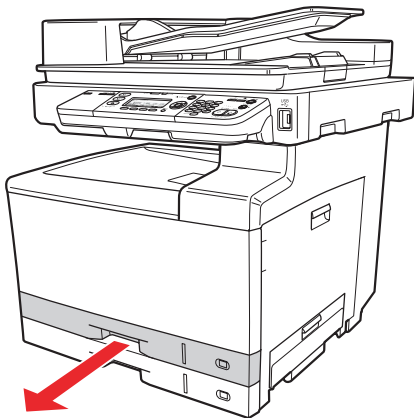
！重要

- 印刷中は、用紙カセットを引き出さないでください。
- 用紙カセットを勢いよく押し込まないでください。用紙がずれて、斜め送りや紙詰まりになるおそれがあります。
- 本製品の動作中は、手差しトレイに用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因となります。

MP カセット / 用紙カセット 1（標準）

本製品に標準装備されている用紙カセットへの用紙のセット方法を説明します。

ここでは、MP カセットを例に説明します。カセット 1 も同様の方法でセットできます。ただし、MP カセットと用紙カセット 1 はセットできる用紙の種類が異なります。

1 **セットする用紙を用意し、セット方向（縦長または横長）と容量（セット可能枚数）を確認します。**

☞ 本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」

2 **用紙カセットを引き出します。**

3 **用紙ガイド（前後）のロックを解除し、ツマミをつまんで外側に広げます。**

4 **用紙ガイド（左）のツマミをつまんで、セットする用紙のサイズに合わせます。**

用紙ガイドが溝に固定されていることを確認してください。

5 **用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。**

横長の例

給紙方向（用紙の進行方向）に対して横長にセットします。

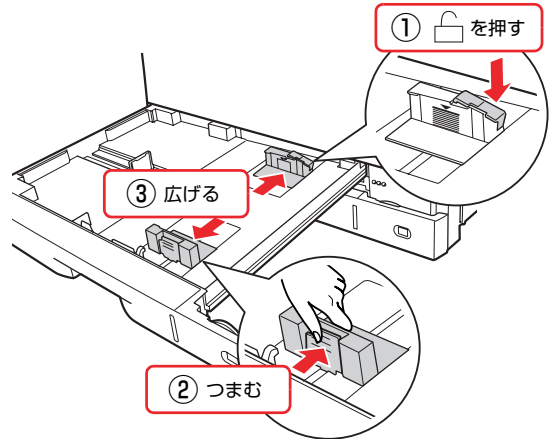
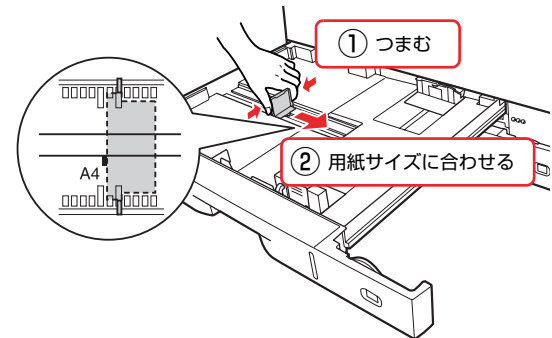
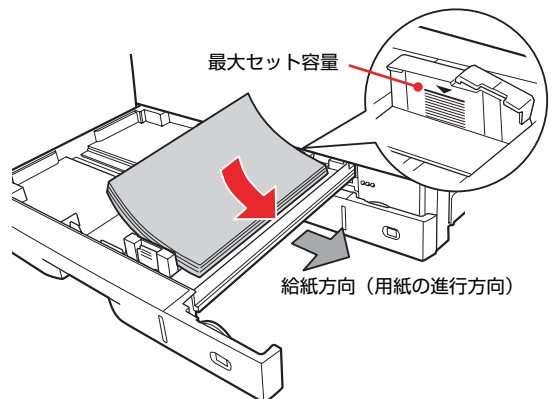
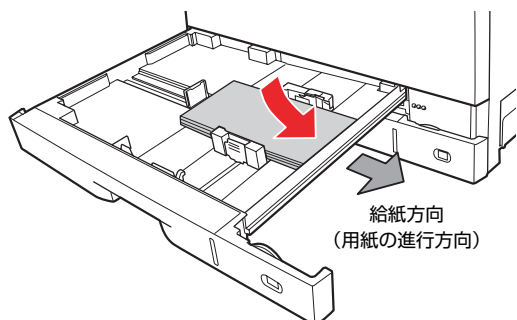
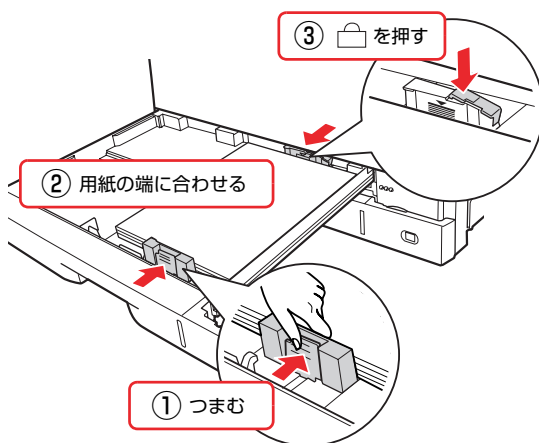
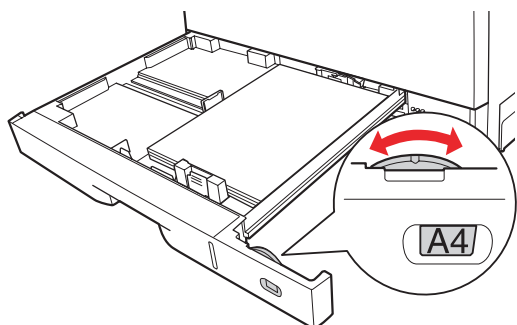
縦長の例

給紙方向（用紙の進行方向）に対して縦長にセットします。

！重要

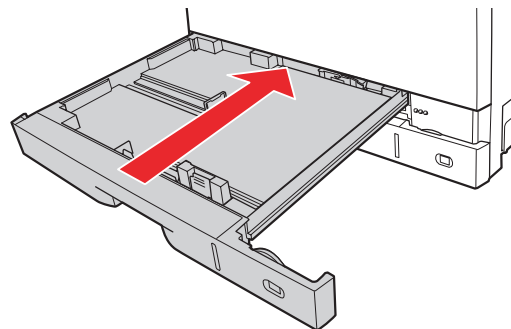
セットできる用紙の最大容量は▼マークまでです。用紙ガイド内側の最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。

6 **用紙ガイド（前後）のツマミをつまんで用紙の端に合わせ、ロックします。**

！重要

用紙ガイドは、セットする用紙のサイズに合わせてください。用紙サイズに合っていないと、給紙不良や紙詰まり、エラーの原因となります。

7 **用紙サイズ設定ダイヤルを、セットする用紙のサイズに合わせます。**

！重要

用紙サイズ設定ダイヤルが正しく設定されていないと、用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られないことがあります。

8 **用紙カセットを本製品にセットします。**

9 **操作パネルの［各種設定］－［プリンタ設定］－［給紙装置設定］で、［MP カセットタイプ］と［カセット 1 タイプ］を設定します。**

設定方法の詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 23 ページ「用紙サイズ･タイプの設定方法」

以上で終了です。

手差しトレイ（標準）

！重 要

手順 5 までは、用紙をセットしないでください。正しく給紙されないことがあります。また、本製品の動作中は、手差しトレイに用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因となります。

1 **用紙を用意します。**

2 **プリンタドライバで［給紙装置］を［手差し］に設定し、印刷を実行します。**

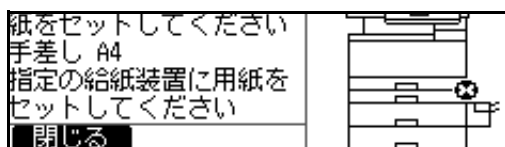
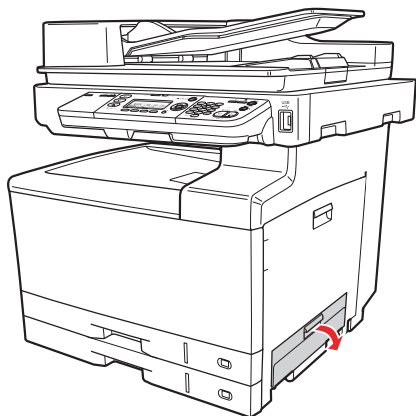
［給紙装置］以外の設定項目は以下を参照してください。

☞ 本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」⑨

設定方法は以下を参照してください。

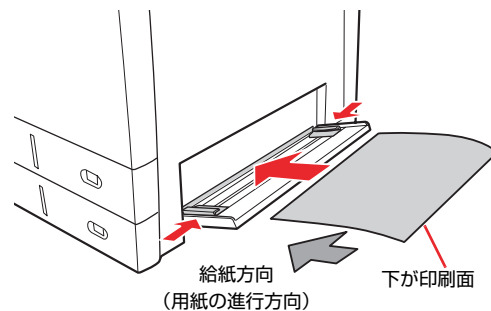
☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「プリンタドライバの使い方」

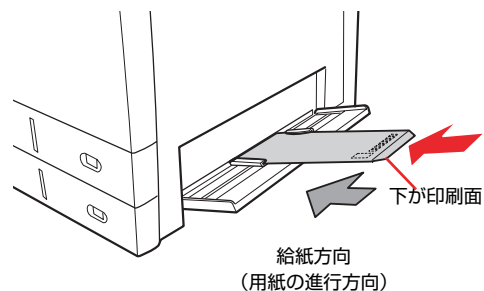
3 **操作パネルの表示を確認します。**

紙をセットしてください
手差し A4
指定の給紙装置に用紙を
セットしてください
［閉じる］

4 **手差しトレイを開けます。**

5 **用紙ガイドを印刷する用紙サイズに合わせて、印刷する面を下にして用紙を 1 枚セットします。**

手差しトレイの奥に突き当たるまで用紙を差し込むと、自動的に給紙されます。

横長の例

給紙方向（用紙の進行方向）に対して横長にセットします。

縦長の例

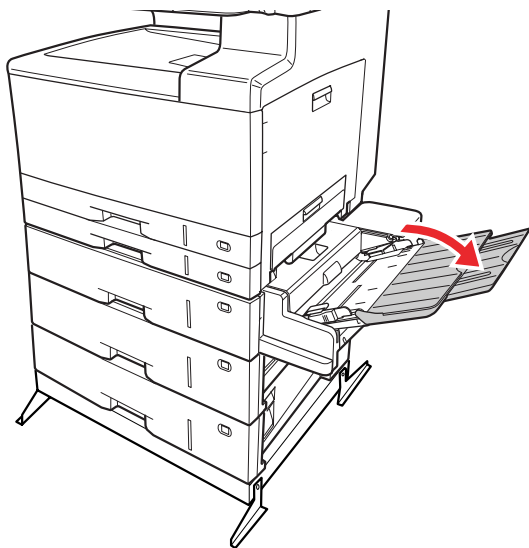
給紙方向（用紙の進行方向）に対して縦長にセットします。

以上で終了です。

MP トレイ（オプション）

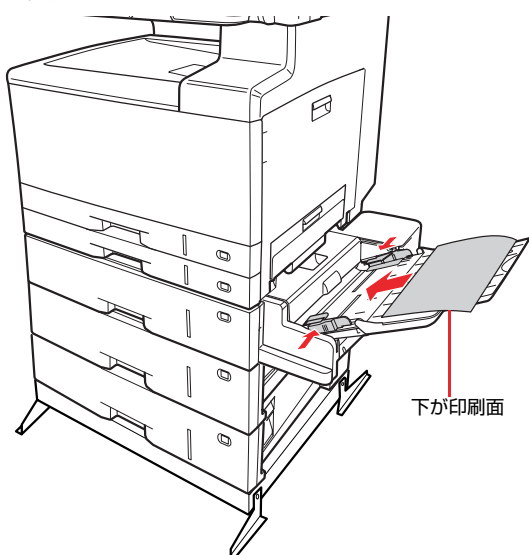
オプションの MP トレイへの用紙のセット方法を説明します。

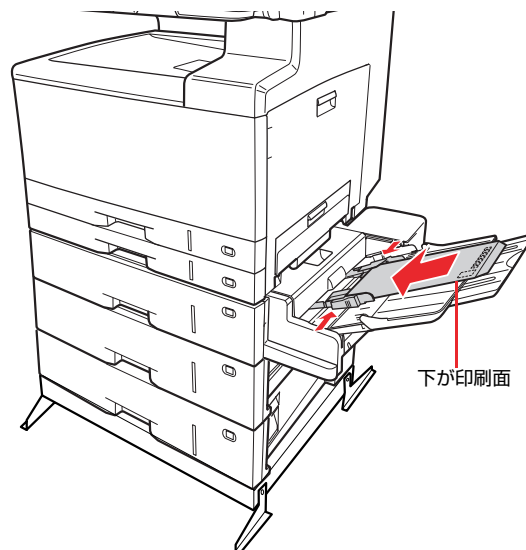
1 セットする用紙を用意し、セット方向（縦長または横長）と容量（セット可能枚数）を確認します。

本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」

2 MP トレイを開けます。

3 用紙ガイドを印刷する用紙サイズに合わせて、印刷する面を下にして用紙をセットします。

横長の例

給紙方向（用紙の進行方向）に対して横長にセットします。

縦長の例

給紙方向（用紙の進行方向）に対して縦長にセットします。

長尺紙の場合は、1 枚ずつ手で支えながら印刷してください。

> **! 重要**
>
> セットできる用紙の最大容量は▼マークまでです。用紙ガイド内側の最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。

4 操作パネルの［各種設定］－［プリンタ設定］－［給紙装置設定］で、［MP トレイサイズ］と［MP トレイタイプ］を設定します。

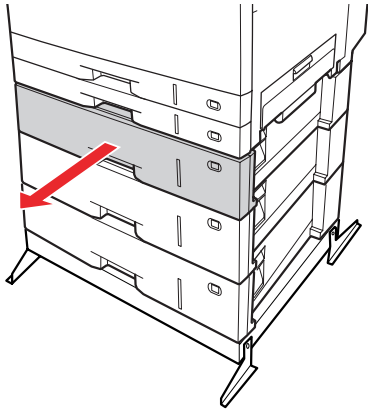
設定方法の詳細は以下を参照してください。

本書 23 ページ「用紙サイズ･タイプの設定方法」

以上で終了です。

用紙カセット2～4(オプション)

オプションの用紙カセットへの用紙のセット方法を説明します。ここでは、用紙カセット2を例に説明します。用紙カセット3または4も同様の方法でセットできます。

1 **セットする用紙を用意し、セット方向(縦長または横長)と容量(セット可能枚数)を確認します。**

☞ 本書16ページ「用紙一覧と設定早見表」

2 **用紙カセットを引き出します。**

3 **用紙ガイド(前後)のロックを解除し、ツマミをつまんで外側に広げます。**

4 **用紙ガイド(左)のツマミをつまんで、セットする用紙のサイズに合わせます。**

用紙ガイドが溝に固定されていることを確認してください。

5 **用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にしてセットします。**

横長の例

給紙方向(用紙の進行方向)に対して横長にセットします。

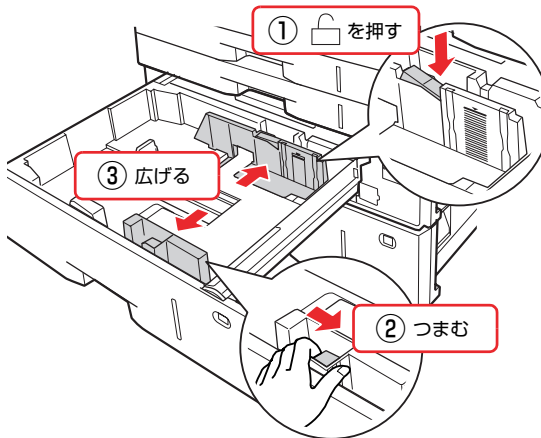
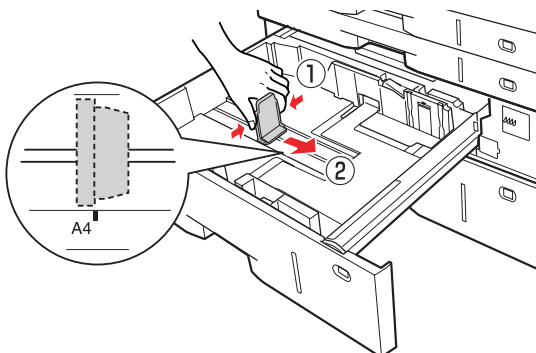
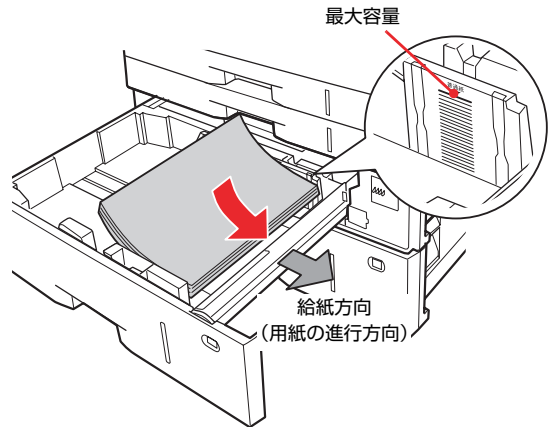
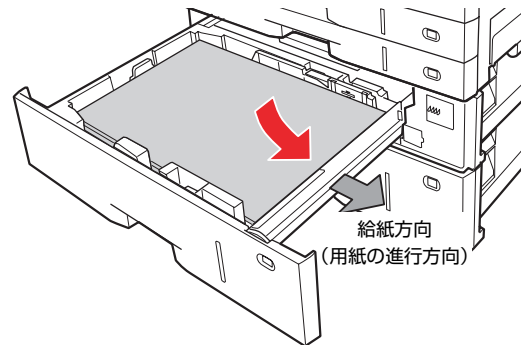
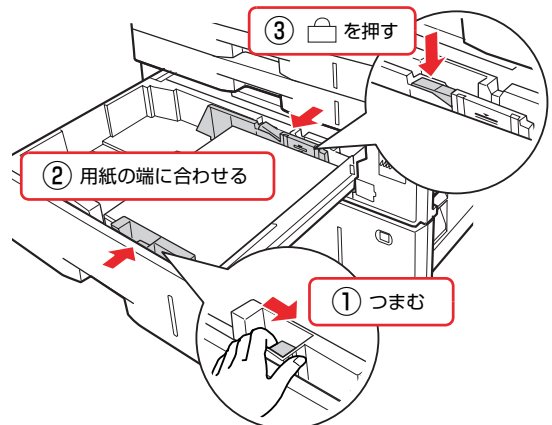
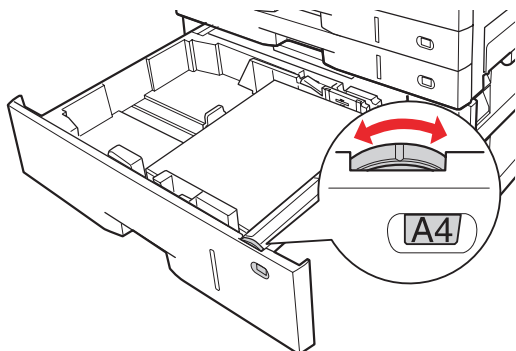
縦長の例

給紙方向(用紙の進行方向)に対して縦長にセットします。

!重要

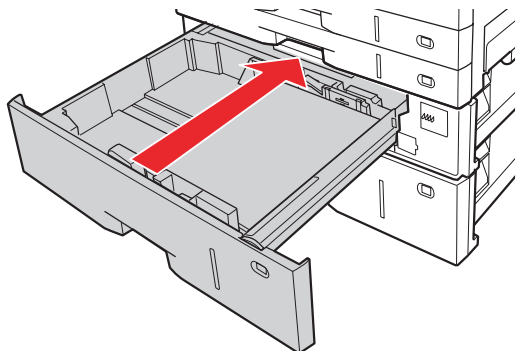
セットできる用紙の最大容量は▼マークまでです。用紙ガイド内側の最大セット容量表示を超えて用紙をセットすると、正常に給紙できないことがあります。

6 **用紙ガイド(前後)のツマミをつまんで用紙の端に合わせ、ロックします。**

！重要

用紙ガイドは、セットする用紙のサイズに合わせてください。用紙のサイズに合っていないと、給紙不良や紙詰まり、エラーの原因となります。

7 **用紙サイズ設定ダイヤルを、セットする用紙のサイズに合わせます。**

！重要

用紙サイズ設定ダイヤルが正しく設定されていないと、用紙関連のエラーが発生したり、意図した印刷結果が得られないことがあります。

8 **用紙カセットを本製品にセットします。**

9 **操作パネルの［各種設定］－［プリンタ設定］－［給紙装置設定］メニューで、［カセット２タイプ］/［カセット３タイプ］/［カセット４タイプ］を設定します。**

設定方法の詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 23 ページ「用紙サイズ･タイプの設定方法」

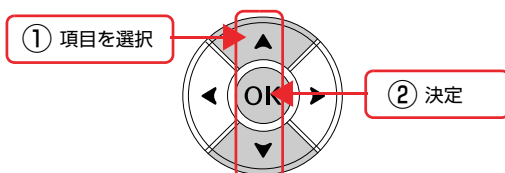
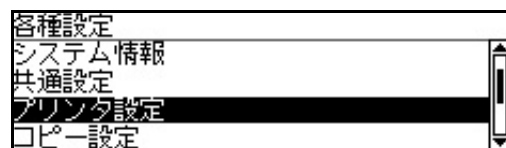
以上で終了です。

用紙サイズ･タイプの設定方法

操作パネル上で用紙サイズや用紙タイプを設定する手順を説明します。用紙サイズや用紙タイプを正しく設定しないと、思うようにコピーや印刷ができなかったり、エラーが発生します。

1 **操作パネルの［各種設定］ボタンを押します。**

［各種設定］画面が表示されます。

2 **［▼］または［▲］ボタンを押して［プリンタ設定］を選択して、［OK］ボタンで決定します。**

3 **［▼］または［▲］ボタンを押して［給紙装置設定］を選択して、［OK］ボタンで決定します。**

4 **［▼］または［▲］ボタンを押して設定するトレイまたはカセットを選択して、［OK］ボタンで決定します。**

参考

用紙カセットの用紙サイズは、表示だけで、操作パネル上で設定の変更はできません。用紙カセットの用紙設定ダイヤルで用紙サイズに合わせて設定してください。

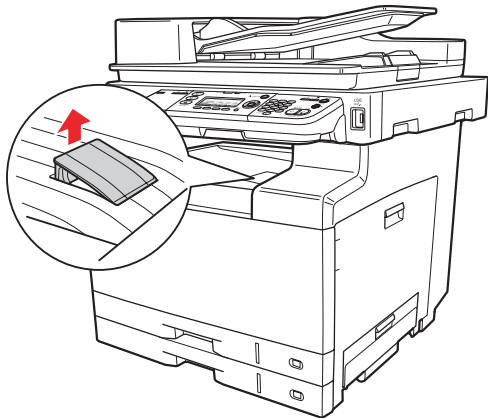
5 **［▼］または［▲］ボタンを押してセットしてある用紙のサイズまたはタイプを選択して、［OK］ボタンで決定します。**

6 **変更した設定になっているのを確認してから、いずれかのモードボタンを押します。**

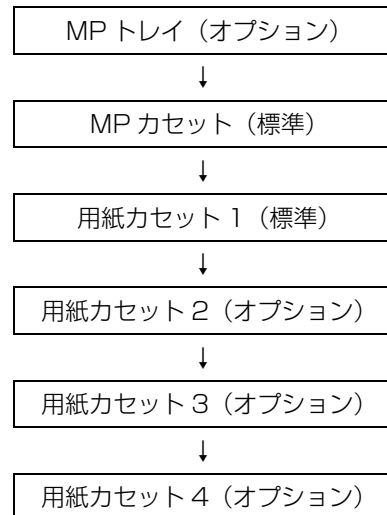
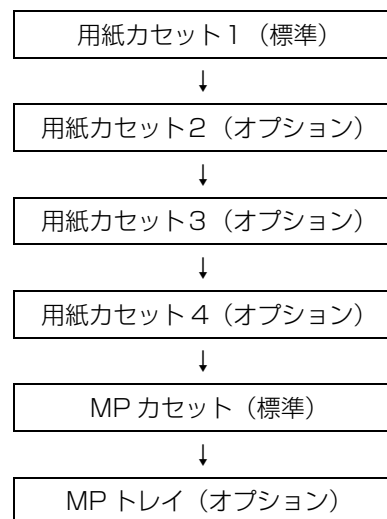
以上で終了です。

排紙

印刷された用紙は、印刷面を裏（フェイスダウン）にして排紙トレイに排出されます。排紙トレイには、一度に普通紙（用紙厚 64 g /m^2）で 250 枚まで排紙できます。

印刷された用紙が取りやすくなるよう、排紙サポートを起こしてお使いください。

給紙装置の優先順位

プリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定すると、［用紙サイズ］で設定した用紙がセットされている給紙装置が自動選択されます。同じサイズの用紙が複数の給紙装置にセットされているときは、以下の優先順位に従って給紙されます。

- 操作パネルで［各種設定］－［共通設定］－［デバイス設定］－［MP優先］－［する］（初期値）に設定したとき

- 操作パネルで［各種設定］－［共通設定］－［デバイス設定］－［MP 優先］－［しない］に設定したとき

操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。

本書 88 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

初めの給紙装置の用紙がなくなると、次の給紙装置に自動的に切り替わります。例えば A4 の普通紙を、オプションを含むすべての用紙カセットにセットすると、最大 2150 枚の連続印刷が可能です。

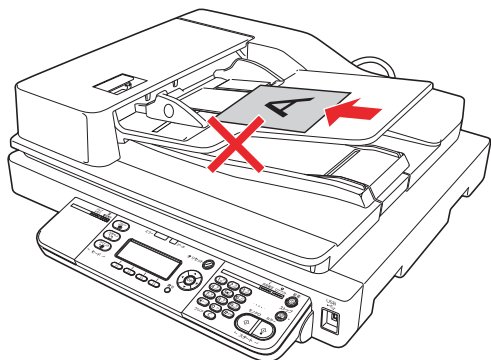
セットできる原稿

本製品でコピー / スキャンやファクス送信できる原稿の詳細と、原稿に関する注意事項などを説明します。

セットできる原稿サイズ

原稿台にセットして自動検知可能なサイズやオートドキュメントフィーダ（ADF）にセット可能なサイズは、機能ごと以下のようになります。

機能		セット（自動検知）できる原稿
コピー		A3、B4、A4 横、A4 縦、B5 横、B5 縦、A5 横 *1、A5 縦
ファクス	カラー送信	A3、B4、A4 横 *2、B5 横 *2、A5 縦、A5 横 *1
	モノクロ送信	A3、B4、A4 横、A4 縦、B5 横、B5 縦、A5 横 *1、A5 縦
スキャン		A3、B4、A4 横、A4 縦、B5 横、B5 縦、A5 横 *1、A5 縦

*1 オートドキュメントフィーダ（ADF）の給紙口側に短辺が差し込まれるようにセットできません。

*2 原稿台またはオートドキュメントフィーダ（ADF）に縦長にセットして送信するとエラーになります。

原稿サイズが自動検出されない場合は、操作パネルで原稿サイズを設定できます。

ADF にセットできる原稿種類

オートドキュメントフィーダ（ADF）にセットできる用紙は次の通りです。

紙質	普通紙、上質紙、リサイクル紙、ページプリンタ専用紙、インクジェットプリンタ専用紙
セット可能枚数	100 枚（A4：80g/ m^2） （用紙ガイドの目盛りを超えてセットしないこと）
紙厚（坪量）	52 ～ 105g/ m^2

次の用紙は、オートドキュメントフィーダでは使用しないでください。給紙不良またはオートドキュメントフィーダの故障などの原因になります。

- 折り目、反り（カール）、しわ、破れのある用紙（原稿が反っている場合は、反りを直してセットしてください）
- のり、ホチキス、クリップなどが付いた用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 貼り合わせ、ラベル紙（裏面糊付）
- ルーズリーフの多穴原稿
- とじのある用紙（製本物）
- 裏カーボンのある用紙
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 透明紙（OHP シートなど）、半透明紙、光沢紙
- シールなどが貼ってある原稿
- 劣化した原稿

セットする原稿の向き

天 / 地

原稿を横置きでセットするとき、原稿の「天 / 地」は以下の表を参照してください。

	説明	原稿をセットする向き
原稿台 / ADF	左側に「天」がくるように原稿台に原稿をセットしてください。	天 A 地

参考
A4 以上の原稿で「天 / 地」を合わせられない場合は、一旦、TIFFもしくはJPEG形式でスキャンしてからアプリケーションソフトで回転させてください。

縦置き / 横置き

両面コピー/ 両面スキャン時は原稿の向きにより［原稿方向］を上向き / 左向きに設定します。

設定	説明	原稿の向き
上向き	原稿を縦置きにセットします。	A
左向き	原稿を横置きにセットします。	A

原稿のセット

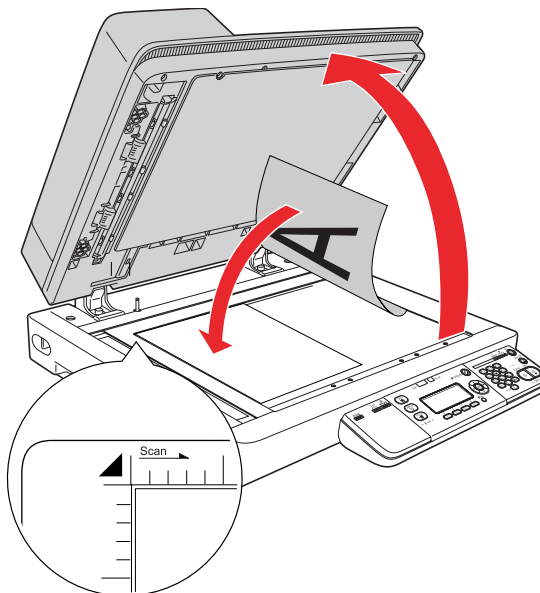
原稿台へのセット

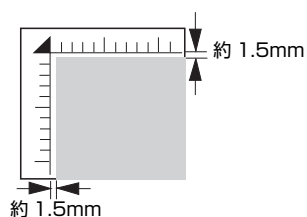
原稿台には、最大 A3 サイズまでの原稿がセットできます。

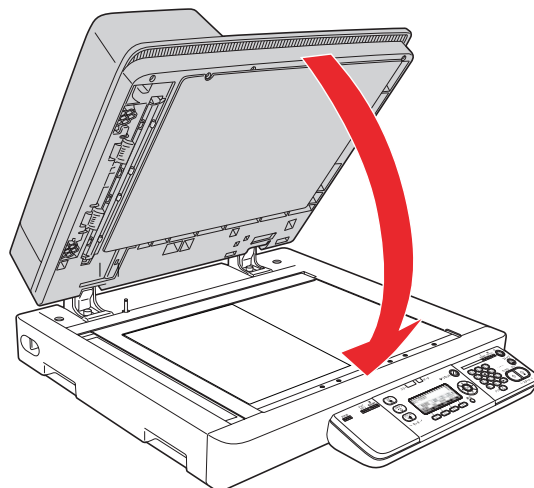
重要

- 写真などの原稿を原稿台の上にセットしたまま、長時間放置しないでください。原稿台に貼り付くおそれがあります。
- 取り込み面が平らな原稿を使用してください。取り込み面がゆがんでいると、取り込んだイメージもゆがみます。

1 **原稿カバーを開け、原稿の取り込む面を下に向け、原稿台にセットします。**

A4、B5、A5、ハガキサイズは縦、横どちらでもセットできます。

参考

- 原稿カバーは左図のように、しっかりと開けてください。
- 用紙をセットする前に、オートドキュメントフィーダに原稿がないことを確認してください。原稿台に原稿をセットしても、オートドキュメントフィーダに原稿がセットされていると、オートドキュメントフィーダの原稿を読み取ります。
- 原稿台の上端から最大 1.5mm、左端から 1.5mm の範囲はスキャンできません。

2 **原稿カバーを閉じます。**

原稿カバーに指を挟まないよう注意しながら、原稿が動かないように、ゆっくり閉じてください。

重要

- 原稿カバーは、途中で止まるようにできています。ただし、原稿カバーの角度が浅いと止まりません。また、勢いよく閉じると止まらないことがあるのでご注意ください。
- 原稿台や原稿カバーに強い力をかけないでください。破損するおそれがあります。
- 原稿を強く押さえ付けないでください。強く押さえ付けると、スキャンした画像にシミやムラ、斑点が出ることがあります。

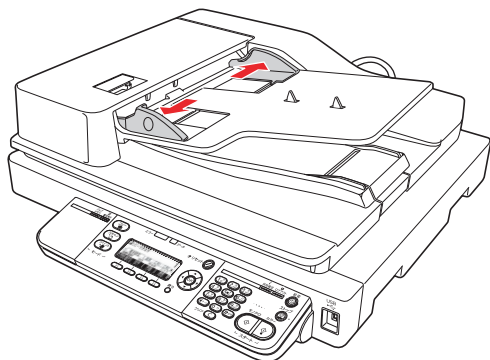
以上で終了です。

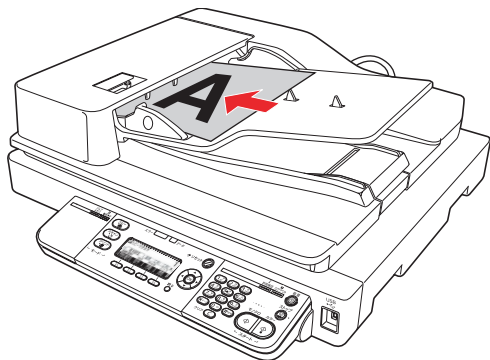
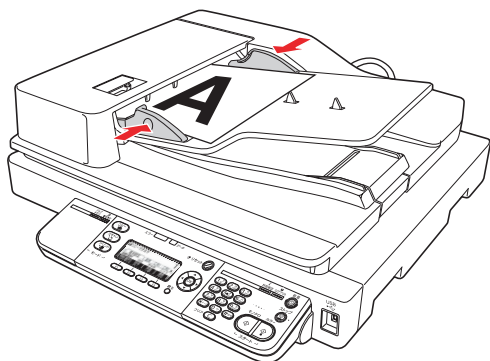
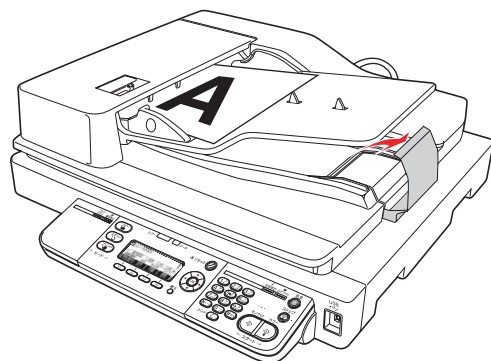
ADF へのセット

最大 A3 サイズまでの定形紙の原稿がセットできます。

写真原稿など特に貴重な原稿は、カールなどで原稿を傷めるおそれがありますのでセットしないでください。

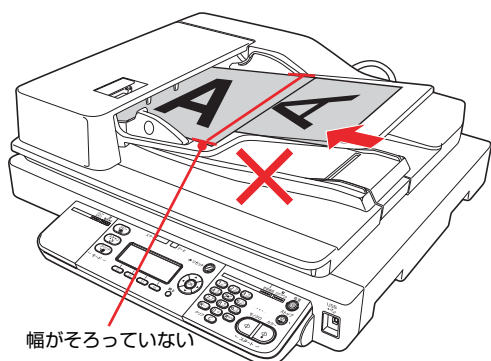
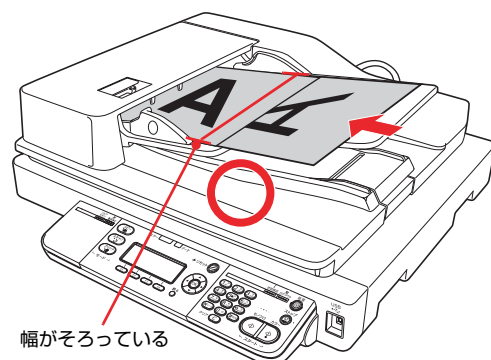
用紙をセットする前に、原稿台に原稿がないことを確認してください。

1　用紙ガイドをセットする原稿サイズの目盛りの位置まで広げます。

2　原稿をセットします。

原稿のスキャンする面を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。
A4、B5 サイズは、縦、横どちらでもセットできます。
A5 サイズは縦方向にセットします。
複数枚の原稿をセットしたときは、上から給紙されます。

3　用紙ガイドを原稿の側面に合わせます。

4　排紙ストッパーを開きます。

参考
スキャンされた原稿は、オートドキュメントフィーダ下段の排紙トレイに排出されます。

以上で終了です。

異なるサイズの原稿セット方法

原稿の幅がそろうようにセットしてください。原稿の幅がそろっていないと、原稿が傾いたり、サイズを正しく認識できません。

2 印刷

印刷機能の概要、基本的な印刷方法などを記載しています。

印刷方法

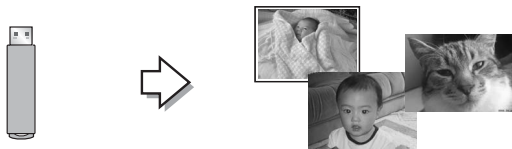
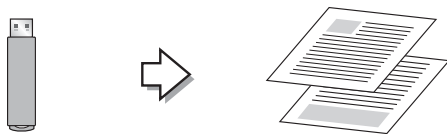
コンピュータを使わずに USB メモリから直接印刷する方法や、プリンタドライバの便利な機能について説明します。

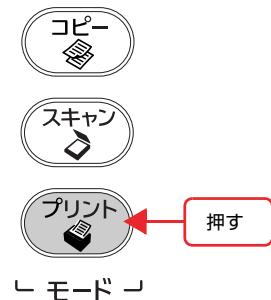
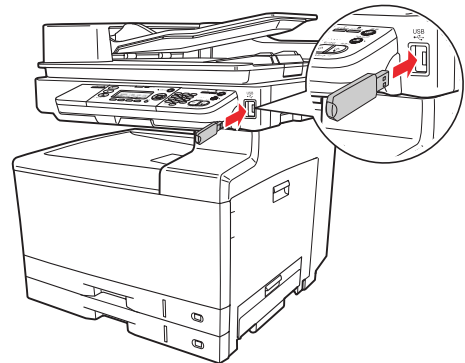
USB メモリからの直接印刷

本製品に USB メモリ（USB フラッシュメモリなどのデバイス）を接続すると、コンピュータを介さずに本製品から直接印刷できます。

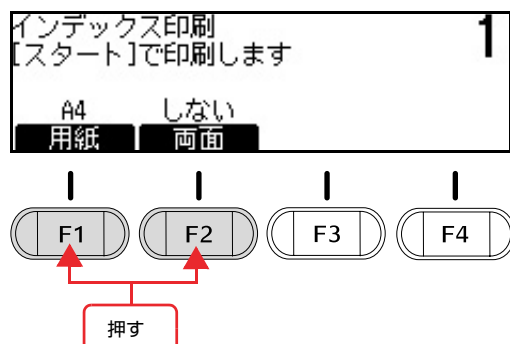
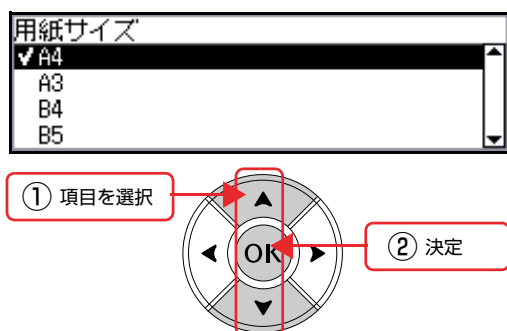
USB メモリに保存されているファイルが多いと、読み込みに時間がかかることがあります。

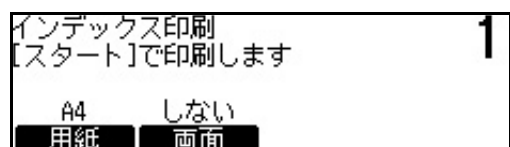
- インデックス印刷
  USB メモリに保存されている JPEG/TIFF/EPN/PDF 形式のファイルの一覧を印刷します。
  ☞ 本書 30 ページ「インデックス印刷」

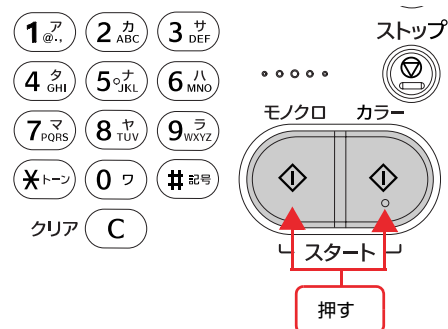
- 画像ファイル印刷
  USB メモリに保存されている JPEG、TIFF 形式の画像を印刷します。
  ☞ 本書 32 ページ「画像ファイル印刷」

- 文書ファイル印刷
  USB メモリに保存されている EPN 形式の文書を印刷します。
  拡張 PDF キット装着時は PS、PDF、暗号化 PDF、高圧縮 PDF 形式の文書も印刷できます。
  ☞ 本書 34 ページ「文書ファイル印刷」

インデックス印刷

1 **［プリント］ボタンを押します。**
プリントランプが点灯して、プリントモードになります。

2 **画像ファイル（JPEG/TIFF/EPN/PDF 形式）を保存した USB メモリを、本製品の USB メモリ用コネクタに取り付けます。**

3 **［インデックス］に対応する［F1］ボタンを押します。**

4 必要に応じて印刷設定（用紙サイズ、両面印刷）を変更します。

① [F1]（用紙サイズ）または［F2]（両面印刷）ボタンを押して設定項目を選択します。
設定項目が有効になり、設定値の階層へ進みます。

② [▲] または [▼] ボタンを押して設定値を選択して、[OK] ボタンを押して決定します。
[OK] ボタンを押すと①の画面に戻ります。

設定項目	設定値
用紙	印刷時の用紙サイズを設定します。 A4（初期設定）、A3、B4、B5
両面	• しない（片面印刷）（初期設定）： 片面印刷します。 • 両面長辺とじ： 長辺をとじるように両面印刷します。 • 両面短辺とじ： 短辺をとじるように両面印刷します。

5 必要に応じてテンキーで印刷部数を設定します。

6 [カラー] または [モノクロ] ボタンを押して、印刷を開始します。

[カラー] ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ] ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

7 印刷が終了したら、USB メモリを本製品から取り外します。

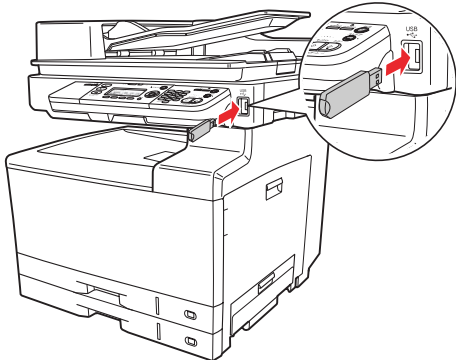
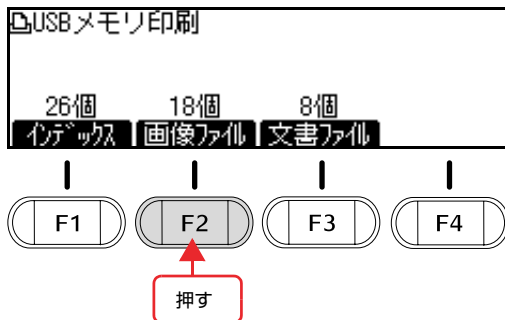
> **！重要**
> 印刷が終了したことを確認してからUSBメモリを取り外してください。印刷終了前に取り外すと、正しく印刷されないことがあります。

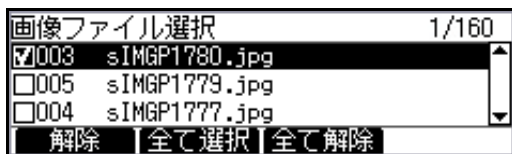
以上で終了です。

画像ファイル印刷

1 **［プリント］ボタンを押します。**

プリントランプが点灯して、プリントモードになります。

2 **画像ファイル（JPEG または TIFF 形式）を保存した USB メモリを、本製品の USB メモリ用コネクタに取り付けます。**

3 **［画像ファイル］に対応する［F2］ボタンを押します。**

4 **印刷するファイルを選択します。**

① ［▲］または［▼］ボタンを押して印刷したいファイル名を選択して、［F1］ボタンで決定します。

② 印刷するファイルが複数ある場合は、①の操作を繰り返します。

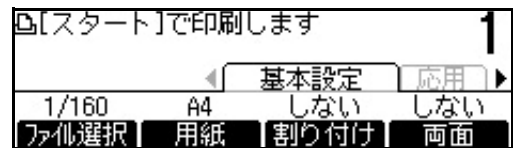
③ 印刷するファイルを選択し終えたら、［OK］ボタンを押して確定します。

参考

- 選択したファイルを解除するには、［F1］ボタンを再度押します。
- ［全て選択］に対応する［F2］ボタンを押すと、USB メモリ内のすべての画像データを選択します。
- ［全て解除］に対応する［F3］ボタンを押すと、選択したファイルをすべて解除します。

5 **必要に応じて印刷設定（用紙サイズ、割り付け、両面印刷、ファイル名）を変更します。**

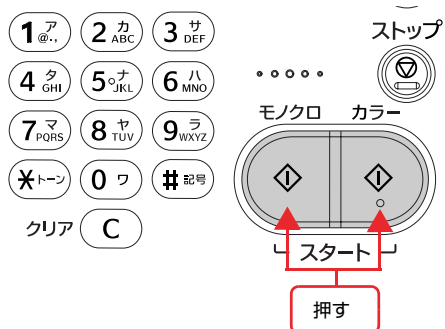
① ［◀］または［▶］ボタンを押して設定項目のタブを選択します。
タブは［基本設定］と［応用設定］が選択できます。

② ［F1］～［F4］ボタンを押して設定項目を選択します。
ファイル選択：［基本設定］タブの［F1］
用紙サイズ：［基本設定］タブの［F2］
割り付け：［基本設定］タブの［F3］
両面印刷：［基本設定］タブの［F4］
ファイル名：［応用設定］タブの［F1］
設定項目が有効になり、設定値の階層へ進みます。

③ ［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンを押して決定します。
［OK］ボタンを押すと②の画面に戻ります。

設定項目	設定値
用紙	印刷時の用紙サイズを設定します。 A4（初期設定）、A3、B4、B5
割り付け	• しない（初期設定）： 割り付け印刷しません。 • 2 面： 1 ページに 2 面割り付け印刷します。 • 4 面： 1 ページに 4 面割り付け印刷します。 • 8 面： 1 ページに 8 面割り付け印刷します。
両面	• しない（片面印刷）（初期設定）： 片面印刷します。 • 両面長辺とじ： 長辺をとじるように両面印刷します。 • 両面短辺とじ： 短辺をとじるように両面印刷します。
ファイル名	• つける（初期設定）： ファイル名を印刷します。 • つけない： ファイル名を印刷しません。

6 **必要に応じてテンキーで印刷部数を設定します。**

7 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、印刷を開始します。**

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

8 **印刷が終了したら、USB メモリを本製品から取り外します。**

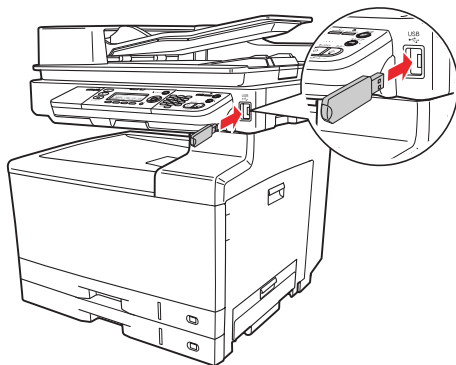
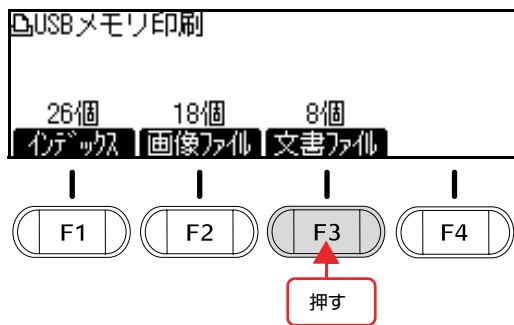
> **！重要**
>
> 印刷が終了したことを確認してからUSB メモリを取り外してください。印刷終了前に取り外すと、正しく印刷されないことがあります。

以上で終了です。

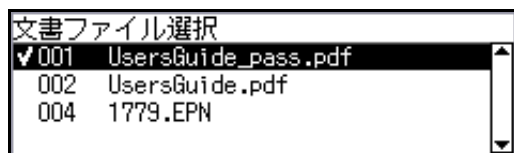
文書ファイル印刷

1 **［プリント］ボタンを押します。**

プリントランプが点灯して、プリントモードになります。

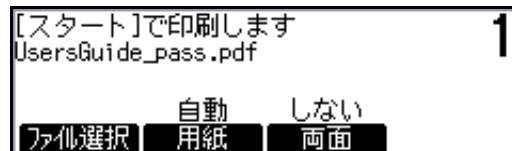
2 **文書ファイル（EPN 形式）を保存した USB メモリを、本製品の USB メモリ用コネクタに取り付けます。**

3 **［文書ファイル］に対応する［F3］ボタンを押します。**

4 **［▲］または［▼］ボタンを押して印刷したいファイル名を選択して、［OK］ボタンで決定します。**

［OK］ボタンを押すとファイルが選択されます。

```
文書ファイル選択
✔001  UsersGuide_pass.pdf
 002  UsersGuide.pdf
 004  1779.EPN
```

参考

- EPN形式の文書ファイルは、USBメモリプリントメーカーで作成できます。
- 拡張PDFキット装着時はPS、PDF、暗号化PDF、高圧縮 PDF 形式の文書も印刷できます。

5 **必要に応じて印刷設定（用紙サイズ、両面印刷）を変更します。**

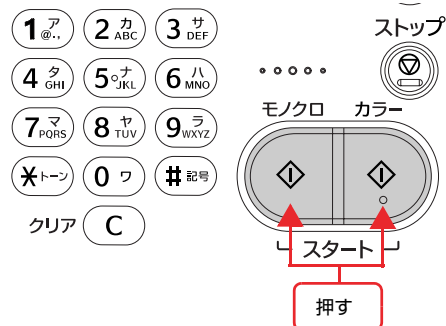
① ［F1］～［F3］ボタンを押して設定項目を選択します。
ファイル選択：［F1］
用紙サイズ：［F2］
両面印刷：［F3］
設定項目が有効になり、設定値の階層へ進みます。

② ［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択し、［OK］ボタンを押して決定すると①の画面に戻ります。

設定項目	設定値
用紙	印刷時の用紙サイズを設定します。 自動（初期設定）、A4、A3、B4、B5
両面	• しない（片面印刷）（初期設定）： 片面印刷します。 • 両面長辺とじ： 長辺をとじるように両面印刷します。 • 両面短辺とじ： 短辺をとじるように両面印刷します。

- ［用紙］は、拡張 PDF キット装着時に PDF ファイルを選択したときに表示されます。
- ［両面］は PS ファイル選択時は表示されません。

6 **必要に応じてテンキーで印刷部数を設定します。**

7 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、印刷を開始します。**

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

選択したファイルがパスワード付 PDF の場合は、パスワード入力画面が表示されます。
パスワード付 PDF の場合は、手順 8 に進みます。
その他の文書ファイルの場合は、手順 9 に進みます。

参考

PS ファイルは、PS ファイル内のカラー、モノクロの情報に従って印刷します。

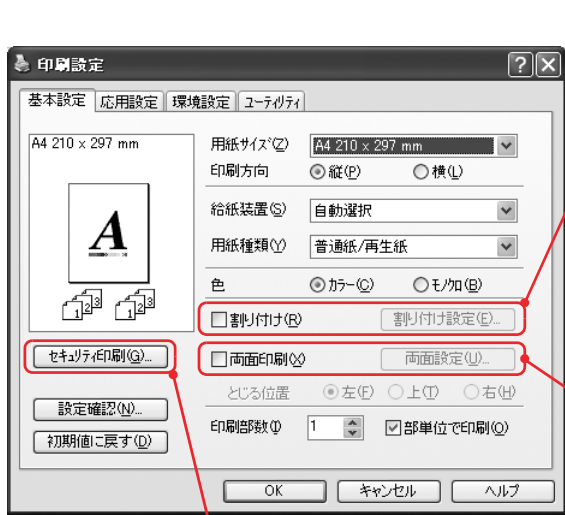
8 **パスワード付き PDF ファイルを選択した場合は、テンキーでパスワードを入力して、[OK]ボタンを押します。**

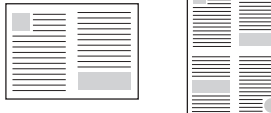
テンキーでは、「英字・記号」と「数字」が入力できます。

9 **印刷が終了したら、USB メモリを本製品から取り外します。**

!重要

印刷が終了したことを確認してからUSBメモリを取り外してください。印刷終了前に取り外すと、正しく印刷されないことがあります。

以上で終了です。

プリンタドライバの便利な印刷機能

プリンタドライバで、さまざまな便利な設定ができます（画面は Windows の例）。

設定手順の説明は以下を参照してください。

☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）

[基本設定]画面

印刷設定

基本設定　応用設定　環境設定　ユーティリティ

A4 210 x 297 mm

用紙サイズ(Z)　A4 210 x 297 mm

印刷方向　縦(P)　横(L)

給紙装置(S)　自動選択

用紙種類(Y)　普通紙/再生紙

色　カラー(C)　モノクロ(B)

割り付け(R)　割り付け設定(E)...

セキュリティ印刷(G)...

両面印刷(X)　両面設定(U)...

とじる位置　左(F)　上(T)　右(H)

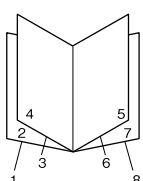
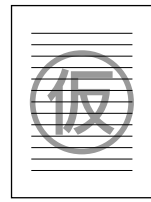
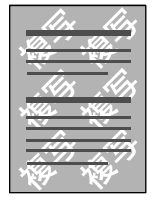
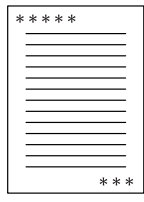
設定確認(N)...

印刷部数(I)　1　部単位で印刷(O)

初期値に戻す(D)

OK　キャンセル　ヘルプ

割り付け印刷

2ページまたは4ページを1ページに割り付け

割り付け印刷 ＋ 両面印刷

両面印刷

製本印刷

スタンプマーク

テキストやビットマップのオリジナルのマークも登録できます。

透かし印刷

不正コピーの抑制などに役立ちます。

ヘッダー / フッター

ユーザー名、日付、時刻、部番号などが設定できます。

パスワード

プリンタドライバでパスワードを設定し、本製品の操作パネルで設定したパスワードを入力すると印刷されます。

[応用設定]画面

印刷と中止

基本的な印刷の手順と中止方法を説明します。

印刷

基本的な印刷の手順は以下の通りです。本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」と併せて見ると便利です。

ハガキや封筒などの特殊紙への印刷方法の詳細は以下を参照してください。

☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』(電子マニュアル)―「コンピュータからの特殊紙への印刷」

!重要

手差しトレイを利用するときは、プリンタドライバで印刷を実行してから用紙をセットしてください。正しく給紙されないことがあります。また、本製品の動作中は、手差しトレイに用紙をセットしないでください。紙詰まりの原因となります。

用紙の準備

1 用紙を用意します。

本製品で印刷できる用紙は以下を参照してください。

☞ 本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」①②③

2 印刷する面のセット方向を確認して、用紙をセットします。

各用紙のセット方向の一覧は以下を参照してください。

☞ 本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」④⑤

用紙のセット方法の詳細は以下を参照してください。

☞ 本書 18 ページ「用紙のセットと排紙」

3 用紙サイズ設定ダイヤルと操作パネルで必要な設定をします。

用紙によって必要な設定項目が異なります。設定の要否と設定値は以下を参照してください。

☞ 本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」⑦⑧

操作パネルの使い方の概要は以下を参照してください。

☞ 本書 88 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」

4 プリンタドライバで必要な設定をして、印刷を実行します。

設定項目の一覧は以下を参照してください。

☞ 本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」⑨

設定方法は以下を参照してください。

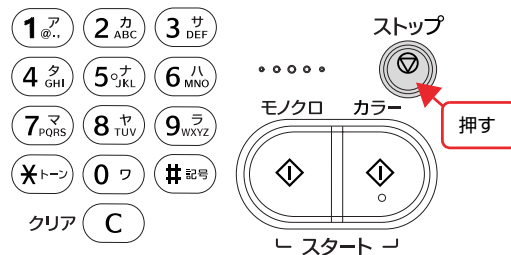
☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』(電子マニュアル)―「プリンタドライバの使い方」

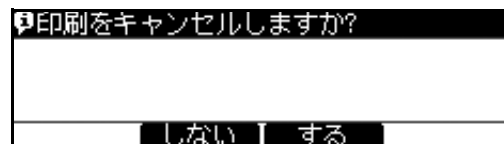
印刷の中止方法

印刷処理を中止するときは、次のいずれかの方法でコンピュータ上の印刷データ、または本製品上の印刷データを削除します。

操作パネルから中止する

1 印刷中のデータを削除するには［ストップ］ボタンを押します。

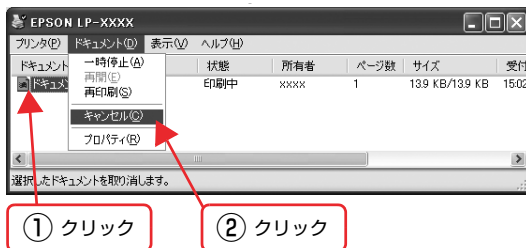
本製品が受信したすべての印刷データを削除するには［ストップ］ボタンを約 3 秒間押し続けます。

2 ［する］に対応する［F3］ボタンを押します。

継続するときは、［しない］に対応する［F2］ボタンを押して印刷を続けます。

コンピュータで中止

Windows の場合

1 **画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。**

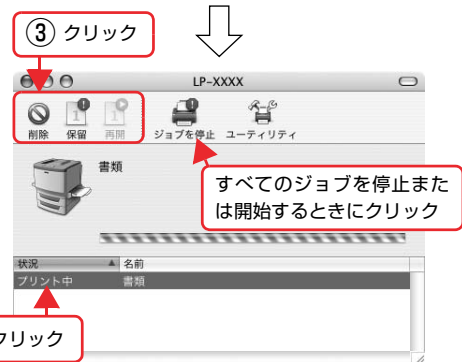
2 **中止したい印刷データをクリックして選択し、［ドキュメント］メニューの［印刷中止］または［キャンセル］をクリックします。**

処理済みのデータが印刷されてから表示が消え、印刷が中止されます。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

コンピュータ上の処理が続いているときは、以下のいずれかの方法で削除します。

- アプリケーションソフトによっては、印刷中であることを知らせる画面が表示されます。表示されているときは、印刷を中止するボタン（［キャンセル］など）をクリックして印刷を強制的に終了します。

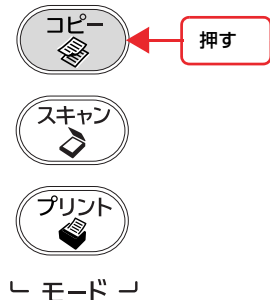
- 印刷中は［Dock］に［プリンタ設定ユーティリティ］が現れます。［プリンタ設定ユーティリティ］を開き、印刷中のジョブを選択して削除（または保留 / 再開）できます。

以上で終了です。

3 コピー

基本的なコピーの方法と各種コピー機能を説明します。

基本コピー（カラー/モノクロ）

コピーの基本操作を説明します。

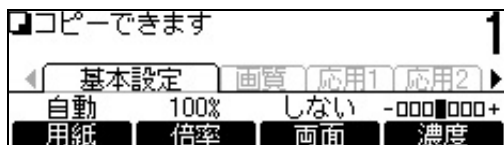
1 ［コピー］ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

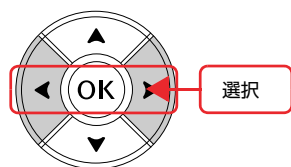
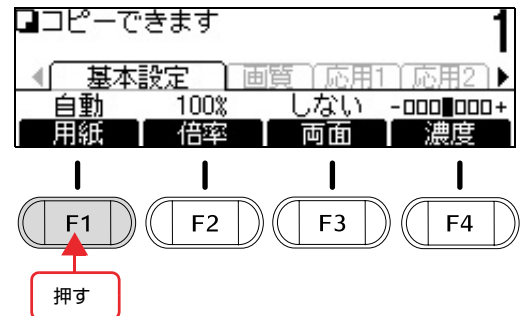
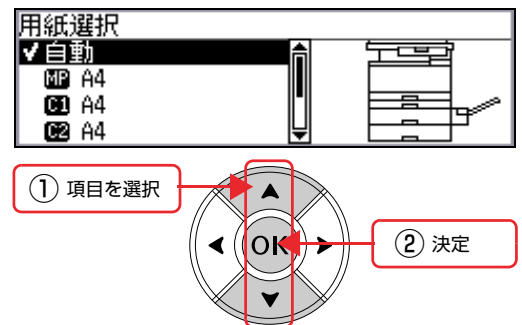
2 原稿をセットします。

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 28 ページ「ADF へのセット」

3 テンキー（ダイヤルボタン）でコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 用紙サイズを選択します。

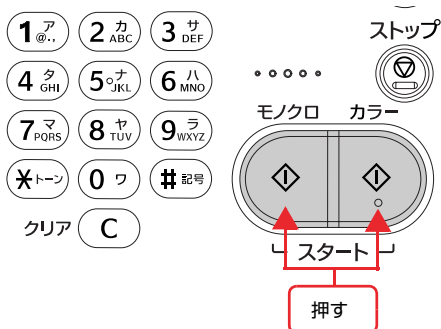
① ［◀］または［▶］ボタンを押して、［基本設定］タブを選択します。

② ［用紙選択］に対応する［F1］ボタンを押します。

③ ［▲］または［▼］ボタンを押して給紙装置を選択して、［OK］ボタンで決定します。

［用紙選択］で MP トレイまたは手差しを選択した場合は、続いて用紙サイズを選択します。

設定	説明
［自動］	読み取った原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。 セットした原稿が自動検知できるサイズで倍率が 100%の場合に有効です。 本書 25 ページ「セットできる原稿サイズ」
［MP XX］	MP カセットから給紙します。
［CX XX］	選択した用紙カセットから給紙します。
	MP トレイから給紙します。MP トレイにセットしている用紙に合わせて用紙サイズを選択してください。
	手差しトレイから給紙します。手差しトレイにセットしている用紙に合わせて用紙サイズを選択してください。

！重要

用紙カセットにコピーできないサイズの用紙がセットされていたり、用紙カセットの用紙サイズ設定ダイヤルの設定に誤りがあると、操作パネルの［用紙］に［CX - - ］が表示されることがあります。［CX - - ］を選択してコピーをすると、エラーが発生してコピーができません。A3/B4/A4/B5/A5/ ハガキ サイズの用紙をセットして、用紙サイズ設定ダイヤルを正しく設定してください。

本書18ページ「MPカセット/用紙カセット1（標準）」

5 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかることがあります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

コピー機能

コピーするときに、操作パネルで各種機能を設定できます。

設定項目	説明	タブ名
用紙	目的のサイズの用紙がセットされた給紙装置を選択します。 ☞ 本書40ページ「基本コピー（カラー / モノクロ）」	基本設定
倍率	拡大・縮小コピーをします。 ☞ 本書 43 ページ「拡大・縮小コピー」	
両面	両面コピーをします。 ☞ 本書 44 ページ「両面コピー」	
濃度	濃度を設定します。 ☞ 本書 49 ページ「濃度の設定」	
カラー原稿	カラー原稿のコピー画質を設定します。 ☞ 本書55ページ「コピー品質の変更」	画質設定
モノクロ原稿	モノクロ原稿のコピー画質を設定します。 ☞ 本書55ページ「コピー品質の変更」	
コントラスト	コントラストを設定します。 ☞ 本書55ページ「コピー品質の変更」	
その他	「背景除去」、「モアレ除去」、「カラーバランス」を設定します。 ☞ 本書55ページ「コピー品質の変更」	
割り付け	2ページの原稿を1枚の用紙に割り付けます。 ☞ 本書46ページ「割り付けコピー」	応用設定1
影消し	本などをコピーするときにできる影を除去します。 ☞ 本書 50 ページ「影消し（取り込まない範囲を指定して）コピー」	
とじしろ	とじしろ領域を設けてコピーします。 ☞ 本書51ページ「とじしろ設定コピー」	
ページ連写	見開きの原稿を2ページに分けてコピーします。 ☞ 本書52ページ「見開き原稿を左右別々にコピー」	
原稿サイズ	原稿サイズを設定します。 ☞ 本書54ページ「原稿サイズの設定」	応用設定2
全面コピー	原稿に余白がない場合なども、印刷領域に収まるよう、倍率を自動調整してコピーします。 ☞ 本書 53 ページ「全面コピー」	
原稿混載	サイズの異なる原稿を混在してコピーします。 ☞ 本書54ページ「異なるサイズの原稿のコピー」	
ソート	複数部数をコピーするときにページ順に部単位で出力します。 ☞ 本書48ページ「部単位でコピー（ソート）」	

拡大・縮小コピー

拡大・縮小コピーには、原稿サイズと印刷用紙サイズに合わせて拡大 / 縮小する［定形倍率］と、任意に倍率を設定できる［任意倍率］、原稿と出力する用紙のサイズに合わせて自動で拡大 / 縮小する［自動倍率］があります。

参考

- 印刷保証領域は、原稿の各端面から 4mm 内側に設定されます。
- ［用紙選択］で［自動］を選択しているときに［自動倍率］を設定すると、操作パネルに「倍率を自動倍率にしたため用紙の設定を変更しました」と表示され、［用紙選択］が［自動］以外に設定されます。
- ［全面コピー］機能を使用すると、原稿の全面を印刷用紙サイズの印刷保証領域に収めることができます。
  本書 53 ページ「全面コピー」

設定項目	設定値	拡大 / 縮小率
定形倍率	A4 > A3/B5 > B4	141%
	A4 サイズの原稿を A3 サイズに、B5 サイズの原稿をB4サイズに収まるように拡大コピーします。	
	A4 > B4	122%
	A4 サイズの原稿を B4 サイズに収まるように拡大コピーします。	
	B4 > A3/B5 > A4	115%
	B4 サイズの原稿を A3 サイズに B5 サイズの原稿をA4サイズに収まるように拡大コピーします。	
	100%	等倍
	等倍でコピーします。	
	A3 > B4/A4 > B5	86%
	A3 サイズの原稿を B4 サイズに A4 サイズの原稿を B5 サイズに収まるように縮小コピーします。	
	B4 > A4	81%
	B4 サイズの原稿を A4 サイズに収まるように縮小コピーします。	
	A3 > A4/B4 > B5	70%
	A3 サイズの原稿を A4 サイズに B4 サイズの原稿を B5 サイズに収まるように縮小コピーします。	
任意倍率		25 ～ 400%
	コピー倍率を任意で設定できます。1%単位で設定します。	
自動倍率		−
	出力する用紙に合わせて自動で設定されます。	

1　［コピー］ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2　原稿をセットします。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 28 ページ「ADF へのセット」

3　テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4　［◄］または［►］ボタンを押して、［基本設定］タブを選択します。

5　［倍率］に対応する［F2］ボタンを押します。

6　倍率を設定します。

① ［F1］ボタンを押して［定形倍率］と［任意倍率］を切り替えます。
② ［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

参考

- ［自動倍率］に対応する［F2］ボタンを押すと、自動倍率に設定できます。
- ［任意倍率］の数値はテンキーでも設定できます。

7　［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

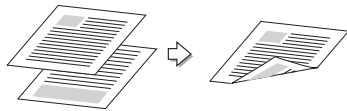
- 「紙をセットしてください」と表示されたときは、選択したサイズの用紙が本製品にセットされていません。指定したサイズの用紙をセットしてください。
- コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

両面コピー

2 ページの原稿を 1 枚の用紙の両面にコピーしたり、両面に印刷された 1 枚の原稿の裏表を 2 枚の用紙の片面にコピーできます。

両面コピーの種類と説明は、手順 6 を参照してください。

1　［コピー］ボタンを押します。
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2　原稿をセットします。

- 原稿台を使用する場合は、1 枚目の原稿をセットします。
本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダを使用する場合は、コピーするすべて（最大 100 枚）の原稿をセットします。
本書 28 ページ「ADF へのセット」

3　テンキーでコピー枚数を設定します。
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4　［◀］または［▶］ボタンを押して、［基本設定］タブを選択します。

5　［両面］に対応する［F3］ボタンを押します。

6　両面コピーの種類を選択します。
［▲］または［▼］ボタンを押して両面印刷の種類を選択して、［OK］ボタンで決定します。

両面コピーの種類	説明	仕上がりイメージ
両面コピーしない（片面↓片面）	通常のコピー方法です。原稿の片面を用紙の片面にコピーします。	
片面↓両面	2 ページの原稿の片面を、1 枚の用紙の表と裏にコピーします。	
両面↓両面	両面印刷された原稿の表と裏を、用紙の両面にコピーします。	
両面↓片面	両面印刷された原稿の表と裏を、用紙の片面にコピーします。	

7　必要に応じて原稿と出力に関する項目を設定します。
① ［原稿状態］、［出力状態］、［原稿方向］の設定状況を確認します。
② 各項目に対応した［F1］～［F3］ボタンを押します。
③ ［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

設定項目	説明	設定値
原稿状態	原稿の開き方向を設定します。	片面 左右開き 上下開き
出力状態	コピー出力の開き方向を設定します。	片面 左右開き 上下開き
原稿方向	原稿のセット方向を設定します。 本書26ページ「セットする原稿の向き」	上向き（読める向き） 左向き

8　［OK］ボタンを押します。

9 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。**

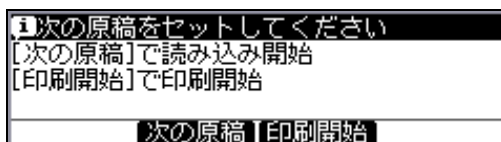
［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

> **参考**
> コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

10 **次のメッセージが表示されたら、原稿台に 2 枚目の原稿をセットします。**

原稿台を使用した場合は、1 枚ごとに原稿をセットする必要があります。

表示パネルに次のメッセージが表示されたら、2 枚目の原稿をセットして、［カラー］または、［モノクロ］ボタンを押してコピーを実行します。

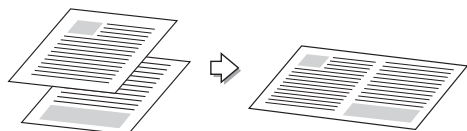
```
次の原稿をセットしてください
[次の原稿]で読み込み開始
[印刷開始]で印刷開始

        次の原稿 印刷開始
```

> **参考**
> オートドキュメントフィーダを使用する場合、片面原稿、両面原稿とも自動的に原稿が取り込まれ、連続して読み取りと印刷が行われます。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

割り付けコピー

2 ページの原稿を、1 枚の用紙に割り付けてコピーします。

以下の原稿サイズと印刷用紙サイズの組み合わせができます。

原稿サイズ	印刷用紙サイズ			
	A4	B5	A3	B4
A4 横 / 縦	○	○	○	○
B5 横 / 縦	○	○	○	○
A3	○	○	○	○
B4	○	○	○	○

1 ［コピー］ボタンを押します。

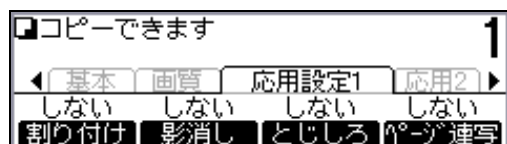
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿をセットします。

- 原稿台を使用する場合は、1 枚目の原稿をセットします。
  本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダを使用する場合は、コピーするすべて（最大 100 枚）の原稿をセットします。
  本書 28 ページ「ADF へのセット」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 ［◀］または［▶］ボタンを押して、［応用設定1］タブを選択します。

5 ［割り付け］に対応する［F1］ボタンを押します。

6 割り付けコピーを設定します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択して、［OK］ボタンで決定します。

7 必要に応じてその他の項目を設定します。

① ［原稿サイズ］、［用紙］、［順序］の設定状況を確認します。
② 各項目に対応した［F1］～［F3］ボタンを押します。
③ ［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

設定項目	説明
原稿 サイズ	セットした原稿のサイズと向きを選びます。（A3 、B4 、A4 縦 、A4 横 、B5 縦 、B5 横 ）
用紙	給紙装置を選びます。（MP カセット、カセット 1 ～ 4、MP トレイ、手差し）
順序	原稿の 1 枚目（奇数ページ）と 2 枚目（偶数ページ）を、1 枚の用紙に割り付ける順番を指定できます。 1ページ目→2ページ目 2ページ目→1ページ目

8 ［OK］ボタンを押します。

9 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

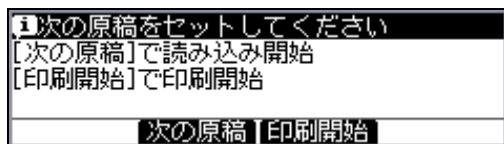
コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかることがあります。

10 **次のメッセージが表示されたら、原稿台に 2 枚目の原稿をセットします。**

原稿台を使用した場合は、1 枚ごとに原稿をセットする必要があります。

表示パネルに次のメッセージが表示されたら、2 枚目の原稿をセットして、［カラー］または、［モノクロ］ボタンを押してコピーを実行します。

i次の原稿をセットしてください
［次の原稿］で読み込み開始
［印刷開始］で印刷開始
次の原稿 印刷開始

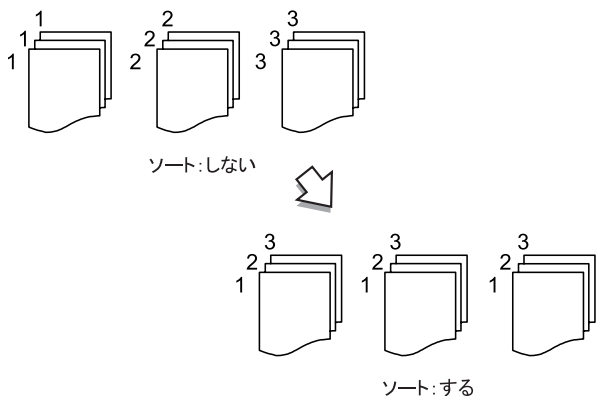
参考

オートドキュメントフィーダを使用する場合

- 片面原稿、両面原稿とも自動的に原稿が取り込まれ、連続して読み取りと印刷が行われます。
- セットされた原稿が奇数枚の場合は、最終ページを白ページとしてコピーします。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

部単位でコピー（ソート）

1 部ずつ、ページ順にそろえてコピーします。

1 ［コピー］ボタンを押します。

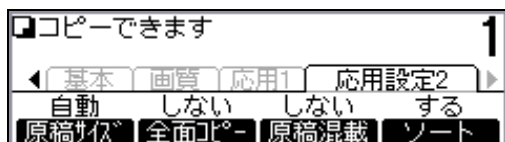
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 原稿をセットします。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 28 ページ「ADF へのセット」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 ［◄］または［►］ボタンを押して、［応用設定2］タブを選択します。

5 ［ソート］に対応する［F4］ボタンを押します。

6 ソートを設定します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択して、［OK］ボタンで決定します。

7 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

その他のコピー

「影消し」や「ページ連写」など、原稿に応じたコピーができる便利な機能があります。

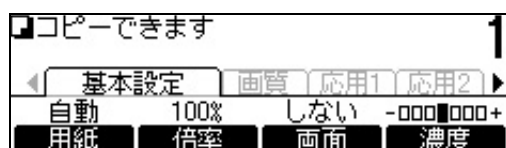
濃度の設定

コピー結果が薄いまたは濃いときに、濃度を変更します。

1 **［コピー］ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**
- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 28 ページ「ADF へのセット」

3 **テンキーでコピー枚数を設定します。**
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 **［◄］または［►］ボタンを押して、［基本設定］タブを選択します。**

5 **［濃度］に対応する［F4］ボタンを押します。**

6 **濃度を設定します。**
［◄］または［►］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

設定値	説明
-3 ～ 0 ～ +3	• 数値が小さくなる（マイナス）ほど、全体的に薄い画像になります。 • 数値が大きくなる（プラス）ほど、全体的に濃い画像になります。

7 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。**
［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

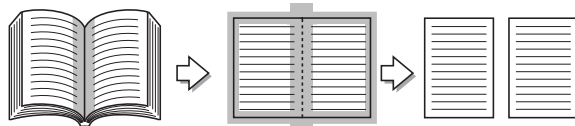
コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

影消し(取り込まない範囲を指定して)コピー

原稿の中央や周囲に取り込まない範囲を設定してコピーする機能です。

厚い本などを見開き状態でコピーすると、ページの中央や左右に影が生じたり、ページの周囲に他のページが枠のようにコピーされる場合があります。このような影・枠が生じないように、範囲を設定してコピーします。

原稿サイズ	A3/B4/A4/B5/A5/ ハガキ

参考

用紙の中央や周囲に生じる影や枠は、原稿とする本の厚さや開くページで異なります。
影消しコピーは、原稿の中央と周囲をコピーしないようにする機能のため、設定値を大きくするとコピーされない箇所が生じることがあります。
設定値を少しずつ変更しながらコピーすることをお勧めします。

1 **［コピー］ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿台に原稿（本など）をセットします。**
原稿サイズを自動検知する場合は、原稿カバーをしっかり閉じてください。
☞ 本書 27 ページ「原稿台へのセット」

参考

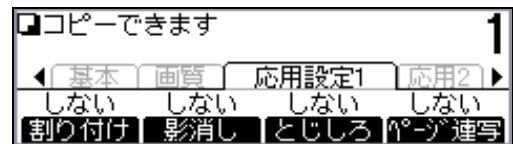
原稿カバーをしっかり閉じないと、原稿サイズを自動検知できません。厚みのある本などをセットするときは、手順 4 の［用紙選択］で用紙のサイズを指定してください。

3 **テンキーでコピー枚数を設定します。**
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 **セットした原稿のサイズの用紙がセットされた給紙装置を選択します。**
① ［◄］または［►］ボタンを押して、［基本設定］タブを選択します。
② ［用紙選択］に対応する［F1］ボタンを押します。
③ ［▲］または［▼］ボタンを押して給紙装置を選択して、［OK］ボタンで決定します。
［用紙選択］で MP トレイを選択した場合は、続いて用紙サイズを選択します。

参考

［用紙選択］に［自動］を選択すると、A3、B4、A4、B5、A5 サイズの原稿を自動検知して、原稿サイズと一致する用紙がセットされている給紙装置から給紙されます。厚みのある本などで、自動検知されない場合は、用紙サイズを指定してください。

5 **［◄］または［►］ボタンを押して、［応用設定1］タブを選択します。**

6 **［影消し］に対応する［F2］ボタンを押します。**

7 **影消しコピーを設定します。**
［▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択して、［OK］ボタンで決定します。

8 **中央幅と周囲枠の影消し幅の設定値を選択します。**
① ［中央幅］、［枠幅］の設定状況を確認します。
② 各項目に対応した［F1］～［F2］ボタンを押します。
③ ［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。
- 影消し中央幅の設定値は 0 ～ 40mm です。
- 影消し周囲枠幅の設定値は 0 ～ 40mm です。

9 **［OK］ボタンを押します。**

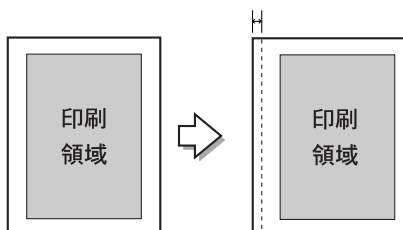
10 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。**
［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

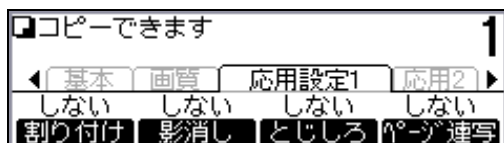
とじしろ設定コピー

用紙の端の上・下・左・右にとじしろ領域を設けてコピーします。

1 **［コピー］ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**

- 原稿台に原稿をセットする場合
本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
本書 28 ページ「ADF へのセット」

3 **テンキーでコピー枚数を設定します。**
設定できるコピー枚数は 1 〜 999 です。

4 **［◄］または［►］ボタンを押して、［応用設定1］タブを選択します。**

5 **［とじしろ］に対応する［F3］ボタンを押します。**

6 **とじしろを設定します。**
［▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択して、［OK］ボタンで決定します。

7 **必要に応じてとじしろの位置と幅を設定します。**
① ［とじ位置］、［とじ幅］の設定状況を確認します。
② 各項目に対応した［F1］〜［F2］ボタンを押します。
③ ［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

設定項目	説明
とじ位置	原稿の上、下、左、右のいずれかにとじしろ領域を設けます。
とじ幅	とじしろ幅の設定値は、0 〜 30mm です。

本製品の仕様により、用紙の端から 4mm 以内にコピーすることはできません。このため、とじしろを 4mm 以下に設定しても、実際には 4mm の余白が生じます。

8 **［OK］ボタンを押します。**

9 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。**
［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

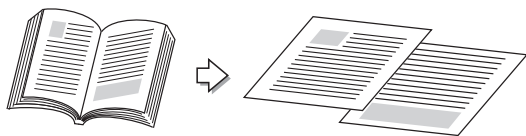
コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

見開き原稿を左右別々にコピー

見開きの本や 1 枚の原稿を左右または上下に分けて、別々の用紙にコピーする機能です。

右開き / 左開きのどちらの本でもページ順にコピーができます。

原稿サイズと出力用紙のサイズ / 方向は、次の組み合わせのみ可能です。

原稿サイズ（見開き）	出力用紙サイズ	コピー倍率
A3	A4	A4 → A4
	B5	A4 → B5
B4	A4	B5 → A4
	B5	B5 → B5
A4	A4	A5 → A4
	B5	A5 → B5
B5	A4	B6 → A4
	B5	B6 → B5

1 ［コピー］ボタンを押します。

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

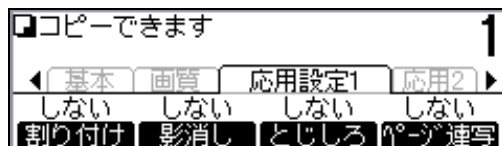
2 原稿台に原稿（本など）をセットします。

原稿台を使用するときは、原稿カバーをしっかり閉じてください。

本書 27 ページ「原稿台へのセット」

3 テンキーでコピー枚数を設定します。

設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 ［◀］または［▶］ボタンを押して、［応用設定1］タブを選択します。

5 ［ページ連写］に対応する［F4］ボタンを押します。

6 ページ連写コピーを設定します。

［▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択して、［OK］ボタンで決定します。

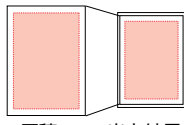
7 必要に応じて読み取り順序などの項目を設定します。

① ［原稿サイズ］、［用紙］、［順序］の設定状況を確認します。
② 各項目に対応した［F1］～［F3］ボタンを押します。
③ ［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

設定項目	説明
原稿サイズ	セットした原稿（見開き状態）のサイズと向きを選びます。（A3 、B4 、A4 、B5 ）
用紙	給紙装置を選びます。（MP カセット、カセット 1 ～ 4、MP トレイ、手差し）
順序	原稿の右ページと左ページのどちらを 1 枚目に印刷するか指定できます。

8 ［OK］ボタンを押します。

9 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

全面コピー

全面コピー	しない	する
仕上がりイメージ	原稿　出力結果	原稿　出力結果
	[全面コピー］機能を［しない］にすると、印刷保証領域を考慮せずコピーしますので、原稿の各端面から4mmの範囲はコピーされません。	[全面コピー］機能を［する］にすると、原稿サイズ全体が保証領域内に収まるように、自動的に縮小してコピーします。

[倍率］で［任意倍率］を選択していると［全面コピー］機能は使用できません。コピーは実行できますが、[全面コピー］機能なしとして処理されます。

1 **[コピー］ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 28 ページ「ADF へのセット」

3 **テンキーでコピー枚数を設定します。**
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 **[◀］または［▶］ボタンを押して、[応用設定 2］タブを選択します。**

5 **[全面コピー］に対応する［F2］ボタンを押します**

6 **[全面コピー］を設定します。**
[▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択して、[OK］ボタンで決定します。

7 **[カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。**
[カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、[モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

コピーを中断したいときは［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、[する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかることがあります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください

以上で終了です。

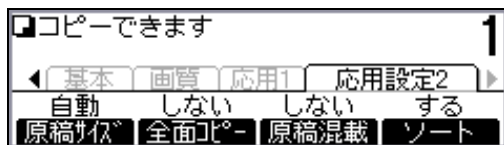
原稿サイズの設定

定形紙以外の原稿をコピーするときなど、原稿サイズが自動検出されない場合は、原稿サイズを指定します。

1 **［コピー］ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**
- 原稿台に原稿をセットする場合
本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
本書 28 ページ「ADF へのセット」

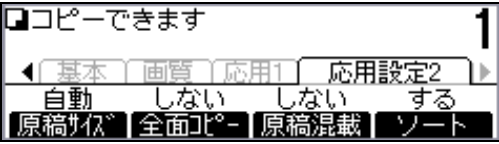
3 **テンキーでコピー枚数を設定します。**
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 **［◀］または［▶］ボタンを押して、［応用設定2］タブを選択します。**

5 **［原稿サイズ］に対応する［F1］ボタンを押します。**

6 **原稿サイズを設定します。**
［▲］または［▼］ボタンを押して原稿サイズを選択して、［OK］ボタンで決定します。

7 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。**
［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

> **参考**
> コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

異なるサイズの原稿のコピー

オートドキュメントフィーダ（ADF）で、異なるサイズの原稿をコピーするときは、［原稿混載］を設定します。

1 **［コピー］ボタンを押します。**
コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**
原稿の幅がそろうようにセットしてください。原稿の幅がそろっていないと、原稿が傾いたり、サイズを正しく認識できません。
本書28ページ「異なるサイズの原稿セット方法」

3 **テンキーでコピー枚数を設定します。**
設定できるコピー枚数は 1 ～ 999 です。

4 **［◀］または［▶］ボタンを押して、［応用設定2］タブを選択します。**

5 **［原稿混載］に対応する［F3］ボタンを押します。**

6 **原稿混載を設定します。**
［▲］または［▼］ボタンを押して［する］を選択して、［OK］ボタンで決定します。

7 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。**

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

> **参考**
> コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

コピー品質の変更

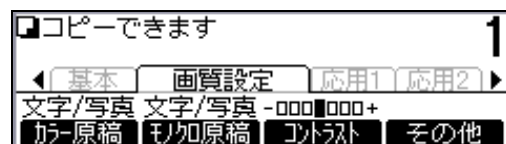
よりきれいにコピーをするために、原稿のタイプに合わせてコピー品質を設定します。

1 **［コピー］ボタンを押します。**

コピーランプが点灯して、コピーモードになります。

2 **原稿をセットします。**

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 28 ページ「ADF へのセット」

3 **［◄］または［►］ボタンを押して、［画質設定］タブを選択します。**

4 **［カラー原稿］または、［モノクロ原稿］を選択して、原稿タイプを選択します。**

① 各項目に対応した［F1］～［F2］ボタンを押します。
② ［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

- ［カラー原稿］：フルカラーでコピーするときに設定します。
- ［モノクロ原稿］：モノクロでコピーするときに設定します。

原稿タイプ	
文字 / 写真	モアレ（網目状の陰影）除去、輪郭の強調を有効にしてコピーします。雑誌やカタログなどで、モアレ除去をし、背景を白くしたいときなどに適しています。
文字	文字原稿に適しています。黒い文字をくっきりとコピーできます。背景（原稿の色）を除去したいときにも有効です。
写真	銀塩写真（現像写真）をコピーするときに適しています。薄い色から濃い色まで忠実に再現し、同時にモアレ除去もします。
高精細	小さい文字や図面、細線などが含まれる原稿に適しています。モアレ除去と背景除去を同時に行います。コピー速度は遅くなりますが、より細密なコピーができます。

5 ［コントラスト］の調整をします。

① ［コントラスト］に対応する［F3］ボタンを押します。
② ［◀］または［▶］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

設定値	説明
-3 ～ 0 ～ +3	• 数値が小さくなる（マイナス）ほど明暗の差がなくなり、全体的に暗い印象の画像になります。 • 数値が大きくなる（プラス）ほど明暗の差がはっきりして、全体的に明るい印象の画像になります。

6 その他の項目を選択します。

［その他］に対応する［F4］ボタンを押します。

7 ［背景除去］の調整をします。

① ［▲］または［▼］ボタンを押して［背景除去］を選択して、［OK］ボタンを押します。
② ［◀］または［▶］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

背景除去機能の強弱を 5 段階で調整します。

設定値	説明
-2 ～ 0 ～ +2	コピー濃度を上げたことにより原稿自体の色までコピーされる（背景が白にならない）ときや、裏写りのある原稿をコピーするときに背景除去のレベルを選択します。

8 ［モアレ除去］の調整をします。

① ［▲］または［▼］ボタンを押して［モアレ除去］を選択して、［OK］ボタンを押します。
② ［◀］または［▶］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

モアレ除去機能の強弱を 5 段階で調整します。

設定値	説明
-2 ～ 0 ～ +2	モアレ（網目状の陰影）が出るときにモアレ除去レベルを選択します。

9 ［カラーバランス］の調整をします。

① ［▲］または［▼］ボタンを押して［カラーバランス］を選択して、［OK］ボタンを押します。
② ［R（赤）］、［G（緑）］、［B（青）］に対応した［F1］～［F3］ボタンを押します。
③ ［◀］または［▶］ボタンを押して設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

設定項目	設定値	説明
［R（赤）］	-3～0～+3	R（赤）の強弱を調整します。数値が小さくなるほど、赤が弱まり、青が強調されます。
［G（緑）］	-3～0～+3	G（緑）の強弱を調整します。数値が小さくなるほど、緑が弱まり、赤紫が強調されます。
［B（青）］	-3～0～+3	B（青）の強弱を調整します。数値が小さくなるほど、青が弱まり、黄色が強調されます。

10 ［OK］ボタンを押します。

［その他画質設定］を終了します。

11 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、コピーを実行します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで印刷、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロで印刷されます。

参考

コピーを中断したいときは、［ストップ］ボタンを押します。確認画面が表示されますので、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。コピーが中止され、印刷途中の用紙が排紙されます。コピーが中止されるまでに、多少時間がかかる場合があります。

コピーが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

4 ファクス（ファクスモデルのみ）

基本的なファクスの使い方と各種ファクス機能を説明します。

ファクスを使う前に

ファクス設定の確認

ファクスを送受信する前に必要となる項目が正しく設定されているか確認してください。

設定の内容は、操作パネルの［各種設定］ボタンで表示するメニューから［ファクス設定］で確認します。

発信元情報の印字について

- 発信元情報（送信したファクスに日付、時刻、発信者名、自局番号が印字される機能）は、原稿に対して上書きされるため、発信元情報が原稿に重なって印字される場合があります。このようなときは、原稿の上端に 3mm 以上（モノクロファクスで画質がドラフトの場合は、6mm 以上）の余白を設定してください。
- 発信元情報の印字をしたくない場合は、［発信元記録］を［しない］に設定してください。
  ☞ 本書 98 ページ「ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）」

メール･ファイル機能を使用するために

メール・ファイル機能では、受信したファクスデータをメールに添付して登録されているアドレスに送信したり（メール機能）、ネットワーク上のコンピュータに設定した共有フォルダに保存する（ファイル機能）ことができます。

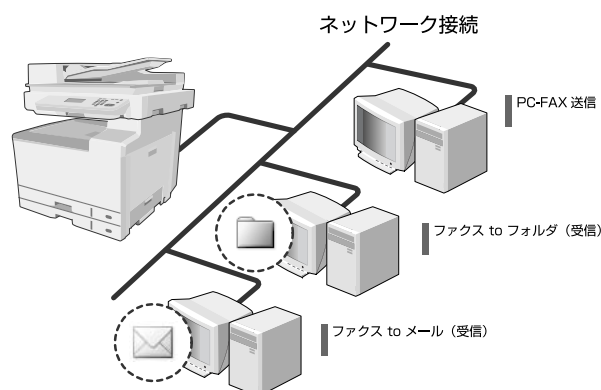
メール・ファイル機能を使用するには、次の設定が必要です。

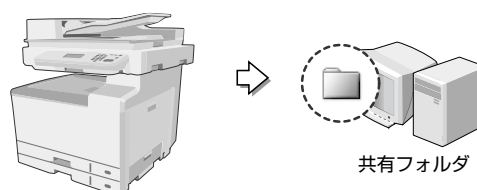
参考

- ファクスモードの［機能設定］タブで［メモリ受信］が［する］のときは、メール･ファイル機能が一時停止します。
- 用紙なしや紙詰まりなどで受信したファクスが印刷できないときは、受信ファクスのメール・ファイル機能も一時停止します。印刷完了後はメール・ファイル機能も再開します

接続設定の確認

ネットワーク接続

本製品を使用する環境のネットワークに接続します。

サーバに共有フォルダを設定（ファイル機能を使用する場合）

ネットワーク上のサーバにファイル機能でファクスデータを保存する共有フォルダを用意します。

基本情報の設定

操作パネルまたはソフトウェア EpsonNet Config で以下の情報を設定します。

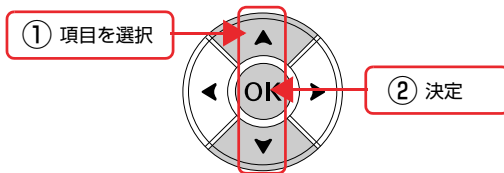
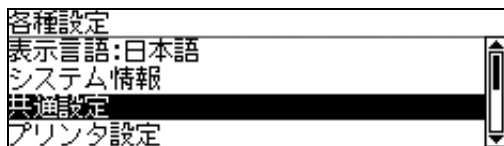
- メールサーバの設定（メール機能を使用する場合）
- 受信ファクス出力先の設定
- PC 保存先の設定（ファイル機能を使用する場合）
- メール設定（メール機能を使用する場合）

ここでは操作パネルからの設定方法を説明します。EpsonNet Config については、EpsonNet Config のヘルプおよび以下を参照してください。

☞ 本書 110 ページ「EpsonNet Config から登録する」

メールサーバの設定

1 **［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **［▲］または［▼］ボタンを押して［共通設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

3 **［▲］または［▼］ボタンを押して［メールサーバ設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

4 **必要に応じて設定を変更します。**

① ［▲］または［▼］ボタンを押して設定項目を選択し、［OK］ボタンを押します。
② 設定値を選択する項目は［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択します
文字を入力する項目は、テンキー（ダイヤルボタン）で入力します。
③ ［OK］ボタンを押して決定します。

項目は以下の通りです。

設定項目	説明
認証方式	メールサーバに接続するための認証方式を選択します。
認証用アカウント	メールサーバに接続するためのユーザー名を入力します（半角 30 文字まで）。
認証用パスワード	メールサーバに接続するためのパスワードを入力します（半角 20 文字まで、＊は使用できません）。
送信元アドレス	メールが送信されるときの差出人のメールアドレスを入力します（半角64文字まで）。
SMTP サーバアドレス	SMTP サーバアドレスをIPアドレスまたはホスト名で入力します（半角 50 文字まで）。
SMTP サーバポート番号	SMTP サーバポート番号を設定します。
POP3 サーバアドレス	POP3 サーバアドレスをIPアドレスまたはホスト名で入力します（半角 50 文字まで）。
POP3 サーバポート番号	POP3 サーバポート番号を設定します。
接続テスト	設定内容で接続テストを実行します。各項目設定後、必要に応じて実施してください。

参考

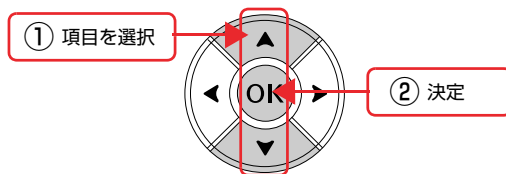
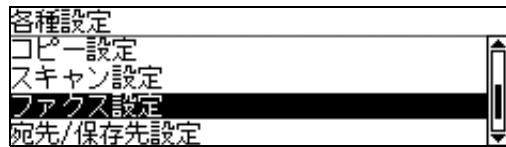
- テンキーの数字とアルファベットは、［a → 1］または［1 → a］に対応した［F4］キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、大文字→小文字の順でアルファベットが表示されます。
- 入力した文字を削除するには、［◀］または［▶］ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
- 「POP3 サーバアドレス」、「POP3 サーバポート番号」は、「認証方式」を「POP before SMTP」に設定したときのみ表示されます。

5 **モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。**

設定モードが終了します。

受信ファクス出力先の設定

1 ［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

3 ［▲］または［▼］ボタンを押して［受信設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

4 ［▲］または［▼］ボタンを押して［受信ファクス出力先］を選択し、［OK］ボタンを押します。

5 受信ファクス出力先を選択します。

［▲］または［▼］ボタンを押して「PC 保存」または「メール」を選択し、［OK］ボタンで決定します。
「PC 保存」を選択した場合は、続いて「PC 保存先設定」を設定します。
「メール」を選択した場合は、続いて「メール設定」を設定します。

PC 保存先の設定

1 ［▲］または［▼］ボタンを押して［PC 保存先設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

2 ［▲］または［▼］ボタンを押して設定を選択し、［OK］ボタンを押します。

3 必要に応じて設定を変更します。

① ［▲］または［▼］ボタンを押して設定項目を選択し、［OK］ボタンを押します。
② 設定値を選択する項目は［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択します。
文字を入力する項目は、テンキー（ダイヤルボタン）で入力します。
③ ［OK］ボタンを押して決定します。

項目は以下の通りです。

設定項目	説明
保存先指定	保存先フォルダのパスを直接入力します（107 文字以内）。 フォルダパスは保存先コンピュータの IP アドレス、またはドメイン名、デバイス名との組み合わせで入力します。 入力例） フォルダ「share\pc001」、IPアドレス「192.168.1.10」の場合、パスは「\\192.168.1.10\share\pc001」になります。
保存先ユーザー名	保存先サーバの認証ユーザー名を入力します（半角 30 文字以内）。 ユーザー名はドメイン名を付加して指定できます。ドメイン名は 15 文字以下にしてください。 入力例） ドメイン名「epson」、ユーザー名「user01」の場合、ユーザー名は「epson\user01」になります。
保存先パスワード	認証ユーザーのパスワードを入力します（半角 20 文字まで、＊は使用できません）。
接続テスト	設定内容で接続テストを実行します。各項目設定後、必要に応じて実施してください。

参考

- 保存先コンピュータがWindows Vistaの場合は、保存先コンピュータ上に登録されているユーザー名とパスワードを上記項目で設定する必要があります。
- 保存先指定のフォルダパスは、ドメイン名でも指定できます。ドメイン名で指定する場合はお使いの環境に DNS サーバが設定されている必要があります。
  入力例）
  ドメイン名「epson.net」、デバイス名「xyz9876」の場合
  「\\xyz9876.epson.net \share\pc001」
- テンキーの数字とアルファベットは、［a → 1］または［1 → a］に対応した［F4］キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、大文字→小文字の順でアルファベットが表示されます。
- 「\」（バックスラッシュ）や「.」（ドット）などの記号は、アルファベット入力モードで［#］を何回か押すと入力できます。
- 入力した文字を削除するには、［◀］または［▶］ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。

4 モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。

設定モードが終了します。

以上で終了です。

メール設定

1 **［▲］または［▼］ボタンを押して［メール設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

2 **［▲］または［▼］ボタンを押して設定を選択し、［OK］ボタンを押します。**

3 **必要に応じて設定を変更します。**

① ［▲］または［▼］ボタンを押して設定項目を選択し、［OK］ボタンを押します。
② 設定値を選択する項目は［▲］または［▼］ボタンを押して設定値を選択します。
文字を入力する項目は、テンキー（ダイヤルボタン）で入力します。
③ ［OK］ボタンを押して決定します。

項目は以下の通りです。

設定項目	説明
メールアドレス	送信先のメールアドレスを入力します(半角64文字まで)。
添付ファイル最大サイズ	メールに添付するファクスデータの最大サイズを200KB/500KB/1MB/2MB/4MBから選択します。
件名	送信するメールの件名を入力します（半角 64 文字まで)。
接続テスト	設定内容で接続テストを実行します。各項目設定後、必要に応じて実施してください。

参考
- テンキーの数字とアルファベットは、［a → 1］または［1 → a］に対応した［F4］キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、大文字→小文字の順でアルファベットが表示されます。
- 入力した文字を削除するには、［◀］または［▶］ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。

4 **モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。**

設定モードが終了します。

以上で終了です。

ソフトウェアのインストール

同梱の Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアは、コンピュータからファクスを送付する PC-FAX 機能や、受信したファクスデータが共有フォルダに保存されたときに通知するアプリケーションです。

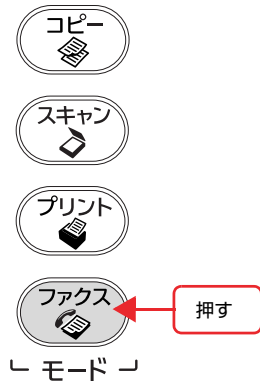
Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアは、プリンタドライバなど他のソフトウェアと一緒にインストールされます。インストール方法は、以下を参照してください。

『取扱説明書 1 セットアップ編』(冊子) –「コンピュータの接続と設定」

ファクス送信

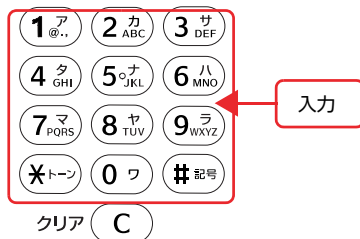
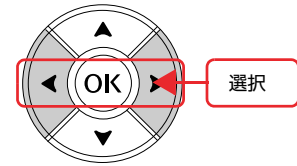
基本的な送信(自動送信)

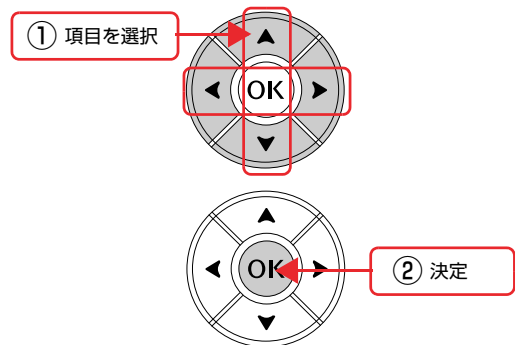
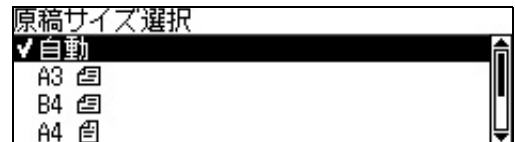
操作パネル上のテンキー(ダイヤルボタン)で送付先の番号を入力してファクスを送信する方法を説明します。

1 **[ファクス]ボタンを押します。**
ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

参考
ファクス送信後、しばらく何も操作しないと本製品のモードが自動的に切り替わることがあります。ファクスモードになっていることを確認してから操作してください。

2 **原稿をセットします。**
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書27ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書28ページ「ADFへのセット」

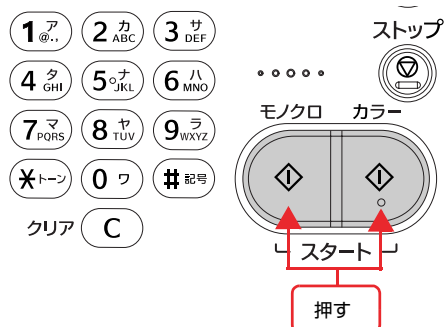
3 **送付先のファクス番号を入力します。**
テンキー(ダイヤルボタン)を使って、番号を入力します。
入力する番号を間違えた場合は、[C]ボタンで消去して戻ります。[リセット]ボタンを押すと、入力した番号がすべて消去されます。

4 **必要に応じて送信条件を設定します。**
① [◀]または[▶]ボタンを押して、[基本設定]タブまたは[応用設定]タブを選択します。

② 各機能に対応する[F1]~[F4]ボタンを押します。

③ [▲][▼][◀][▶]ボタンで設定値を選択して、[OK]ボタンで決定します。
画面は[原稿サイズ]の場合です。

設定項目	説明 / 設定値
原稿サイズ *1	送信する原稿サイズを指定します。
	自動、A3、B4、A4、A4、B5、B5
画質 *2	モノクロ原稿を送信する際の画質を指定します。
	ドラフト、標準、高精細、写真
ADF 両面	オートドキュメントフィーダ（ADF）を使用して送信する場合に、原稿の読み取り面を指定します。
	しない、する
濃度	ファクスのスキャン濃度を 7 段階で指定します。 文字などが薄い原稿は、設定値を大きくしてください。
	-3 ～ 0 ～ 3
海外送信	海外に送信する際［する］にします。海外にデータを送付するのに必要な通信回線の確立時間を確保するため、送信開始を通常より遅くします。
	しない、する

*1カラーで送信する場合、A4 縦と B5 縦の原稿は送信できません。

*2カラーで送信する場合、設定を変更しても画質は［標準］で送信されます。

5 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿を送信します。

［カラー］ボタンを押すとカラーで、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロでファクス送信されます。
送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

手動送信

送付先へ回線がつながったことを確認してからファクス送信を始める手動送信の方法を説明します。

送信方法は、外付け電話で行う方法とオンフックで行う方法があり、外付け電話を利用した場合はファクス送信前に通話できます。

送付先番号の入力は、本製品の操作パネルのテンキーまたは、外付け電話機のどちらかで行います。

！重要

- 回線がつながった状態で送信するため、送付先は 1 箇所のみです。
- 手動で送信を開始するため、通信エラーなどで送信できなかった場合でも、自動的に再送信しません。

1 ［ファクス］ボタンを押します。

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 原稿をセットします。

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 28 ページ「ADF へのセット」

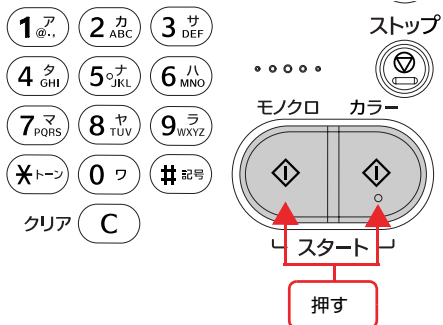
3 必要に応じて送信条件を設定します。

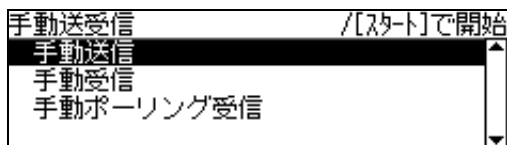
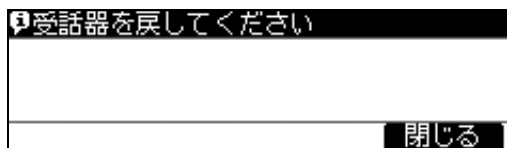
① ［◀］または［▶］ボタンを押して、［基本設定］タブまたは［応用設定］タブを選択します。
② 各機能に対応する［F1］～［F4］ボタンを押します。
③ ［▲］［▼］［◀］［▶］ボタンで設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

各設定の詳細は、以下のページを参照してください。
本書 62 ページ「基本的な送信（自動送信）」

4 ［オンフック］ボタンを押し、テンキー（ダイヤルボタン）を使って、送付先の番号を入力します。

外付け電話機の場合は、電話機の受話器を上げて電話機で番号を入力します。

5 **回線がつながったことを確認後、［カラー］または［モノクロ］ボタンのどちらかを押します。**

6 **次の画面が表示されたら［手動送信］を選択して［カラー］または［モノクロ］ボタンを押します。**

［カラー］ボタンを押すとカラーで、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロでファクス送信されます。
送付先の機器に合わせて選択してください。

7 **外付け電話機の場合は、次の画面が表示されたら、受話器を元に戻します。**

ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

短縮ダイヤルで送信

ここでは、「短縮ダイヤル」（最大 200 件）または「クイックダイヤル」（最大 12 件）に登録されている宛先に送付する方法を説明します。

「短縮ダイヤル」、「クイックダイヤル」は事前に登録が必要です。登録方法は、以下のページを参照してください。

- 操作パネルから登録する
  ☞ 本書 104 ページ「操作パネルから宛先 / 保存先登録」
- 添付のアプリケーションソフト「EpsonNet Config」から登録する
  ☞ 本書 110 ページ「EpsonNet Config から登録する」

登録できるダイヤル機能には、「短縮ダイヤル」に登録されている複数の宛先に、同報送信する「グループダイヤル」もあります。「グループダイヤル」は、ソフトウェア EpsonNet Config から登録します。

短縮ダイヤル

1 **［ファクス］ボタンを押します。**

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **原稿をセットします。**

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 28 ページ「ADF へのセット」

3 **短縮ダイヤルを入力します。**

① ［宛先帳］ボタンを押します。
② ［F3］［F4］［▲］［▼］［◄］［►］ボタンで登録されている短縮ダイヤルを選択します。
③ ［F1］ボタンを押して送信する短縮ダイヤルを決定します。
④ ［OK］ボタンを押して短縮ダイヤル指定を終了します。

参考

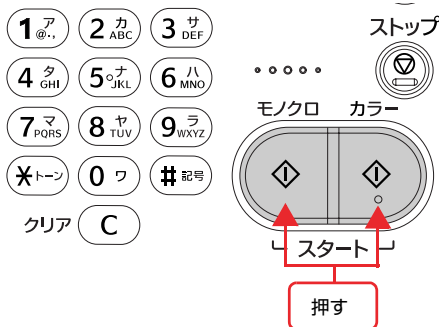
- 複数の短縮ダイヤルにファクス送信をしたいときは、短縮ダイヤルを選択して［F1］ボタンを押す作業を繰り返してから［OK］ボタンを押します。
- グループダイヤルは、［グループ］タブで選択できます。

4 **必要に応じて送信条件を設定します。**

① ［◀］または［▶］ボタンを押して、［基本設定］タブまたは［応用設定］タブを選択します。
② 各機能に対応する［F1］～［F4］ボタンを押します。
③ ［▲］［▼］［◀］［▶］ボタンで設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

各設定の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 62 ページ「基本的な送信（自動送信）」

5 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿を送信します。**

［カラー］ボタンを押すとカラーで、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロでファクス送信されます。
送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

！重要
複数の送信先を選択したときは、カラー送信できません。

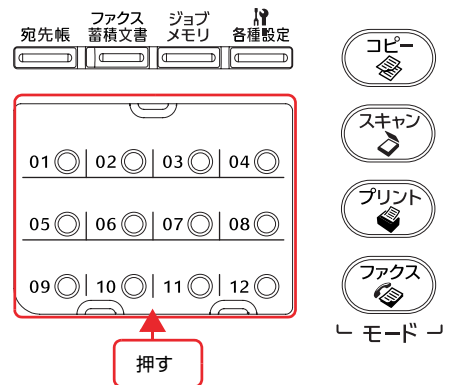
以上で終了です。

クイックダイヤル

1 **原稿をセットします。**

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 28 ページ「ADF へのセット」

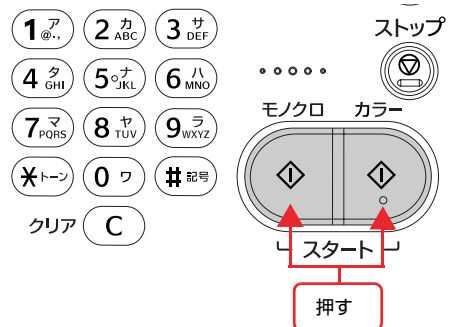
2 **［クイックダイヤル］ボタンを押します。**

参考
コピー中やスキャン中に、［クイックダイヤル］ボタンを押しても設定が有効になりません。

3 **登録した宛先が操作パネルに表示されていることを確認し、必要に応じて送信条件を設定します。**

① ［◀］または［▶］ボタンを押して、［基本設定］タブまたは［応用設定］タブを選択します。
② 各機能に対応する［F1］～［F4］ボタンを押します。
③ ［▲］［▼］［◀］［▶］ボタンで設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。

各設定の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 62 ページ「基本的な送信（自動送信）」

4 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して原稿を送信します。**

［カラー］ボタンを押すとカラーで、［モノクロ］ボタンを押すとモノクロでファクス送信されます。送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

リダイヤル(再送信)

最後に送信した宛先に、もう一度送信する方法(リダイヤル)を説明します。

参考
- ファクス送信後に[モード]ボタンを押してモードの切り替えを行うと、リダイヤルのデータが消去されるため、リダイヤル送信は利用できません。
- ファクス送信後、しばらく何も操作しないと本製品のモードが自動的に切り替わることがあります。この場合、リダイヤルのデータが消去されるため、リダイヤル送信は利用できません。

1 **原稿をセットします。**

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 28 ページ「ADF へのセット」

2 **[リダイヤル / ポーズ]ボタンを押します。**

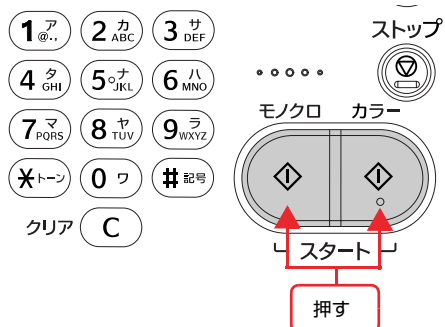
前回ファクスを送付した宛先が表示されます。

3 **登録した宛先が操作パネルに表示されていることを確認し、必要に応じて送信条件を設定します。**

① [◀]または[▶]ボタンを押して、[基本設定]タブまたは[応用設定]タブを選択します。
② 各機能に対応する[F1]~ [F4]ボタンを押します。
③ [▲][▼][◀][▶]ボタンで設定値を選択して、[OK]ボタンで決定します。

各設定の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 62 ページ「基本的な送信(自動送信)」

4 **[カラー]または[モノクロ]ボタンを押して、原稿を送信します。**

[カラー]ボタンを押すとカラーで、[モノクロ]ボタンを押すとモノクロでファクス送信されます。
送付先の機器に合わせて選択してください。

ファクスが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

コンピュータから送信

Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアを利用することで、コンピュータから、印刷する操作と同様にファクスを送信できます。コンピュータからファクスを送信する PC-FAX 機能を使用するには、次の設定が必要です。

本製品の設定

ネットワーク接続

本製品を使用する環境のネットワークに接続します。

PC-FAX 送信機能の設定

[各種設定]ボタンで表示するメニューから[ファクス設定]-[送信設定]-[PC-FAX 送信機能]を[使用する]に設定します。

使用するコンピュータの設定

ソフトウェアのインストール

同梱の Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアと本製品に対応した PC-FAX ドライバをインストールします。

Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアは、プリンタドライバなど他のソフトウェアと一緒にインストールされます。インストール方法は、以下を参照してください。
☞『取扱説明書 1 セットアップ編』(冊子)-「コンピュータの接続と設定」

参考
PC-FAX 送信機能を利用するには、PC-FAX ドライバの IP アドレスを設定する必要があります。
IP アドレス設定方法は、Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアのヘルプを参照してください。

送信

アプリケーションソフトからのファクス送信はアプリケーションソフトの印刷機能を利用します。

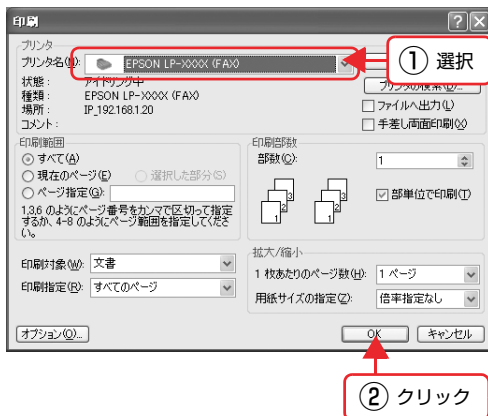
1 **アプリケーションソフトで送信する文書を作成します。**

2 **メニューから[ファイル]-[印刷]などを選択し、印刷画面を表示します。**

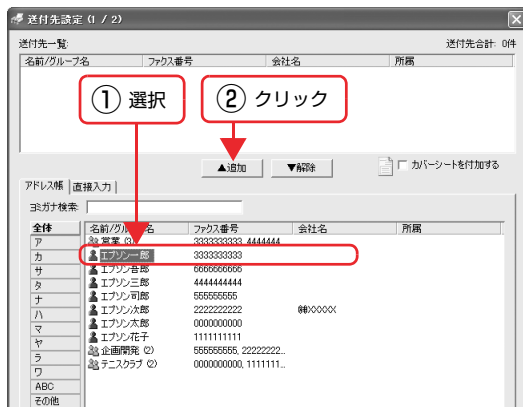
3 ［プリンタ名］から［（お使いのプリンタ名）(FAX)］を選択し、［OK］や［印刷］などをクリックします。

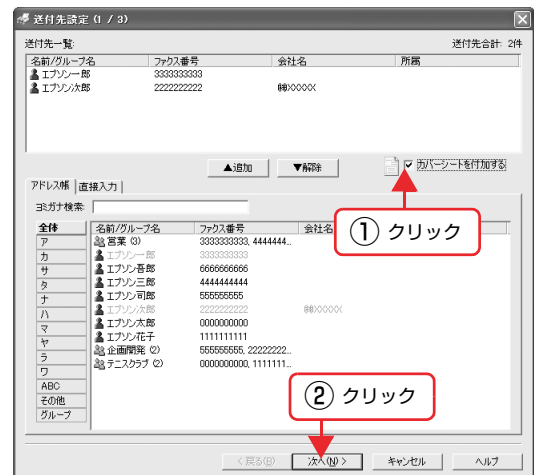
送信ウィザード画面が表示されます。

［プロパティ］をクリックすると、送信するファクスの用紙サイズや方向、画質や文字の濃さが設定できます。各設定項目の説明は、Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアのヘルプを参照してください。

> **！重要**
>
> 印刷部数設定は「1」にしてください。「2」以上を入力すると、エラーや正しいページ構成で送信できないことがあります。

4 ［送付先設定］画面が表示されたら、アドレス帳から送付先を指定し、［追加］をクリックします。

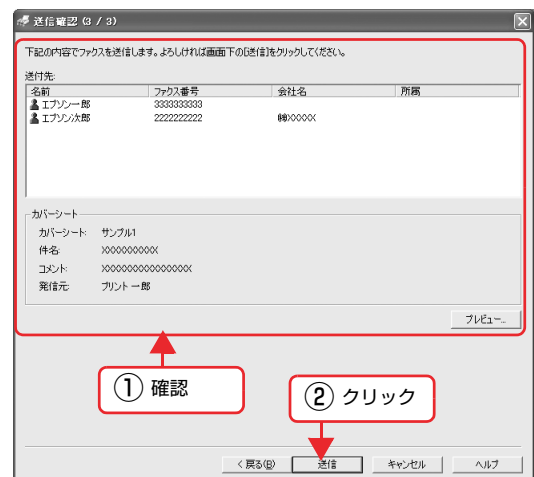
送付先はアドレス帳から選択、または直接入力します。各手順は、Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアのヘルプを参照してください。

初めて Offirio PC-FAX for MFP を起動すると［通信設定］画面、［発信元情報の追加］画面送信するファクスの用紙サイズが表示されることがあります。必要な情報を設定して［OK］をクリックします。

5 送付先を設定したら、［カバーシートを付加する］をチェックして、［次へ］をクリックします。

カバーシートを付加しない場合は、手順 7 に進みます。

6 ［カバーシート設定］画面の各項目を設定し、［次へ］をクリックします。

カバーシートの種類を選択し、件名、コメントを入力します。

7 設定内容を確認し、［送信］をクリックします。

［プレビュー］をクリックすると送信内容を確認できます。

以上で終了です。

カバーシートのみを送信

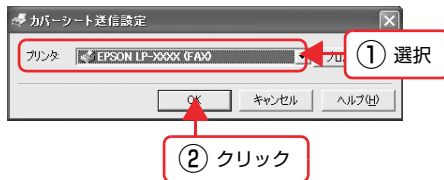
本文データを付けずにカバーシートのみの送信ができます。

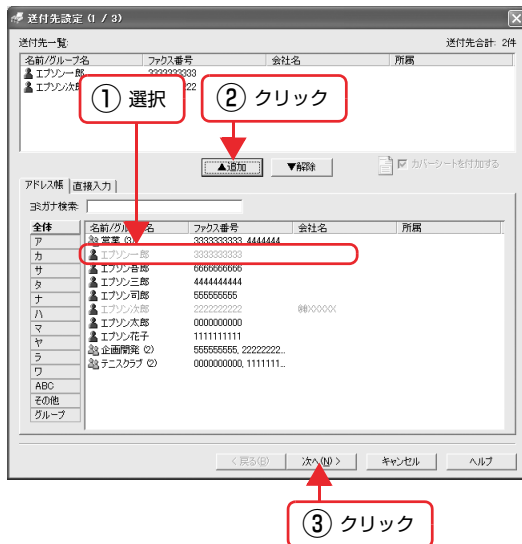
1 **Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアの［カバーシート送信］を起動します。**

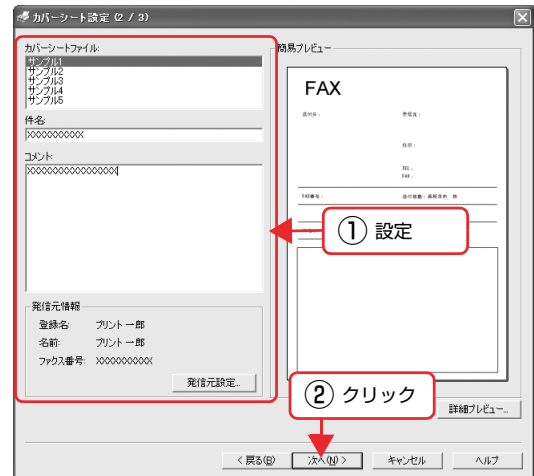
［スタート］－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EPSON］－［Offirio PC-FAX for MFP］－［カバーシート送信］をクリックします。

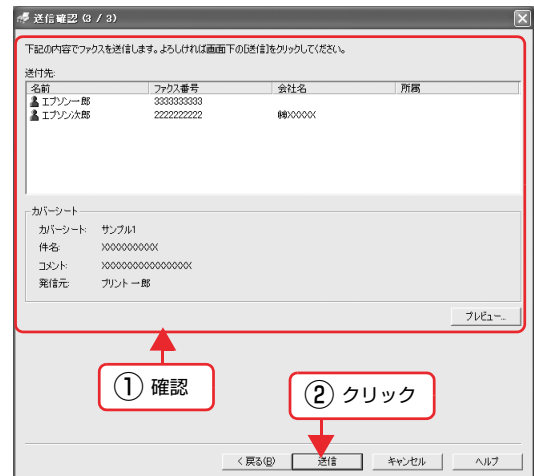
2 **［プリンタ名］から［（お使いのプリンタ名）(FAX)］を選択し［OK］をクリックします。**

送信ウィザード画面が表示されます。

［プロパティ］をクリックすると、送信するファクスの用紙サイズや方向、画質や文字の濃さが設定できます。各設定項目の説明は、Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアのヘルプを参照してください。

3 **［送付先設定］画面が表示されたら、アドレス帳から送付先を指定し、［追加］をクリックします。送付先を設定したら、［次へ］をクリックします。**

送付先はアドレス帳から選択、または直接入力します。各手順は、Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアのヘルプを参照してください。

4 **［カバーシート設定］画面の各項目を設定し、［次へ］をクリックします。**

カバーシートの種類を選択し、件名、コメントを入力します。

5 **設定内容を確認し、［送信］をクリックします。**

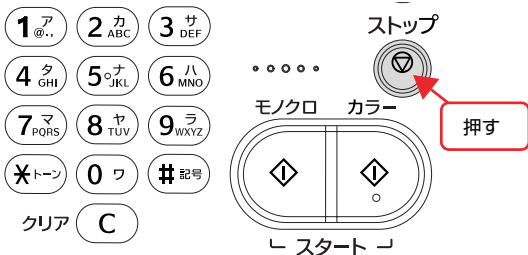
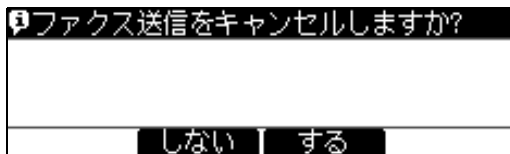
［プレビュー］をクリックすると送信内容を確認できます。

以上で終了です。

送信のキャンセル

読み取りをキャンセルする方法と、本製品に蓄積されている送信ジョブをキャンセルする方法について説明します。

読み取り中のキャンセル

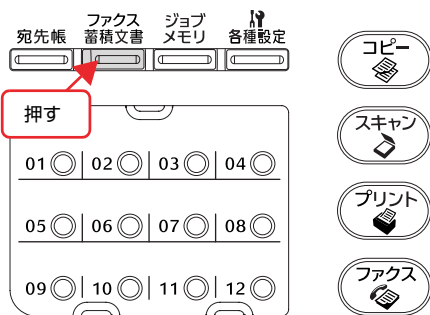
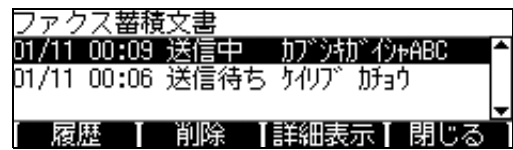
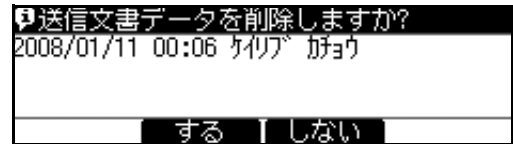
原稿の読み取り中には、［ストップ］ボタンを押してキャンセルします。

1 ［ストップ］ボタンを押します。

2 表示されるメッセージを確認して、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。

以上で送信がキャンセルされました。

送信待ち / 送信中のジョブ削除

本製品に蓄積されている送信待ち / 送信中のジョブを確認してから、削除します。

送信待ちのジョブがあるときは、［ファクス蓄積文書］ランプが点灯します。

1 ［ファクス蓄積文書］ボタンを押します。

2 ［▲］または［▼］ボタンを押して一覧の中から削除する項目を選択し、［削除］に対応する［F2］ボタンを押します。

3 ［する］に対応する［F3］ボタンを押します。

以上で終了です。

ファクス受信

ここでは、ファクス受信の方法を説明します。

受信モードについて

本製品には、ファクスを受信する際の受信モードが 4 種類用意されています。受信モードは、[各種設定] ボタン－ [ファクス設定] － [受信設定] － [受信モード] で変更できます。

本書 98 ページ「ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）」

受信モード	説明
自動切替 （初期設定）	受信すると、外付け電話機の呼び出し音を指定秒数鳴らした後、本製品が応答して送付されてきたファクスデータを受信します。
ファクス専用	本製品が自動的に応答して、送付されてきたファクスデータを受信します。 外付け電話機が接続されている場合は、1 ～ 2 回鳴った後にファクス受信を開始します。
電話専用	受信すると、外付け電話機の呼び出し音を鳴らします。
TAM	留守番電話の応答中にファクス信号を検出した場合、ファクス受信に切り替わる機能です。

基本的な受信(自動受信)

ファクスデータを受信するとファクスユニットの内蔵メモリにデータが蓄積され、受信が終わると自動的に印刷されます([受信設定] − [受信ファクス出力先] が [印刷] のとき)。

給紙用紙は、［ファクス設定］ − ［受信設定］ − ［給紙口］の設定が自動のとき、以下の優先順位で選択されます。

1）用紙がある給紙装置から選択します。

2）受信データに応じて最適な用紙サイズが選択されます。

3）用紙カセット 1 〜 4、MP カセット、MP トレイの順で検索します。

!重要
- ファクスのスキャン中は受信できません。
- PC-FAX 機能で、コンピュータから本製品にデータを送信している間は受信できません。
- 本製品の電源が入っていないときは、ファクス受信できません。

受信できる原稿サイズ

ファクス受信データのサイズが、本製品にセットしている用紙と異なる場合、自動的に分割・縮小して印刷されます。

受信データの分割・縮小は、以下の表を参照してください。

受信データの原稿サイズと向き / 印刷用紙サイズ	受信データの原稿サイズ				
	A3 ←	B4 ←	A4 ←	A4 ←	B5 ←
A3					
B4	※縮小			※縮小	
A4	※縮小	※縮小			
B5	※縮小・分割	※分割	※分割	※分割	

※分割：2 ページに分割して印刷する

※縮小：印刷用紙サイズに合わせて縮小して印刷する

手動受信

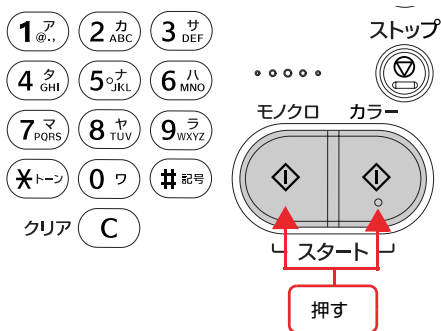
回線がつながったことを確認してからファクス受信を始める手動受信の方法を説明します。

外付け電話機を利用していて、通話後にファクスを受信するときなどは手動受信になります。

1 **受信したときに［オンフック］ボタンを押します。**

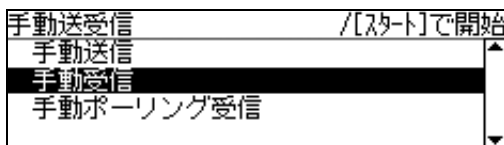
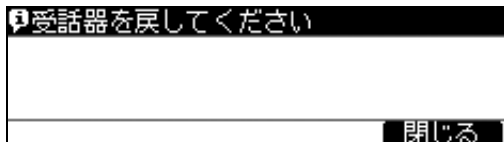
外付け電話機の場合は、電話機の受話器を上げます。

> **参考**
>
> メール・ファイル機能の設定は手動受信でも有効です。［受信ファクス出力先］の設定が「メール」または「PC 保存」になっている場合は、受信したファクスが出力されず、メール送信またはフォルダに保存されます。
>
> ☞ 本書 58 ページ「メール・ファイル機能を使用するために」

2 **通信を確認後、［カラー］または［モノクロ］ボタンのどちらかを押します。**

3 **次の画面が表示されたら［手動受信］を選択して［カラー］または［モノクロ］ボタンを押します。**

手動送受信　/[ｽﾀｰﾄ]で開始
手動送信
手動受信
手動ポーリング受信

4 **外付け電話機の場合は、次の画面が表示されたら、受話器を元に戻します。**

受話器を戻してください
閉じる

以上で終了です。

メモリ受信

［各種設定］ –［ファクス設定］ –［受信設定］ –［メモリ受信］を「する」に設定すると、受信したファクスを出力せずにメモリに蓄積するように設定できます。

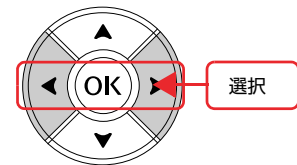
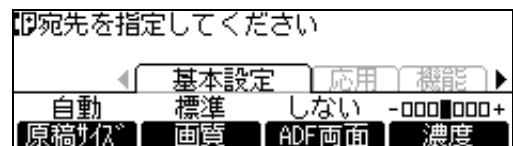
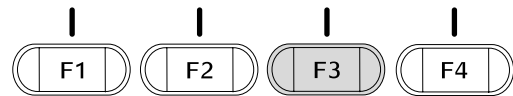
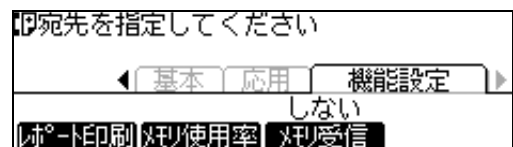
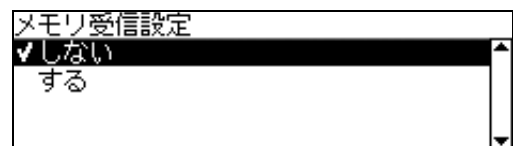
［メモリ受信］では、メモリ受信の開始時間と終了時間を設定できるため、夜間に受信したファクスを翌朝に印刷することができます。

☞ 本書 98 ページ「ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）」

［各種設定］ –［ファクス設定］ –［受信設定］ –［メモリ受信］を［する］に設定したときはファクスモードの［機能設定］タブで［メモリ受信］の現在の状態を確認し、変更することができます。

1 **［ファクス］ボタンを押します。**

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **［◀］または［▶］ボタンを押して、［機能設定］タブを選択します。**

3 **［メモリ受信］に対応する［F3］ボタンを押します。**

4 **［▲］［▼］ボタンで設定値を選択して、［OK］ボタンで決定します。**

> **参考**
>
> 決定した設定は、開始時間で設定した時刻になると［する］になり、終了時間で設定した時刻になると［しない］になります。

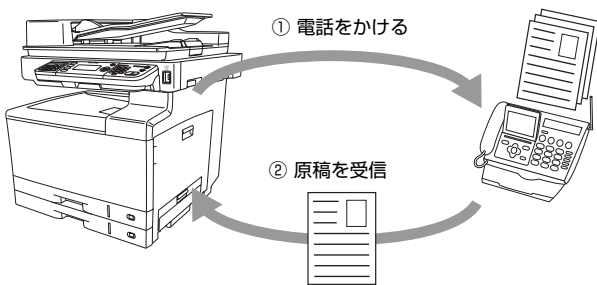
以上で終了です。

ファクス情報サービスの受信

ここでは、ファクス情報サービスを利用してファクスを受信する方法を説明します。ファクス情報サービスとは、相手側のファクスにあらかじめ蓄積された原稿を、受信側のファクスの操作によって取り出すサービスです。

ファクス情報サービスを利用してファクス受信する方法は、手動受信とポーリング受信の 2 通りの方法があります。

ファクス情報サービスの種類に応じて、手動受信またはポーリング受信でファクス受信を行ってください。

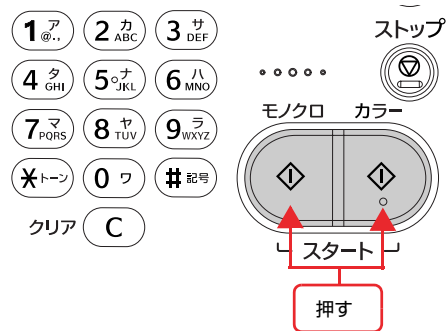
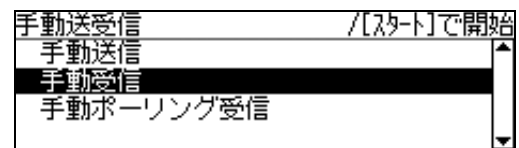
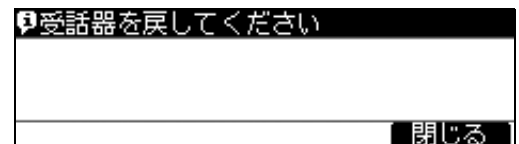
相手先番号の入力は、本製品の操作パネルのテンキーまたは、外付け電話機のどちらでも行えます。

参考

- ファクス情報サービスを利用してファクスを受信する場合、通信料金は本製品側の負担となります。
- メール・ファイル機能の設定は手動受信または、ポーリング受信でも有効です。[受信ファクス出力先］の設定が「メール」または「PC 保存」になっている場合は、受信したファクスが出力されず、メール送信またはフォルダに保存されます。
  本書 58 ページ「メール・ファイル機能を使用するために」

手動受信

1. **［ファクス］ボタンを押します。**
   ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2. **［オンフック］ボタンを押し、テンキー（ダイヤルボタン）を使って、相手先の番号を入力します。外付け電話機の場合は、電話機の受話器を上げて電話機で番号を入力します。**

3. **ファクス通信を確認後、［カラー］または［モノクロ］ボタンのどちらかを押し、次の画面が表示されたら［手動受信］を選択して［カラー］または［モノクロ］ボタンを押します。**

4. **外付け電話機の場合は、次の画面が表示されたら、外付け電話機の受話器を元に戻します。**

以上で終了です。

ポーリング受信

1 **［ファクス］ボタンを押します。**

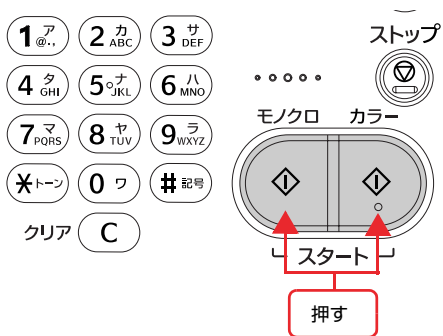
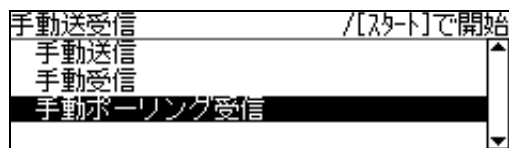
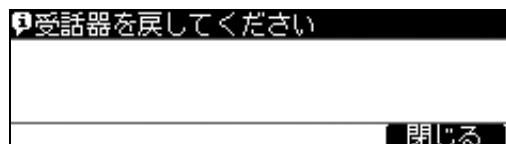
ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **［オンフック］ボタンを押し、テンキー（ダイヤルボタン）を使って、相手先の番号を入力します。外付け電話機の場合は、電話機の受話器を上げて電話機で番号を入力します。**

3 **ファクス通信を確認後、［カラー］または［モノクロ］ボタンのどちらかを押し、次の画面が表示されたら［手動ポーリング受信］を選択して［カラー］または［モノクロ］ボタンを押します。**

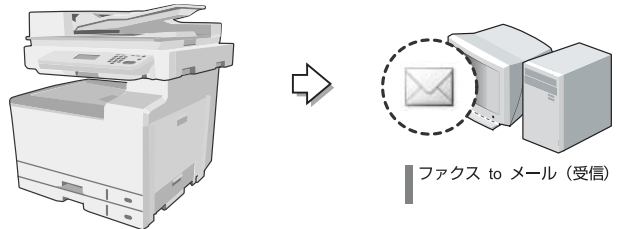
4 **外付け電話機の場合は、次の画面が表示されたら、外付け電話機の受話器を元に戻します。**

受話器を戻してください

閉じる

> **参考**
>
> ポーリング受信がうまく動作しない場合は、手順 3 で［手動受信］を選択してみてください。

以上で終了です。

受信データをメール送信（ファクス to メール）

「ファクス to メール」は、受信したファクスデータを、PDF ファイル化し、メールで送信する機能です。

ファクス to メール（受信）

操作パネルの［各種設定］ボタンで表示するメニューから［ファクス設定］－［受信設定］－［受信ファクス出力先］を「メール」に設定します。

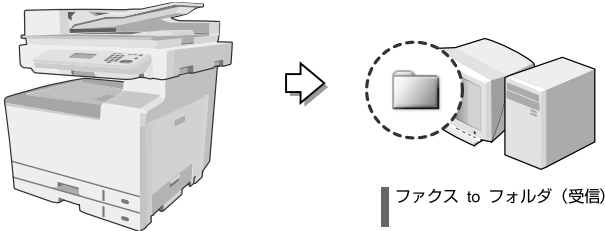
［受信ファクス出力先］の詳細な手順は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 59 ページ「基本情報の設定」

ファクスを受信すると、［ファクス設定］－［受信設定］－［メール設定］で登録されているユーザーにメール送信します。

> **参考**
>
> - 「ファクス to メール」機能を利用するには、本製品のネットワーク設定およびメール設定が必要です。詳しくは、以下を参照してください。
>   ☞ 本書 59 ページ「基本情報の設定」
> - メール送信でエラーが発生した場合は、受信ファクス文書を強制印刷します。
> - 受信ファクス文書内の 1 ページが「添付ファイル最大サイズ」を超えた場合は、受信ファクス文書を強制印刷し、「強制印刷が行われた」内容のメールを送信します。

受信データをコンピュータに保存

「ファクス to フォルダ」は、受信したファクスデータを、設定されている共有フォルダにPDFファイルとして保存する機能です。受信したファクスデータは、共有フォルダにアクセス許可されているネットワーク上のコンピュータから閲覧できます。

ファクス to フォルダ（受信）

操作パネルの［各種設定］ボタンで表示するメニューから［ファクス設定］－［受信設定］－［受信ファクス出力先］を「PC 保存」に設定します。

［受信ファクス出力先］の詳細な手順は、以下を参照してください。

本書 59 ページ「基本情報の設定」

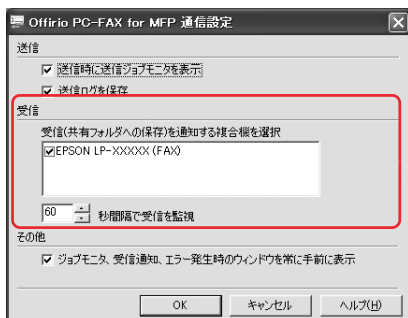
ファクスを受信すると、［ファクス設定］－［受信設定］－［PC 保存先設定］で登録されているフォルダにデータを保存します。

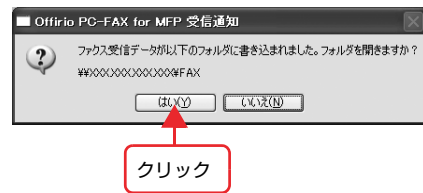
参考

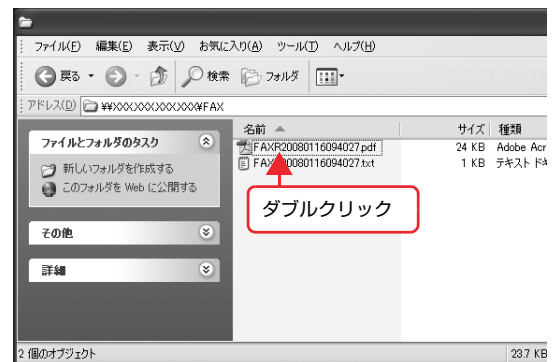
- 「ファクス to フォルダ」機能を利用するには、本製品のネットワーク設定および共有フォルダの登録が必要です。詳しくは、以下を参照してください。
  本書 59 ページ「基本情報の設定」
- 共有フォルダへの書き込みでエラーが発生した場合は、受信ファクス文書を強制印刷します。

保存データの閲覧

Offirio PC-FAX for MFP ソフトウェアは登録しているファクス保存用の共有フォルダを監視し、ファクスを受信すると画面上に通知します。

Offirio PC-FAX for MFPの設定方法は、Offirio PC-FAX for MFP のヘルプを参照してください。

ファクスデータの閲覧は次のように操作します。

1 **ファクスの受信通知画面で［はい］をクリックします。**

2 **受信ファクス一覧から目的のジョブをダブルクリックします。**

ファクスのデータを開きます。

共有フォルダの受信ファクスは、PDF 形式のデータになっています。閲覧するには、コンピュータに PDF 形式のファイルを表示するアプリケーションソフトが必要です。

以上で終了です。

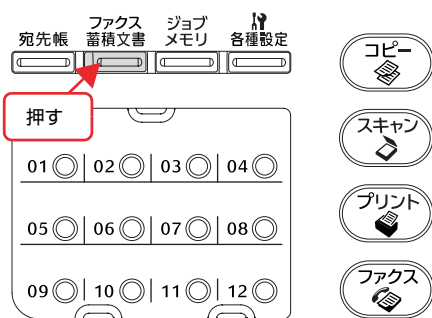
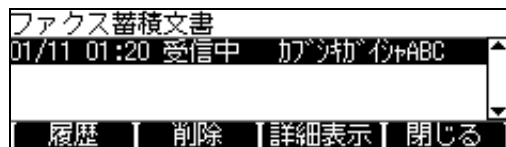
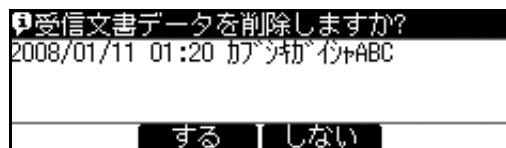
受信のキャンセル

受信をキャンセルしたり、本製品に蓄積されている受信ジョブをキャンセルする方法を説明します。

受信ジョブがあるときは、［ファクス蓄積文書］ランプが点滅します。

受信ジョブの削除

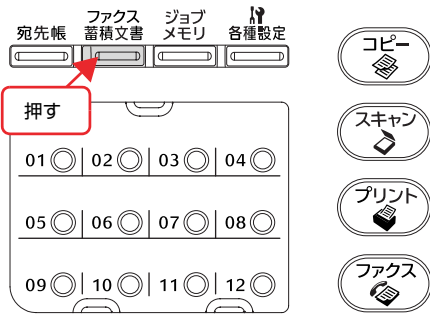
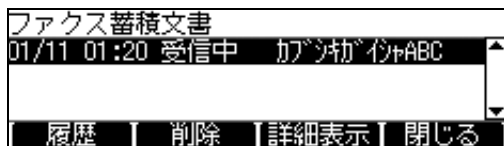
本製品に蓄積されている受信ジョブ（印刷待ちジョブ）を確認してから、削除します。

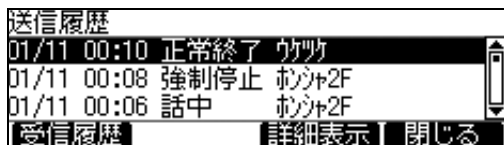
1 ［ファクス蓄積文書］ボタンを押します。

2 ［▲］または［▼］ボタンを押して一覧の中から削除する項目を選択し、［削除］に対応する［F2］ボタンを押します。

3 ［する］に対応する［F3］ボタンを押します。

以上で終了です。

その他の機能

送受信履歴の表示

ファクスの送受信履歴を確認できます。

1 ［ファクス蓄積文書］ボタンを押します。

2 ［履歴］に対応する［F1］ボタンを押します。

3 ［受信履歴］／［送信履歴］に対応する［F1］ボタンを押し、それぞれの履歴を確認します。

履歴は［▲］［▼］ボタンで選択します。

4 モードの初期画面になるまで、［閉じる］に対応する［F4］ボタンを押します。

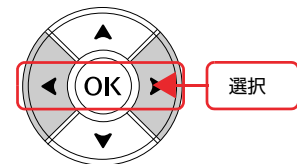
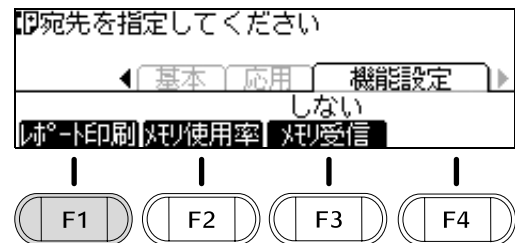
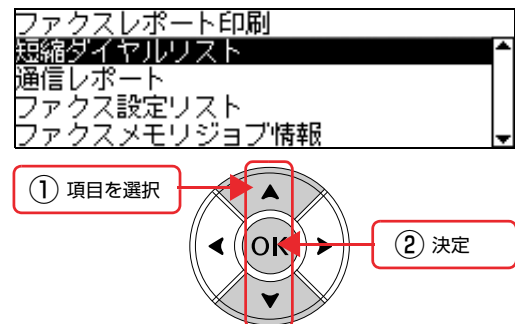
以上で終了です。

ファクスレポート印刷

短縮ダイヤルリスト/通信レポート/ファクス設定リスト/ファクスメモリジョブ情報のレポートを印刷します。

1 ［ファクス］ボタンを押します。

ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

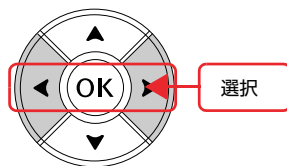
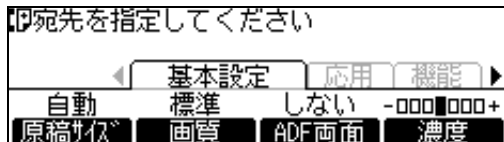
2 ［◀］または［▶］ボタンを押して、［機能設定］タブを選択します。

3 ［レポート印刷］に対応する［F1］ボタンを押します。

4 ［▲］または［▼］ボタンでレポートを選択して、［OK］ボタンで決定します。

5 モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。

以上で終了です。

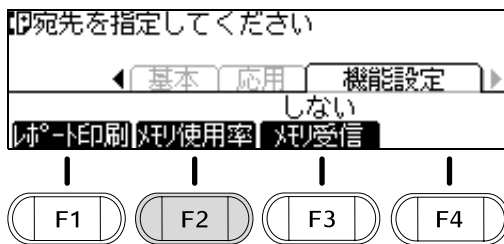
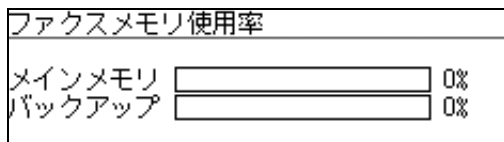
ファクスメモリ使用率の表示

ファクスメモリ使用率を確認します。

1 **［ファクス］ボタンを押します。**
ファクスランプが点灯して、ファクスモードになります。

2 **［◀］または［▶］ボタンを押して、［機能設定］タブを選択します。**

3 **［メモリ使用率］に対応する［F2］ボタンを押します。**

4 **メモリの使用率を確認します。**

ファクスメモリ使用率
メインメモリ 0%
バックアップ 0%

5 **モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。**

以上で終了です。

5 スキャン

スキャン機能について説明します。

スキャン方法は、操作パネルの操作でスキャンする方法と、コンピュータ上の EPSON Scan（TWAIN 規格のスキャナドライバ）からスキャンする２通りの方法があります。それぞれの方法で必要な作業を以下の表にまとめます。

方法	保存先	使用するために必要な作業
操作パネルから	USB メモリ	なし
	メール	操作パネルまたはソフトウェア EpsonNet Config を使用した基本情報の登録
	共有フォルダ	
コンピュータから	-	EPSONScan のインストール

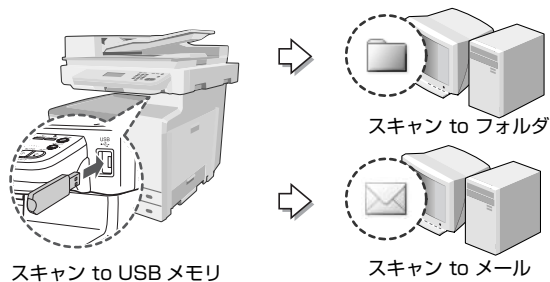
コンピュータからスキャンする方法は、『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）を参照してください。

操作パネルでスキャンする前に

操作パネルからスキャンしたときの保存先や、設定に必要な情報を説明します。

スキャンデータの保存先

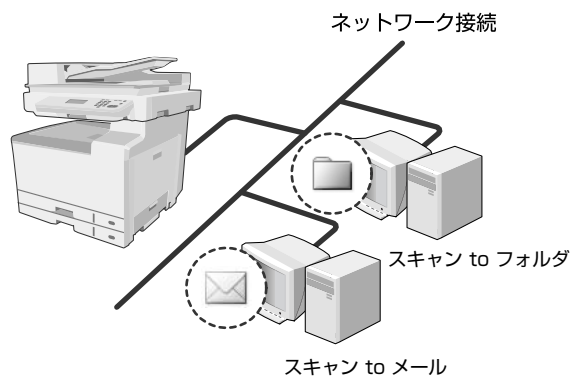
操作パネルでスキャンするとき、スキャンデータの保存先として次の 3 つから選択できます。

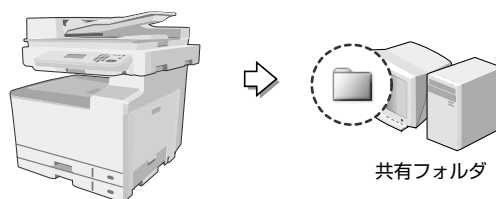
保存先	説明
USB メモリ	本製品に接続したUSBメモリに保存します。
共有フォルダ（ファイル機能）	ネットワーク上のコンピュータに設定した共有フォルダに保存します。
メール	メールに添付して宛先のユーザーに送信します。

メール・ファイル機能を使用するために

スキャンデータをメールに添付したり、ネットワーク上のコンピュータに設定した共有フォルダに保存するメール・ファイル機能を使用するには、次の設定が必要です。

接続設定の確認

ネットワーク接続

本製品を使用する環境のネットワークに接続します。

サーバに共有フォルダを設定（ファイル機能を使用する場合）

ネットワーク上のサーバにファイル機能でスキャンデータを保存する共有フォルダを用意します。

基本情報の設定

操作パネルまたはソフトウェア EpsonNet Config で以下の設定をします。

- メールサーバの設定（メール機能を使用する場合）
- メールの送信先の宛先登録（メール機能を使用する場合）
- 保存先フォルダの設定（ファイル機能を使用する場合）

ここでは操作パネルからの設定方法を説明します。EpsonNet Config については、EpsonNet Config のヘルプおよび以下を参照してください。
本書 110ページ「EpsonNet Config から登録する」

メールサーバの設定

操作パネルの［各種設定］ボタンで表示するメニューから［共通設定］－［メールサーバ設定］で設定します。操作方法や設定項目は、以下のページを参照してください。
本書 90 ページ「共通設定の項目一覧」

メールの送信先の宛先登録

操作パネルの［各種設定］ボタンで表示するメニューから［宛先 / 保存先設定］－［メールアドレス］でメールの宛先を設定します。登録方法は、以下のページを参照してください。
本書 104 ページ「操作パネルから宛先 / 保存先登録」

保存先フォルダの設定

操作パネルの［各種設定］ボタンで表示するメニューから［宛先 / 保存先設定］－［保存先フォルダ］で保存する共有フォルダを設定します。登録方法は、以下のページを参照してください。
本書 104 ページ「操作パネルから宛先 / 保存先登録」

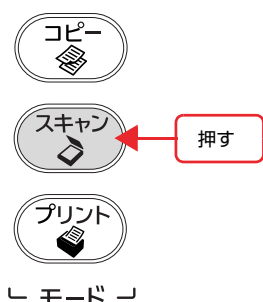
スキャン設定の［機能］タブ－［レポート印刷］からメールアドレスリストと PC フォルダリストが印刷できます。
本書 224 ページ「スキャンモードの設定項目」

操作パネルでスキャン

操作パネルでスキャンする方法を説明します。

スキャンデータを USB メモリに保存

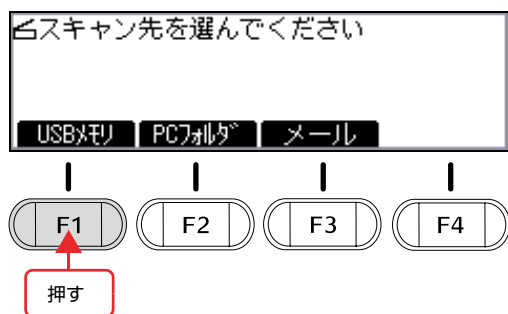
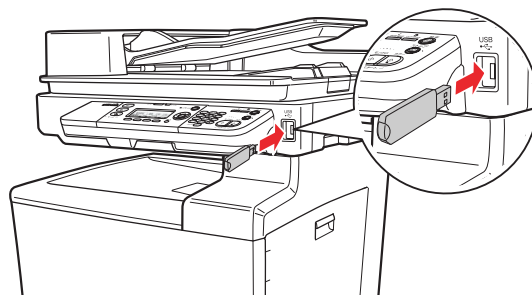
USB メモリ用コネクタに接続した USB メモリに、スキャンしたデータを保存する手順を説明します。

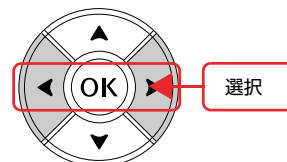
1 **[スキャン] ボタンを押します。**

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

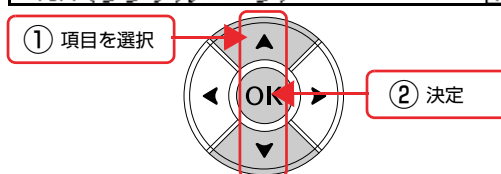
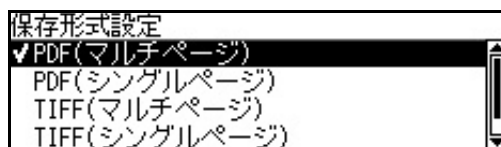
2 **原稿をセットします。**

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 28 ページ「ADF へのセット」

3 **[USB メモリ] に対応する [F1] ボタンを押します。**

4 **USB メモリを、本製品の USB メモリ用コネクタに取り付けます。**

5 **必要に応じて、設定を変更します。**

① [◀] または [▶] ボタンを押して設定項目のタブを選択します。
タブは [基本設定] と [ファイル設定]、[読取設定]、[機能] が選択できます。

② [F1] ～ [F4] ボタンを押して設定項目を選択します。画面は [基本設定] の場合です。

③ 設定値を設定して、[OK] ボタンを押して決定します。[OK] ボタンを押すと②の画面に戻ります。画面は、[保存形式] の場合です。

項目は以下の通りです。

項目	選択 / 設定値	説明
保存形式	PDF*1	PDF 形式：文書原稿などに適しています。 ［ADF 両面］の［原稿状態］と［原稿方向］の設定に応じて、文字が読める向きに自動的に回転します。
	TIFF*1	TIFF 形式：高画質の取り込みに適しています。
	JPEG	JPEG 形式：取り込みデータのサイズを小さくしたい場合に適しています。
解像度	96dpi 200dpi 300dpi 400dpi 600dpi	解像度が高いほど精細なスキャン結果が得られますが、読み取りに時間がかかったり、ファイルサイズが大きくなります。
ADF 両面	しない（片面原稿） する（両面原稿）	オートドキュメントフィーダ（ADF）が装着されているとき、原稿の読み取りの片面、両面が選べます。 本機能は保存形式に PDF を選択したときのみ設定できます。 ［する］を設定して、両面原稿をスキャンすると、［原稿状態］と［原稿方向］の設定に応じて、文字が読める向きに自動的に回転します。
原稿状態	左右開き 上下開き	原稿の開き方向を設定します。
原稿方向	左向き 上向き（読める向き）	原稿のセット方向を設定します。 本書 26 ページ「セットする原稿の向き」
ファイルヘッダ	ー	ファイルの最初に付加する文字を入力します（半角 8 文字以内）。
圧縮率	高い 標準 低い	ファイルの圧縮率を設定します。圧縮率が低いほど高品質ですが、ファイルサイズが大きくなります。
PDF 設定*2		PDF ファイルの以下の機能を設定します。
文書	しない する	文書を開くパスワードを設定するかどうかを選択します。パスワード付き PDF にする場合、パスワードを入力します。
権限		パスワード付き PDF の権限を設定します。
パスワード*3	しない する	権限パスワードを入力します。
印刷許可	許可する 許可しない	印刷の権限を設定します。
編集許可	許可する 許可しない	編集の権限を設定します。 許可する項目は、次の通りです。 文書の変更 文書アセンブリ 内容のコピー ページの抽出 注釈 フォームフィールドの入力 署名 テンプレートページの作成
高圧縮*3	しない する	PDF ファイルを約２５ % のファイルサイズに高圧縮するかどうかを設定します。
原稿画質	文字 / 写真	オフィスなどで通常使用される画像や文字が混在する書類を原稿にする場合に選択します。
	文字	黒文字を多く含む書類を原稿にする場合に選択します。
	写真	写真（カラー写真、銀塩写真、印刷物写真）を原稿にする場合に選択します。
濃度	-3 ～ 0 ～ +3	• 数値が小さくなる（マイナス）ほど全体的に薄い画像になります。 • 数値が大きくなる（プラス）ほど全体的に濃い画像になります。
原稿サイズ	自動 A3 B4 A4 A4 B5 B5 A5 A5	原稿のサイズを選択します。

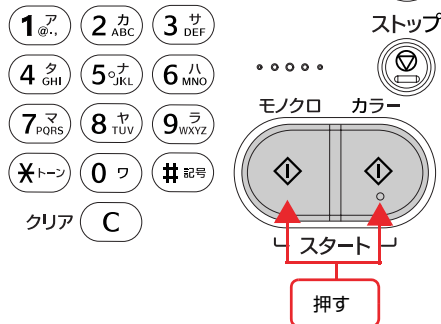
*1 複数ページを 1 つのファイルにするときは［マルチページ］を選択してください。1 ページごと 1 ファイルにするときは［シングルページ］を選択してください。

*2 拡張 PDF キット（SWPDFROM1）を装着しているときに設定できます。設定画面で、さらに［F1］～［F3］ボタンで詳細設定項目を選択してください。

*3 パスワード（暗号化）と高圧縮された PDF は、Acrobat5.0 以上で使用できます。

6 **［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿をスキャンします。**

- ［カラー］ボタンはカラー、［モノクロ］ボタンはモノクロでスキャンします。
- 取り込まれた原稿は、USB メモリ内の以下のフォルダに保存されます。
  LP-M6000_xxxxxxxxxx
  （xxxxxxxxxxx は本製品のシリアル番号）
- ファイル名は、取り込んだ順にファイルヘッダ ＋ xxxx. 拡張子で保存されます（xxxx は 0001 からの連番）。
  [シングルページ] でスキャンしたときは、1 ページごとファイルヘッダ+ xxxx ＋ y. 拡張子で保存されます（y は 1 からの連番）。

> **参考**
> [モノクロ]ボタンを押した場合、通常はグレー(8bit)でスキャンしますが、［ファイル形式］が［TIFF］または［PDF］で［原稿画質］が［文字］の場合は、モノクロ（白黒 2 値）でスキャンします。

スキャンが終了したら、セットした原稿と USB メモリを本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

スキャンデータを共有フォルダに保存

保存先を指定しスキャンすると、スキャンしたデータを、共有フォルダに保存します。

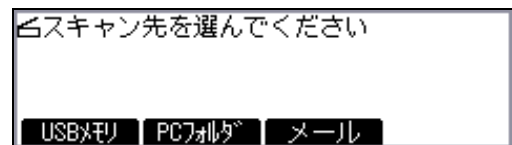
1 **［スキャン］ボタンを押します。**

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

2 **原稿をセットします。**

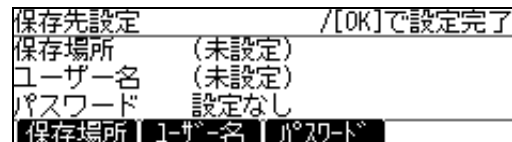
原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  本書 28 ページ「ADF へのセット」

3 **［PC フォルダ］に対応する［F2］ボタンを押します。**

4 **保存先を設定して、［OK］ボタンを押して決定します。**

① ［基本設定］タブで［保存先］に対応する［F1］ボタンを押します。

② ［F1］ ～ ［F3］ボタンを押して設定項目を選択します。

保存先設定　　　/［OK］で設定完了
保存場所　　　（未設定）
ユーザー名　　（未設定）
パスワード　　設定なし
保存場所 | ユーザー名 | パスワード

③ 設定値を設定して、［OK］ボタンを押して決定します。
［OK］ボタンを押すと②の画面に戻ります。
項目は、次ページの通りです。

項目		説明
保存場所	ー	保存先フォルダのパスを直接入力します（107 文字以内、認証モード起動時は、255 文字以内）。 フォルダパスは保存先コンピュータの IP アドレス、またはドメイン名、デバイス名との組み合わせで入力します。 入力例） フォルダ「share\pc001」、IP アドレス「192.168.1.10」の場合 「\\192.168.1.10\share\pc001」
	宛先帳	宛先帳から保存先を選択します。
ユーザー名		ユーザー名を入力します（半角30 文字以内）。 ［ユーザー名］はドメイン名を付加して指定できます。ドメイン名は 15 文字以下にしてください。 入力例） ドメイン名「epson」、ユーザー名「user01」の場合、ユーザー名は「epson\user01」になります。
パスワード		ユーザーのパスワードを入力します（半角 20 文字まで、＊は使用できません）。

参考

- 保存先コンピュータがWindows Vistaの場合は、保存先コンピュータ上に登録されているユーザー名とパスワードを上記項目で設定する必要があります。
- 保存先フォルダのパスは、ドメイン名でも指定できます。ドメイン名で指定する場合はお使いの環境に DNS サーバが設定されている必要があります。
  入力例）
  ドメイン名「epson.net」、デバイス名「xyz9876」の場合
  「\\xyz9876.epson.net \share\pc001」
- テンキーの数字と半角カナ、アルファベットは、［a → 1］、［1 →ｱ］、［ｱ→ a］に対応した［F4］キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、小文字→大文字の順でアルファベットが表示されます。
- 「\」（バックスラッシュ）や「.」（ドット）などの記号は、アルファベット入力モードで［#］を何回か押すと入力できます。
- 入力した文字を削除するには、［◀］または［▶］ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。

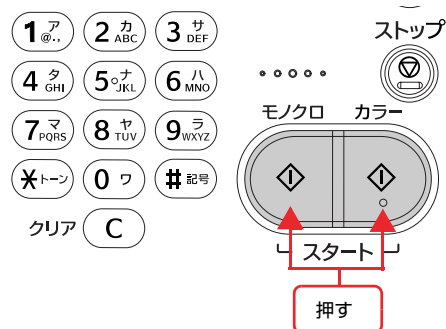
5 必要に応じて、スキャン設定を変更します。

① ［◀］または［▶］ボタンを押して設定項目のタブを選択します。
　タブは［基本設定］と［ファイル設定］、［読取設定］、［機能］が選択できます。
② ［F1］～［F4］ボタンを押して設定項目を選択します。
③ 設定値を選択して、［OK］ボタンを押して決定します。

［OK］ボタンを押すと②の画面に戻ります。
設定項目の詳細は、以下のページを参照してください。

☞ 本書 82 ページ「スキャンデータを USB メモリに保存」の手順 5

6 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿をスキャンします。

- ［カラー］ボタンはカラー、［モノクロ］ボタンはモノクロでスキャンします。
- ファイル名は、取り込んだ順に
  ファイルヘッダ＋ xxxx. 拡張子で保存されます（xxxx は 0001 からの連番）。
  ［シングルページ］でスキャンしたときは、1 ページごとファイルヘッダ＋ xxxx ＋ y. 拡張子で保存されます（y は 1 からの連番）。

スキャンが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

スキャンデータをメールで送信

宛先を指定してからスキャンを実行すると、スキャンしたデータを指定した形式にファイル化し、メールで送信します。

1 ［スキャン］ボタンを押します。

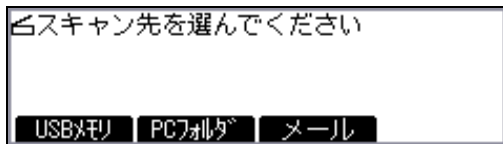
スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

2 原稿をセットします。

原稿セットの詳細な手順は、以下のページを参照してください。

- 原稿台に原稿をセットする場合
  ☞ 本書 27 ページ「原稿台へのセット」
- オートドキュメントフィーダに原稿をセットする場合
  ☞ 本書 28 ページ「ADF へのセット」

3 ［メール］に対応する［F3］ボタンを押します。

```
スキャン先を選んでください

USBﾒﾓﾘ | PCﾌｫﾙﾀﾞ | メール
```

4 宛先を設定して、［OK］ボタンを押して決定します。

① ［基本設定］タブで［メール設定］に対応する［F1］ボタンを押します。

② ［F1］～［F2］ボタンを押して設定項目を選択します。

```
メール作成              /[OK]で設定完了
宛先      (未設定)
件名      E-mail from EPSON Printer LP…

宛先 | 件名
```

③ 設定値を設定して、［OK］ボタンを押して決定します。
［OK］ボタンを押すと②の画面に戻ります。
項目は、以下の通りです。

項目		説明
宛先	宛先帳	宛先帳から送信先を選択します。
	直接入力	宛先のメールアドレスを入力します（半角 64 文字以内）。
	削除	選択している宛先を削除します。
件名		メールの件名を入力します（半角 50 文字以内）。

参考

- テンキーの数字とアルファベットは、［a → 1］または［1 → a］に対応した［F4］キーを押して切り替えます。
- アルファベット入力モードのときに、繰り返しテンキーを押すと、小文字→大文字の順でアルファベットが表示されます。
- 入力した文字を削除するには、［◀］または［▶］ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。

5 必要に応じて、スキャン設定を変更します。

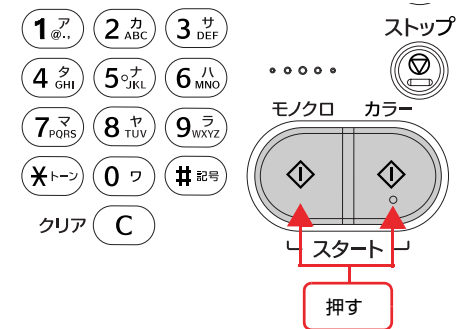
① ［◀］または［▶］ボタンを押して設定項目のタブを選択します。
タブは［基本設定］と［ファイル設定］、［読取設定］、［機能］が選択できます。

② ［F1］～［F4］ボタンを押して設定項目を選択します。

③ 設定値を選択して、［OK］ボタンを押して決定します。
［OK］ボタンを押すと②の画面に戻ります。

設定項目の詳細は、以下のページを参照してください。
☞ 本書 82 ページ「スキャンデータを USB メモリに保存」の手順 5

6 ［カラー］または［モノクロ］ボタンを押して、原稿をスキャンします。

［カラー］ボタンはカラー、［モノクロ］ボタンはモノクロでスキャンします。

スキャンが終了したら、セットした原稿を本製品から取り除いてください。

以上で終了です。

参考

メール送信時にメールサーバからエラー応答があったときは、メール送信エラーレポートが印刷されます。

6 操作パネルの設定方法

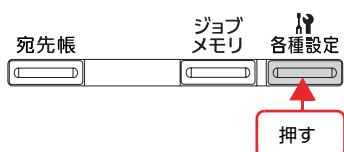
宛先や保存先を登録する方法など、操作パネルで各種機能を設定する方法を説明します。

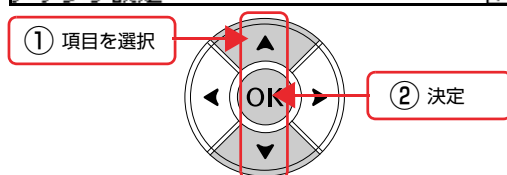
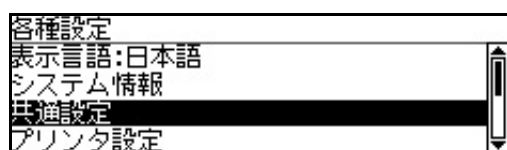
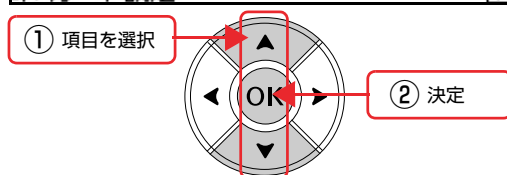
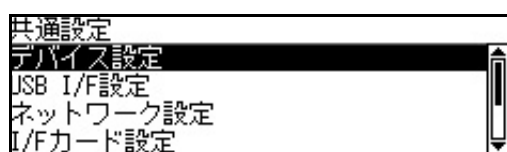
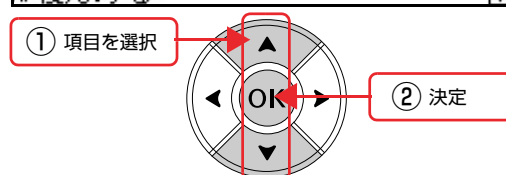
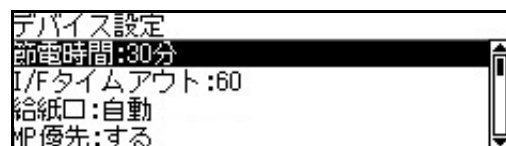
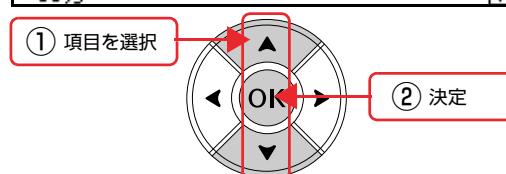
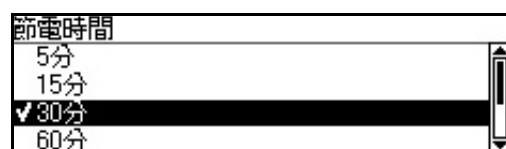
操作パネルによる設定 / 確認

ここでは、操作パネルでの設定変更方法 / 確認方法と、設定項目 / 設定値について説明します。

!重要 操作パネルの設定とソフトウェア EpsonNet Config の設定を同時にしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。

設定を変更する

1 **[各種設定] ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **[▲] または [▼] ボタンを押して設定を選択し、[OK] ボタンを押します。**

各項目の詳細は次ページ以降をご覧ください。

3 **[▲] または [▼] ボタンを押して変更する設定分類を選択し、[OK] ボタンで決定します。**

4 **[▲] または [▼] ボタンを押して項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。**

5 **[▲] または [▼] ボタンを押して項目を選択し、[OK] ボタンで決定します。**

6 **モードの初期画面になるまで [戻る] ボタンを押します。**

設定モードが終了します。

[コピー]、[スキャン] などの各モードボタンを押しても設定モードを終了できます。

以上で終了です。

表示言語の項目一覧

（ ＿ ：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
表示言語		日本語、English 液晶ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。

システム情報の項目一覧

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
システム情報	メインバージョン	本製品のファームウェア（機器に内蔵されているソフトウェア）のバージョンを表示します。
	ファクスバージョン	本製品のファームウェア（機器に内蔵されているソフトウェア）のバージョンを表示します（ファクスモデルのみ）。
	MCU バージョン	本製品のファームウェア（機器に内蔵されているソフトウェア）のバージョンを表示します。
	シリアル No	本製品のシリアル No を表示します。
	メモリ	本製品に搭載されているメモリの容量を表示します。
	MAC アドレス	本製品のネットワークインターフェイスの MAC アドレスを表示します。
レポート印刷	ステータスシート	現在の設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
	ネットワーク情報	標準のネットワークインターフェイスに関する情報を印刷します。
	ジョブメモリリスト	ジョブメモリに登録されている情報を印刷します。
	I/F カード情報	オプションのネットワークインターフェイスカードに関する情報を印刷します。
	USB 外部機器情報	USB 接続機器の情報を印刷します。USB デバイスが接続され、操作パネルで USB インターフェイスを使う設定になっているときに表示されます。
	PS3 ステータスシート	PS3 設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。拡張 PDF キット装着時に表示されます。
	PS3 フォントリスト	PS3 フォントリストを印刷します。拡張 PDF キット装着時に表示されます。
	ROM モジュール A 情報	ROM モジュール A 情報を印刷します。ROM モジュール装着時に表示されます。

共通設定の項目一覧

（ ＿ ：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
デバイス設定	節電時間	5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分、240 分 印刷待機時の消費電力を節約できます。最後の動作が終了してから、設定した時間が経過すると節電状態になります。節電状態のときは、ウォーミングアップしてから、動作を開始します。
	I/F タイムアウト	20 ～ 60 ～ 600 分 データの受信が途切れてから次の受信が始まるまでエラーを発生せずに待つ時間を設定します。
	給紙口	自動、MP トレイ、MP カセット、カセット 1 ～ 4 出力用紙をどの給紙装置から給紙するか選択します。［自動］に設定すると印刷データの原稿サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。MP トレイ、カセット 2 ～ 4 はオプション装着時に表示されます。
	MP 優先	する、しない ［給紙口］の設定が［自動］、かつ MP カセット（または MP トレイ）と用紙カセットに同サイズの用紙がセットされている場合に、MP カセット（または MP トレイ）からの給紙を優先するかどうかを設定します。 オプションのMPトレイ付き増設カセットユニット装着時にMP優先にした場合は、MP カセットより MP トレイが優先されます。
	コピー枚数	1 ～ 999 コピー枚数を設定します。
	両面印刷	しない、する 両面 / 片面印刷を選びます。
	とじ方向	長辺とじ、短辺とじ とじ方向を選択します。
	紙種	指定しない、普通紙/再生紙、再生紙2、再生紙3、上質紙、厚紙、特厚紙、OHPシート、ラベル 用紙種類を選択します。[指定しない] のときは、[給紙装置設定] の各給紙装置に設定した用紙タイプを優先します。再生紙 2、再生紙 3 は、印刷結果にかすれなどが発生したときに設定してみてください。
	白紙節約	する、しない 白紙のページを印刷するかしないかを設定します。
	自動排紙	する、しない ページ途中で印刷が停止したページを排出するかしないかを設定します。
	用紙サイズフリー	しない、する ［用紙を交換してください xxxxx yyyy］のエラーを表示するかしないかを設定します。
	自動エラー解除	しない、する ［オーバーランエラー］、［用紙を交換してください xxxxx yyyy］、［メモリ不足で印刷できません］、［指定された用紙は両面印刷できません］、［メモリ不足で両面印刷できませんでした］、［指定と違うサイズの用紙に印刷しました］などのエラーが発生した場合、自動的にエラーを解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
	ページエラー回避	しない、する 印刷データに問題が発生して印刷できないときに使用してください。印刷品質を落として印刷するためエラーを回避できることがあります。
	LCD コントラスト	0 ～ 7 ～ 15（1 刻み） 液晶ディスプレイに表示される文字の濃度を設定します。
	白黒反転表示	しない、する 操作パネルの表示を白黒反転するか選択します。

分類	設定項目		表示 / 設定範囲
デバイス設定 （続き）	音量調整	操作確認音	Off、中、大 操作パネルのボタンを押したときに音を出すか選択します。
		正常終了音	Off、中、大 スキャンや印刷などが正常に終了したときに音を出すか選択します。
		注意音	Off、中、大 エラーなどが発生したときに音を出すか選択します。
	RAM ディスク		なし、標準、最大 RAM ディスクの全容量のうち印刷時のパスワード機能に使用する領域を選択します。 なし：パスワード印刷機能は使用できません。 標準：パスワード印刷時にメモリを増設している場合は、増設メモリ容量の50%を RAM ディスクとして使用します。 最大：パスワード印刷時にメモリを増設している場合は、増設メモリ容量の100%を RAM ディスクとして使用します。
	日付時刻設定		YYYY/MM/DD HH:MM （YYYY: 西暦、MM: 月、DD: 日、HH: 時、MM: 分） 現在の時刻を設定します。
	日付表示フォーマット		DD/MM/YY、MM/DD/YY、YY/MM/DD （YY: 西暦、MM: 月、DD: 日） 日時の表示フォーマットを選択します。
USB I/F 設定	USB I/F		使う、使わない USB インターフェイスを使用するかしないかを選択します。
	USB SPEED		HS、FS インターフェイスの動作モードを選択します。お使いの機器に対応したモードを選択してください。詳しくはお使いの機器の取扱説明書をご覧ください。
	受信バッファ		標準、最大、最小 USB I/F の受信バッファサイズを設定します。
ネットワーク設定	ネットワーク I/F		使う、使わない ネットワークインターフェイスを使用するかしないかを選択します。
	IP アドレス設定		パネル、自動、PING TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。
	IP		0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（192.168.192.168） TCP/IP の IP アドレスを設定します。
	SM		0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（255.255.255.0） TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
	GW		0.0.0.0 ～ 255.255.255.255（255.255.255.255） TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
	AppleTalk		On、Off ネットワーク接続時に AppleTalk 接続を有効にするかどうかを選択します。
	Bonjour		On、Off ネットワーク接続時に Bonjour 接続を有効にするかどうかを選択します。
	Link Speed		自動、100 Full、100 Half、10 Full、10 Half データ転送速度 / 通信方式を設定します。
	受信バッファ		標準、最大、最小 ネットワーク I/F の受信バッファサイズを設定します。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
I/F カード設定 *1	I/F カード	使う、使わない オプションインターフェイスを使用するかしないかを選択します。
	IP アドレス設定	パネル、自動、PING TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。
	IP	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 TCP/IP の IP アドレスを設定します。
	SM	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 TCP/IP の Subnet Mask を設定します。
	GW	0.0.0.0 ～ 255.255.255.255 TCP/IP の Gateway アドレスを設定します。
	NetWare	On、Off ネットワーク接続時に NetWare 接続を有効にするかどうかを選択します。 I/F カードが NetWare に対応しているときのみ表示されます。
	AppleTalk	On、Off ネットワーク接続時に AppleTalk 接続を有効にするかどうかを選択します。
	MS Network	On、Off ネットワーク接続時に MS Network 接続を有効にするかどうかを選択します。
	Bonjour	On、Off ネットワーク接続時に Bonjour 接続を有効にするかどうかを選択します。
	I/F カード初期化	接続している I/F カードを初期化します。
	受信バッファ	標準、最大、最小 I/F カードの受信バッファサイズを設定します。
USB ホスト設定	USB ホスト	使う、使わない USB デバイスのインターフェイスを使用するかしないかを選択します。
メールサーバ設定	認証方式	なし、POP before SMTP、SMTP 認証 メールサーバの認証方式を設定します。
	認証用アカウント	メールサーバに接続する認証アカウント（ユーザー名）を設定します。
	認証用パスワード	メールサーバに接続する認証パスワードを設定します。
	送信元アドレス	送信元として表示されるメールアドレスを入力します。先頭に . を使用するとエラーが発生します。
	SMTP サーバアドレス	SMTP サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
	SMTP サーバポート番号	SMTP サーバとの通信するポート番号を設定します。
	POP3 サーバアドレス *2	POP3 サーバの IP アドレスまたはホスト名を設定します。
	POP3 サーバポート番号 *2	POP3 サーバとの通信するポート番号を設定します。
	接続テスト	設定したメールサーバとの接続テストを実行します。接続テストの結果エラーが表示されたときは、以下のページを参照してください。 本書 156 ページ「エラーメッセージ」

*1［I/F カード設定］は、オプションのインターフェイスカード装着時のみ表示されます。

*2［認証方式］を［POP before SMTP］に設定したときに表示されます。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
リセット	ワーニングクリア	操作パネルの液晶ディスプレイに表示されているワーニングメッセージ（「ファクス印刷可能な用紙がありません」と消耗品など交換部品に関するもの以外）を消します。
	全ワーニングクリア	操作パネルの液晶ディスプレイに表示されている「ファクス印刷可能な用紙がありません」を除くすべてのワーニングメッセージを消します。
	リセット	本製品をリセットします。現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄します。
	リセットオール	本製品をリセットオールします。電源を入れた直後の状態まで本製品を初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。
	転写ユニットライフリセット	転写ユニットの使用カウントをリセットします。
	定着ユニットライフリセット	定着ユニットの使用カウントをリセットします。
	廃トナーボックスライフリセット	廃トナーボックスの空き容量カウントをリセットします。

プリンタ設定の項目一覧

（ __ ：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
給紙装置設定	MP トレイサイズ	A4、A3、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面連刷はがき、LT、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4、洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、角形 2 号 オプションのMPトレイ付き増設カセットユニット装着時のみ表示され、MPトレイにセットした用紙サイズを設定します。
	MP カセットサイズ	A4、A3、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面連刷はがき、LT、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4、洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、角形 2 号 MP カセットの［用紙サイズ設定］ダイヤルで「その他」を選択している場合に、セットした用紙サイズを設定します。
	カセット 1 サイズ	A4、A3、B4、B5、LT、LGL、B 標準の用紙カセット 1 の用紙サイズ設定ダイヤルで設定した用紙サイズを表示します。
	カセット 2 ～ 4 サイズ	A4、A3、B4、B5、LT、LGL、B オプションの増設カセットユニット装着時のみ表示され、用紙サイズ設定ダイヤルで設定した用紙サイズを表示します。
	MP トレイタイプ	普通紙 / 再生紙、再生紙 2 *、再生紙 3*、上質紙、印刷済み、レターヘッド、色つき、厚紙、特厚紙、OHP シート、ラベル MPトレイ付き増設カセットユニット装着時のみ表示され、MPトレイにセットした用紙タイプを設定します。コンピュータからの印刷時、同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
	MP カセットタイプ	普通紙 / 再生紙、再生紙 2 *、再生紙 3*、上質紙、印刷済み、レターヘッド、色つき、厚紙、特厚紙、OHP シート、ラベル MP カセットにセットした用紙タイプを設定します。コンピュータからの印刷時、同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
	カセット 1 タイプ	普通紙 / 再生紙、再生紙 2 *、再生紙 3*、上質紙、印刷済み、レターヘッド、色つき 標準の用紙カセットにセットした用紙タイプを設定します。コンピュータからの印刷時、同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
	カセット 2 ～ 4 タイプ	普通紙 / 再生紙、再生紙 2 *、再生紙 3*、上質紙、印刷済み、レターヘッド、色つき オプションの増設カセットユニット装着時のみ表示され、オプションの用紙カセットにセットした用紙タイプを設定します。コンピュータからの印刷時、同じサイズで異なるタイプの用紙がセットされているときの誤給紙を防ぎます。
印刷書式設定	ページサイズ	自動、A4、A3、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面連刷はがき、LT、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4、洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、角形 2 号 印刷するデータの用紙サイズを選択します。
	用紙方向	縦、横 用紙方向を設定します。
	解像度	はやい、きれい 印刷解像度を設定します。
	トナーセーブ	しない、する カラー / モノクロ印刷とも印刷濃度を抑えることでトナーを節約します（カラー印刷時は色の表現力を低く抑えます）。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。
	縮小	Off、80% 印刷データを少し縮小して印刷します。

* ［再生紙 2］、［再生紙 3］は、印刷結果にかすれなどが発生したときに選択してみてください。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
印刷書式設定 （続き）	イメージ補正	1、2 イメージデータの補正方式を選択します。 1：標準の補正方式です。通常はこの設定で使用してください。 2：ESC/P または ESC/PS モードのときは、罫線が正しく印刷されないときに設定します。ESC/Page モードのときは、ご利用のプリンタまたは複合機に対応していないプリンタドライバを使用していて、グラフィックに問題があるときに設定します。
	上オフセット	-30 ～ 0.0 ～ 30 印刷の開始位置を設定します。
	左オフセット	
	上オフセット B	
	左オフセット B	
プリンタ言語	USB	自動、ESC/PS、ESC/P、ESC/Page、PS3 各インターフェイスの接続で利用するプリンタ言語を設定します。 PS3 はオプションの拡張 PDF キット装着時のみ表示します。
	ネットワーク	
	I/F カード	
ESC/PS 環境設定	連続紙	OFF、F15 → B4 横、F15 → A4 横、F10 → A4 縦 連続紙用の印刷データを、単票紙（カット紙）用に縮小して印刷するかどうかを選択します。
	文字コード	カタカナ、グラフィック ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。英数カナ文字コードを切り替えます。
	給紙位置	8.5mm、22mm ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。用紙の印刷開始位置を選択します。
	各国文字	日本、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
	ゼロ	0、Ø（ゼロスラッシュ） ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。
	用紙位置	左、中央、中央 -5、中央 +5 ESC/PSモードでPC-PR201H用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 横方向の印字範囲（136 桁）の幅の中で、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定で PC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、［中央］を選択してください。なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
	右マージン	用紙幅、136 桁 ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。右マージンを選択します。
	漢字書体	明朝、ゴシック ESC/PS モードまたは ESC/P モードで有効です。漢字に使用する書体を選択します。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
ESC/Page 環境設定	復帰改行	する、しない 印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
	改ページ	する、しない 印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷するかを選択します。
	CR	CR のみ、CR+LF CR（復帰）の動作を選択します。
	LF	CR+LF、LF のみ LF（改行）の動作を選択します。
	FF	CR+FF、FF のみ FF（改ページ）の動作を選択します。
	エラーコード	Off、On 文字コード表にない文字を受信したときに、スペースへの置き換えをするかしないかを設定します。
	フォントタイプ	1、2、3 「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2 バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。 1：15 ポイント未満は半角フォントを優先し、15 ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。 2：全角フォントを優先して印刷します。 3：半角フォントを優先して印刷します。
	フォーム実行	Off、On フォームデータを使用するかしないかを設定します。フォームデータが利用できる場合に表示されます。
	フォーム番号	1 ～ 512 フォームデータを使用する場合のフォーム番号を設定します。フォームデータが利用できる場合に表示されます。
PS3 環境設定 *	PS3 エラーシート	Off、On PS 印刷でエラーが発生したときに情報を印刷するかしないかを設定します。
	COLORATION	Color、Mono PS 印刷での印刷色を設定します。
	IMAGE PROTECT	Off、On メモリが不足したときに、自動的に解像度を変更するか、しないかを設定します。
	BINARY	Off、On バイナリデータ（イメージデータなど）の印刷時に選択します（ネットワーク接続時のみ有効）。ドライバ設定が ASCII でもアプリケーションがバイナリデータを送ってしまうときなど［On］に設定すると印刷できます。
	TEXT DETECTION	Off、On UNIX 環境での印刷実行時に、プリンタまたは複合機が受信したテキストファイルを直接印刷することができます。
	PDF ページサイズ	自動、A4、A3、A5、B4、B5、はがき、往復はがき、4 面連続はがき、LT、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4、洋形 0 号、洋形 4 号、洋形 6 号、長形 3 号、角形 2 号 PDF 文書ファイル印刷時の用紙サイズを設定します (PostScript プリンタとしてご使用いただく場合は、PDF ファイル印刷時の用紙サイズを選択します)。

* ［PS3 環境設定］は、オプションの拡張 PDF キット装着時のみ表示されます。

コピー設定の項目一覧

（ __ ：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
高圧縮設定		する、しない 部単位コピー可能な原稿枚数を増やすために、元データを圧縮処理するかどうかを選択します。
カラーキャリブレーション	開始	カラーコピー画質を調整します。
	工場出荷時に戻す	カラーコピー画質の設定を工場出荷時の設定に戻します。
コピー標準値設定		コピー設定の現在の設定値を標準値として登録します。
コピー工場出荷時設定		コピー設定を工場出荷時の設定に戻します。

スキャン設定の項目一覧

（ __ ：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
ネットワークスキャン		許可する、許可しない ネットワーク上のコンピュータからのスキャンを許可するかどうかを選択します。
メール設定	添付ファイル最大サイズ	1MB、2MB、5MB メール添付で送信するスキャンデータの最大サイズを設定します。ファイルが添付されたメールそのもののサイズは、最大サイズより大きなサイズになります（約 1.3 倍）。
スキャン標準値設定		スキャン設定の現在の設定値を標準値として登録します。
スキャン工場出荷時設定	工場出荷時設定	スキャン設定を工場出荷時の設定に戻します。
	キャリッジロック位置設定	輸送時にキャリッジロックを行う位置までキャリッジを移動します。

ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）

（ __ ：初期値）

分類	設定項目		表示 / 設定範囲
基本設定	回線種別		PSTN、PBX 電話回線の種別を選択します。通常は［PSTN］を電話交換機などがある環境の場合に［PBX］を選択します。
	ND 回線接続		する、しない ナンバーディスプレイ回線への接続を行うかどうかを選択します。ただし、通信相手の番号を取得、表示する機能はありません。
	外線切り替え番号		0 ～ 9、*、#、しない ［回線種別］で［PBX］を選択した場合、外線に接続する際に入力するダイヤル番号を選択します。
	ダイヤル種別		トーン、10PPS、20PPS プッシュ回線かダイヤルパルス回線か選択します。
	自局情報	名称	送信元の名称を登録します。
		番号	テンキー（ダイヤルボタン）で自局番号（20 桁）を入力します。［＊］キーを押すと「+」、［#］キーを押すとスペースを入力できます。
	スピーカ音量		OFF、1、2、3 電話回線使用時の音量を調整できます。
	ファクスレポート印刷言語		日本語、英語 ファクスレポートを印刷する際の言語を選択します。
送信設定	オートリダイヤル回数		0 ～ 3 ～ 10 送付先の機器が通話中などで接続できない場合、一定時間待った後、再びダイヤルする回数を設定します。
	発信元記録		する、しない 送付データの上部に、年月日 / 曜日 / 時間 / 発信元名 / 自局番号 / ページ数（分数表示）を入れます。
	優先原稿サイズ		なし、A3、B4、A4、A4、B5、B5 ファクスの送信時、原稿サイズを［自動選択］に設定した状態で、本製品が検知できないサイズの原稿が給紙されたときに、［優先原稿サイズ］のサイズを適用して送信します。「なし」を選択すると、適用するサイズがないためサイズ確認の画面が表示されます。以後は指定したサイズでスキャンします。
	PC-FAX 送信機能		使用する、使用しない PC-FAX 送信機能を使用するかどうかを選択します。

分類	設定項目		表示 / 設定範囲
受信設定	給紙口		自動、MP トレイ、MP カセット、カセット 1 ～ 4 出力用紙をどの給紙装置から給紙するか選択します。［自動］に設定すると受信した原稿サイズと同じサイズの用紙がない場合は別の用紙に印刷されます。
	両面印刷		する、しない ファクスを受信する際、両面 / 片面印刷を選びます。
	受信モード		［自動切替］：指定した時間、外付け電話機を呼び出してから、本製品が応答してファクスデータを受信します。 ［ファクス専用］：外付け電話の呼び出し音が 1 ～ 2 回鳴ってから、自動的にファクス受信を開始します。 ［電話専用］：外付け電話機を呼び出し続けます。ファクス受信しません。 ［TAM］：留守番電話の応答中にファクス信号を検出した場合、ファクス受信に切り替わる機能です。
	外付電話呼出時間		1 ～ 10 ～ 99 秒 ［受信モード］で［自動切替］を選択した場合に、本製品に接続されている電話機の呼び出し秒数を設定します。呼び出し秒数を過ぎると、本製品が自動的に応答してファクスデータを受信できる状態にします。
	自動縮小		する、しない ［する］を選択すると、受信したファクスデータが印刷範囲を超えていた場合に自動的にデータを縮小して印刷範囲内に収めます。［しない］を選択すると、受信ファクスデータが切れて印刷されることがあります。
	受信ファクス出力先		印刷、PC 保存、メール 受信したファクスの出力方法を設定します。
	PC保存先設定	保存先指定	送信先共有フォルダのフォルダパスを設定します。
		保存先ユーザー名	送信先共有フォルダにアクセスするときのユーザー名を設定します。
		保存先パスワード	送信先共有フォルダにアクセスするときのユーザーパスワードを設定します。
		接続テスト	ネットワークの接続テストを実行します。
	メール設定	メールアドレス	送信先のメールアドレスを設定します。
		添付ファイル最大サイズ	200KB、500KB、1MB、2MB、4MB メール添付で送信するファクスデータの最大サイズを設定します。
		件名	送信するメールの件名を設定します。
		接続テスト	ネットワークの接続テストを実行します。
	メモリ受信		する、しない 受信したファクスを印刷せずにメモリで受信するかどうかを設定します。
		On 時刻	メモリ受信を開始する時間を設定します。
		Off 時刻	メモリ受信を終了する時間を設定します。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
通信管理設定	通信レポート	通信管理＋受信出力先、通信管理のみ、しない 通信管理レポートを印刷します。［通信管理＋受信出力先］または［通信管理のみ］にすると、送受信の合計が 50 件になった時点でレポートを印刷します。
	送信レポート	常時、エラー時のみ、なし 送信結果のレポートを印刷します。［常時］にすると送信が完了するごとにレポートを印刷します。［エラー時のみ］にすると、送信できないときにのみレポートを印刷します。ただし、同報送信結果はレポートとして印刷されません。
	同報レポート	常時、エラー時のみ、なし 同報送信の結果のレポートを印刷します。［常時］にすると、すべての宛先への送信が完了するとレポートを印刷します。［エラー時のみ］にすると、1 件でも送信できなかった宛先があったときにレポートを印刷します。
詳細設定	ポーズ時間	長、中、短 ファクス宛先番号にポーズ記号 " － " を入力したときのポーズ時間を設定します。 通常は変更しないでください。
	回線特性	1、2 本製品と接続する電話回線の電圧特性を設定します。ファクスモードに切り替えた際に［外付け電話使用中］の表示が出てしまう場合に、設定を変更すると問題が解決することがあります。 通常は変更しないでください。
	トーン時間	長、中、短 ダイヤル種別＝トーンのときにダイヤルトーンを発する間隔を設定します。ファクス送付先の番号が正しいのに正常につながらない場合に、設定を変更すると問題が解決することがあります。 通常は変更しないでください。
	トーン間隔	長、中、短 ダイヤル種別＝トーンのときにダイヤルトーンを発する間隔を設定します。ファクス送付先の番号が正しいのに正常につながらない場合に、設定を変更すると問題が解決することがあります。 通常は変更しないでください。
	V.34 機能	On、Off スーパー G3（V.34）機能を使用した高速なファクス通信を優先的に使用します。回線の状態によりスーパー G3 機能を利用した高速な通信でエラーが発生する場合に［Off］に設定すると改善されることがあります。 通常は変更しないでください。
	着信レベル 1	高、中、低 ファクス着信時の信号レベルを設定します。本項目はファクス受信モードが自動切替、電話専用、FAX 専用に設定されている場合に限り有効です。 通常は変更しないでください。
	着信レベル 2	高、中、低 ファクス着信時の信号レベルを設定します。本項目はファクス受信モードが TAM に設定されている場合に限り有効です。 通常は変更しないでください。
	送出レベル	高、中、低 本製品からのファクス信号の送出レベルを設定します。 通常は変更しないでください。
	通信詳細レポート	常時、エラー時のみ、なし 通信管理レポートとは別に、1 件ごとに通信内容の詳細なレポートを出力します。本機能は主に通信障害の発生時にエラーの内容を確認するために利用する機能です。 通常は変更しないでください。

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
ファクス標準値設定		ファクス設定の現在の設定値を標準値として登録します。
ファクス工場出荷時設定	工場出荷時設定	ファクス設定を工場出荷時の設定に戻します。
	ファクスバックアップメモリクリア	バックアップデータを削除し、ファクスバックアップメモリ使用率を 0%にします。送受信中、ファクス送信文書、受信文書が蓄積されているときは実行できません。

宛先 / 保存先設定の項目一覧

(__ : 初期値)

分類	設定項目		表示 / 設定範囲
メールアドレス	メールアドレス		送信先のメールアドレスを設定します。
	名称		送信先の登録名称を設定します。メールアドレス確定後に表示します。
	ヨミガナ		名前の読みを設定します。名称確定後に表示します。
保存先フォルダ	フォルダパス		送信先共有フォルダのフォルダパスを設定します。
	名称		送信先の登録名称を設定します。フォルダパス確定後に表示します。
	ヨミガナ		名称の読みを設定します。名称確定後に表示します。
	認証ユーザー名		送信先共有フォルダにアクセスするときのユーザー名を設定します。ヨミガナ確定後に表示します。
	認証パスワード		送信先共有フォルダにアクセスするときのユーザーパスワードを設定します。認証ユーザー名確定後に表示します。
ファクス番号 *	短縮ダイヤル設定	番号	短縮ダイヤル一覧から登録または編集する番号を選択します。
		名称	送付先の登録名称を設定します。短縮ダイヤル選択後に表示します。
		ヨミガナ	名称の読みを設定します。名称確定後に表示します。
	クイックダイヤル設定		クイックダイヤル一覧から登録または編集する番号を選択します。
	宛先設定全削除		短縮ダイヤル、クイックダイヤルの全登録内容を削除します。

* ファクスモデルのみ表示されます。

管理者設定の項目一覧

（ __ ：初期値）

分類	設定項目	表示 / 設定範囲
パスワード設定	パスワードの変更	管理者パスワードを設定します。パスワードは 20 桁まで入力できます。
	パスワード制限範囲	制限しない、I/F 項目のみ、全項目 ［I/F 項目のみ］を選択すると、インターフェイスの設定値を変更する場合にパスワードの入力が必要になります。 ［全項目］を選択すると、実行機能も含めすべての機能にパスワードの入力が必要になります。 ［制限しない］を選択すると、本製品のすべての設定項目の変更についてパスワードの入力は必要ありません。
初期モード		コピー、スキャン、プリント、ファクス *1 デバイスを起動した際にどのモード（コピー / プリント など）を表示させるか選択します。
ユーザー認証機能 *2	ユーザー認証	しない、認証ユーザーのみ許可、ネットワークユーザーを許可 どのようにユーザー認証するか選択します。 しない：ユーザー認証機能を使用しません。 認証ユーザーのみ許可：認証デバイスで認証されない限り、パネル操作はできません。ネットワークスキャンや PC-FAX などもできません。 ネットワークユーザーを許可：認証デバイスで認証されない限り、パネル操作はできません。ただし、ネットワークスキャンや PC-FAX などのネットワーク上の操作は許可されます。
	認証プロキシ IP アドレス	認証プロキシ for MFP がインストールされているサーバの IP アドレスを入力します。
設定初期化		管理者設定を工場出荷時の設定に戻します。

*1 ファクスモデルのみ表示されます。

*2 オプションのスロットに PRIFNW7S が接続されているときのみ表示されます。

宛先 / 保存先の登録方法

宛先や保存先の登録には、操作パネルから登録する方法と、ソフトウェア EpsonNet Config から登録する方法があります。

！重要　ファクス送受信文書が存在している場合（蓄積文書ランプが点灯している場合）はファクス宛先を変更しないでください。

操作パネルから宛先 / 保存先登録

操作パネルからスキャンデータ送信用の［メールアドレス］、［保存先フォルダ］およびファクス送信用の［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］を登録する方法を説明します。

参考

- ファクス送信用の［メールアドレス］、［保存先フォルダ］の登録 / 編集方法は、以下を参照してください。
  本書 59 ページ「基本情報の設定」
- ［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］は、ファクスモデルのみの機能です。
  登録できるダイヤル機能には、複数の宛先に同報送信する［グループダイヤル］もあります。
- ファクス送信用の［グループダイヤル］は、ソフトウェア EpsonNet Config から登録します。
- スキャン設定の［機能］タブー［レポート印刷］からメールアドレスリストと PC フォルダリストが印刷できます。
  本書 224 ページ「スキャンモードの設定項目」

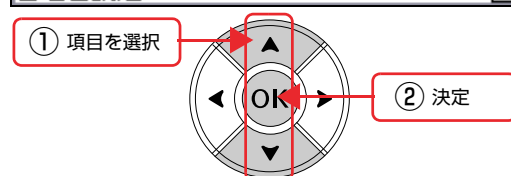
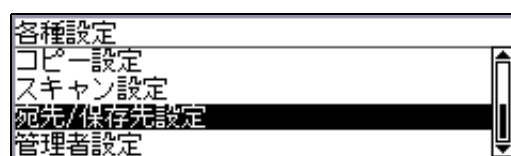
送信先メールアドレスの登録 / 編集

スキャンデータ送信先のメールアドレスは、最大 50 件まで登録できます。

受信ファクス出力先のメールアドレス登録 / 編集方法は、以下を参照してください。

本書 61 ページ「メール設定」

1 **［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **［▲］または［▼］ボタンを押して［宛先 / 保存先設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

3 **［▲］または［▼］ボタンを押して［メールアドレス］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

4 **［▲］または［▼］ボタンを押して［未登録］の番号を選択し、［編集］に対応する［F3］ボタンを押します。**

［未登録］と表示されないときは、すべてのメールアドレスが登録済みです。不要なメールアドレスを削除してください。

本書 108 ページ「選択して削除」

登録済みのメールアドレスを選択して［F3］ボタンを押すと、内容を変更できます。

5 **メールアドレスを入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）でメールアドレスを入力します。
入力モード（英字 / 数字）を切り替えるには、［F4］ボタンを押します。
［メールアドレス］は半角で 64 文字まで入力できます。
入力例）user01@po.hoge.net

② 入力が終了したら、［OK］ボタンを押します。

参考

- メールアドレスを入力しないと、名称とヨミガナの項目が設定できません。
- 入力した文字を削除するには、[◀] または [▶] ボタンで消したい文字を選択して、[C] キーを押します。

6 **名称を入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）で名称を入力します。
入力モード（カナ / 英字 / 数字）を切り替えるには、[F4] ボタンを押します。
[名称] は半角で 20 文字まで入力できます。

② 入力が終了したら、[OK] ボタンを押します。

参考

- 全角で登録するには、コンピュータからソフトウェア EpsonNet Config を使って登録してください。
☞ 本書 110 ページ「EpsonNet Config から登録する」
- 入力した文字を削除するには、[◀] または [▶] ボタンで消したい文字を選択して、[C] キーを押します。
- 名称を入力すると、ヨミガナも入力されます。

7 **必要に応じてヨミガナを変更し、[OK] ボタンを押します。**

[ヨミガナ] は半角で 20 文字まで入力できます。

8 **モードの初期画面になるまで [戻る] ボタンを押します。**

設定モードが終了します。

以上で終了です。

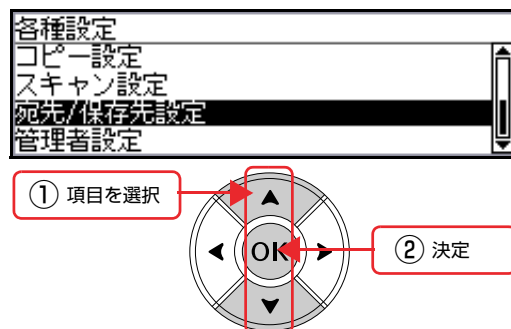
送信先フォルダの登録 / 編集

スキャンデータの送信先フォルダは、最大 10 件まで登録できます。

受信ファクス出力先のフォルダ登録 / 編集方法は、以下を参照してください。

本書 60 ページ「PC 保存先の設定」

1 **[各種設定] ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **[▲] または [▼] ボタンを押して [宛先 / 保存先設定] を選択し、[OK] ボタンを押します。**

3 **[▲] または [▼] ボタンを押して [保存先フォルダ] を選択し、[OK] ボタンを押します。**

4 **[▲] または [▼] ボタンを押して [未登録] の番号を選択し、[編集] に対応する [F3] ボタンを押します。**

[未登録] と表示されないときは、すべてのフォルダが登録済みです。不要なフォルダを削除してください。
☞ 本書 108 ページ「選択して削除」

登録済みの保存先フォルダを選択して [F3] ボタンを押すと、内容を変更できます。

5 **フォルダパスを入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）でフォルダパスを入力します。
入力モード（カナ / 英字 / 数字）を切り替えるには、[F4] ボタンを押します。
[フォルダパス] は 107 文字まで入力できます。

[フォルダパス] は保存先コンピュータの IP アドレス、またはドメイン名、デバイス名との組み合わせで入力します。

入力例）フォルダパス「share\pc001」IP アドレス「192.168.1.10」の場合
「\\192.168.1.10\share\pc001」

② 入力が終了したら、[OK] ボタンを押します。

参考

- ［フォルダパス］はドメイン名でも指定できます。ドメイン名で指定する場合はお使いの環境にDNS サーバが設定されている必要があります。
  入力例）ドメイン名「epson.net」、デバイス名「xyz9876」の場合
  「\\xyz9876.epson.net \share\pc001」
- 「\」（バックスラッシュ）や「.」（ドット）などの記号は、アルファベット入力モードで［#］を何回か押すと入力できます。
- 全角で登録するには、コンピュータからソフトウェア EpsonNet Config を使って登録してください。
  本書 110 ページ「EpsonNet Config から登録する」
- フォルダパスを入力しないと、名称とヨミガナの項目が表示されず設定できません。
- 入力した文字を削除するには、［◀］または［▶］ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。

6 **名称を入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）で名称を入力します。
入力モード（カナ / 英字 / 数字）を切り替えるには、［F4］ボタンを押します。
［名称］は半角で 20 文字まで入力できます。
② 入力が終了したら、［OK］ボタンを押します。

参考

- 全角で登録するには、コンピュータからソフトウェア EpsonNet Config を使って登録してください。
  本書 110 ページ「EpsonNet Config から登録する」
- 消去するには、［クリア］ボタンを押します。
- 名称を入力すると、ヨミガナも入力されます。

7 **必要に応じてヨミガナを変更し、［OK］ボタンを押します。**

［ヨミガナ］は半角で 20 文字まで入力できます。

8 **共有フォルダの認証ユーザー名を入力し、［OK］ボタンを押します。**

［認証ユーザー名］は半角で 30 文字まで入力できます。
ユーザー名はドメイン名を付加して指定できます。ドメイン名は 15 文字以下にしてください。
入力例）ドメイン名「epson」、ユーザー名「user01」の場合、ユーザー名は「epson\user01」になります。

9 **共有フォルダの認証パスワードを入力し、［OK］ボタンを押します。**

［認証パスワード］は半角で 20 文字まで入力できます（＊は使用できません）。

10 **モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。**

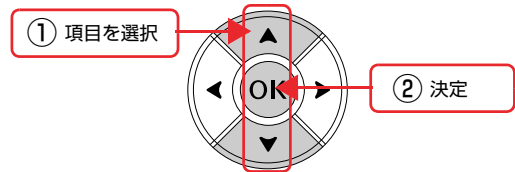
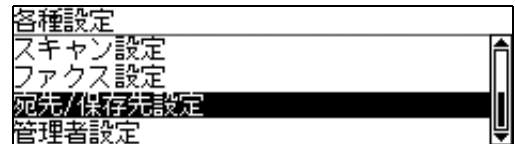
設定モードが終了します。

以上で終了です。

短縮ダイヤルの登録 / 編集

短縮ダイヤルは、最大 200 件まで登録できます。

1 **［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **［▲］または［▼］ボタンを押して［宛先 / 保存先設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

3 **［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス番号］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

4 **［▲］または［▼］ボタンを押して［短縮ダイヤル設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

5 **［▲］または［▼］ボタンを押して［未登録］の番号を選択し、［編集］に対応する［F3］ボタンを押します。**

［未登録］と表示されない場合は、すべての短縮ダイヤルが登録済みです。不要な短縮ダイヤルを削除してください。
本書 108 ページ「選択して削除」

登録済みの短縮ダイヤル番号を選択して［F3］ボタンを押すと、内容を変更できます。

6 **電話番号を入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）で番号を入力します。
［電話番号］は 50 文字まで入力できます。
② 入力が終了したら、［OK］ボタンを押します。

参考

- 番号を入力しないと、名称とヨミガナの項目が表示されず設定できません。
- 入力した文字を削除するには、［◀］または［▶］ボタンで消したい文字を選択して、［C］キーを押します。
- ［＊］キーを押すと「＊」、［#］キーを押すと「#」を入力します。

7 **名称を入力します。**

① テンキー（ダイヤルボタン）で名称を入力します。入力モード（カナ / 英字 / 数字）を切り替えるには、[F4] ボタンを押します。
[名称] は半角で 16 文字まで入力できます。

② 入力が終了したら、[OK] ボタンを押します。

参考

- 全角で登録するには、コンピュータからソフトウェア EpsonNet Config を使って登録してください。
☞ 本書 110 ページ「EpsonNet Config から登録する」
- 入力した文字を削除するには、[◀] または [▶] ボタンで消したい文字を選択して、[C] キーを押します。
- 名称を入力すると、ヨミガナも入力されます。

8 **必要に応じてヨミガナを変更し、[OK] ボタンを押します。**

[ヨミガナ] は半角で 8 文字まで入力できます。

9 **モードの初期画面になるまで [戻る] ボタンを押します。**

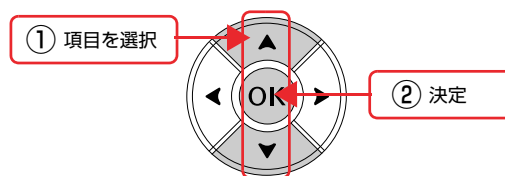
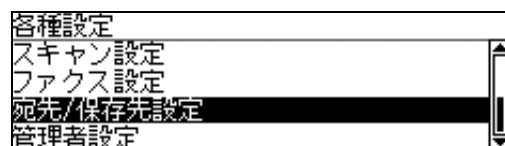
設定モードが終了します。

以上で終了です。

クイックダイヤルの登録 / 編集

クイックダイヤルとして、操作パネル上の [01] ～ [12] ボタンにすでに登録されている短縮ダイヤルを割り当てることができます。

1 **[各種設定] ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **[▲] または [▼] ボタンを押して [宛先 / 保存先設定] を選択し、[OK] ボタンを押します。**

3 **[▲] または [▼] ボタンを押して [ファクス番号] を選択し、[OK] ボタンを押します。**

4 **[▲] または [▼] ボタンを押して [クイックダイヤル設定] を選択し、[OK] ボタンを押します。**

5 **[▲] または [▼] ボタンを押して [未登録] の番号を選択してから、[編集] に対応する [F3] ボタンを押します。**

登録済みのクイックダイヤル番号を選択して [F3] ボタンを押すと、内容を変更できます。

6 **[▲] [▼] ボタンでクイックダイヤルに登録する短縮ダイヤル番号を選択し、[OK] ボタンを押します。**

[詳細] に対応する [F4] ボタンを押すと、選択している短縮ダイヤルの詳細情報を確認できます。

7 **モードの初期画面になるまで [戻る] ボタンを押します。**

設定モードが終了します。

以上で終了です。

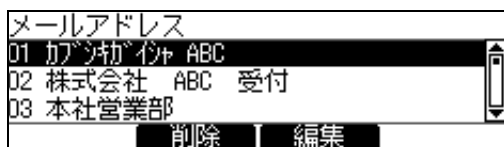
操作パネルから宛先 / 保存先削除

操作パネルから登録した宛先/保存先を削除する方法を説明します。

選択して削除

1 ［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。

2 削除する宛先を設定する画面を表示させます。

- ［宛先 / 保存先設定］ ー ［メールアドレス］
- ［宛先 / 保存先設定］ ー ［保存先フォルダ］
- ［宛先 / 保存先設定］ ー ［ファクス番号］ ー ［短縮ダイヤル設定］
- ［宛先 / 保存先設定］ー［ファクス番号］ー［クイックダイヤル］

［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］は、ファクスモデルのみの機能です。

3 ［▲］または［▼］ボタンを押して削除する宛先を選択し、［削除］に対応する［F2］ボタンを押します。

4 ［する］に対応する［F3］を押して、削除します。

5 モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。

設定モードが終了します。

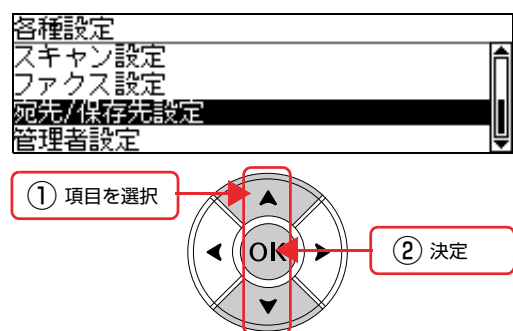
以上で終了です。

すべて削除

［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］を一括して削除する方法を説明します。

［短縮ダイヤル］、［クイックダイヤル］は、ファクスモデルのみの機能です。

1 ［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ［▲］または［▼］ボタンを押して［宛先 / 保存先設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

3 ［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス番号］を選択し、［OK］ボタンを押します。

4 ［▲］または［▼］ボタンを押して［宛先設定全削除］を選択し、［OK］ボタンを押します。

5 ［する］に対応する［F3］を押し、短縮ダイヤルに登録されているすべての番号を削除します。

6 モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。

設定モードが終了します。

以上で終了です。

宛先帳機能を使う

宛先帳機能を使うと、あらかじめ登録してある一覧から宛先を選択できます。

一覧に表示される宛先は、登録番号順で検索できますが、ヨミガナを登録してある場合は、ABC 順、50 音順に切り替えて表示できます。

宛先帳は、ファクスモードとスキャンモードで利用できます。ここでは、スキャンモードのメール送信での使い方を例に説明します。

宛先を検索して［詳細表示］に対応する［F2］ボタンを押すと、宛先の詳細情報を確認できます。

宛先を表示する（登録番号順）

1 ［スキャン］ボタンを押し、原稿をセットします。

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

2 ［メール］に対応する［F3］ボタンを押します。

3 宛先帳を選択します。

① ［基本設定］タブで［メール設定］に対応する［F1］ボタンを押します。

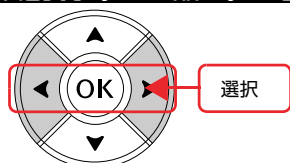
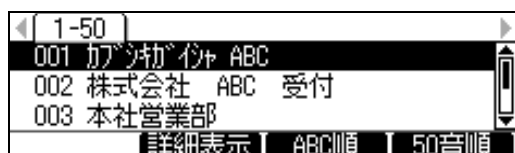
② ［F1］ボタンを押して［宛先］を選択します。

③ ［F1］ボタンを押して［宛先帳］を選択します。

4 カナ順の表示になっている場合は、［ID 順］に対応する［F4］を押します。

すでに［ID 順］の表示になっている場合は、手順 5 へ進みます。

5 ［◀］または［▶］ボタンを押して、検索したい番号に対応するタブを選択します。

「017」を検索したい場合は、「1-50」と表示されているタブを選択します。

6 ［▲］または［▼］ボタンを押して、検索したい宛先を選択し、［OK］を押します。

以上で終了です。

ヨミガナで検索する

1 ［スキャン］ボタンを押し、原稿をセットします。

スキャンランプが点灯して、スキャンモードになります。

2 ［メール］に対応する［F3］ボタンを押します。

3 宛先帳を選択します。

① ［基本設定］タブで［メール設定］に対応する［F1］ボタンを押します。

② ［F1］ボタンを押して［宛先］を選択します。

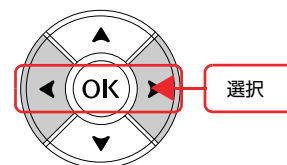
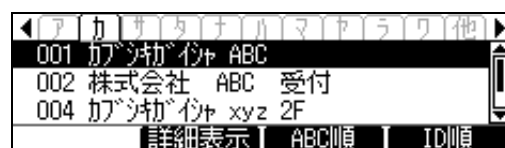
③ ［F1］ボタンを押して［宛先帳］を選択します。

4 登録番号順の表示になっている場合は、［50 音順］に対応する［F4］を押します。

すでに［50 音順］の表示になっている場合は、手順 5 へ進みます。

50 音順と英数順を切り替える場合は、［F3］ボタンを押します。

5 ［◀］または［▶］ボタンを押して、検索したいヨミガナの先頭の文字に対応するタブを選択します。

「カブシキガイシャ」を検索したい場合は、「カ」と表示されているタブを選択します。

6 ［▲］［▼］ボタンを押して、検索したい宛先を選択し、［OK］を押します。

以上で終了です。

EpsonNet Configから登録する

EpsonNet Config は、ネットワークなど本製品の各種機能や宛先/保存先の登録ができるアプリケーションソフトです。Windows 版、Mac OS 版、Web 版があります。

ここでは、インストールやソフト / ヘルプの起動方法を説明します。宛先の登録方法やその他の設定方法は、それぞれのヘルプを参照してください。

EpsonNet Configをインストールする

EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）のインストール手順を説明します。Web 版はネットワークインターフェイスに内蔵されているため、インストールは不要です（ただしネットワークインターフェイスおよびコンピュータに IP アドレスが設定されていないと使えません）。

インストールするには、管理者の権限を持つユーザーでログインしてください。

参考
- 本文中のソフトウェア CD-ROM の画面は、実際の表示と異なることがあります。
- Mac OS X 独自のファイルフォーマット「UNIX ファイルシステム」には対応していません。

1 **コンピュータに本製品のソフトウェア CD-ROM をセットします。**

Windows Vista：［自動再生］画面の［プログラムのインストール / 実行］で発行元がSEIKO EPSONであることを確認してからクリック

Mac OS X：表示されたアイコンをダブルクリックしてから、フォルダ内の［Mac OS X］をダブルクリック

2 **モデル選択画面が表示されたときは、お使いの機種を選択します。**

3 **［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリックします。**

Windows Vista：［ユーザーアカウント制御］画面で［続行］をクリックしてから、［ネットワークソフトウェアのインストール］をクリック

4 **［EpsonNet Config（設定ツール）］の ▶ をクリックします。**

5 **この後は、画面の指示に従ってインストールしてください。**

Mac OS X では、インストール終了後に［再起動］をクリックします。

以上で終了です。

EpsonNet Configの起動

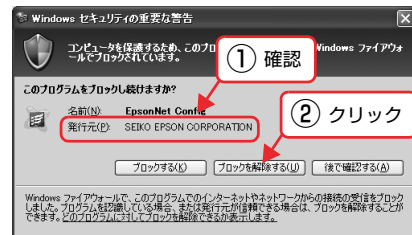
Windows の場合

1 **［スタート］（または ）－［すべてのプログラム］（または［プログラム］）－［EpsonNet］－［EpsonNet Config V3］－［EpsonNet Config］の順にクリックして起動します。**

Windows Vista：

［ユーザーアカウント制御］画面が表示されるので［続行］をクリック

以下の画面が表示されたら、発行元が「SEIKO EPSON CORPORATION」であることを確認して、［ブロックを解除する］または［続行］をクリックしてください。［ブロックする］をクリックしたときは、EpsonNet Config（Windows）を Windows ファイアウォールに登録してください。

また、市販のファイアウォールソフトウェアをインストールしていると、ファイアウォールソフトウェア関連の画面が表示されることがあります。ソフトウェアの取扱説明書を参照して、一時的に通信を許可してください。

Mac OS X の場合

1 **［Macintosh HD］をダブルクリックした後、［アプリケーション］フォルダをダブルクリックします。**

［Macintosh HD］の名前を変更しているときは、Mac OS を起動中のハードディスクアイコンをダブルクリックしてください。

2 **［EpsonNet］フォルダをダブルクリックします。**

3 **［EpsonNet Config V3］フォルダをダブルクリックします。**

4 **［EpsonNet Config ］をダブルクリックして、ソフトウェアを起動します。**

Web 版の場合

Windows の場合はWeb ブラウザを起動しネットワークインターフェイスのIP アドレスをアドレスバーに入力して、[Enter] または [return] キーを押します。

このとき、EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS) を起動させないでください。

書式)https:// ネットワークインターフェイスの IP アドレス /

例) https://192.168.100.201/

IP アドレスを自動取得にしているときは、IP アドレスが変わることがあります。以前に入力した IP アドレスやブックマークなどを利用して指定しても EpsonNet Config (Web) が起動できないときは、操作パネルまたはネットワークステータスシートで本製品の IP アドレスを確認してください。

Mac OS X で Safari から起動する場合は、以下の手順で起動してください。

1 メニューから [Safari] − [環境設定] を選択します。

2 [ブックマーク] ウィンドウで、以下の項目にチェックを付けます。

ブックマークバー : Bonjour を表示 (または Rendezvous を含める)
ブックマークメニュー : Bonjour を表示 (または Rendezvous を含める)

3 アドレスバー下のメニューに追加された [Bonjour] (または [Rendezvous]) をクリックし、リストから本製品 (Bonjour/Rendezvous プリンタ名) を選択します。

EpsonNet Config (Web) が Safari 上で表示されます。
このとき、EpsonNet Config (Windows) / (Mac OS) は起動しないでください。

以上で終了です。

オンラインヘルプの起動方法

ソフトウェア EpsonNet Config の詳細は、『EpsonNet Config オンラインガイド』または『EpsonNet Config Help』を参照してください。

『EpsonNet Config オンラインガイド』は、[ヘルプ] − [EpsonNet Config ヘルプ] をクリックすると表示されます。

『EpsonNet Config Help』は Web ブラウザで表示された画面上部にある [Help] をクリックすると表示されます。

使用上の注意

- 操作パネルの設定とソフトウェア EpsonNet Config の設定を同時にしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。
- ファクス操作中 (ファクスモード、各種設定モード) は、ソフトウェア EpsonNet Config を使って宛先を変更しないでください。
- 通信中 (データのアップロード / ダウンロード) は、コンピュータから印刷しないでください。
- EPSON ステータスモニタが起動しているときは、EPSON ステータスモニタを終了してください。

よく使う設定の登録

よく使う設定を標準値として登録

コピー機能の両面コピーや部単位コピー、スキャン機能の両面スキャン、解像度、ファクス機能の画質、ADF 両面など、頻繁に使用する設定を標準値（各モードボタンを押したときに表示される初期画面の設定）として登録できます。

標準値設定を登録しておくと、コピー、スキャン、ファクスをするたびに設定を変更する必要がないため便利です。

1 **モードのボタンを押します。**
[コピー］ボタンまたは［スキャン］ボタン、［ファクス］ボタンを押します。

2 **設定を変更します。**
コピーまたはスキャン、ファクスの設定を変更します。

3 **［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。**

4 **［コピー設定］または［スキャン設定］、［ファクス設定］を選択します。**
［▲］または［▼］ボタンを押して機能を選択して、［OK］ボタンを押します。

5 **［コピー標準値設定］または［スキャン標準値設定］、［ファクス標準値設定］を選択します。**
［▲］または［▼］ボタンを押して機能を選択して、［OK］ボタンを押します。

6 **［する］に対応する［F3］ボタンを押します。**

7 **モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。**
設定モードが終了します。

以上で終了です。

ジョブメモリへの登録 / 呼び出し

コピー機能とスキャン機能の設定をジョブメモリとして各機能 8 件まで登録し、コピー / スキャン時に呼び出して利用できます。

ジョブメモリは複数の異なる設定状態を使い分ける場合に便利です。

よく使う設定をジョブメモリに登録

1 **モードのボタンを押します。**
［コピー］ボタンまたは［スキャン］ボタンを押します。

2 **設定を変更します。**
コピーまたはスキャンの設定を変更します。
コピーのときは、用紙選択が自動または給紙装置の用紙サイズが A3、B4、A4、B5、A5、はがきになっていることを確認してください。

3 **［ジョブメモリ］ボタンを押します。**
ジョブメモリ選択画面が表示されます。

4 **［▲］または［▼］ボタンを押して［空き］のジョブメモリ番号を選択し、［登録］に対応する［F2］ボタンを押します。**
現在の設定内容が選択したジョブメモリに保存されます。

［登録済み］のジョブメモリ番号を選択し、［削除］に対応する［F2］ボタンを押すと、ジョブメモリを削除できます。

5 **［閉じる］に対応する［F4］ボタンを押します。**

以上で終了です。

ジョブメモリの呼び出し

1 **［ジョブメモリ］ボタンを押します。**
ジョブメモリ選択画面が表示されます。

2 **［▲］または［▼］ボタンを押して目的のジョブメモリ番号を選択し、［呼び出し］に対応する［F1］ボタンを押します。**
設定内容が選択したジョブメモリの設定内容に変更されます。

以上で終了です。

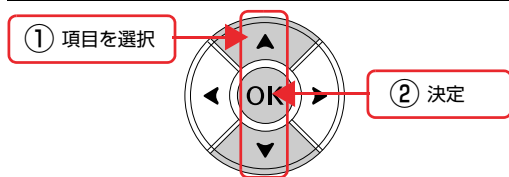
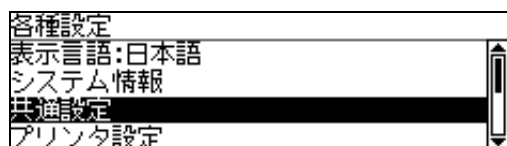
IP アドレスを操作パネルから設定

本製品をネットワークで使用する際の IP アドレス・サブネットマスク・ゲートウェイアドレスを、操作パネルから設定する方法を説明します。

標準ネットワークインターフェイスの設定

本製品の標準ネットワークインターフェイスの設定は以下の手順に従ってください。

1 **[各種設定] ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **[▲] または [▼] ボタンを押して [共通設定] を選択し、[OK] ボタンを押します。**

3 **[▲] または [▼] ボタンを押して [ネットワーク設定] を選択し、[OK] ボタンを押します。**

4 **[ネットワーク I/F= 使う] が表示されていることを確認します。[ネットワーク I/F= 使わない] になっている場合は、以下の手順で設定を変更します。**

① [OK] ボタンを押します。
② [▲] または [▼] ボタンで [使う] を選択し、[OK] ボタンを押します。

5 **[▲] または [▼] ボタンを押して [IP アドレス設定 = パネル] が表示されていることを確認します。[IP アドレス設定 = パネル] になっていない場合は、以下の手順で設定を変更します。**

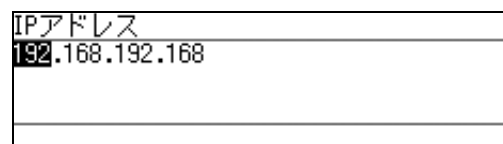
① [OK] ボタンを押します。
② [▲] または [▼] ボタンで [パネル] を選択し、[OK] ボタンを押します。

6 **[IP] / [SM] / [GW] を選択します。**

[▲] または [▼] ボタンを押して [IP] / [SM] / [GW] からいずれかを選択し、[OK] ボタンを押します。

設定項目	意味
IP	IP アドレスを設定します。 (初期設定：192.168.192.168)
SM	サブネットマスクを設定します。 (初期設定：255.255.255.0)
GW	ゲートウェイアドレスを設定します。 (初期設定：255.255.255.255)

7 **テンキーでアドレスを入力し、[OK] ボタンで決定します。**

続いて、手順 6 に戻り、[SM]、[GM] を設定します。

8 **モードの初期画面になるまで [戻る] ボタンを押します。**

設定モードが終了します。

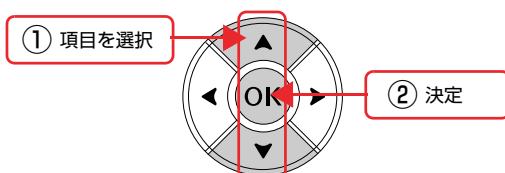
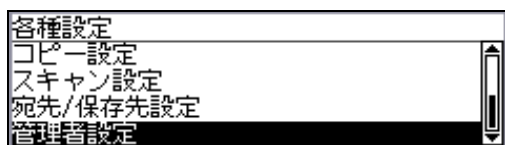
以上で終了です。
設定した IP アドレスは本製品の電源を再投入することで有効になります。

管理者パスワードの設定

本製品では、［設定モード］の設定値を変更する場合の管理者パスワードを設定できます。管理者パスワードを設定すると、設定値を変更しようとした場合に、パスワードの入力が必要になるように設定できます。

ここでは、管理者パスワードの設定方法について説明します。

1 ［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。

2 ［▲］または［▼］ボタンを押して［管理者設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

3 テンキーで管理者パスワードを入力し、［OK］ボタンを押します。

初期設定ではパスワードなしになっているため、入力せずに［OK］ボタンを押します。

4 ［▲］または［▼］ボタンを押して［パスワード設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

5 ［▲］または［▼］ボタンを押して［パスワードの変更］を選択し、［OK］ボタンを押します。

6 テンキーで現在のパスワードを入力し、［OK］ボタンを押します。

初期設定ではパスワードなしになっているため、入力せずに［OK］ボタンを押します。

7 テンキーで新しいパスワードを入力し、［OK］ボタンを押します。

8 再度新しいパスワードを入力します。

手順 7 の作業を繰り返します。

9 ［▲］または［▼］ボタンを押して［パスワード制限範囲］を選択し、［OK］ボタンを押します。

設定項目	意味
制限しない	本製品のすべての設定項目の変更に対して、パスワードの入力を要求しません。
I/F 項目のみ	インターフェイスの設定値を変更する場合にパスワードの入力が必要になります。
全項目	実行機能も含めすべての機能にパスワードの入力が必要になります。

パスワードは、ソフトウェア EpsonNet Config（Windows）/（Mac OS）と本製品の操作パネルでの設定で共通に使用するものです。それぞれのユーティリティを使う場合やパネル設定を行う場合は、パスワードの管理に注意してください。

10 モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。

設定モードが終了します。

以上で終了です。

7 保守・管理

消耗品の交換方法、本製品を経済的に使う方法、トラブルの対処方法などを記載しています。

消耗品の交換

トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックスの交換方法を説明します。

⚠警告
- 消耗品（トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックス）を、火の中に入れないでください。
  トナーが飛び散って発火し、火傷するおそれがあります。
- 製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
  感電や火傷のおそれがあります。

!重要
本製品はエプソン製のトナーカートリッジ使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されております。エプソン製以外のものをご使用になると、本製品の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本製品の性能が発揮できない場合があります。エプソン製以外のものをご使用したことにより発生した不具合については保証いたしませんのでご了承ください。

消耗品の交換時期

以下のような現象が発生するときは、感光体ユニットまたはトナーカートリッジが劣化しているか消耗している可能性があります。交換を知らせるメッセージが表示されなくても、交換することをお勧めします。

- 印刷が薄くかすれる、不鮮明
- 周期的に汚れが発生する

印刷が薄くかすれるときは、まずトナーカートリッジの残量が十分か、[トナーセーブ] の設定がされていないかを確認した上でトナーカートリッジ/感光体ユニットを交換してください。

[トナーセーブ] は、本製品の操作パネル（ [印刷書式設定] ）またはプリンタドライバの [詳細設定] 画面（Windows）/ [プリンタの設定]（Mac OS X）で設定できます。

消耗品の残量は、本製品の操作パネル（[状態確認] ボタン）または EPSON ステータスモニタ（[消耗品] 画面）で確認できます。
☞ 本書 88 ページ「操作パネルによる設定 / 確認」
☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「プリンタの監視」

トナーカートリッジ、感光体ユニット、廃トナーボックスは、各商品に規定されている寿命まで使用できます。ただし、使用状況（電源入 / 切の回数、紙詰まり処理の回数、連続的に印刷または数ページずつ時間をおいて印刷するなど）によって異なります。交換時期は、本製品の操作パネルやコンピュータ（EPSON ステータスモニタをインストールしている場合）に表示してお知らせします。

保管上のご注意

- 直射日光を避け、梱包された状態で、温度 0 ～ 35 ℃、湿度 20 ～ 80%の結露しない場所に保管してください。
- 立てたり傾けた状態で保管しないでください。

使用済み消耗品の処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

- 回収
  使用済みの消耗品（トナーカートリッジ･感光体ユニット）は、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。
  ☞ 本書 119 ページ「回収」
- 廃棄
  一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

トナーカートリッジの交換

トナーカートリッジの交換方法を説明します。
本製品で使用できるトナーカートリッジは以下を参照してください。

☞ 本書214ページ「消耗品/オプション/定期交換部品一覧」

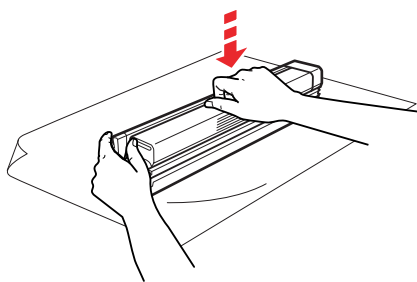
⚠注意
トナーカートリッジを交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。
トナーがこぼれて、本製品の周囲や衣服などに付いて汚れる恐れがあります。

トナーカートリッジ交換の前に

「＊＊＊＊ トナーカートリッジを交換してください」というメッセージが表示されたときでも、トナーカートリッジを取り出して軽くたたくと、印刷を継続できることがあります。
以下の方法で、トナー残量が回復するかお試しください。

1 **トナーカートリッジと感光体ユニットを一緒に取り出し、分離せずに、紙を敷いた上に置きます。**

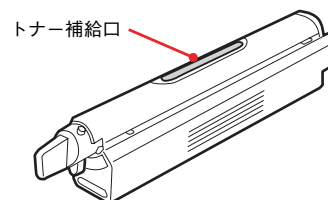
2 **トナーカートリッジの上から軽くたたきます。**

!重要
トナーカートリッジと感光体ユニットを分離した状態でトナーカートリッジをたたかないでください。

3 **トナーカートリッジと感光体ユニットを元に戻します。**

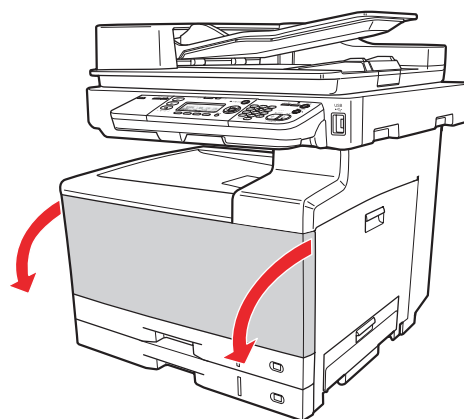
以上で終了です。

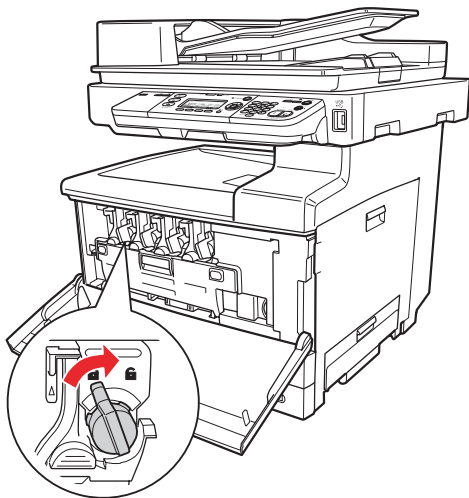
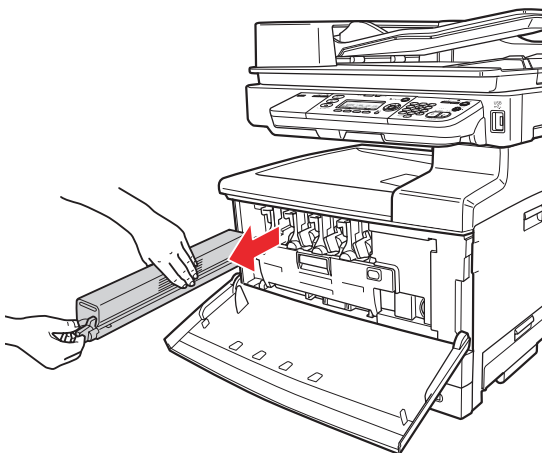
交換時のご注意

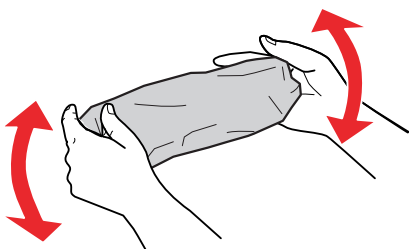
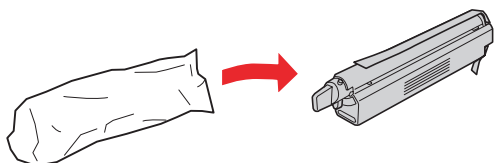
トナーカートリッジを交換するときは、以下のことに注意してください。

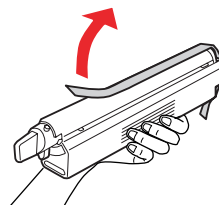
- カートリッジにトナーを補充しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。
- トナーのなくなったカートリッジは再利用しないでください。
- 寒い場所から暖かい場所に移したときは、トナーカートリッジを室温に慣らすため、未開封のまま 1 時間以上待ってから使用してください。
- トナーが手や衣服に付いたときは、すぐに水で洗い流してください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなります。
- カートリッジのトナー補給口には絶対に手を触れないでください。

交換手順

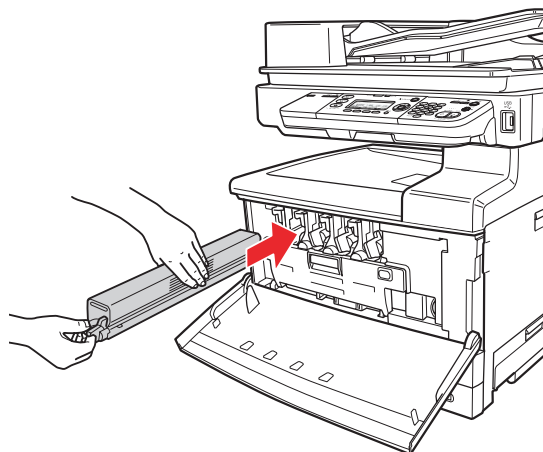
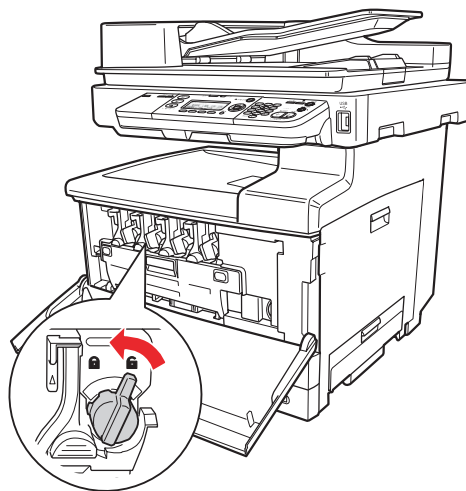
1 **操作パネルまたはEPSON ステータスモニタのメッセージを参照して、交換するトナーカートリッジの色を確認します。**
ブラック（K）
シアン（C）
マゼンタ（M）
イエロー（Y）

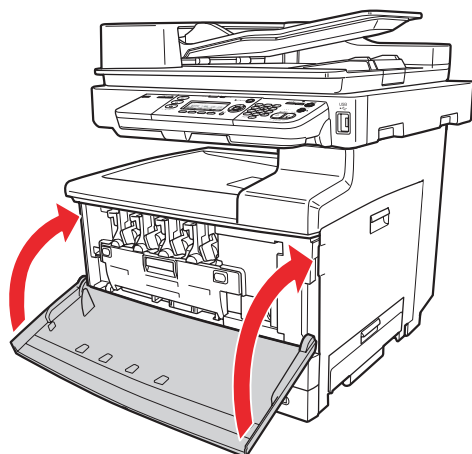
2 **カバー A を開けます。**

複数のトナーカートリッジを交換するときは、どの色から交換してもかまいません。
3 以降は、ブラックを例に説明します。

3 **トナーロックレバーを回してロックを解除します。**

4 **トナーカートリッジを引き抜きます。**

5 **新しいトナーカートリッジを、袋に入れたまま5～6 回振ります。**

振った後、トナーが片寄らないように水平にならしてください。

6 **トナーカートリッジを袋から出します。**

7 **テープをはがします。**

トナーがこぼれることがありますので、注意してテープをはがしてください。

8 **挿入口の色と位置を確認し、トナー補給口を下に向けてトナーカートリッジを挿入します。**

奥に突き当たるまで押し込んでください。

9 **トナーロックレバーを押しながら回して、ロック位置に合わせます。**

同時に他の色のトナーカートリッジも交換するときは 3 ～ 9 を繰り返します。

10 **カバー A を閉じます。**

11 **使用済みトナーカートリッジを再梱包します。**

新しいトナーカートリッジが梱包されていた箱と袋で、使用済みトナーカートリッジを再梱包してください。

トナーカートリッジの回収にご協力ください。

☞ 本書 119 ページ「回収」

以上で終了です。

回収

エプソン製のトナーカートリッジは、カートリッジ本体はもちろん、その梱包材などすべてを再利用できるリサイクル体制を整え、資源の有効利用と廃棄物ゼロの実現を目指しています。地球に優しい製品を提供する、エプソンが考える高性能のひとつです。環境保全のため、使用済みトナーカートリッジの回収にご協力いただきますようお願いいたします。

使用済みトナーカートリッジの梱包方法

使用済みトナーカートリッジの梱包には、新しいカートリッジの梱包箱を使用します。再梱包の方法は、カートリッジの梱包箱を参照してください。

回収方法

エプソンでは、環境保全活動の一環として、

- 回収ポストを全国の取扱販売店様に設置
- 宅配便等を利用した回収

により、使用済みトナーカートリッジの回収を進めています。

回収方法の詳細は、エプソン製のトナーカートリッジの梱包箱に同梱されております「ご案内シート」をご覧ください。また、エプソンのホームページでもご確認いただけます。

アドレス　http://www.epson.jp/toner/

ベルマーク運動

弊社は使用済みトナーカートリッジ回収でベルマーク運動に参加しています。学校単位で使用済みトナーカートリッジを回収していただき、弊社は回収数量に応じた点数を学校へ提供するシステムになっています。この活動により資源の有効活用と廃棄物の減少による地球環境保全を図り、さらに教育支援という社会貢献活動を行っております。詳細はエプソンのホームページをご覧ください。

アドレス　http://www.epson.jp/bellmark/

感光体ユニットの交換

感光体ユニットの交換方法を説明します。同梱されているトナーカートリッジも同時に交換してください。

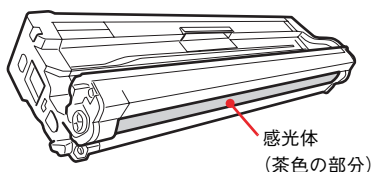
本製品で使用できる感光体ユニットは以下を参照してください。

☞ 本書214ページ「消耗品/オプション/定期交換部品一覧」

⚠注意

感光体ユニットを交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。
トナーがこぼれて、本製品の周囲や衣服などに付いて汚れる恐れがあります。

交換時のご注意

- 感光体ユニットの感光体（感光体ユニット下部の茶色の部分）には絶対に手を触れないでください。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質の低下や転写ユニットの故障の原因になります。またプリンタ本体の故障の原因にもなることがあります。

- 寒い場所から暖かい場所に感光体ユニットを移したときは、室温に慣らすため未開封のまま1時間以上待ってから使用してください。
- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。
- 感光体の表面に傷が付かないよう平らな台の上に置いてください。
- トナー補給口にホコリやゴミ（ステープル針、クリップなど）が入らないようにしてください。

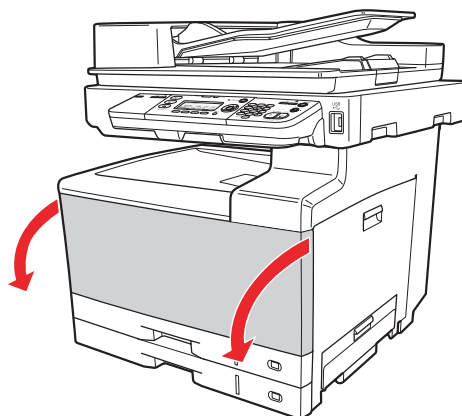
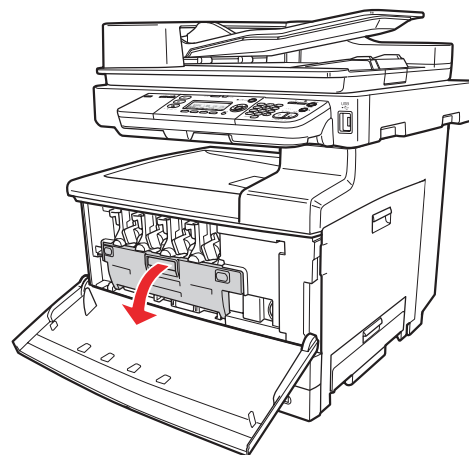
トナーカートリッジに関するご注意は以下を参照してください。

☞ 本書117ページ「トナーカートリッジの交換」

交換手順

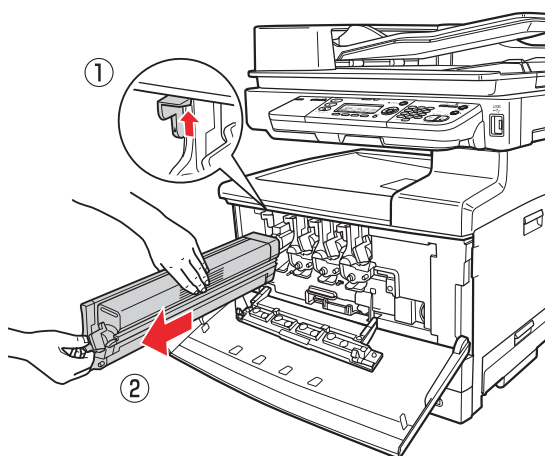
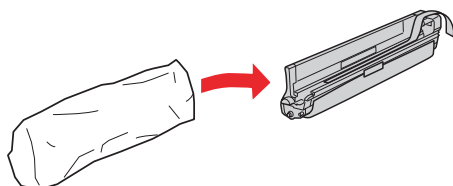
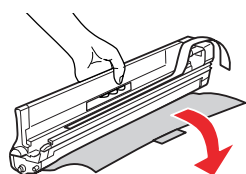
1 操作パネルまたはEPSONステータスモニタのメッセージを参照して、交換する感光体ユニットの色を確認します。

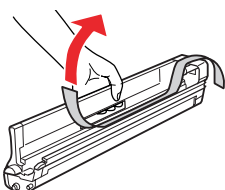
ブラック（K）
シアン（C）
マゼンタ（M）
イエロー（Y）

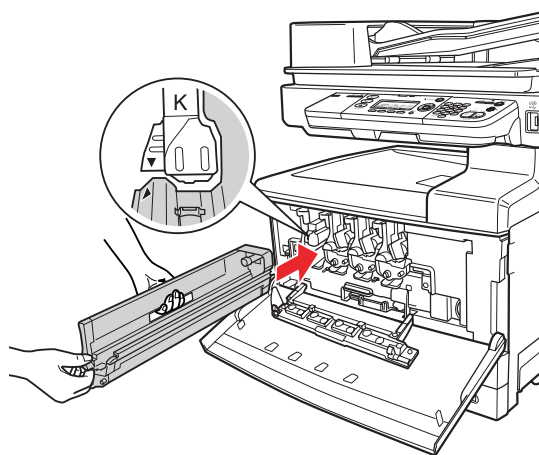
2 カバーAを開けます。

3 カバーHを開けます。

複数の感光体ユニットを交換するときは、どの色から交換してもかまいません。

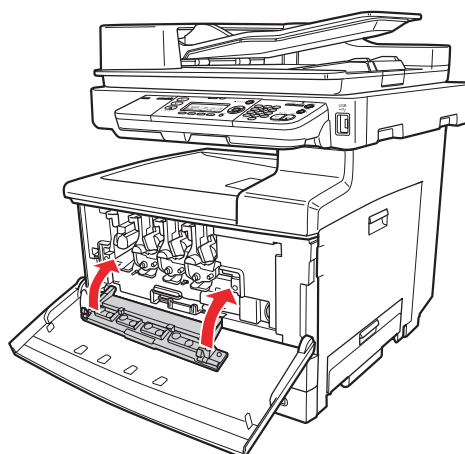
4 以降は、ブラックを例に説明します。

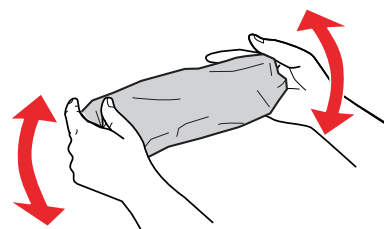
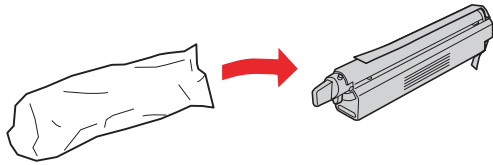
4 感光体ロックレバーを押し上げて、感光体ユニットとトナーカートリッジを一緒に引き抜きます。

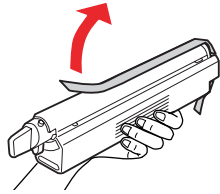
感光体ユニットとトナーカートリッジを分離しないでください。

5 新しい感光体ユニットを袋から取り出します。

6 感光体ユニットを図のように持って、保護シートを取り外します。

7 テープをはがします。

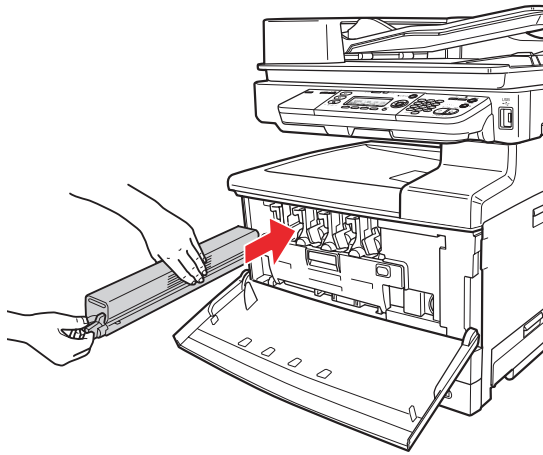
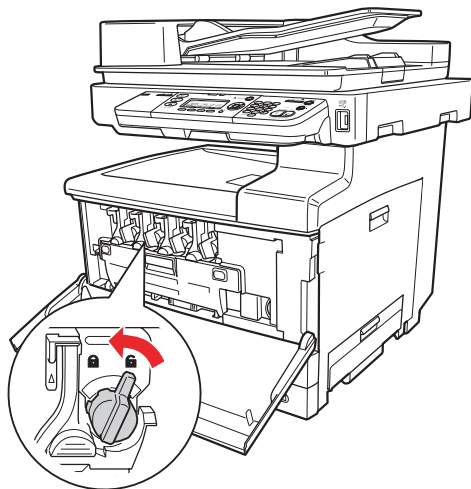
テープをはがした後は、トナーがこぼれますので傾けないでください。

8 挿入口の色と位置を確認し、マークを合わせて感光体ユニットを挿入します。

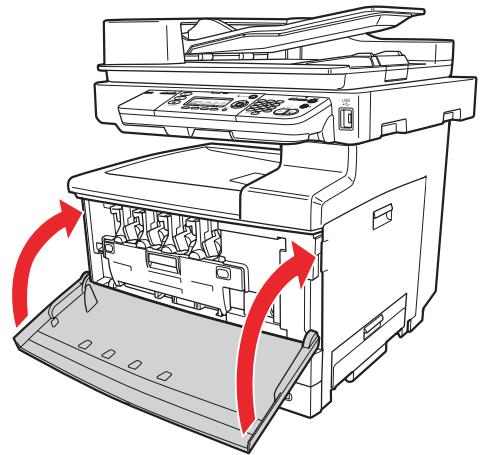
ロックされるまで押し込んでください。

同時に他の色の感光体ユニットも交換するときは4～8を繰り返します。

9 カバーHを起こし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。

10 新しいトナーカートリッジを、袋に入れたまま5～6回振ります。

振った後、トナーが片寄らないように平らにならしてください。

11 **トナーカートリッジを袋から出します。**

12 **テープをはがします。**

トナーがこぼれることがありますので、注意してはがしてください。

13 **挿入口の色と位置を確認し、トナー補給口を下に向けてトナーカートリッジを挿入します。**

奥に突き当たるまで押し込んでください。

14 **トナーロックレバーを押しながら回して、ロック位置に合わせます。**

同時に他の色のトナーカートリッジも交換するときは 10 ～ 14 を繰り返します。

15 **カバー A を閉じます。**

以上で終了です。

廃トナーボックスの交換

廃トナーボックスの交換方法を説明します。

本製品で使用できる廃トナーボックスは以下を参照してください。

☞ 本書214ページ「消耗品/オプション/定期交換部品一覧」

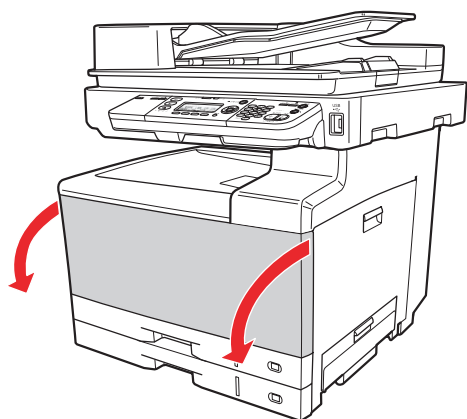
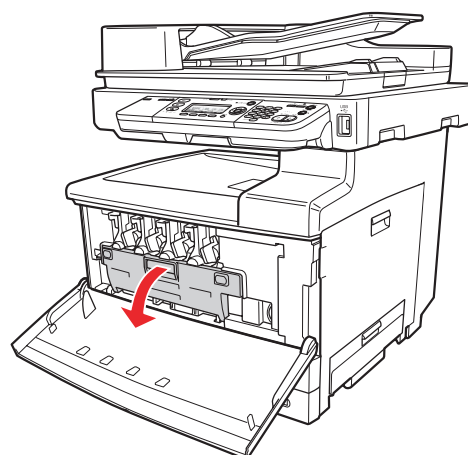
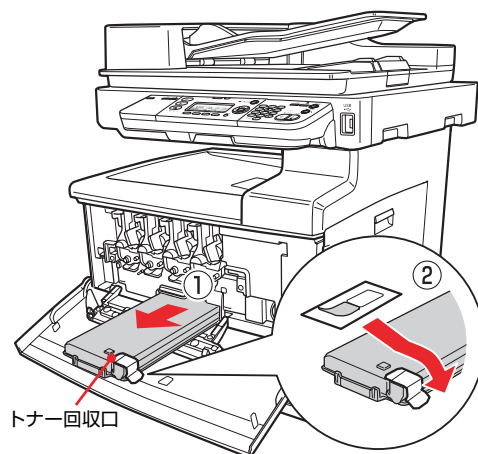
⚠注意

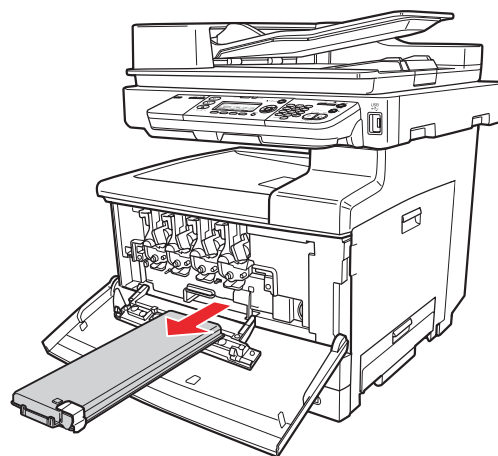
廃トナーボックスを交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。
トナーがこぼれて、本製品の周囲や衣服などに付いて汚れる恐れがあります。

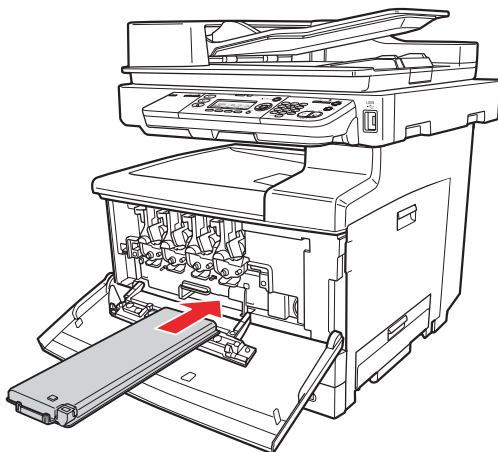
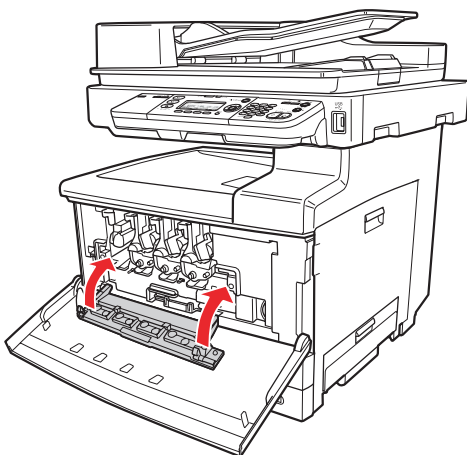
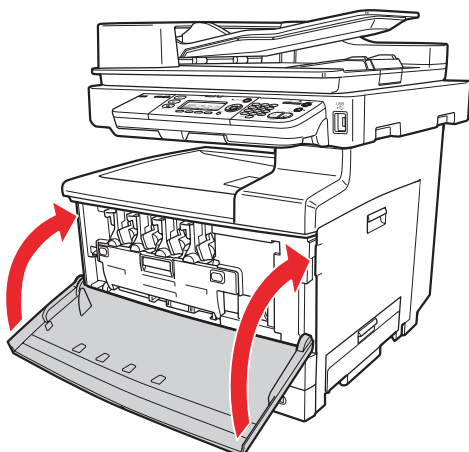
交換時のご注意

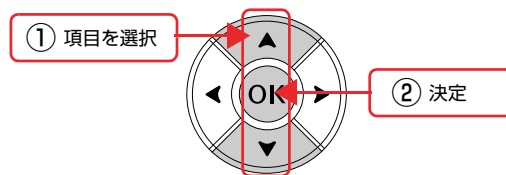
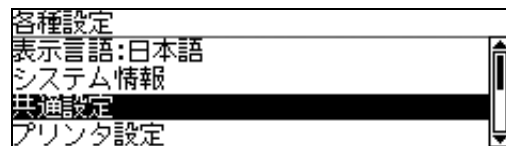
- 廃トナーボックスに入っているトナーは再利用しないでください。
- 使用済みの廃トナーボックスは、回収した廃トナーがこぼれないように、トナー回収口をシールでふさいでください。
- トナーがこぼれないよう、注意して作業してください。トナーは人体に無害ですが、こぼれたトナーが体や衣服に付着したときはすぐに水で洗い流してください。本製品内部にトナーがこぼれた場合は、きれいにふき取ってください。

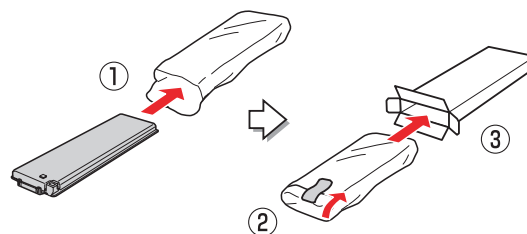
交換手順

1 カバーAを開けます。

2 カバーHを開けます。

3 廃トナーボックスを半分くらい引き出し、新しい廃トナーボックスに同梱されているシールでトナー回収口をふさぎます。

4 廃トナーボックスを引き抜きます。

!重要

取り出した廃トナーボックスを逆さまにしないでください。トナー回収口からトナーがこぼれるおそれがあります。

5 新しい廃トナーボックスを挿入します。

6 カバーHを起こし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。

7 カバーAを閉じます。

8 操作パネルで「廃トナーボックスライフリセット」を実行します。

① 操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。
② ［▲］または［▼］ボタンを押して［共通設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

③ ［▲］または［▼］ボタンを押して［リセット］を選択し、［OK］ボタンを押します。
④ ［▲］または［▼］ボタンを押して［廃トナーボックスライフリセット］を選択し、［OK］ボタンを押します。
⑤ ［する］に対応する［F3］ボタンを押します。
⑥ モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。

9 新しい廃トナーボックスが入っていたポリ袋に、取り外した廃トナーボックスを入れ、シールで封をして箱に入れます。

> **!重要**
>
> 取り外した廃トナーボックスを逆さまにしないでください。トナー回収口からトナーがこぼれるおそれがあります。

以上で終了です。

定期交換部品の交換

転写ユニットと定着ユニットは、交換時期を知らせるメッセージが表示されたら交換してください。

メンテナンスユニットの交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施します。交換時期を知らせるメッセージが表示されたときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。

☞ 本書裏表紙

使用済み定期交換部品の処分

一般家庭でお使いの場合は、ポリ袋などに入れて、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。事業所など業務でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

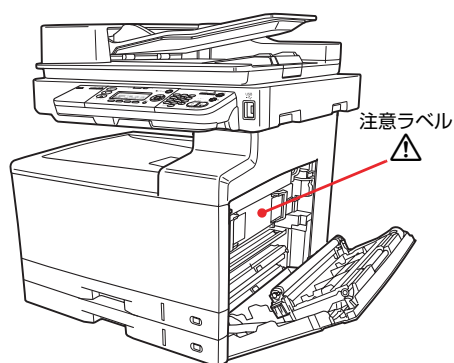
転写ユニットの交換

転写ユニットの交換方法を説明します。同梱されている転写ローラと廃トナーボックスも同時に交換してください。

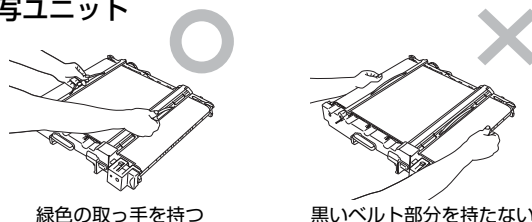
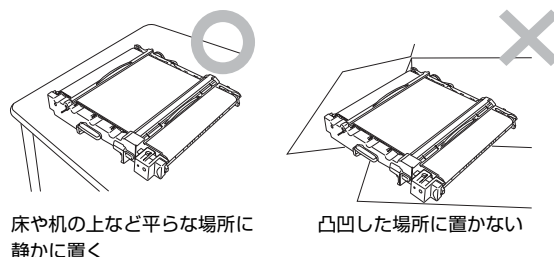
本製品で使用できる転写ユニットは以下を参照してください。

☞ 本書214ページ「消耗品/オプション/定期交換部品一覧」

⚠注意

- 使用中に本製品のカバーBを開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、本製品使用中に定着ユニットを取り外すときは、カバーBを開けた状態で15分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

- 転写ユニットを交換するときは、周囲に紙などを敷いてください。
トナーがこぼれて、本製品の周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

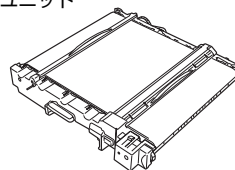
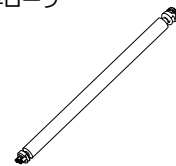
交換時のご注意

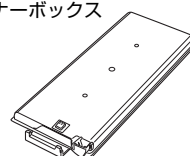
転写ユニットの黒いベルト部分や、転写ローラのスポンジ部分に手を触れたり、傷付けたりしないでください。指紋や傷が付くと、印刷品質に影響を及ぼすおそれがあります。交換するときは、緑色の取っ手（転写ユニットの上部2箇所、転写ローラの両端）を持ってください。

転写ローラ

左右の緑色の部分を持つ

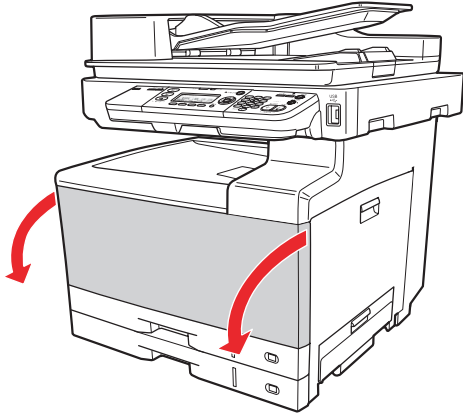
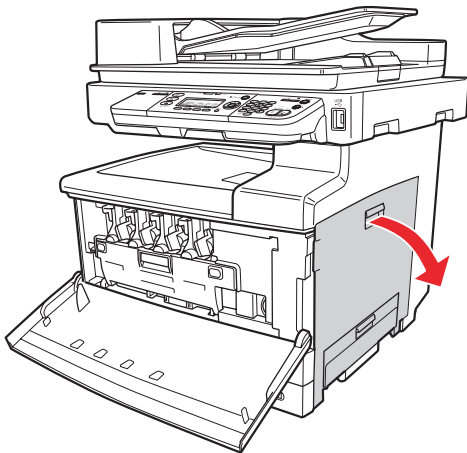
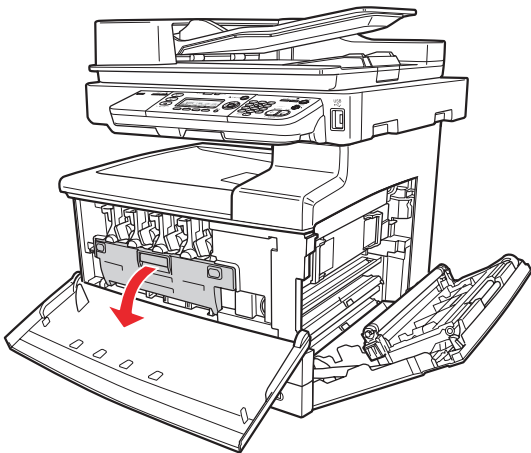
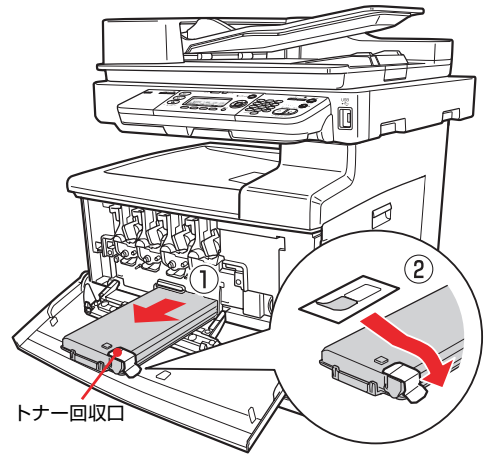
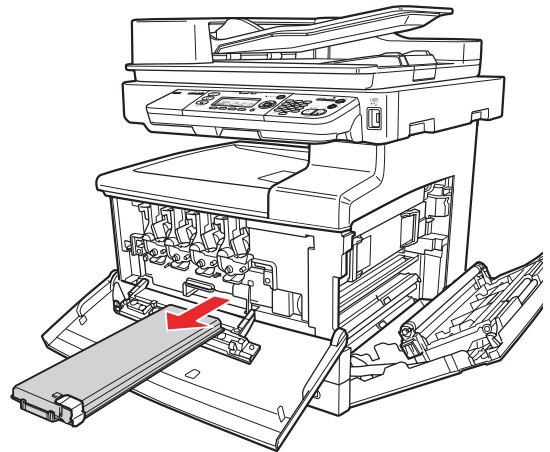
黒いローラ部分を持たない

同梱物一覧

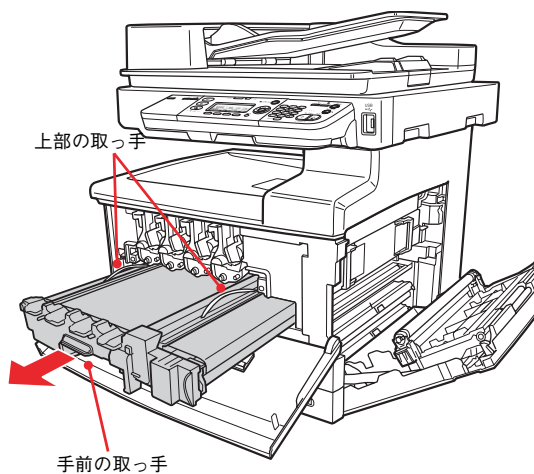
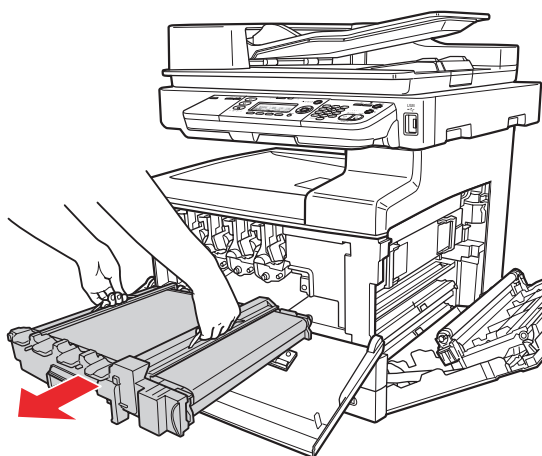
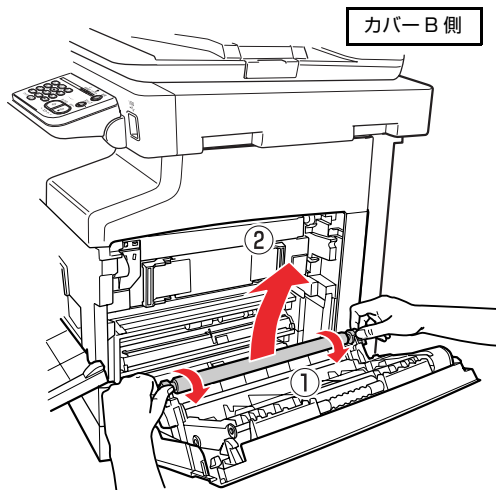
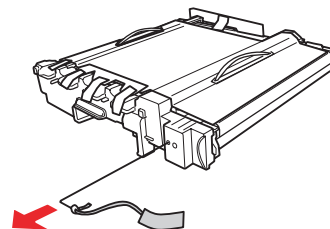
転写ユニット

転写ローラ

廃トナーボックス用のシール

廃トナーボックス

交換手順

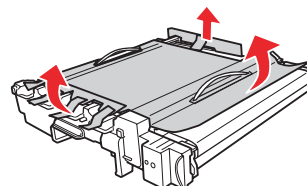
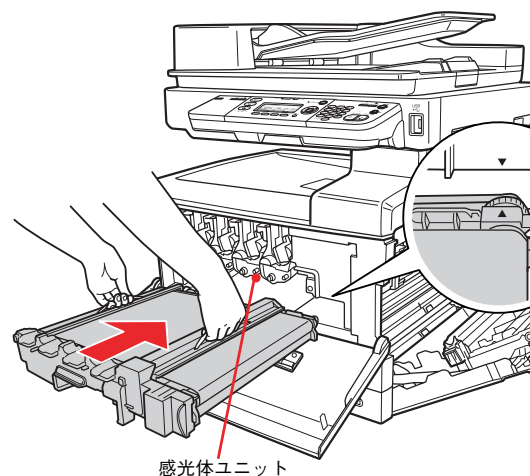
1 トナーがこぼれて汚れるおそれがあるため、本製品の周囲に紙などを敷きます。

2 カバー A を開けます。

3 カバー B を開けます。

4 カバー H を開けます。

5 廃トナーボックスを半分くらい引き出し、廃トナーボックス用のシールでトナー回収口をふさぎます。

6 廃トナーボックスを引き抜きます。

> **!重要**
> 取り出した廃トナーボックスを逆さまにしないでください。トナー回収口からトナーがこぼれるおそれがあります。

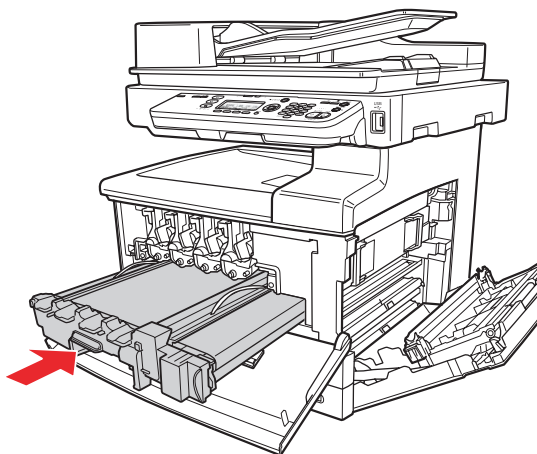
7 **転写ユニットの手前の取っ手を持って、上部の取っ手が見えるところまで引き出します。**

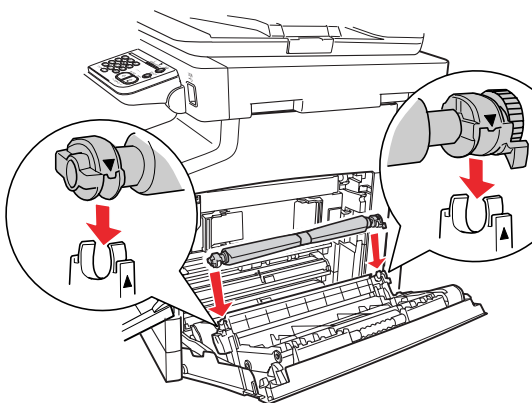
カバー A と B の両方が開いていないと、転写ユニットが引き出せません。

8 **上部の取っ手に持ち替えて、転写ユニットを引き抜きます。**

9 **左右の緑色の部分を持ち、転写ローラを手前に回しながら取り外します。**

10 **新しい転写ユニットを平らな場所に置き、保護具（針金）を引き抜きます。**

！重要

転写ユニットは、床や机など平らな場所に静かに置いてください。指紋や傷が付くと、印刷品質に影響を及ぼすおそれがあります。

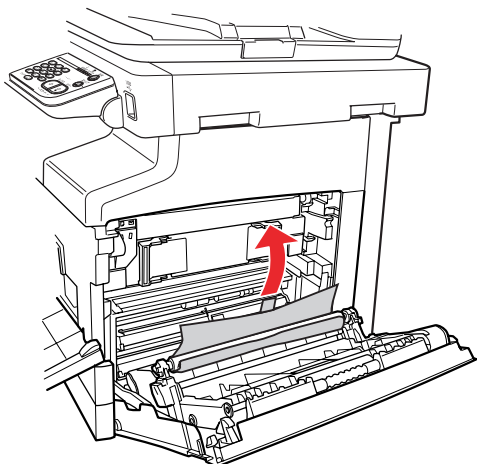
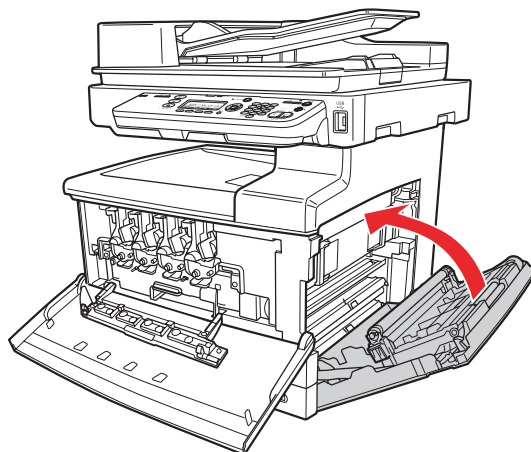
11 **転写ユニットの保護材を取り外します。**

12 **転写ユニットの上部の取っ手を持って、マークを合わせて途中まで挿入します。**

！重要

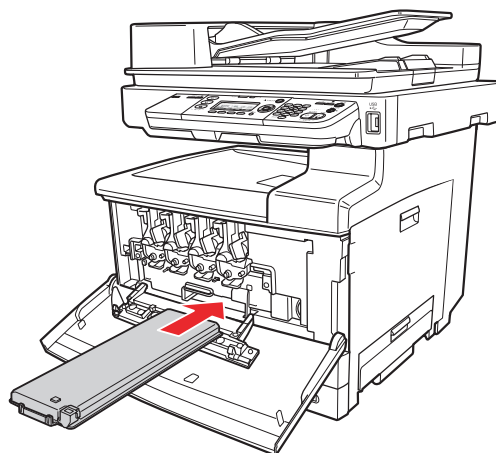
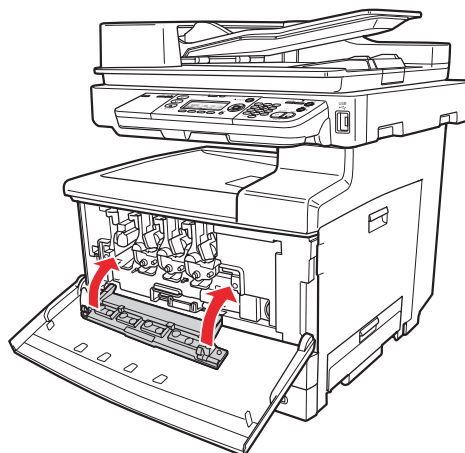
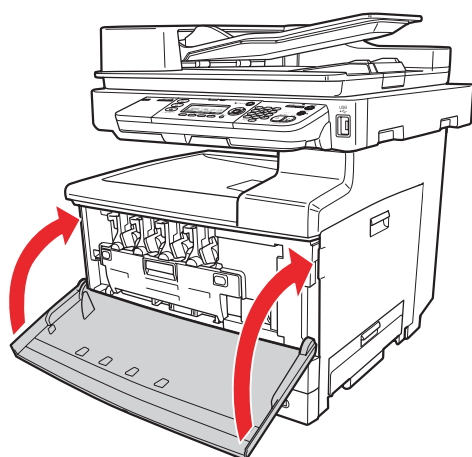
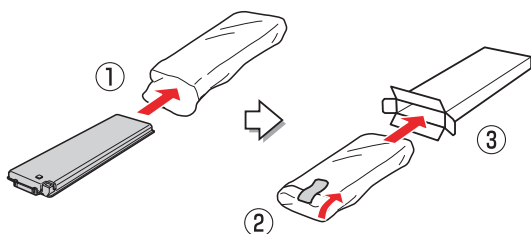
黒いベルト部分が感光体ユニットに当たって傷が付かないよう、水平に挿入してください。

13 **手前の取っ手に持ち替えて、奥に突き当たるまで押し込みます。**

14 **新しい転写ローラを、保護シートを付けたまま取り付けます。**

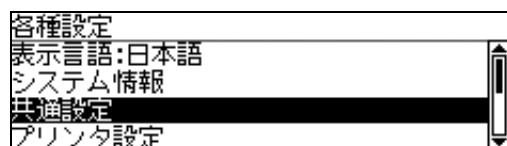
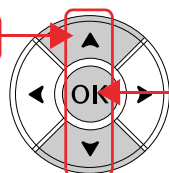
歯車のような部品がある方を右側にし、溝を下向きにして取り付けてください。

！重要

転写ローラを取り付けてから保護シートを取り外してください。ローラ部分に指紋などが付くと、印刷品質に影響を及ぼすおそれがあります。

15 **転写ローラの保護シートを取り外します。**

16 **カバー B を閉じます。**

17 **新しい廃トナーボックスを挿入します。**

新しい廃トナーボックスは、転写ユニットの箱の底に入っています。

18 **カバー H を起こし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。**

19 **カバー A を閉じます。**

20 **新しい廃トナーボックスが入っていたポリ袋に、取り外した廃トナーボックスを入れ、シールで封をして箱に入れます。**

> **！重要**
> 取り外した廃トナーボックスを逆さまにしないでください。トナー回収口からトナーがこぼれるおそれがあります。

21 **操作パネルで［転写ユニットライフリセット］を実行します。**

① 操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。
② ［▲］または［▼］ボタンを押して［共通設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

③ ［▲］または［▼］ボタンを押して［リセット］を選択し、［OK］ボタンを押します。
④ ［▲］または［▼］ボタンを押して［転写ユニットライフリセット］を選択し、［OK］ボタンを押します。
⑤ ［する］に対応する［F3］ボタンを押します。

22 **操作パネルで［廃トナーボックスライフリセット］を実行します。**

① ［▲］または［▼］ボタンを押して［廃トナーボックスライフリセット］を選択し、［OK］ボタンを押します。
② ［する］に対応する［F3］ボタンを押します。
③ モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。

以上で終了です。

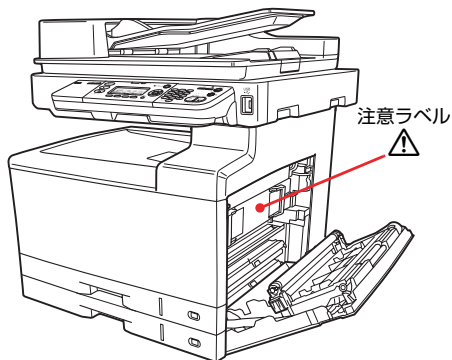
定着ユニットの交換

定着ユニットの交換方法を説明します。

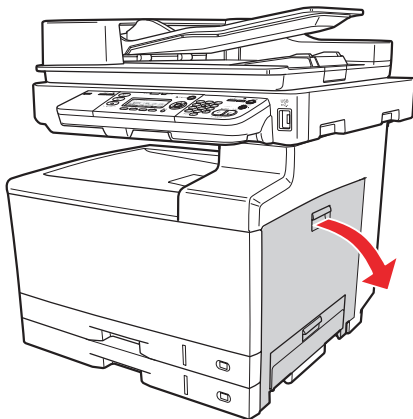
本製品で使用できる定着ユニットは以下を参照してください。

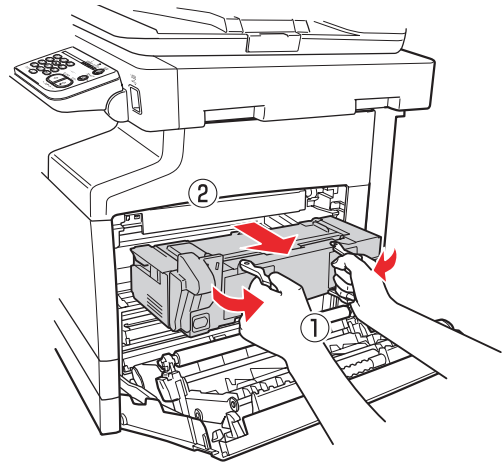
☞ 本書 214 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」

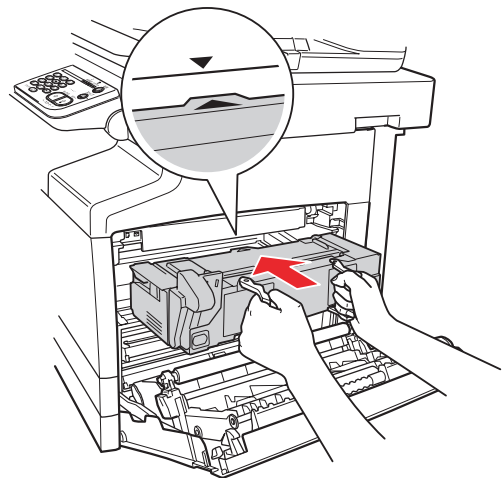
⚠注意

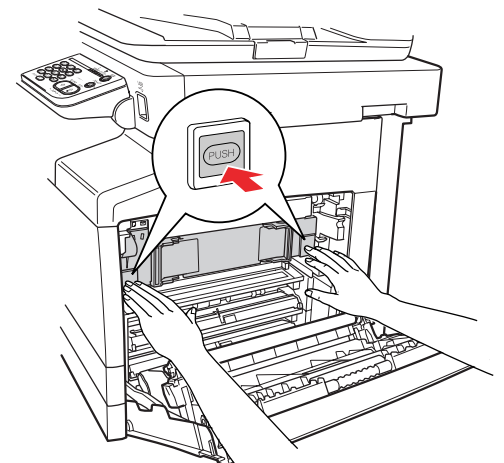
使用中に本製品のカバー B を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、本製品使用中に定着ユニットを取り外すときは、カバー B を開けた状態で 15 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

交換手順

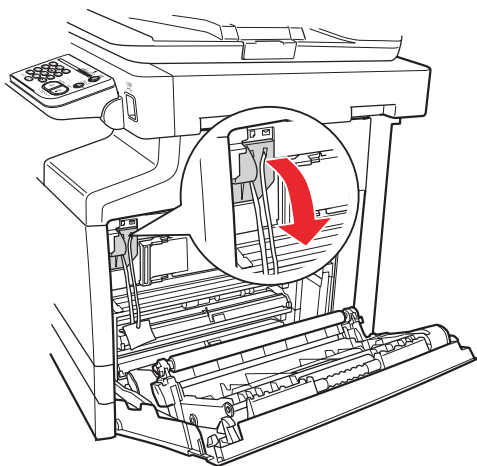
1 **カバー B を開けます。**

直前まで本製品を使用していたときは、カバー B を開けた状態で 15 分以上放置してから交換してください。

2 **緑色の取っ手を、カチッと音がするまで起こし、定着ユニットを引き抜きます。**

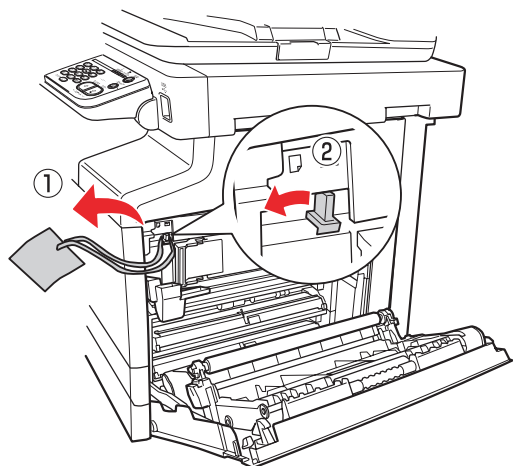
❗重要

定着ユニットは、着脱時に落とさないようにしてください。
本製品内部を破損するおそれがあります。

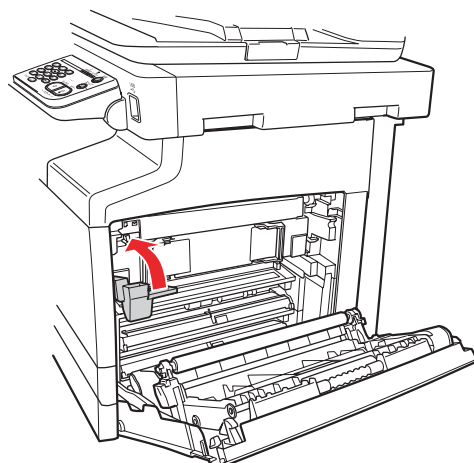
3 **新しい定着ユニットを、マークを合わせて挿入します。**

4 **取っ手から手を離し、左右の「PUSH」部分を押してカチッと音がするまで挿入します。**

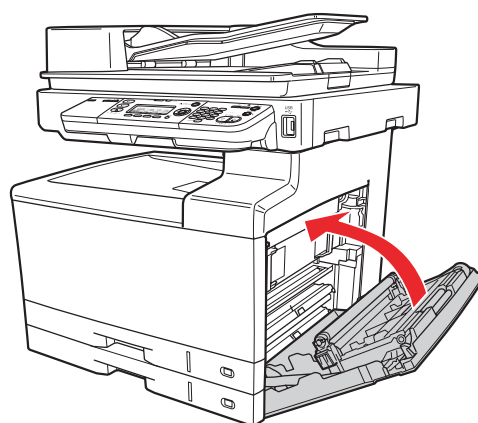
!重要

定着ユニットを奥まで確実に挿入してください。動作時に異音が発生することがあります。

5 緑色のリリースレバーを下げます。

!重要

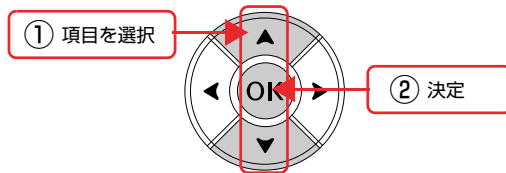
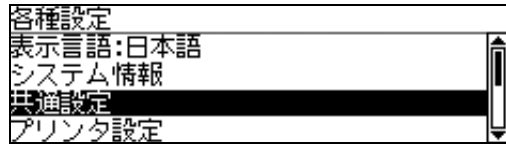
リリースレバーは、左側のラベルの「リリースレバー解除位置」まで下げてください。リリースレバーが完全に下がっていない状態で封筒レバーを無理に動かすと、封筒レバーが破損するおそれがあります。

6 タグを取り外し、封筒レバーを通常位置（左）に合わせます。

7 緑色のリリースレバーを元に戻します。

⚠注意

リリースレバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。
指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

8 カバー B を閉じます。

続いて、操作パネルで「定着ユニットライフリセット」を実行します。

9 **操作パネルで［定着ユニットライフリセット］を実行します。**

① 操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。
② ［▲］または［▼］ボタンを押して［共通設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

③ ［▲］または［▼］ボタンを押して［リセット］を選択し、［OK］ボタンを押します。
④ ［▲］または［▼］ボタンを押して［定着ユニットライフリセット］を選択し、［OK］ボタンを押します。
⑤ ［する］に対応する［F3］ボタンを押します。
⑥ モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。

以上で終了です。

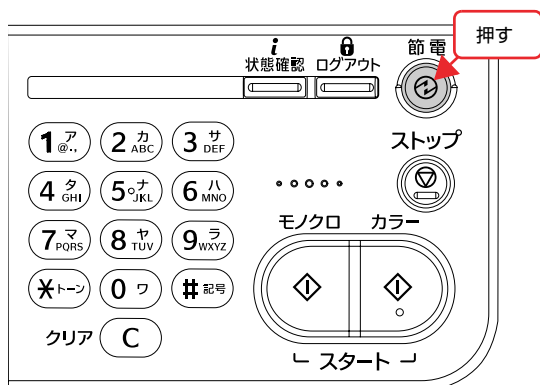
本製品を経済的に使う方法

本製品を経済的にお使いいただくための機能をご紹介します。用途に合わせてご活用ください。

ワンタッチ節電

ワンタッチ節電とは、操作パネルの操作で直ちに節電モードに移行または節電モードから復帰できる機能です。

ワンタッチ節電の使用方法

操作パネルの［節電］ボタンを押すと、ワンタッチ節電モードに入ります。節電モード中に押すと、復帰します。

参考

下記の操作で節電モードが解除されます。

- 再度［節電］ボタンを押した。
- 本製品の電源を再投入した。
- 本製品に印刷データが送られた。
- コンピュータからスキャン操作された。
- 操作パネルのいずれかのボタンを押した。
- 本製品のいずれかのカバーが開けられた。
- 原稿カバーまたはオートドキュメントフィーダが開けられた。
- USB メモリが挿入された。
- 認証機能でユーザー認証した。

待機時の節電

本製品は、最後の動作が終了してから一定時間が経過すると節電モードに入ります。節電モードに入ると、待機時の消費電力が節約できます。

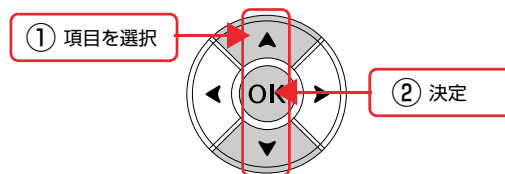
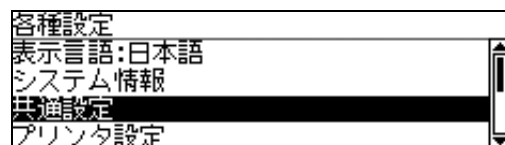
本製品は次の３つの部分ごとに節電モードに移行します。

部分	節電モードに移行する時間
プリンタ部	印刷しない状態が操作パネルで設定した時間（［節電時間］初期値 30 分）経過
スキャナ部	原稿カバーが閉じていて、スキャンしない状態が 5 分経過
操作パネル部	プリンタ部 / スキャナ部が節電状態で、ボタンを押下しない状態が 5 分経過

節電モードは、本製品を操作したり、コンピュータからデータ（印刷やスキャンなど）が送られると解除されますが、節電モードから復帰するときは、まずウォーミングアップを行いますので、動作開始まで数分かかることがあります。

プリンタ部の節電モードの設定時間は、使用状況に応じて5分～ 240 分に変更できます。

変更方法は以下の通りです。

1. 操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。
2. ［▲］または［▼］ボタンを押して［共通設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

3. ［▲］または［▼］ボタンを押して［デバイス設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。
4. ［▲］または［▼］ボタンを押して［節電時間］を選択し、［OK］ボタンを押します。

5 ［▲］または［▼］ボタンを押して節電モードに入るまでの時間を変更し、［OK］ボタンを押します。

設定値（5 分、15 分、30 分、60 分、120 分、180 分、240 分）が有効となり、設定項目の階層へ戻ります。

6 モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。

以上で終了です。

トナーセーブ（トナーの節約）

トナーセーブとは、トナーの消費量を抑えて印刷する機能です。カラー印刷時は、色の表現力を抑えることで、トナーの消費を約 30% 節約します。モノクロ印刷時は、輪郭部分のみを濃く印刷することで、トナーの消費を約 50% 節約します。

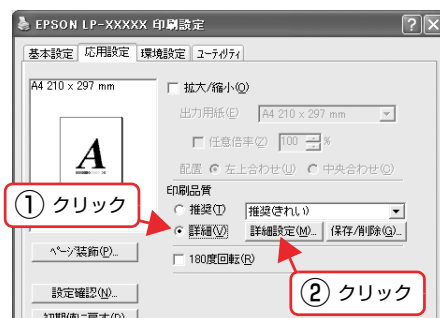
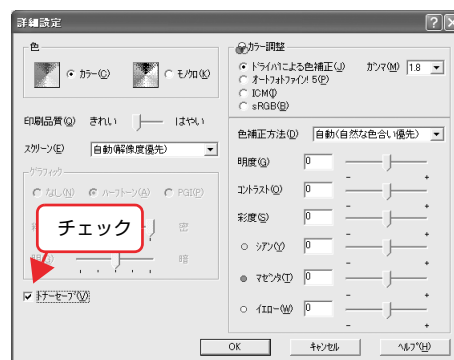
このため、トナーセーブ機能を使用して印刷すると、印刷が薄い、かすれるなど印刷品質が低下することがあります。試し印刷など、印刷品質にこだわらないときにご利用ください。

トナーセーブ機能の設定方法は以下の通りです。

Windows の場合

1 プリンタドライバの［応用設定］画面で［詳細］をクリックして、［詳細設定］をクリックします。

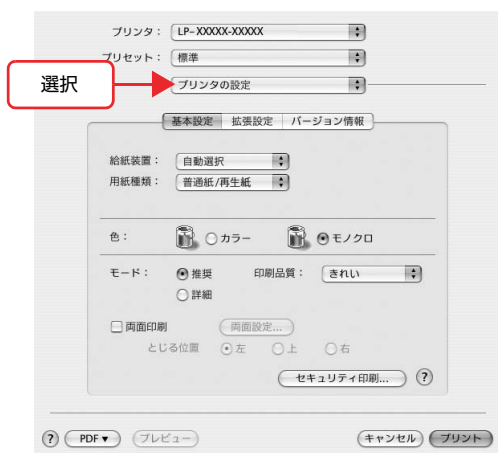
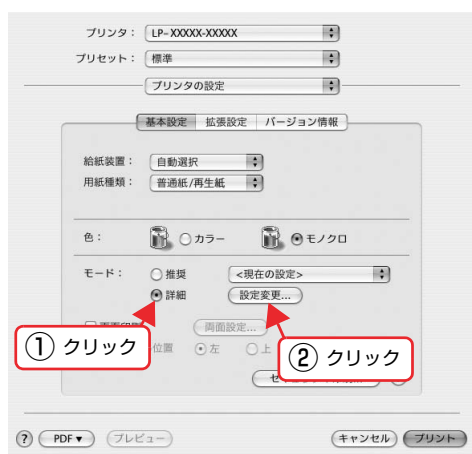
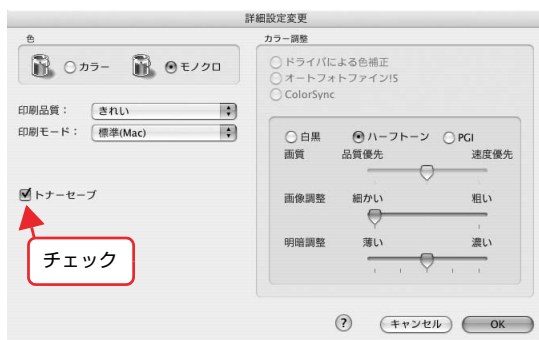
設定画面の開き方は以下を参照してください。

☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「印刷を始める前に（Windows）－「プリンタドライバの使い方」

2 ［トナーセーブ］をチェックします。

3 ［OK］をクリックして画面を閉じます。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

1 **プリンタドライバの［プリント］画面で、［プリンタの設定］を選択します。**

［プリント］画面の開き方は以下を参照してください。
☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「印刷を始める前に（Mac OS X）－「プリンタドライバの使い方」

2 **［プリンタの設定］画面で［詳細］をクリックして、［設定変更］をクリックします。**

3 **［トナーセーブ］をチェックします。**

4 **［OK］をクリックして画面を閉じます。**

以上で終了です。

本製品の状態・設定（ステータス）の確認

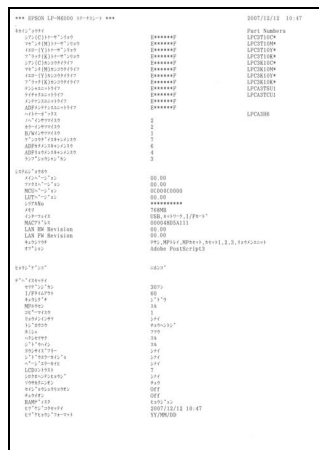
現在の本製品の状態や設定値を確認したいときは、ステータスシートを印刷します。
本製品本体やオプションの状態を表示するステータスシートと、ネットワークインターフェイスの設定内容を表示するネットワークステータスシートがあります。

ステータスシートの印刷

ステータスシートを印刷すると、消耗品残量や給紙装置の設定、その他の各種設定内容、ハードウェア環境などが確認できます。以下のようなときにステータスシートを印刷すると有効です。

- セットアップしたとき
- 本製品が正常に動作するか確認したいとき
- 本製品の状態・設定内容を確認したいとき
- オプションを取り付けたとき（正しく取り付けられると、記載内容に反映されます）

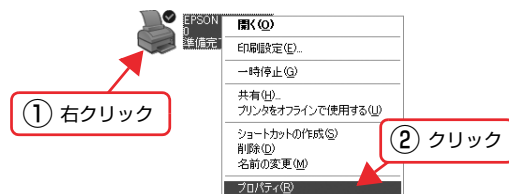
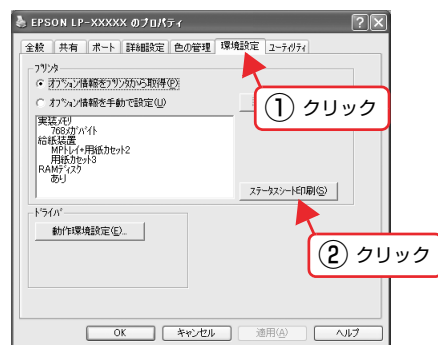
ステータスシートは、本製品の操作パネルまたはコンピュータ（Windows のみ）から印刷できます。
ここでは、コンピュータからの印刷方法について説明します。
操作パネルからの手順は以下を参照してください。
☞『取扱説明書 1 セットアップ編』（冊子）

ステータスシートの印刷例

1 ［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［ ］—［コントロールパネル］—［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］—［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］—［設定］—［プリンタ］をクリックします。

2 本製品のアイコンを右クリックして、表示されたメニューで［プロパティ］をクリックします。

3 ［環境設定］タブをクリックして、［ステータスシート印刷］をクリックします。

以上で終了です。

ネットワークステータスシートの印刷

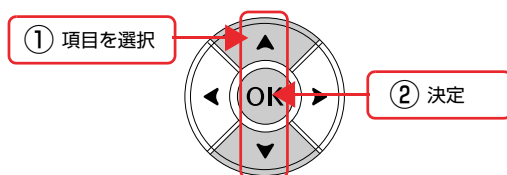
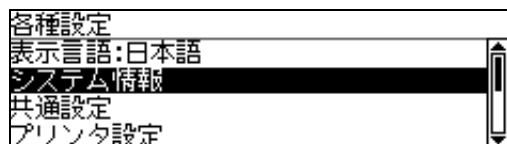
ネットワークステータスシートを印刷すると、ネットワークインターフェイスの設定状況が確認できます。MAC アドレスや、設定した IP アドレスなどの情報が記載されています。

ネットワークステータスシートの印刷例

```
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
HH EPSON Network Status Sheet (1/3) HH
HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH
<General Information>
Card Type                       EPSON Built-in 10Base-T/100Base-TX Print Server
MAC Address                     00:00:00:00:00:00
Hardware                        00.00
Software                        00.00
Printer Model                   LP-M6000
Time                            2007-12-15 00:39:59 GMT+09:00

<Ethernet>
Network Status                  100BASE-TX, Full Duplex

<TCP/IP>
Get IP Address                  Manual
IP Address                      XXX.XXX.XXX.XXX
Subnet Mask                     255.255.255.0
Default Gateway                 XXX.XXX.XXX.XXX
APIPA                           Disable
Set using PING                  Disable
Acquisition way of DNS ADDR     Disable
DNS Server Address              (NONE)
                                (NONE)
                                (NONE)
Acquire Host/Domain name        Disable
Host Name                       LP-M6000-D5A111
Domain Name                     (NONE)
Register the NW I/F to DNS      Disable
  Register directly to DNS      Disable
Universal Plug and Play         Disable
  Device Name                   (NONE)
Bonjour                         Disable
  Bonjour Name                  (NONE)
  Bonjour Printer Name          (NONE)
  Bonjour Service               (NONE)

HHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHHH LP-M6000 HH
```

印刷手順は以下の通りです。

1 **操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **［▲］または［▼］ボタンを押して［システム情報］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

3 **［▲］または［▼］ボタンを押して［レポート印刷］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

4 **［▲］または［▼］ボタンで［ネットワーク情報］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

ネットワーク情報シートが印刷されます。

5 **モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。**

以上で終了です。

本製品のリセット

本製品のリセット方法を説明します。

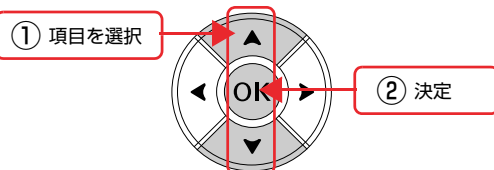
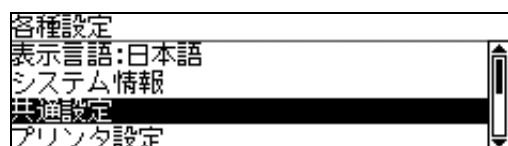
> **!重要** 操作パネルの設定とソフトウェア EpsonNet Config の設定を同時にしないでください。本製品が正常に動作しなくなるおそれがあります。

リセット

メモリに保存された印刷データを削除します。リセットには、［リセット］と［リセットオール］があります。

操作手順は以下の通りです。

1 **操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **［▲］または［▼］ボタンを押して［共通設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

3 **［▲］または［▼］ボタンを押して［リセット］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

4 **［▲］または［▼］ボタンを押して［リセット］または［リセットオール］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

項目	説明
リセット	現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データを破棄します。
リセットオール	電源を入れた直後の状態まで初期化するときに行ってください。すべてのインターフェイスに対してメモリに保存された印刷データを破棄します。

5 **リセットオールの場合は、［する］に対応する［F3］ボタンを押します。**

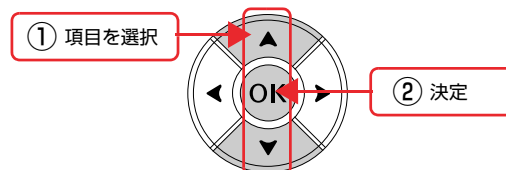
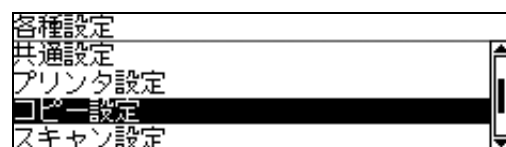
6 **モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。**

以上で終了です。

コピー設定を工場出荷時に戻す

操作パネルで設定したコピー設定を、工場出荷時の設定に戻します。

1 **操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **［▲］または［▼］ボタンを押して［コピー設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

3 **［▲］または［▼］ボタンを押して［コピー工場出荷時設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

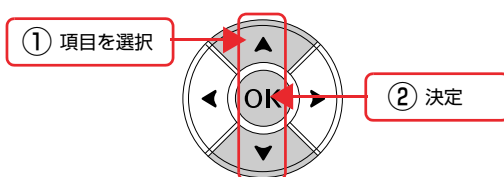
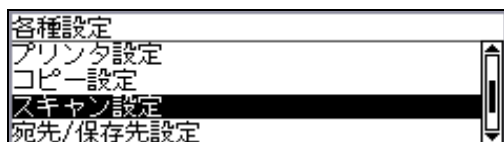
4 **［する］に対応する［F3］ボタンを押します。**
本製品が再起動し、工場出荷時設定に戻ります。

以上で終了です。

スキャン設定を工場出荷時に戻す

操作パネルで設定したスキャン設定を、工場出荷時の設定に戻します。

1. 操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。

2. ［▲］または［▼］ボタンを押して［スキャン設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

3. ［▲］または［▼］ボタンを押して［スキャン工場出荷時設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

4. ［▲］または［▼］ボタンを押して［工場出荷時設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

5. ［する］に対応する［F3］ボタンを押します。
本製品が再起動し、工場出荷時設定に戻ります。

以上で終了です。

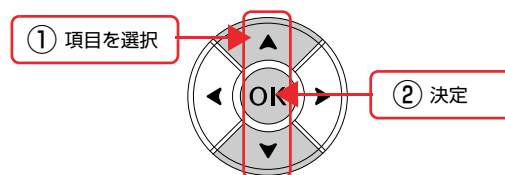
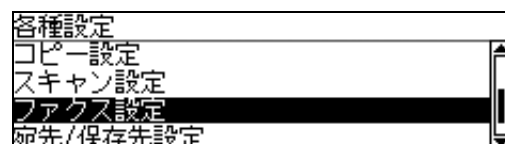
ファクス設定を工場出荷時に戻す

操作パネルで設定したファクス設定を、工場出荷時の設定に戻します。または、メモリに保存されたファクスデータをクリアします。

!重要
送受信中、ファクス送信文書、受信文書が蓄積されているときは実行できません。

［ファクス設定］は、ファクスモデルのみの機能です。

1. 操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。

2. ［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

3. ［▲］または［▼］ボタンを押して［ファクス工場出荷時設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。

4. ［▲］または［▼］ボタンを押して［工場出荷時設定］または［ファクスバックアップメモリクリア］を選択し、［OK］ボタンを押します。

項目	説明
工場出荷時設定	ファクス設定を工場出荷時の設定に戻します。
ファクスバックアップメモリクリア	バックアップデータを削除し、ファクスバックアップメモリ使用率を0%にします。

5. ［する］に対応する［F3］ボタンを押します。
本製品が再起動し、工場出荷時設定に戻ります。

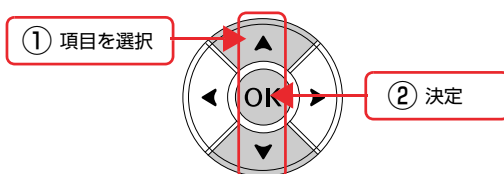
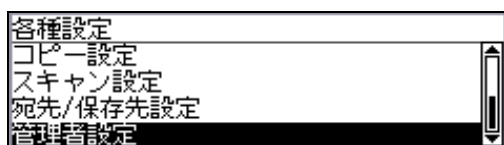
以上で終了です。

全設定を工場出荷時に戻す

本製品の設定を工場出荷時に戻すには、操作パネルで［設定初期化］を実行します。

操作手順は以下の通りです。

1. **操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。**

2. **［▲］または［▼］ボタンを押して［管理者設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

3. **テンキーで管理者パスワードを入力し、［OK］ボタンを押します。**

4. **［▲］または［▼］ボタンを押して［設定初期化］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

5. **［する］に対応する［F3］ボタンを押します。**
本製品が再起動し、工場出荷時設定に戻ります。

以上で終了です。

本製品のクリーニング（清掃）

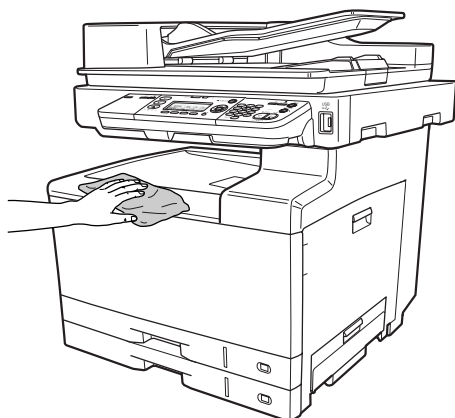
本製品を良好な状態で使用するために、ときどきクリーニング（清掃）をしてください。
本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてから作業してください。

⚠警告
- 製品内部の、取扱説明書で指示されている箇所以外には触れないでください。
感電や火傷のおそれがあります。
- 本製品の内部や周囲で可燃性ガスのスプレーを使用しないでください。
引火による火災のおそれがあります。

!重要
- ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。変色、変形するおそれがあります。
- 本製品を水に濡らさないでください。
- 固いブラシや布などでふかないでください。傷が付くおそれがあります。

外装の清掃

- 本体表面

本製品の表面が汚れたときは、水を含ませて固く絞った布で、ていねいにふいてください。

- スキャナの原稿台

原稿台のガラス面の汚れは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞って汚れをふき取ってから、乾いた布でふいてください。

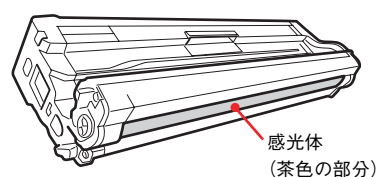
LED ヘッドのクリーニング

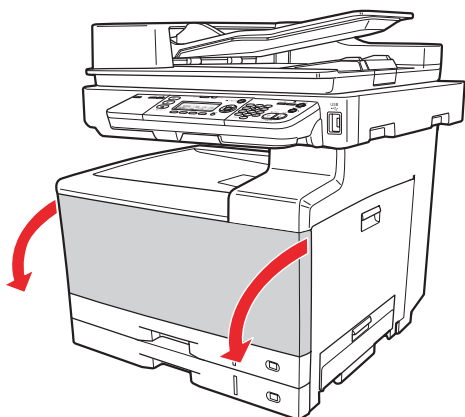
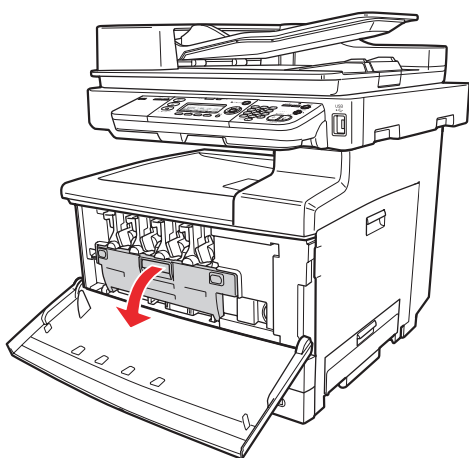
印刷結果に色抜けやスジが入ったときは、LED ヘッドのクリーニングをしてください。

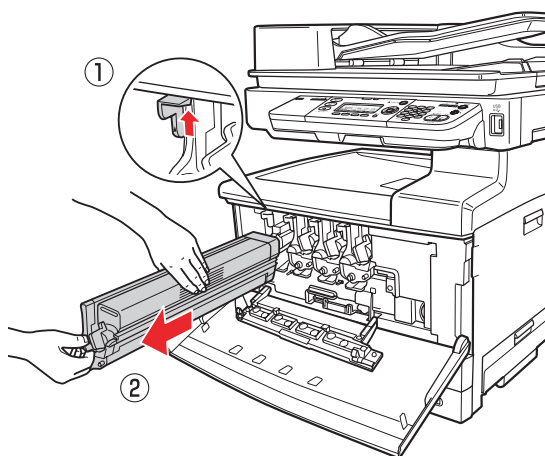
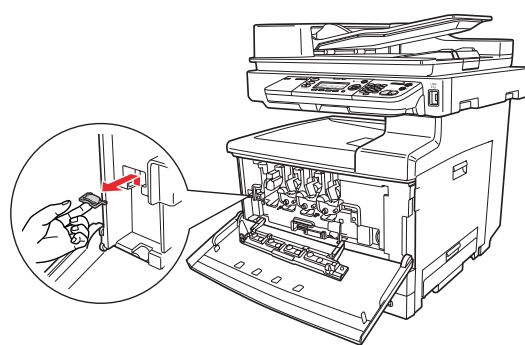
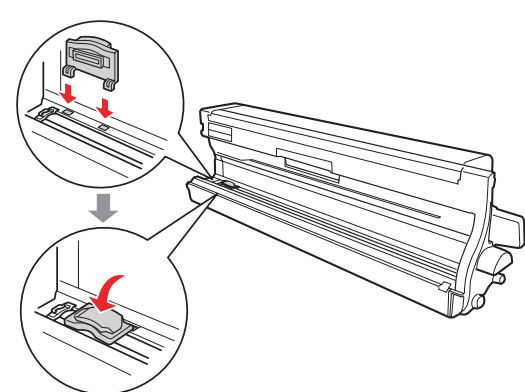
以下の手順で、抜けている色の感光体ユニットとトナーカートリッジを引き抜き、LED ヘッドをクリーニングしてください。どの色が抜けているかわからないときは、4 色すべての LED ヘッドをクリーニングしてください。

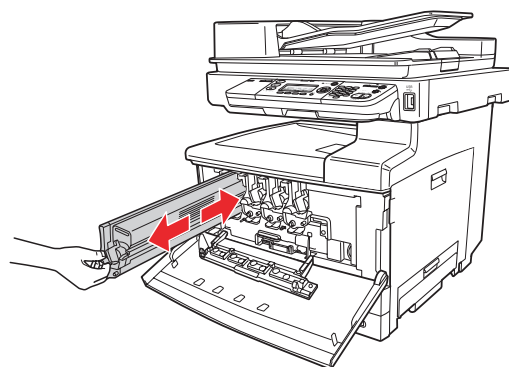
⚠注意

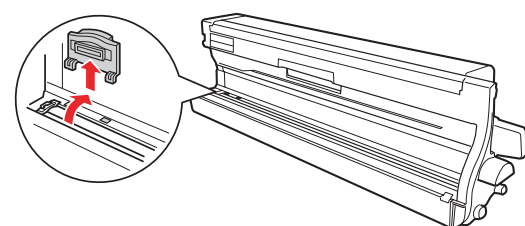
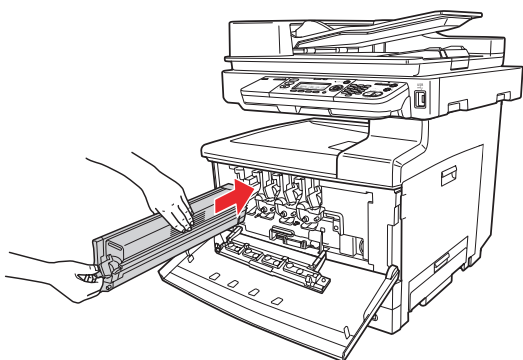
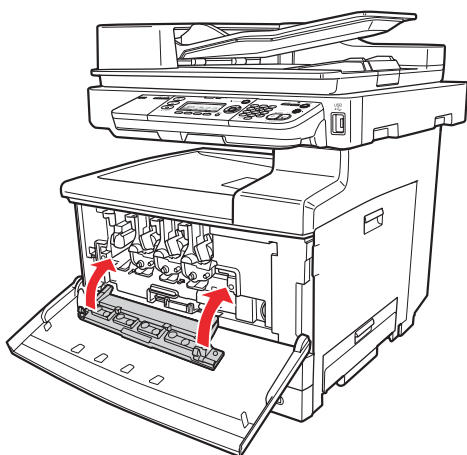
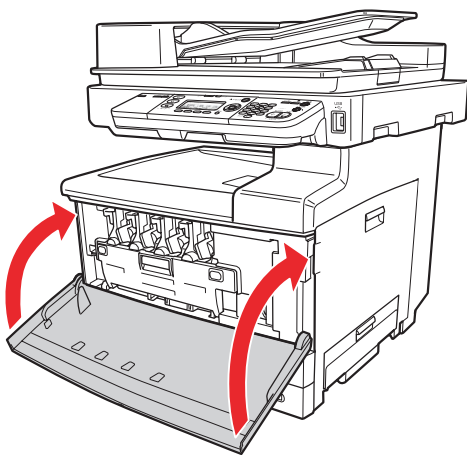
LED ヘッドをクリーニングするときは、周囲に紙などを敷いてください。
トナーがこぼれて、本製品の周囲や衣服などに付いて汚れるおそれがあります。

!重要
- 感光体ユニットの感光体（感光体ユニット下部の茶色の部分）には絶対に手を触れないでください。また、感光体の表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。感光体の表面に手の脂が付いたり、傷や汚れが付くと印刷品質の低下や転写ユニットの故障の原因になります。またプリンタ本体の故障の原因にもなることがあります。

- 感光体ユニットを直射日光や強い光に当てないでください。室内の明かりの下でも3分以上放置しないでください。

1 カバー A を開けます。

2 カバー H を開けます。

3 **掃除する感光体ユニットの感光体ロックレバーを押し上げて、感光体ユニットとトナーカートリッジを一緒に引き抜きます。**

感光体ユニットとトナーカートリッジを分離しないでください。
上下逆さまにせず、引き抜いたままの向きで平らな場所に置いて作業してください。

4 LED ヘッドクリーナーを取り外します。

5 **クリーナーのスポンジ部分が上に向くようにして、感光体ユニットにセットします。**

6 **感光体ユニットを挿入し、2～3往復させます。**

奥までしっかり挿入してください。

7 **感光体ユニットからクリーナーを外し、元の場所に戻します。**

クリーナーを取り外さずに印刷すると、印刷品質に影響を及ぼします。

8 **感光体ユニットを元の場所に挿入します。**

9 **カバー H を起こし、左右の「PUSH」部分を押して、カチッと音がするまで閉じます。**

10 **カバー A を閉じます。**

以上で終了です。

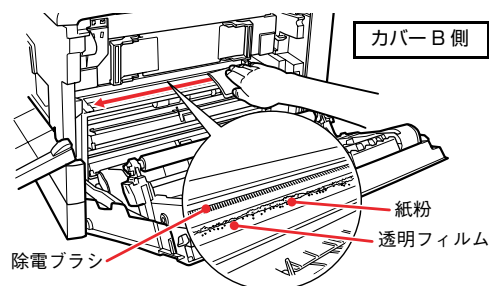
用紙搬送部のクリーニング

1ヵ月に一度程度、用紙搬送部のフィルムに付着した紙粉（白い粉）をふき取ってください。紙粉が多量に付着したまま印刷し続けると、画像汚れ（縦スジ）が発生することがあります。

1 **転写ユニットを取り外します。**

取り外し方法は以下を参照してください。

本書 125 ページ「転写ユニットの交換」

2 **用紙搬送部の透明フィルムに付着した紙粉（白い粉）を、乾いた布でふき取ります。**

!重要

奥にある除電ブラシ（黒い植毛）部分にできるだけ触れないようにしてください。印刷品質への影響や紙詰まりの原因となることがあります。

3 **転写ユニットを取り付けます。**

取り付け方法は以下を参照してください。

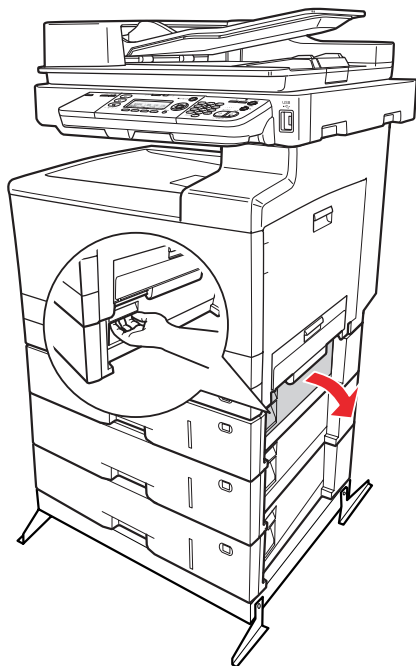
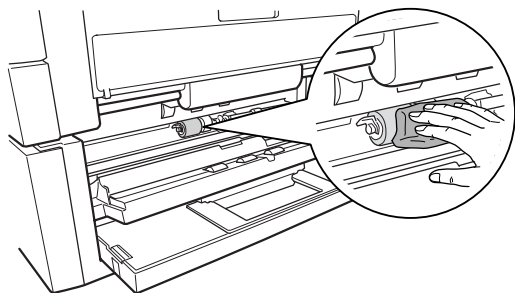
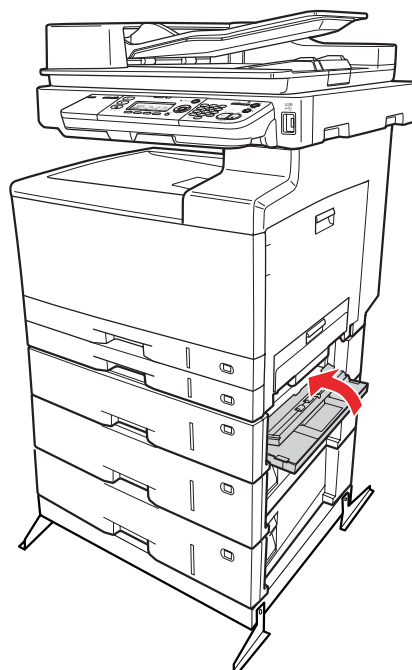
本書 125 ページ「転写ユニットの交換」

以上で終了です。

給紙ローラのクリーニング

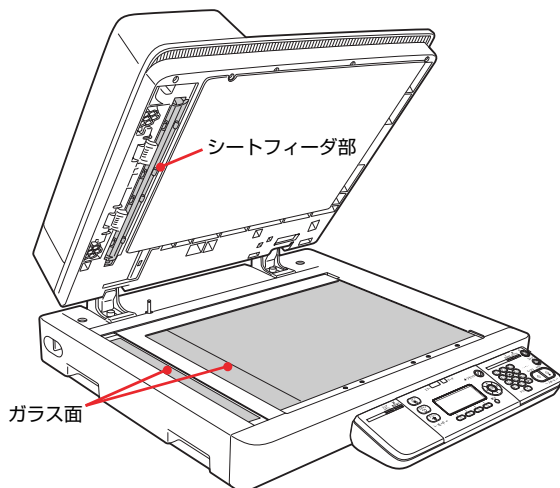
増設カセットユニットからの給紙時に、用紙が頻繁に詰まったり正常に給紙できないときは、カバーE2 ～ E4 内の給紙ローラをクリーニングしてください。

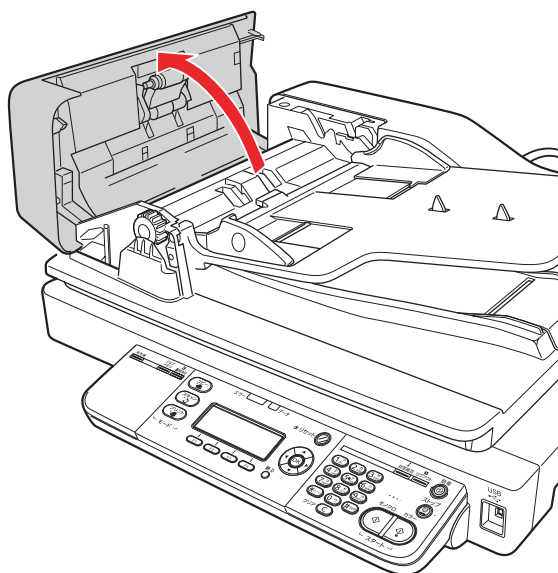
ここでは、カバー E2 を例に説明します。カバー E3/E4 も同様の方法でクリーニングできます。

1 カバー E2 を開けます。

2 給紙ローラのゴムの部分を、乾いた布でていねいにふきます。

3 カバー E2 を閉じます。

以上で終了です。

オートドキュメントフィーダのクリーニング

コピーすると出力紙に黒いスジが出ることがあります。これは原稿台のガラス面などに異物が付着するためです。

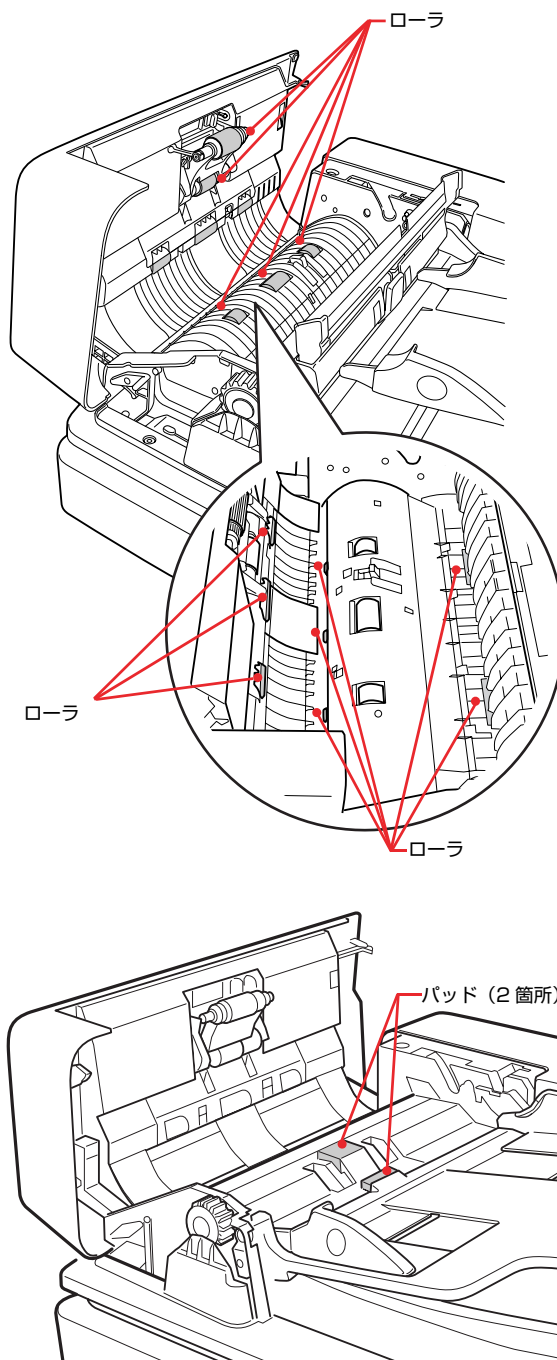
原稿台のガラス面やオートドキュメントフィーダ（ADF）のシートフィーダ部（白いシート部分）とローラが汚れたときは、柔らかい布でからぶきしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れをふき取り、その後乾いた布でふいてください。

オートドキュメントフィーダの内部が汚れたときは、以下の手順でクリーニングをします。

1 **オートドキュメントフィーダカバーを開けます。**

!重要

オートドキュメントフィーダの原稿経路にある透明シートには触れないようにしてください。品質への影響、紙詰まりの原因になります。

2 **図に示すローラとパッド部分（2 箇所）を、柔らかい布でからぶきしてください。**

!重要

- シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品はケースなどの表面を傷めることがありますので、絶対に使わないでください。
- スキャナには絶対に水などがかからないように注意してください。

以上で終了です。

本製品の移動と輸送

本製品を移動したり輸送するときには、以下の通り作業してください。

⚠注意

- 本製品を持ち上げる際は、無理のない姿勢で作業してください。
  無理な姿勢で持ち上げると、けがをするおそれがあります。
- 本製品は重いので、1人で運ばないでください。
  開梱や移動の際は3人以上で運んでください。
  本製品の質量は以下を参照してください。
  ☞ 本書219ページ「仕様」
- 本製品を持ち上げる際は、取扱説明書で指示された箇所に手を掛けて持ち上げてください。
  他の部分を持って持ち上げると、本製品が落下したり、下ろす際に指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。
  本製品の持ち上げ方は以下を参照してください。
  ☞『取扱説明書 1 セットアップ編』（冊子）－「本製品の持ち方」
- 本製品を移動する際は、前後左右に10度以上傾けないでください。
  転倒などによる事故のおそれがあります。
- 本製品を、キャスター（車輪）付きの台などに載せる際は、キャスターを固定して動かないようにしてから作業を行ってください。
  作業中に台などが思わぬ方向に動くと、けがをするおそれがあります。

近くへの移動

本製品の電源を切り、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- 電源コード
- インターフェイスケーブル
- 専用ケーブル
- 用紙カセット（標準 / オプション）内の用紙

持ち上げて移動する場合

オプションのプリンタ台、キャビネット、増設カセットユニットを取り外してから本製品を持ち上げてください。

キャスターで移動する場合

オプションのプリンタ台またはキャビネットを装着しているときは、キャスターが付いているため、持ち上げずに移動できます。ただし、本製品に衝撃を与えないよう、段差のある場所などでは移動しないよう注意してください。
また、移動する前に転倒防止脚を取り外し、必ずキャスターの固定を解除してください。

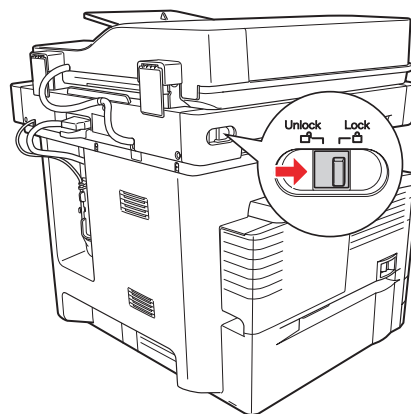
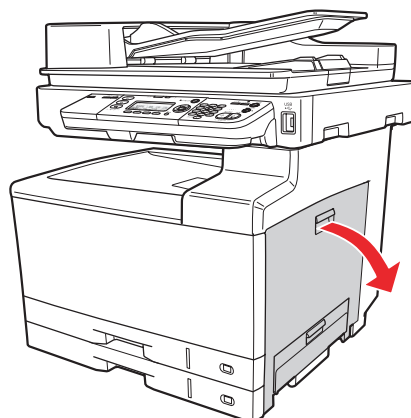
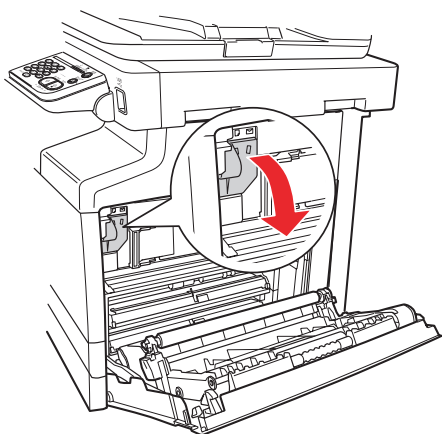
輸送

本製品を輸送するときは、以下の準備をしてください。震動や衝撃から本製品本体を守るために本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。本製品を輸送するときは、販売店にご相談ください。

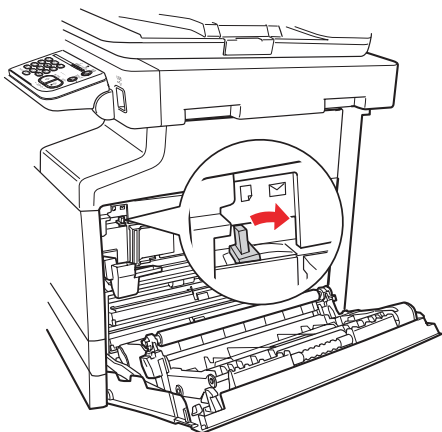
1 **操作パネルの［各種設定］－［スキャン設定］－［スキャン工場出荷時設定］メニューで［キャリッジロック位置設定］を実行します。**
キャリッジがロック位置に移動します。

2 **本製品の電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。**

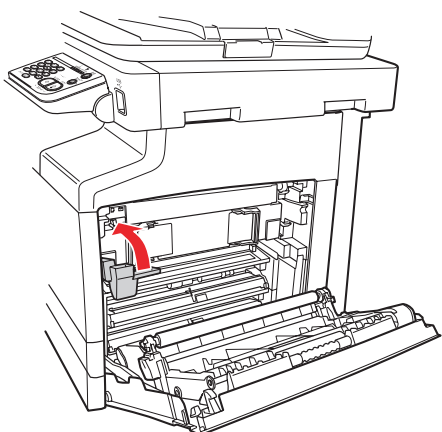
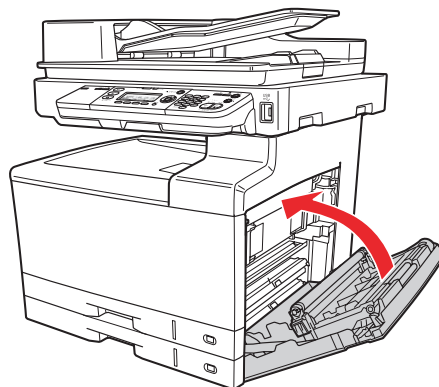
3 **取り付けてあるすべての付属品（廃トナーボックス、転写ユニット、定着ユニットを除く）およびオプションを取り外します。**

4 **スキャナ部の輸送用固定ロックを［Lock］位置にします。**

5 **カバーBを開けます。**

6 緑色のリリースレバーを下げます。

!重要

リリースレバーは、左側のラベルの「リリースレバー解除位置」まで下げてください。リリースレバーが完全に下がっていない状態で封筒レバーを無理に動かすと、封筒レバーが破損するおそれがあります。

7 封筒レバーを封筒位置（右）に合わせます。

8 緑色のリリースレバーを元に戻します。

注意

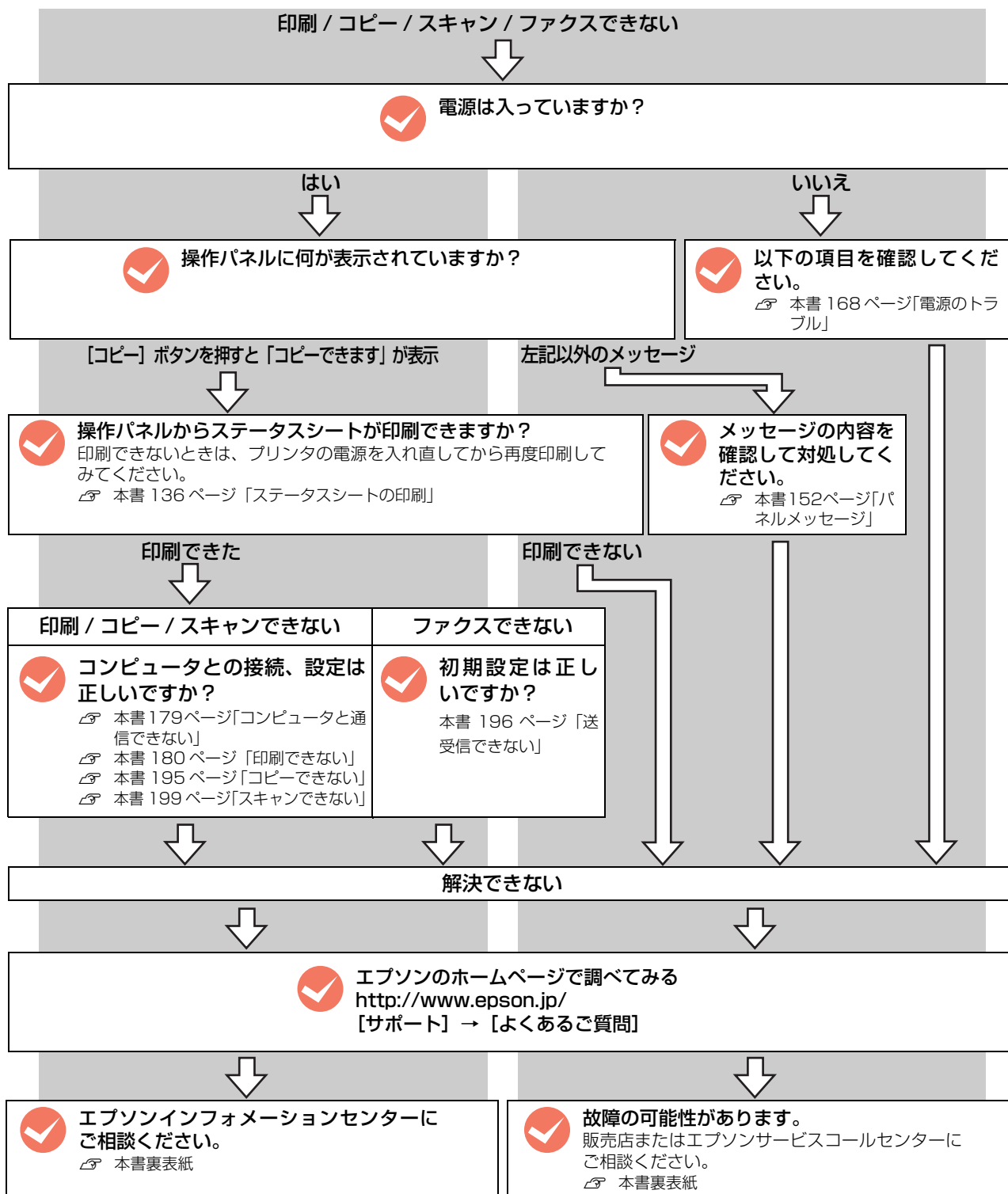
リリースレバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。
指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

9 カバー B を閉じます。

10 保護材や梱包材で梱包します。

以上で終了です。

8 困ったときは

印刷やスキャンなどが思い通りにできないとき、トラブルが発生したときなどの対処方法を記載しています。

トラブルの自己診断

印刷がスキャンなどが思い通りにできないとき、トラブルが発生したときなどは、まずこの章をお読みください。
以下を参照して、状況に応じて対処してください。

お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他周辺機器の型番など）と、本製品の名称や製造番号などをご確認の上、ご連絡ください。本製品の製造番号は以下のページを参照してご確認ください。

本書 220 ページ「製造番号の表示位置」

用紙が詰まった

以下の項目を確認してください。
＜プリンタ部＞
本書 171 ページ「カバー B/ カバー G/ カバー D」
本書 173 ページ「カバー E2/ カバー E3/ カバー E4/ カバー A」
本書 174 ページ「カバー J（MP トレイ）/ カバー A」
＜スキャナ部＞
本書 175 ページ「オートドキュメントフィーダ」

正しく給排紙できない

以下の項目を確認してください。
＜プリンタ部＞
本書 176 ページ「プリンタ部の給排紙トラブル」
＜スキャナ部＞
本書 178 ページ「スキャナ部の給排紙トラブル」

異音がする
＜プリンタ部＞
本書 177 ページ「異音がする」

印刷 / コピー / ファクスできるが、うまくいかない

意図した通りにできない
＜印刷＞
本書 186 ページ「画面表示や設定と印刷結果が異なる」
＜コピー＞
本書 195 ページ「原稿とコピー結果が異なる」
＜ファクス＞
本書 197 ページ「原稿通りに送受信できない」
本書 197 ページ「日付時刻 / 発信元情報が設定できない」
＜スキャン＞
本書 200 ページ「EPSON Scan でプレビューがうまくできない」
本書 202 ページ「画面表示や設定とスキャン結果が異なる」
本書 203 ページ「スキャンデータを保存できない」

品質が悪い
＜印刷 / コピー / ファクス＞
本書 189 ページ「印刷品質が悪い」
＜スキャン＞
本書 204 ページ「スキャン品質が悪い」

時間がかかる
＜印刷＞
本書 193 ページ「印刷に時間がかかる」
＜スキャン＞
本書 207 ページ「スキャンに時間がかかる」

EpsonNet Config から宛先登録ができない
＜ファクス / スキャン＞
本書 207 ページ「EpsonNet Config から宛先が登録できない」

解決できない

エプソンのホームページで調べてみる
http://www.epson.jp/
［サポート］→［よくあるご質問］

故障の可能性があります。
販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。
本書裏表紙

エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。
本書裏表紙

パネルメッセージ

操作パネルには、インフォメーションメッセージ、エラーメッセージ、ワーニングメッセージの 3 種類のメッセージが表示されます。

☞ 本書 9 ページ「操作パネル」

ここでは、コンピュータから本製品を使用する際に表示されるメッセージについても併せて記載しています。

インフォメーションメッセージ

本製品が正常に動作している場合は、ステータスメッセージ（現在の状態）を表示します。

メッセージ	説明
A3,B4,A4,B5 サイズの用紙がありません	［割り付け］（コピーモード）の［用紙］で用紙サイズが A3、B4、A4、B5 以外の給紙装置を選択しました。
A4,B5 サイズの用紙がありません	［ページ連写］（コピーモード）の［用紙］で用紙サイズが A3、B4、A4、B5 以外の給紙装置を選択しました。
DNS エラー	メール設定の接続テストで DNS サーバによる名前解決ができませんでした。DNS サーバの設定を確認してください。IP アドレスで指定すると解決できることがあります。
PC-FAX 保存実行中のためスキャンできません	ファクスデータを保存先フォルダに保存しているときにスキャンを実行しようとしました。
PS3 ステータスシート *	PS3 ステータスシートを印刷中です。
PS3 フォントリスト *	PS3 フォントリストを印刷中です。
RAM CHECK	本製品の RAM を確認中です。
ROM CHECK	本製品の ROM を確認中です。
ROM P 書き込み中 電源オフ禁止 nn/mm	ROM モジュールに書き込み中です。
ROM モジュール A 情報	ROM モジュール A 情報を印刷中です。
SELF TEST	自己診断と初期化を行っています。
USB メモリを認識できません	USB メモリを取り付けずにプリントモードで［USB メモリ］を選択しました。
宛先を選んでください 宛先を指定してください	宛先が設定されていません。
印刷可能なファイルがありません	USB メモリ内に印刷可能なデータがありません。
印刷ジョブを受けつけました	USB メモリからの印刷またはパスワード印刷を開始しました。
印刷できます	印刷可状態で、本製品に送られているデータがない状態です。
ウォーミングアップ中	ウォーミングアップ中です。
エラーの原因が解消されていません	エラーが発生しているため操作できません。エラーを解消してください。
紙種を確認してください	ファクスデータまたは通信レポート印刷データがある状態で［紙種］が設定されています。
カラーキャリブレーション実行中	カラーキャリブレーション中です。中止するには、［ストップ］ボタンを押します。

* オプションの拡張 PDF キット装着時に表示されます。

メッセージ	説明
カラーキャリブレーション パターンを印刷しています	カラーキャリブレーションシートを印刷中です。中止するには、［ストップ］ボタンを押します。
カラースキャン中	カラースキャン中です。
カラーファクス送信中	カラーファクスを送付しています。
原稿番号が異なります 直前に印刷した原稿を正しくセットしてください	カラーキャリブレーション実行中にスキャンしようとした原稿が違います。
高圧縮 PDF は 300dpi 以下の解像度で作成してください *	［解像度］が400/600dpiで高圧縮PDFのスキャンデータを保存しようとしました。
コピーできます	コピー可能状態です。
実行できません しばらく待ってから再度実行してください	EpsonNet Config などからの接続テスト中に、操作パネルからフォルダ保存やメールを送信しようとしました。しばらく待ってから操作してください。
しばらくお待ちください xxxx 中です	モード動作中に他のモードに切り替えようとしました。しばらく待ってから操作してください。
しばらくお待ちください ファクス動作中です。終了後再度設定してください。	ファクス動作中に操作パネルで設定しようとしました。しばらく待ってから設定してください。
しばらく待ってから実行してください	複数の印刷ジョブが蓄積されている状態で USB メモリからの印刷を指定しました。しばらく待ってから操作してください。
受話器を戻してください	外付け電話を利用した送受信でファクス送受信を開始しました。
ジョブがありません	パスワード印刷のジョブがありません。
ジョブキャンセル中	• 操作パネルの［ストップ］ボタンを押して、データ処理を中止しました。 • コンピュータ側のプリンタドライバで印刷中の処理を中止しました。
ジョブ蓄積中のため設定できません	PC-FAX 機能で送受信データをメモリに蓄積しているときに操作パネルで出力先設定を変更しようとしました。
ジョブを選択してください	ジョブ選択画面でジョブを選択せずに印刷しようとしました。
スキャナエラー XXXXX できません	スキャナユニットにエラーが発生しました。 再度実行しても発生するときは、一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。
スキャナ使用中	本製品にネットワーク接続されたコンピュータからスキャナを使用しています。
ステータスシート印刷中	ステータスシート、ネットワークステータスシートを印刷中です。
接続エラー	保存先設定やメール設定の接続テストで相手先コンピュータまたはメールサーバへ接続できませんでした。相手先コンピュータまたはメールサーバとの接続設定を確認してください。
設定変更中	設定を変更中です。
全ジョブキャンセル中	操作パネルの［ストップ］ボタン操作によってすべてのジョブを中止しました。
外付け電話使用中	外付け電話で回線使用中です。
ダイヤルしてください	オンフックで電話番号入力待ちの状態です。
データ取得中	認証プロキシ for MFP からデータ取得中です。
認証エラー	メール設定の接続テストでメールアドレスとユーザー名がメールサーバの設定と一致しませんでした。メールアドレスとユーザー名を確認してください。

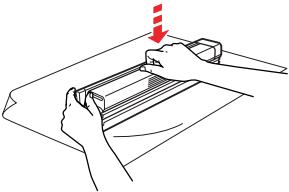
* オプションの拡張 PDF キット装着時に表示されます。

メッセージ	説明
倍率を自動倍率にしたため用紙の設定を変更しました	［用紙］が［自動］に設定されている状態で［倍率］を［自動］に設定したため、［用紙］の設定が［カセット 1］に変更されました。
倍率を任意倍率にしたため用紙の設定を変更しました	［用紙］が［自動］に設定されている状態で［倍率］を［任意］に設定したため、［用紙］の設定が［カセット 1］に変更されました。
パスワードが違います	パスワード付き PDF またはパスワード印刷で間違ったパスワードを入力しました。
ファイル確認中 XXX 個	USB メモリまたはネットワーク上のファイルを確認しています。
ファイルを選択してください	USB メモリからの印刷またはパスワード印刷でファイルを選択せずに印刷しようとしました。
ファクス印刷可能な用紙がありません	給紙装置にファクス印刷可能なサイズの用紙（A3/B4/A4/B5）がセットされていないため、未印刷の受信データがあります。 給紙装置にファクス印刷可能なサイズの用紙（A3/B4/A4/B5）をセットするとメッセージは自動的に消え、受信データの印刷を開始します。
ファクスツール使用中	ネットワーク上のコンピュータから、ファクス関連情報にアクセスしています。しばらく待ってから操作してください。
フォルダを選んでください	スキャンデータの保存先が設定されていません。
プリンタエラー コピーできません	プリンタ部にエラーが発生しました。 再度実行しても発生するときは、一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。
プリンタ調整中	良好な印刷品質を保つために、本製品が機能の自動調整を行っています。しばらくお待ちください。なお、印刷実行中にこのメッセージが表示されたときは、印刷処理を一時中断します。自動調整が完了すると操作パネル表示が消え、自動的に印刷を再開します。
プリンタ冷却中	連続印刷などで定着ユニットの温度が高くなりました。温度が下がると自動的に印刷を再開します。
プリントしています	本製品の内部に残っている印刷データを印刷中です。
ページ連写が設定されています ページ連写を解除してください	［ページ連写］が［する］に設定されている状態で［原稿サイズ］または［用紙］を変更しようとしました。
ページ連写を設定したため割り付けを解除しました	［割り付け］が［する］に設定されている状態で［ページ連写］を［する］に設定したため、［割り付け］の設定が解除されました。
保存先 PC への書き込みテスト 正常終了しました	保存先設定の接続テストが正常終了しました。
保存先 PC への書き込みをテスト中 しばらくお待ちください	保存先設定の接続テスト中です。しばらく待ってから操作してください。
未入力です 入力してください	メールアドレス登録、フォルダパス登録でアドレスなどでパスを入力せずに［OK］ボタンを押しました。
メール送信テスト 正常終了しました	メール設定の接続テストが正常終了しました。
メール送信テスト中 しばらくお待ちください	メール設定の接続テスト中です。しばらく待ってから操作してください。
メモリ受信中はレポート印刷できません	［メモリ受信］が［する］に設定されている状態で［レポート印刷］をしようとしました。
モノクロスキャン中	モノクロスキャン中です。
モノクロファクススキャン中	モノクロファクスモードで原稿をスキャンしています。
モノクロファクス送信中	モノクロファクスを送付しています。

メッセージ	説明
用紙選択を自動にしたため倍率を定形倍率100% にしました	［倍率］が［自動］または［任意］に設定されている状態で［用紙］を［自動］に設定したため、［倍率］の設定が［100%］に変更されました。
リセット	現在使用中のインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄し、エラーを解除中です。
リセットオール	印刷を中止後、本製品の電源を入れた直後の状態まで初期化し、すべてのインターフェイスに対してメモリに保存されたデータを破棄しています。しばらくお待ちください。
両面印刷できません 用紙の選択を変更してください	［用紙］に［はがき］がセットされた給紙装置、［両面］に［する］の設定を組み合わせました。用紙の選択を変更してください。
割り付けが設定されています 割り付けを解除してください	［割り付け］が［する］に設定されている状態で［原稿サイズ］または［用紙］を変更しようとしました。
割り付けを設定したためページ連写を解除しました	［ページ連写］が［する］に設定されている状態で［割り付け］を［する］に設定したため、［ページ連写］の設定が解除されました。

エラーメッセージ

トラブルが発生した場合に、エラーメッセージを表示して動作を停止します。動作を再開するには、以下の説明を参照して、エラー状態の解除に必要な処置を行ってください。メッセージは五十音順に掲載してあります。

- 用紙が詰まったときの対処方法は、以下のページを参照してください。
  本書 169 ページ「用紙が詰まった」
- 消耗品の交換方法は、消耗品に添付の取扱説明書または以下のページを参照してください。
  本書 115 ページ「保守・管理」

メッセージ	説明
ADF メンテナンスユニットを交換してください	オートドキュメントフィーダ部品の寿命です。交換は、本製品を購入した販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。
DNS エラー	メール設定の接続テストで DNS サーバによる名前解決ができませんでした。DNS サーバの設定を確認してください。IP アドレスで指定すると解決できることがあります。
ID Print に失敗しました xxxx	なし /00009020： EpsonNet ID Print サーバに接続できない、またはエラーが発生しました。接続を確認してください。接続が正しいときは、EpsonNet ID Print がインストールされているサーバを再起動させてください。 00009021： EpsonNet ID Print でエラーが発生しています。インストールされているサーバを再起動させてください。
ID Print の起動に失敗しました	EpsonNet ID Print が起動できませんでした。認証装置が正しく動作しているか確認してください。
I/F カードエラー	I/F カードにエラーが発生しました。 一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。再度発生したときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
Invalid PS3*	メモリ不足で PDF 生成ができません。拡張 PDF キット装着時は合計が 768MB 以上になるようにメモリを増設してください。
N/W モジュールエラー	ネットワークプログラムが正しくありません。本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
Optional RAM Error	メモリを認識できません。 一旦電源を切って、正しいメモリを取り付けてください。
ROM モジュール A 書き込みエラー ROM モジュール P 書き込みエラー	書き込み不可の ROM モジュールに書き込もうとしたか、書き込みが正常に終了しませんでした。または、ソケットに ROM モジュールが装着されていません。
Service Req ＊＊＊＊＊	サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。 一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。再度発生したときは、操作パネルの表示を書き写してから、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
USB メモリエラー	USB メモリが故障しています。[OK] ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリが装着されていません	USB メモリが接続されていません。[OK] ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリの容量不足で書き込めません	USB メモリにデータを保存するための空き容量がありません。[OK] ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリライトエラー	USB メモリへのデータの保存に失敗しました。[OK] ボタンを押すとエラーを解除します。
USB メモリライトプロテクト	USB メモリが書き込み禁止状態になっています。

* オプションの拡張 PDF キット装着時に表示されます。

メッセージ	説明
オーバーランエラー	印刷内容が複雑で、プリンタの処理が追いつきません。 • ［共通設定］－［デバイス設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、いずれかの操作を行ってください。 (1)［OK］ボタンを押します。 (2) 印刷を中止する場合は、［ストップ］ボタンを押します。 • ［共通設定］－［デバイス設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に印刷します。
該当するユーザーがいません XXXXXXXX	00009001： 認証プロキシ for LDAP に接続できませんでした。接続を確認してください。接続が正しいときは、認証プロキシ for LDAP を再起動させてください。 00009002： 認証プロキシ for LDAP でエラーが発生しました。認証プロキシ for LDAP に付属の取扱説明書を参照して対処してください。
カセット内の用紙を減らしてください cccc	「cccc」で表示されるカセットにセットされている用紙が多すぎます。 用紙を減らしてください。
＊＊＊カバーが開いています	「＊＊」に表示されるカバーが開いています。または確実に閉じられていません。 「＊＊」には開いているカバーが表示されます。 A：カバー A（本体前面） B：カバー B（本体右側） E2：カバー E2（カセット 2 右側） E3：カバー E3（カセット 3 右側） E4：カバー E4（カセット 4 右側） J：カバー J（MP トレイ） 表示されているカバーを閉じると、エラー状態が解除されます。
紙をセットしてください ttt sss	指定したサイズの用紙がどの給紙装置にもセットされていません。またはすべての給紙装置に用紙がセットされていません。ttt で表示される給紙装置に sss で表示されるサイズの用紙をセットしてください。
紙を取り除いてください ＊＊＊＊＊＊＊	「＊＊＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、「＊＊＊＊＊＊＊」の部分にはパネルに表示可能な範囲まで表示されます。 以下のページを参照して、「＊＊＊＊＊＊＊」の部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。 本書 169 ページ「用紙が詰まった」 詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラー状態が解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。
カラーキャリブレーションエラー	キャリブレーションが失敗しました。[OK] ボタンを押してエラーを解除した後、再度キャリブレーションを実行してください。
カラーファクスは送信できません	以下のような場合に表示されます。 ①カラーに対応していないファクス機にカラーファクスを送信しようとした。 カラー機能に対応していない送付先へは［モノクロ］ボタンを押してファクスを送信してください。 ②グループダイヤルを使ったファクス送信で、[カラー］が押された。 グループダイヤルを使ったファクス送信では、カラーでの送信ができません。[モノクロ］ボタンを押してファクスを送信してください。 ③ファクス受信中にカラーファクスを送信しようとした。 ファクスの受信中はファクス送信ができません。受信終了後に送信してください。
＊＊＊＊ 感光体ユニットが故障です	「＊＊＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、故障している感光体ユニットの色を示しています。 C：シアン　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック 表示されている色の感光体ユニットを、使用可能なものに交換してください。交換後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」

メッセージ	説明
＊＊＊＊ 感光体ユニットが正しくありません ＊＊＊＊感光体ユニットの装着位置が正しくありません	「＊＊＊＊」に表示されている色の感光体ユニットは、本製品で使用できない感光体ユニットであるか、挿入口が間違っています。表示されている色の感光体ユニットを、本製品で使用可能なものに交換するか、挿入口の色を確認して正しい挿入口にセットし直してください。交換後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」
＊＊＊＊感光体ユニットを交換してください	「＊＊＊＊」に表示されている色の感光体ユニットが寿命です。 感光体ユニットを交換します。取り付け後、カバー A を閉じるとエラー状態が解除されます。 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」
原稿が異常です	セットされている原稿が異常です。原稿を確認してセットし直してください。 本書 13 ページ「原稿と用紙のセット方法」
原稿の向きを横置きでセットしてください	ファクスのカラー送信で A4 または B5 原稿を縦置きにセットしています。カラーファクス送信時の A4 または B5 原稿は横置きでセットしてください。原稿の向きを変えてもメッセージが表示されるときは、［原稿サイズ］を確認し、正しい原稿サイズと向き（A4 縦 /B5 縦以外）に設定してください。
サービスへ連絡ください E ＊＊＊＊ Service Req C ＊＊＊＊	サービスコールエラーが発生しました。「＊＊＊＊＊」の部分はエラーの分類とコード番号を表します。 一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。再度発生したときは、操作パネルの表示を書き写してから、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
指定されたフォルダが開けませんでした	フォルダパス、ユーザー名、パスワードのいずれかが間違っているためアクセスできませんでした。保存先の設定を確認してください。
指定された用紙は両面印刷できません	両面印刷実行時、用紙のサイズまたは種類が両面印刷不可能なため、両面印刷の実行を中止します。 • ［共通設定］ － ［デバイス設定］メニューの［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、いずれかの操作を行ってください。 (1)［OK］ボタンを押すと、セットされている用紙に片面印刷します。 (2) 印刷を中止する場合は、［ストップ］ボタンを押します。 • ［共通設定］ － ［デバイス設定］メニューの［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に片面印刷します。
スキャナ ADF エラー	オートドキュメントフィーダとスキャナ部の接続に異常が発生しました。本製品背面のスキャナ部とプリンタ部を接続するコネクタが接続されているか確認して、一旦電源を切って、再度電源を入れます。再度エラーが発生する場合は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
スキャナエラー 実行できませんでした	スキャナユニットにエラーが発生しました。 一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。［スタート］ボタンを押して再度実行します。エラーが再度発生したときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
スキャナのカバーが開いています	オートドキュメントフィーダのカバーが開いています。オートドキュメントフィーダのカバーを閉じてください。 本書 175 ページ「オートドキュメントフィーダ」
スキャナのロックを解除してください	輸送用固定ロックがロック位置になっています。または、キャリッジの動作に異常が発生しました。輸送用固定ロックを解除位置に合わせてから、本製品の電源を入れ直してください。再度エラーが発生するときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 本書 9 ページ「スキャナ部 / 内部・左側面」
スキャナランプエラー	キャリッジに異常が発生しました。一旦電源を切って、再度電源を入れます。再度エラーが発生する場合は、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
接続エラー	保存先設定やメール設定の接続テストで相手先コンピュータまたはメールサーバへ接続できませんでした。相手先コンピュータまたはメールサーバとの接続設定を確認してください。

メッセージ	説明
設定された保存先は使用できません	フォルダパスの指定にサポートされていない文字が含まれています。または、フォルダパスが 259 文字以上になっています。保存先の設定を確認してください。
設定されたユーザー名は使用できません	ユーザー名の指定にサポートされていない文字が含まれているか、またはユーザー名の文字数制限（30 文字）、ドメインの文字数制限（15 文字）を越えています。保存先の設定を確認してください。
全面コピーは原稿台から行ってください	オートドキュメントフィーダに異なるサイズの原稿をセットして全面コピー機能は使用できません。原稿台を原稿をセットしてください。
送信先が登録できませんでした	認証プロキシ for MFP からインポートして設定したメールアドレスやフォルダパスがジョブメモリの制限（メールアドレス 64 文字、フォルダパス 107 文字）を越えています。インポートする内容を確認してください。
詰まった原稿を取り除いてください	オートドキュメントフィーダで読み取る原稿が詰まりました。 本書 175 ページ「オートドキュメントフィーダ」
データサイズオーバー	送信するデータの容量が設定しているサイズより大きくなっています。添付ファイル最大サイズ設定を変更するか、解像度を落とすなどして、ファイルサイズが小さくなるようにしてください。
データに異常があるため印刷できません	印刷データの異常です。 • ［共通設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) ［OK］ボタンを押します。エラーの発生したデータの復旧処理をしないで、次の印刷を開始します。 (2) ［ストップ］ボタンを押します。印刷を終了します。 • ［共通設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後に、エラー状態が解除されます。エラーの発生したデータの復旧処理をしないで、次の印刷を開始します。
定着ユニットがありません	定着ユニットを装着してください。 本書 130 ページ「定着ユニットの交換」
定着ユニットを交換してください	定着ユニットの寿命です。 定着ユニットを交換してください。 本書 130 ページ「定着ユニットの交換」
転写ユニットがありません	転写ユニットを装着してください。 本書 125 ページ「転写ユニットの交換」
転写ユニットを交換してください	転写ユニットの寿命です。 転写ユニットを交換してください。 本書 125 ページ「転写ユニットの交換」
＊＊＊＊トナーカートリッジが故障です	「＊＊＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、故障しているトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック 表示された色のトナーカートリッジを正常なものに交換してください。交換後に電源を入れ直してください。 本書 117 ページ「トナーカートリッジの交換」

メッセージ	説明
＊＊＊＊トナーカートリッジを交換してください	• 「＊＊＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、交換が必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック • 表示される色のトナーカートリッジを交換します。取り付けた後、カバー A を閉じるとエラーが解除されます。 本書 117 ページ「トナーカートリッジの交換」 • トナーカートリッジを取り出して軽くたたくと、印刷を継続できることがあります。 (1)トナーカートリッジと感光体ユニットを一緒に取り出し、分離せずに紙を敷いた上に置きます。 (2)トナーカートリッジの上から軽くたたきます。 トナーカートリッジと感光体ユニットを分離した状態でトナーカートリッジをたたかないでください。 (3)トナーカートリッジと感光体ユニットを元に戻します。
＊＊＊＊トナーカートリッジを取り付けてください	「＊＊」に表示される色のトナーカートリッジがセットされていません。 「＊＊」には C、M、Y、K のいずれかが表示され、取り付けが必要なトナーカートリッジの色を示しています。 C：シアン　M：マゼンタ Y：イエロー　K：ブラック 表示される色のトナーカートリッジを取り付けます。取り付けた後、カバー A を閉じるとエラー状態が解除されます。 本書 117 ページ「トナーカートリッジの交換」
＊＊＊＊トナーが正しくありません	「＊＊」に表示される色のトナーカートリッジに何らかの異常があるため使用できません。正しいトナーカートリッジがセットされているか確認してください。 操作パネルの表示が消えないときは、新しいトナーカートリッジとの交換をお勧めします。
認証エラー	メール設定の接続テストでメールアドレスとユーザー名がメールサーバの設定と一致しませんでした。メールアドレスとユーザー名を確認してください。
認証装置動作エラー	認証デバイスが正しく接続されていないか認証デバイスが正常に動作していません。認証デバイスに付属の取扱説明書を参照して対処してください。

メッセージ	説明
認証プロキシエラー ＊＊＊＊	なし： 認証プロキシ for MFP 内部でエラーが発生しました。認証プロキシ for MFP を再起動してください。 00004110： 認証プロキシ for MFP で登録できるユーザー数を超えました。認証プロキシ for MFP に登録されているユーザーを削除してください。 00004011： 本製品を再起動してください。再度発生するときは本製品のファームウェアのアップデートが必要です。 00004012： HTTP ヘッダの内容が正しくありません。本製品を再起動してください。エラーが再発するときは、ファームウェアをアップデートしてください。 00005000： 認証プロキシ for MFP に必要なファイルがみつかりません。認証プロキシ for MFP を再インストールしてください。 00005010： 認証プロキシ for MFP で使用可能なディスク容量がありません。サーバのディスクの空き容量を増やしてください。 00005011： サーバのディスクへの書き込みができませんでした。書き込み可能な状態ししてください。 00005020： 認証プロキシ for MFP が利用できるメモリ容量が不足しています。認証プロキシ for MFP を再起動してください。 00005030： ネットワークエラーです。認証プロキシ for MFP と本製品を再起動してください。 00005050/00009003： 認証プロキシ for MFP 内部でエラーが発生しました。認証プロキシ for MFP を再起動してください。 00009004： 認証プロキシ for LDAP 内部でエラーが発生しました。認証プロキシ for LDAP との接続を確認してください。 00009005： 認証プロキシ for LDAP 内部でエラーが発生しました。認証プロキシ for LDAP を再起動してください。 00009006： ディレクトリユーザーのアカウントが 30Byte を超えているため認証プロキシ for MFP に登録できません。ディレクトリサーバ上のアカウント名を 30Byte 以下にしてください。 00009011： 他のユーザーがログイン中です。他のユーザーがログアウトしてから再度ログインしてください。 0000F000： 本製品を再起動してください。再度発生するときは本製品のファームウェアのアップデートが必要です。
認証プロキシ接続エラー	認証プロキシ for MFP に接続できません。認証プロキシ for MFP が起動しているか確認してください。 認証プロキシ for MFP がインストールされているサーバが起動しているか、認証プロキシ for MFPのサービスが開始されているか確認してください。認証プロキシ for MFP を起動してログイン画面が表示されれば、認証プロキシ for MFP サービスは起動しています。認証プロキシ for MFP サービスが起動していないときは、[スタート] − [プログラム]（または [すべてのプログラム]）− [EpsonNet] − [Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP] − [Offirio SynergyWare 認証プロキシ for MFP の開始] の順にクリックします。 本製品の設定で、認証プロキシ for MFP をインストールしたサーバの IP アドレスの設定があっているか確認してください。
認証プロキシをバージョンアップしてください	本製品に対応した認証プロキシ for MFP ではありません。本製品のソフトウェア CD-ROM に収録されている認証プロキシ for MFP をインストールし直してください。

メッセージ	説明
廃トナーボックスを交換してください 廃トナーボックスを取り付けてください	廃トナーボックスが装着されていない、または空き容量がなくなりました。 廃トナーボックスを交換してください。取り付け後、カバー A を閉じるとエラー状態が解除されます。 本書 123 ページ「廃トナーボックスの交換」 操作パネルの表示が消えない場合は、お買い上げの販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
非サポート USB デバイス＊＊＊	本製品がサポートしていない USB 機器が本製品前面のコネクタに接続されました。USB Hub が装着されると＊＊＊部に Hub と表示されます。接続している機器を取り外して、[OK] ボタンを押すとエラーが解除されます。本製品に接続可能な USB デバイスの詳細は、エプソンのホームページ（http://www.epson.jp/）をご覧ください。
＊＊＊＊非純正品トナー	非純正品のトナーカートリッジが取り付けられています。 • カバーA を開けて正しいトナーカートリッジに交換し、カバーA を閉じるとエラーは解除されます。 • [OK] ボタンを押すと、[非純正品トナーカートリッジ] というワーニング表示に替わります。
ファイル名重複で書き込めません	USB メモリまたはフォルダ内に保存しようとしたファイル名と同一名のファイルが存在します。USB メモリまたはフォルダ内のファイルを移動または削除してください。[OK] ボタンを押すとエラーを解除します。
ファクスエラー	ファクスユニットにエラーが発生しました。 一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。再度発生したときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。 ファクス以外のモードで使用する場合は、[OK] ボタンを押すと、操作が続行できます。
ファクス開始できません	ファクスの受信中または PC-FAX 操作中はファクス送信ができません。受信終了後または PC-FAX 終了後に送信を行ってください。
ファクス画像データエラー xx	受信データまたは処理中に問題が発生し、ファクスの受信処理が正常に行われませんでした。 頻繁に発生するときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
ファクス送信できませんでした	送付先との通信ができず、ファクスが送信できませんでした。しばらく待ってから送信してください。また、送付先の番号が正しいか確認してください。
ファクス通信エラー	ファクスの送受信中にエラーが発生しました。 [OK] ボタンを押すことでエラーは解除されます。
ファクスツール使用中にエラーが発生しました	ファクスファームウェアの書き込みに失敗しました。 一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。再度発生したときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
ファクスバックアップメモリを交換してください ファクスバックアップメモリエラー	ファクスバックアップメモリの不具合でデバイスエラーが発生しました。 すべてのファクス受信文書が印刷されたことを確認し、一旦電源を切って、数分後に電源を入れます。 電源再投入後にバックアップメモリ使用率が 0% にならない場合は、ファクスバックアップメモリクリアを行ってください。 本書 139 ページ「ファクス設定を工場出荷時に戻す」 再度発生したときは、本製品を購入された販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
ファクスメモリ不足です	ファクスのメモリ不足でファクス送受信ができませんでした。蓄積しているジョブの処理を待って送受信してください。
フォルダの容量不足で書き込めません	フォルダの容量不足で書き込みに失敗しました。[OK] ボタンを押すとエラーを解除します。
フォルダライトエラー	フォルダへの書き込みに失敗しました。[OK] ボタンを押すとエラーを解除します。

メッセージ	説明
封筒レバーを＊＊＊＊位置にしてください	以下の場合に表示されます。 • 購入後、初めて印刷するとき • 印刷設定を、封筒以外の用紙から封筒に、または封筒から封筒以外の用紙に変更したとき封筒レバーを「＊＊＊＊」に表示された位置に合わせてください。 封筒（右）: 封筒に印刷するとき 通常（左）: 封筒以外の用紙に印刷するとき カバー B の開閉でもエラーは解除されますが、必ず封筒レバーを正しい位置にセットして使用してください。
ページ連写は原稿台から行ってください	ページ連写機能はオートドキュメントフィーダを使用できません。原稿台に原稿をセットしてください。
メモリ不足で印刷できません メモリ不足で実行できません	処理中にメモリ不足、メモリに対する不正な処理が発生し、動作が続行できなくなりました。 • ［共通設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1)［OK］ボタンを押します。 (2)［ストップ］ボタンを押します。 • ［共通設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後に、エラー状態が解除されます。 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 (1) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタドライバで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 (3) プリンタドライバで［データ圧縮方法］を［標準］または［データサイズ優先］に設定する。 (4) プリンタドライバで［印刷モード］を［標準（PC）］に設定する。 (5) メモリを増設する。 (6) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メモリ不足で両面印刷できませんでした	両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため、裏面側が印刷できません。この場合、表面側のみ印刷して排紙します。 • 以下の 2 つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) 表面側のみ印刷された用紙を裏返してもう一度セットし、［OK］ボタンを押すと片面印刷で印刷を再開します。 (2)［ストップ］ボタンを押して、印刷を中止します。 • 再度改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置を行ってください。 (1) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタドライバで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 (3) プリンタドライバで［データ圧縮方法］を［標準］または［データサイズ優先］に設定する。 (4) プリンタドライバで［印刷モード］を［標準（PC）］に設定する。 (5) メモリを増設する。 (6) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メール送信エラー	メールが送信できませんでした。メール設定を確認して、接続テストしてください。
メンテナンスユニットを交換してください	メンテナンスユニットの寿命です。交換は、本製品を購入した販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。
有効な画像領域が設定されていません	［倍率］、［用紙］、［とじしろ］、［影消し］の設定値が正しくないため、スキャンできません。［OK］ボタンを押すとエラーを解除します。
用紙サイズ設定エラー	印刷時に指定した用紙サイズと異なるサイズの用紙がセットされたため、用紙詰まりが発生しました。 以下のページを参照して、詰まった用紙を取り除いてください。 本書 169 ページ「用紙が詰まった」 正しいサイズの用紙をセットし、カバーを閉じるとエラーが解除され、印刷を再開します。
用紙の選択を A3,B4,A4,B5 に変更してください	［割り付け］コピーを実行する際は、［用紙］の設定を A3,B4,A4,B5 サイズの用紙がセットされた給紙装置にしてください。 本書 46 ページ「割り付けコピー」

メッセージ	説明
用紙の選択をA4 かB5 に変更してください	［ページ連写］コピーを実行する際は、［用紙］の設定を A4 または B5 サイズの用紙がセットされた給紙装置にしてください。 ☞ 本書 52 ページ「見開き原稿を左右別々にコピー」
用紙の選択を変更してください	給紙装置の用紙サイズと操作パネルの設定が一致しません。セットされている用紙サイズと操作パネルの設定を確認してください。 ［OK］ボタンを押すとエラーを解除します。 ☞ 本書 23 ページ「用紙サイズ・タイプの設定方法」
用紙を交換してください sssss tttt	給紙をしようとした給紙装置（sssss）にセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズ（tttt）が異なっています。 • 用紙サイズ設定ダイヤルが正しく設定されているか確認してください。 • ［共通設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］が［しない］（初期設定）に設定されている場合は、以下の 3 つのうち、いずれかの操作を行ってください。 (1) 給紙装置（sssss）にサイズ（tttt）の用紙をセットし、［OK］ボタンを押して印刷します。 ☞ 本書 18 ページ「用紙のセット方法」 (2) 用紙を交換しないで［OK］ボタンを押します。セットされている用紙に印刷します。 (3) 印刷を中止する場合は、［ストップ］ボタンを押します。 • ［共通設定］－［デバイス設定］の［自動エラー解除］を［する］に設定されている場合は、一定時間（5 秒）後にエラー状態が解除され、セットされている用紙に印刷します。
レポート印刷開始できません	ファクス受信中、オンフック中、およびデータの印刷中はレポート印刷ができません。動作終了後にレポート印刷を行ってください。
レポート印刷できません	通信管理レポートの印刷を実行しましたが、送受信ファクスの記録がないため通信管理レポートの印刷はできません。
レポートがあるためファクスできません	パワーオフレポートの出力中のため、ファクスの送信ができません。 パワーオフレポートが出力された後にファクス送信してください。

ワーニングメッセージ

本製品に何らかの問題が発生すると、注意を促すワーニングメッセージを表示します。以下の説明を参照して適切な処置をしてください。メッセージは五十音順に掲載してあります。

パネルに表示されるワーニングメッセージは、操作パネルの［各種設定］ボタンで表示するメニューから［共通設定］－［リセット］の［ワーニングクリア］または［全ワーニングクリア］を実行して消すことができます。［ワーニングクリア］は、消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。［全ワーニングクリア］は、すべてのワーニングメッセージを消します。
本書 167 ページ「ワーニングメッセージを消す」

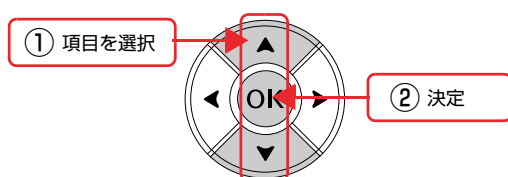
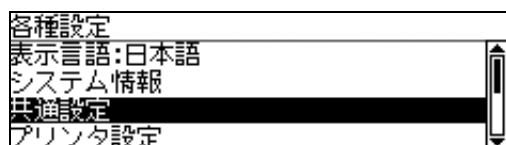
メッセージ	説明・処置
ADF メンテナンスユニットの交換時期が近付きました	ADF 部品を交換する時期が近付いています。 このままの状態でも使用可能ですが、できるだけ早めに交換してください。 交換は、本製品を購入した販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。
ADF メンテナンスユニットを交換してください	ADF 部品を交換してください。 交換は、本製品を購入した販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。
印刷できないデータです	印刷データに問題があるため、印刷できませんでした。 正しいプリンタドライバから印刷してください。 ［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 本書 167 ページ「ワーニングメッセージを消す」
解像度を落として印刷しました	指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。 • 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、［ストップ］ボタンを押します。印刷後に操作パネル表示を消すには、［ワーニングクリア］を実行します。 本書 167 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置をしてください。 (1) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタドライバで［印刷品質］を［はやい］に設定する。 (3) プリンタドライバで［データ圧縮方法］を変更する。 （［画質優先］にすると、このワーニングメッセージは表示されなくなりますが、メモリ不足のエラーが発生することがあります。）
＊＊＊＊感光体の交換時期が近付きました	「＊＊＊＊」に表示される色の感光体ユニットを交換する時期が近付いています。 このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めに感光体ユニットを交換してください。「感光体ユニットを交換してください｣」のメッセージが表示されたら、新しい感光体ユニットと交換してください。 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」
指定と違うタイプの用紙に印刷しました	印刷時に設定したサイズとタイプ（種類）の用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。 • ［ワーニングクリア］を実行すると表示は消えます。 本書 167 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 各給紙装置にセットしている用紙のタイプと、操作パネルの［各種設定］ボタンを押し、［プリンタ設定］－［給紙装置設定］で設定した用紙タイプを確認してください。 本書 23 ページ「用紙サイズ・タイプの設定方法」
定着ユニットの交換時期が近付きました	定着ユニットを交換する時期が近付いています。 このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めに定着ユニットを交換してください。
定着ユニットを交換してください	定着ユニットの寿命です。 定着ユニットを交換してください。 本書 130 ページ「定着ユニットの交換」

メッセージ	説明・処置
転写ユニットの交換時期が近付きました	転写ユニットの寿命が近付きました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。 ☞ 本書 125 ページ「転写ユニットの交換」
転写ユニットを交換してください	転写ユニットの寿命です。 転写ユニットを交換してください。 ☞ 本書 125 ページ「転写ユニットの交換」
＊＊＊＊トナーの交換時期が近付きました	「＊＊＊＊」に表示される色のトナーカートリッジのトナー残量が少なくなりました。 このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めにトナーカートリッジを交換してください。「＊トナーカートリッジを交換してください」のメッセージが表示されたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。 ☞ 本書 117 ページ「トナーカートリッジの交換」
廃トナーボックスの交換時期が近付きました	廃トナーボックスの空き容量が少なくなりました。 このままの状態でも印刷可能ですが、できるだけ早めに廃トナーボックスを交換してください。 「廃トナーボックスを交換してください」とエラーメッセージが表示されたら、新しい廃トナーボックスと交換してください。 ☞ 本書 123 ページ「廃トナーボックスの交換」
パスワード印刷の登録に失敗しました	パスワード印刷ジョブを登録できませんでした。 • 印刷していないパスワード印刷ジョブがすでに 64 ファイルある状態で、さらにパスワード印刷ジョブを登録しようとしました。印刷していないパスワード印刷ジョブを印刷するか消去してから、再度登録してください。 • RAM ディスク容量が不足しているか、設定されていません。[共通設定] − [デバイス設定] メニューの [RAM ディスク] を [標準] か [最大] に設定してください。すでに設定されているときは、メモリを増設してください。
非サポート USB デバイス	接続できない USB デバイスが本製品前面の USB コネクタに接続されています。
非純正品トナーカートリッジ	非純正品のトナーカートリッジが取り付けられています。 このまま使用すると、純正品とは異なる印刷品質やトナー残量表示となる場合があります。純正トナーカートリッジとの交換をお勧めします。
ファクス印刷可能な用紙がありません	給紙装置にファクス印刷可能なサイズの用紙（A3/B4/A4/B5）がセットされていないため、未印刷の受信データがあります。 給紙装置にファクス印刷可能なサイズの用紙（A3/B4/A4/B5）をセットするとメッセージは自動的に消え、受信データの印刷を開始します。 このワーニングメッセージは、[全ワーニングクリア] を実行しても消えません。
メモリ不足で部数印刷できませんでした	部単位印刷を実行する際にメモリが足りなくなりました。 • 印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、[ストップ] ボタンを押します。印刷後に操作パネル表示を消すには、[ワーニングクリア] を実行します。 ☞ 本書 167 ページ「ワーニングメッセージを消す」 • 改めて印刷するときは、以下のいずれかの処置をしてください。 (1) アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げたり、保存（圧縮）形式を変更してデータ容量を減らす。 (2) プリンタドライバで [印刷品質] を [はやい] に設定する。 (3) プリンタドライバで [データ圧縮方法] を [データサイズ優先] に設定する。 (4) プリンタドライバで [印刷モード] を [標準（PC)] に設定する。 (5) メモリを増設する。 (6) 使用していないインターフェイスを、操作パネルで使わないように設定する。
メンテナンスユニットの交換時期が近付きました	メンテナンスユニットの寿命が近付きました。 このままの状態でも印刷可能ですが、良好な印刷品質を保つために早めに交換されることをお勧めします。交換は、本製品を購入した販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。
メンテナンスユニットを交換してください	メンテナンスユニットの寿命です。交換は、本製品を購入した販売店またはエプソンサービスコールセンターへご連絡ください。

ワーニングメッセージを消す

[各種設定]メニューで消す

1 **操作パネルの［各種設定］ボタンを押して、メニューを表示します。**

2 **［▲］または［▼］ボタンを押して［共通設定］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

3 **［▲］または［▼］ボタンを押して［リセット］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

4 **［▲］または［▼］ボタンを押して［ワーニングクリア］または［全ワーニングクリア］を選択し、［OK］ボタンを押します。**

設定項目	説明
［ワーニングクリア］	「ファクス印刷可能な用紙がありません」と消耗品関係以外のワーニングメッセージをすべて消します。消耗品などのワーニングメッセージだけを残したいときに実行してください。
［全ワーニングクリア］	「ファクス印刷可能な用紙がありません」を除くすべてのワーニングメッセージを消します。

5 **モードの初期画面になるまで［戻る］ボタンを押します。**
設定モードが終了します。

以上で終了です。

状態確認画面で消す

1 **［状態確認］ボタンを押します。**
ワーニング確認画面が表示されます。
ワーニング確認画面が表示されていない場合は、［ワーニング］に対応する［F1］ボタンを押してください。

2 **［解除］に対応する［F3］ボタンを押します。**
表示されているワーニングが解除されます。消耗品関係のワーニングは解除されません。

3 **［状態確認］ボタンまたは各モードのボタンを押します。**

以上で終了です。

電源のトラブル

電源が入らない

!重要

- 急な電源プラグの抜き差しは、本製品が動作不安定になりますので、電源プラグを抜いてから再度電源を入れるときは、10 秒以上経過した後、電源プラグを差し込んでください。
- 電源の入 / 切は、電源プラグの抜き差しで行わず、必ず本体の【電源】スイッチで行ってください。【電源】スイッチで入 / 切しないと、正常に動作しなくなるおそれがあります。

電源コードが抜けていたり、ゆるんでいませんか？

電源コードをプリンタ部とコンセントに、確実に差し込んでください。

コンセントに電源は来ていますか？

コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチを入れます。ほかの電化製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

正しい電圧（AC100V、15A）のコンセントに接続していますか？

コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。
コンピュータの背面などに設けられているコンセントには接続しないでください。

操作パネルに何も表示されない

スキャナ部とプリンタ部を接続するケーブルが外れていませんか？

ケーブルが接続されていないと、操作パネルが起動しません。ケーブルを接続してください。
☞『取扱説明書 1 セットアップ編』（冊子）

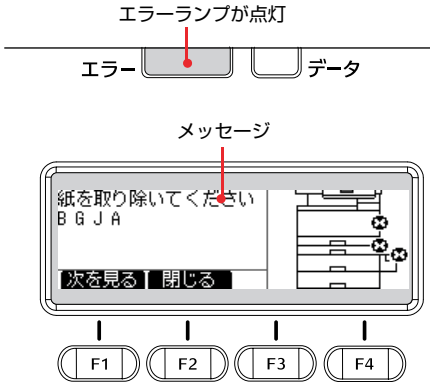
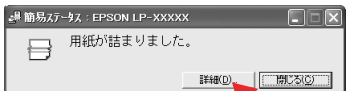
ブレーカが動作してしまう

ブレーカの定格は十分ですか？

ブレーカの定格が十分であるにもかかわらずブレーカが動作してしまう場合は、他の機器を別の配線に接続してみてください。または本製品に専用配線を用意してください。

周辺の電化製品に異常が発生する

電源容量は、十分に確保されていますか？

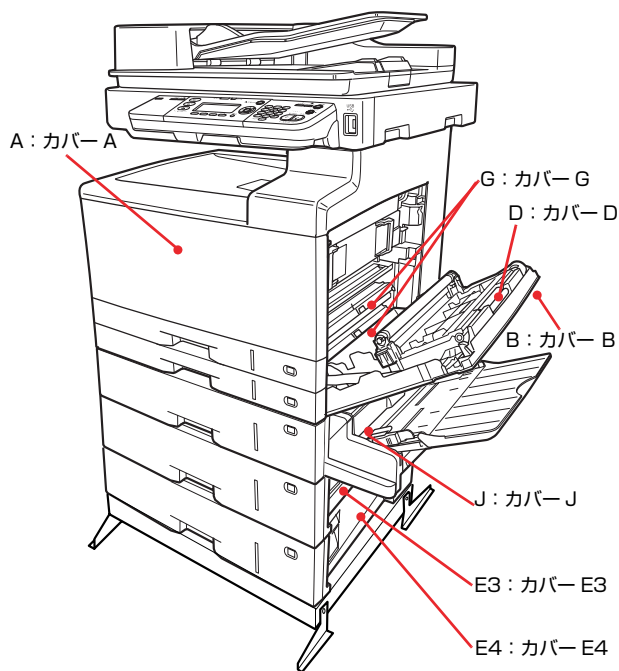
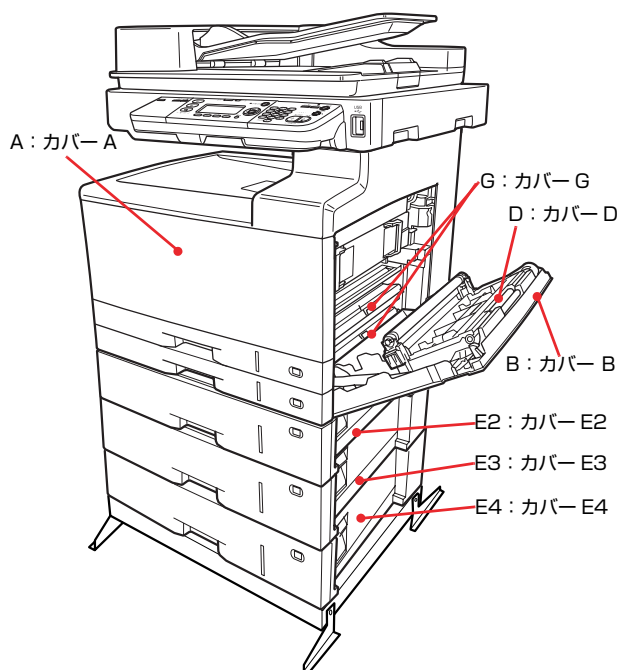
電源容量が十分に確保されていない環境においては、本製品と同一の電源ラインに接続されている蛍光灯にチラつきが発生したり、コンピュータがリセットするなどの現象が発生する可能性があります。蛍光灯、コンピュータなどが接続されている電源ラインと本製品を分離してください（分電盤から独立して引かれた電源ラインへの接続をお勧めします）。
また、無停電電源装置に接続するときは、他の機器に並列して接続しないでください。

給排紙のトラブル

用紙が詰まった

紙詰まりが発生すると、操作パネルまたはコンピュータの画面（EPSON ステータスモニタがインストールされている場合）にエラーメッセージが表示されます。

操作パネルや EPSON ステータスモニタのメッセージに従って、用紙を取り除いてください。

操作パネルの表示	EPSON ステータスモニタの表示	参照先
メッセージ		
紙を取り除いてください B B G B G D B D B G E2	用紙が詰まりました。 次のカバーまたは給紙装置付近の用紙を取り除いてください。 カバー B カバー G カバー D カバー E2	171 ページ
紙を取り除いてください E2 A E3 A E4 A	用紙が詰まりました。 次のカバーまたは給紙装置付近の用紙を取り除いてください。 カバー E2 カバー E3 カバー E4	173 ページ
紙を取り除いてください B G J A	次のカバーまたは給紙装置付近の用紙を取り除いてください。 カバー B カバー G カバー J	171 ページ 174 ページ
紙を取り除いてください J A	次のカバーまたは給紙装置付近の用紙を取り除いてください。 カバー J カバー A	174 ページ
用紙サイズ設定エラー 紙を取り除いてください	指定とは違うサイズの用紙を給紙したため、用紙が詰まりました。	171 ページ
詰まった原稿を取り除いてください	-	175 ページ

紙詰まりの場所

！重要

紙詰まりが頻繁に発生する場合は、用紙を 1 枚ずつセットして印刷してください。

紙詰まりの原因

紙詰まりの主な原因は次のようなものです。紙詰まりが繰り返し発生するときは、次の点を確認してください。

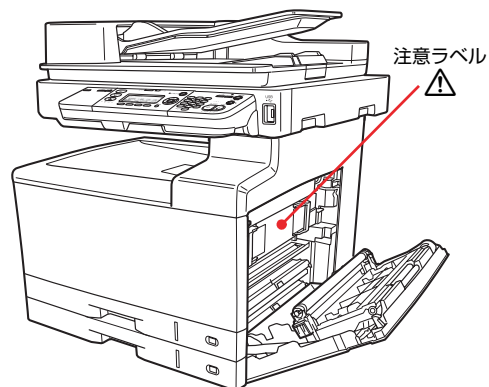
- 印刷中に用紙を継ぎ足さないでください。複数枚の紙を同時に給紙して紙詰まりの原因となる可能性があります。
- 本製品が水平に設置されていない
- 用紙ガイドが正しい位置にセットされていない
- MP トレイまたは用紙カセットが正しくセットされていない
- 本製品で使用できない用紙を使用している
  本書 15 ページ「印刷できない用紙」
- オートドキュメントフィーダで給紙できない原稿を使用している
  本書 25 ページ「セットできる原稿サイズ」
- 給紙ローラが汚れている
  本書 144 ページ「給紙ローラのクリーニング」

用紙を取り除く際のご注意

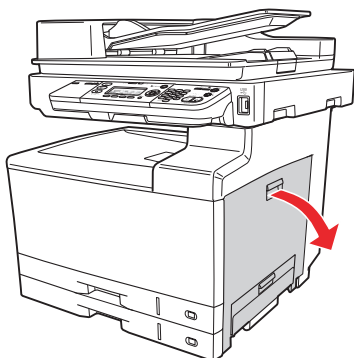
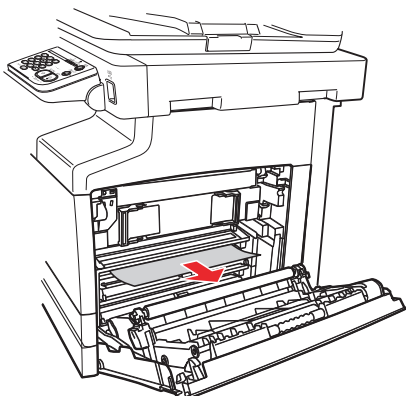
詰まった用紙を取り除く際は、以下の点に注意してください。

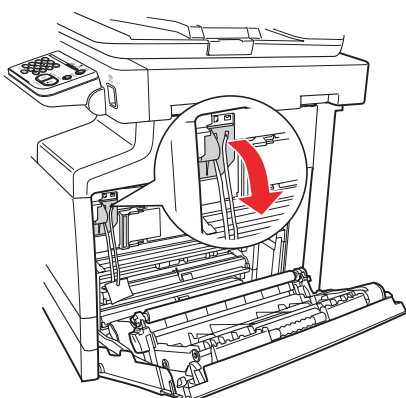
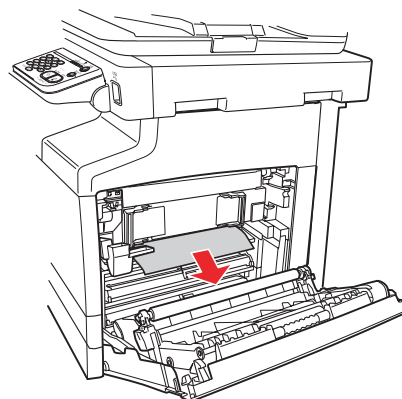
- 詰まった用紙は、破れないように両手でゆっくり引き抜いてください。無理に引き抜くと、用紙が破れて取り除くことが困難になり、さらに別の用紙詰まりを引き起こします。
- 用紙が破れた場合は、破れた用紙が残らないようすべて取り除いてください。
- 破れた用紙が取り除けない場合や、本書で説明している場所以外に用紙が詰まって取り除けない場合は、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご相談ください。

⚠注意

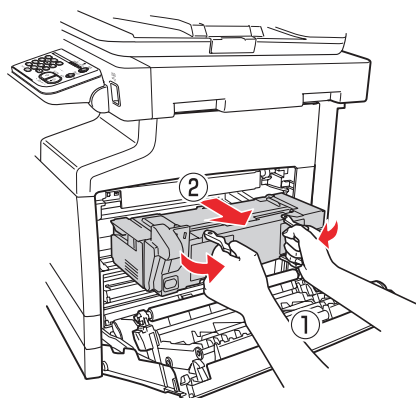
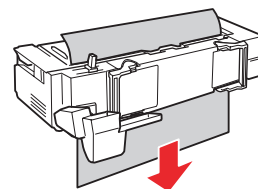
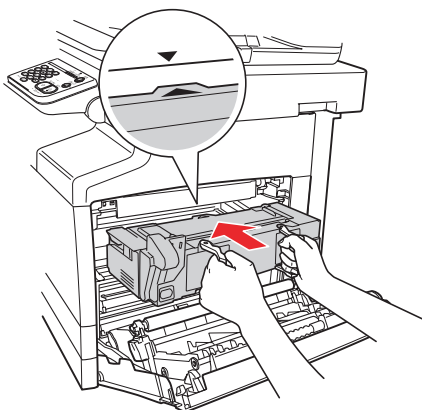
使用中に本製品のカバー B を開けたときは、注意ラベルで示す定着ユニットに触れないでください。また、本製品使用中に定着ユニットを取り外すときは、カバー B を開けた状態で 15 分程待ってから作業してください。
内部は高温になっているため、火傷のおそれがあります。

カバーB/ カバーG/ カバーD

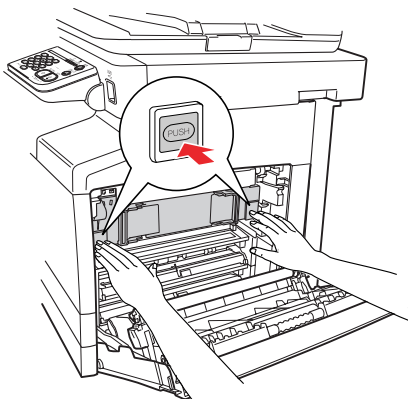
1 手差しトレイが開いているときは、閉じます。

2 カバー B を開けます。

3 詰まった用紙を下方向に引き抜きます。

用紙が取り除けたら、15 に進みます。

4 緑色のリリースレバーを下げます。
左側のラベルの「リリースレバー解除位置」まで下げ、用紙を抑えている力を解除します。

5 詰まった用紙を下方向に引き抜きます。

用紙が取り除けたら、15 に進みます。

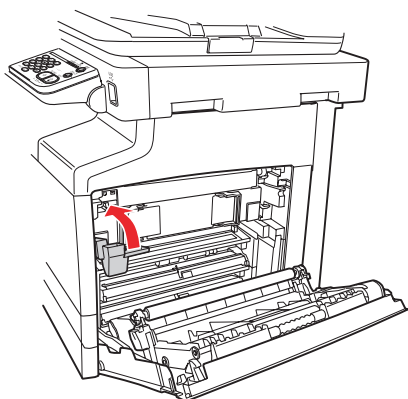
6 緑色の取っ手を、カチッと音がするまで起こし、定着ユニットを引き抜きます。

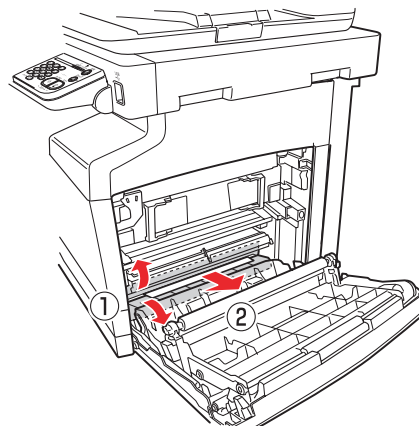
> **重要**
> 定着ユニットは、着脱時に落とさないようにしてください。
> 本製品内部を破損するおそれがあります。

7 詰まった用紙を下方向に引き抜きます。

8 マークを合わせて定着ユニットを挿入します。

9 取っ手から手を離し、左右の「PUSH」部分を押してカチッと音がするまで挿入します。

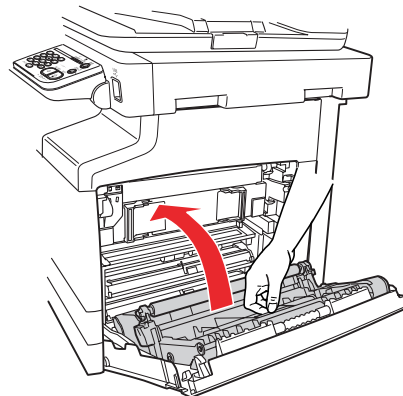
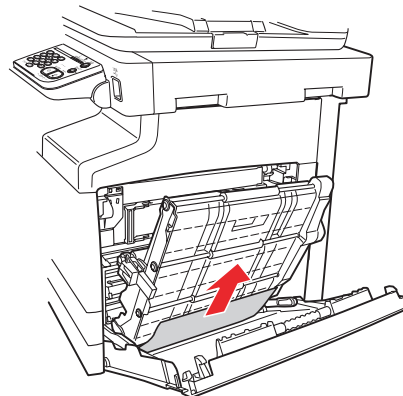
重要

定着ユニットを奥まで確実に挿入してください。動作時に異音が発生することがあります。

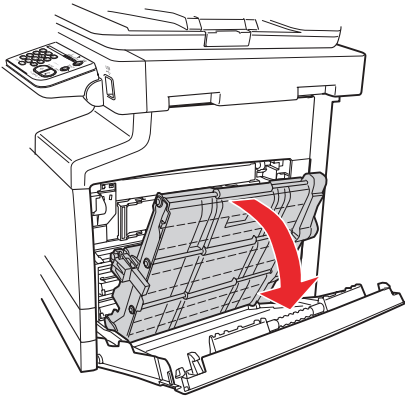
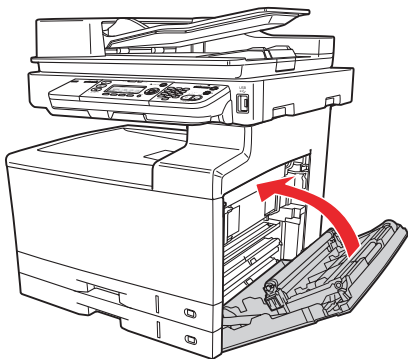
10 緑色のリリースレバーを元に戻します。

注意

リリースレバーは勢いよく動作することがありますので、注意して操作してください。
指を挟んだりして、けがをするおそれがあります。

用紙が取り除けたら、15 に進みます。

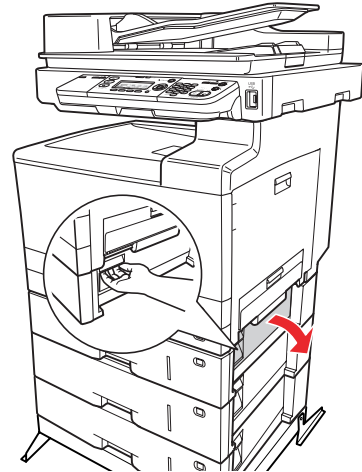
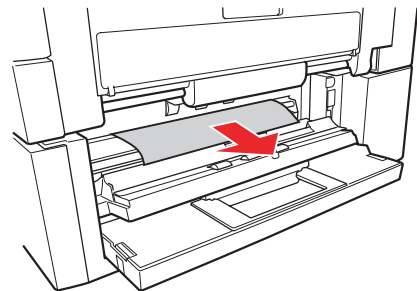
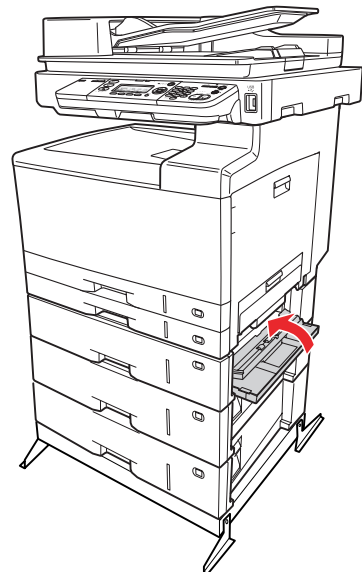
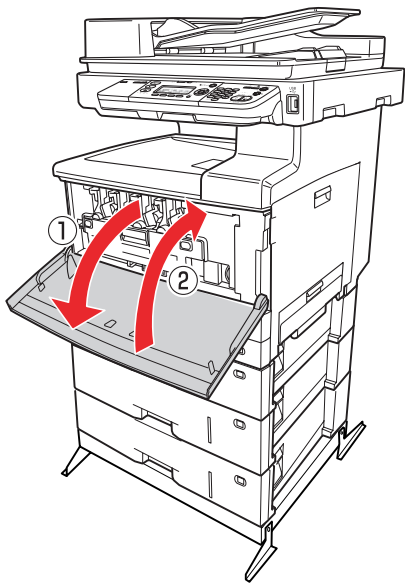
11 カバー G（2 枚）を上下に開き、内部に詰まった用紙を引き抜きます。

用紙が取り除けたら、15 に進みます。

12 カバー D の取っ手を持って開けます。

13 詰まった用紙を上方向に引き抜きます。

14 カバー D を閉じます。

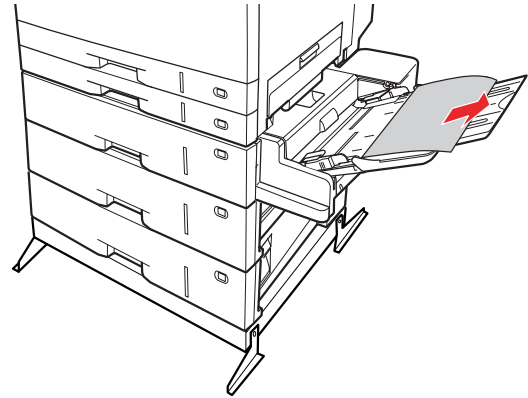
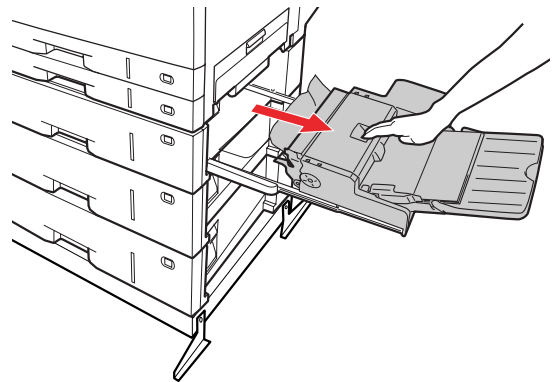
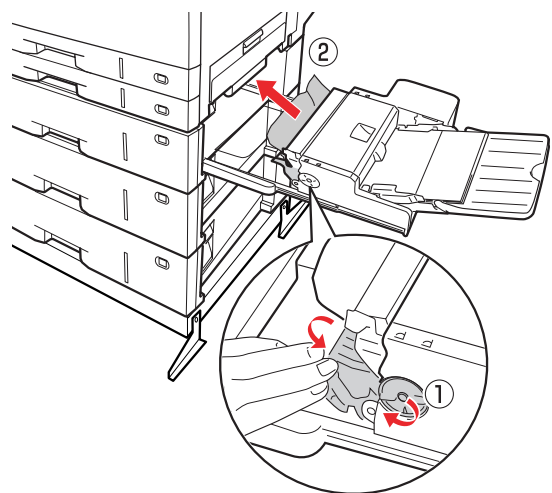
> **!重要**
> カバーD を開けたままカバーB を閉じると、転写ローラが定着ユニットに当たって傷付いたり、カバー D が不用意に閉まるおそれがあります。
> カバー D を閉じてからカバー B を閉じてください。

15 カバー B を閉じます。

以上で終了です。

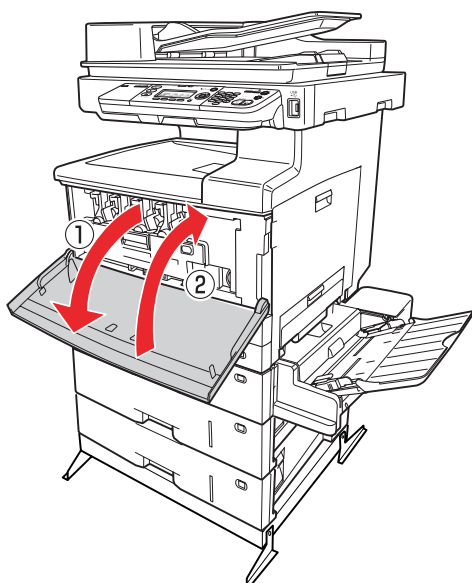
カバーE2/ カバーE3/ カバーE4/ カバーA

ここではカバー E2 を例に説明します。カバー E3/E4 も同様の方法で用紙が取り除けます。

1 カバー E2 を開けます。

2 詰まった用紙を引き抜きます。

3 カバー E2 を閉じます。

4 カバー A を開閉します。

以上で終了です。

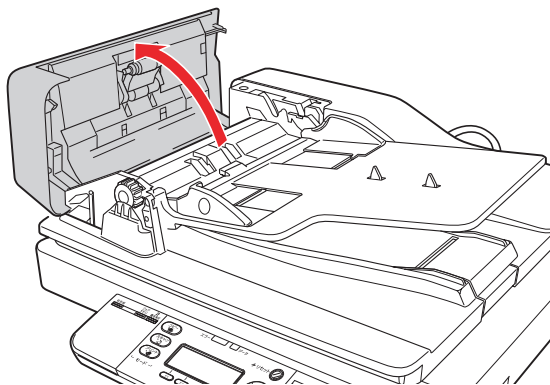
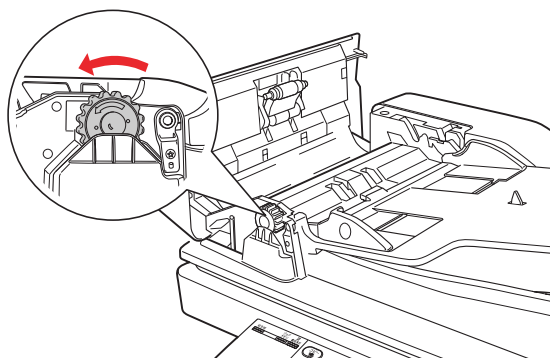
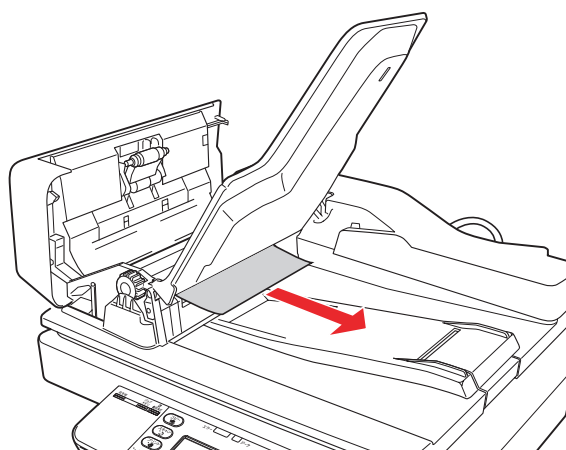
カバーJ(MP トレイ)/ カバーA

1 MP トレイにセットしてある用紙を取り除きます。

2 MP トレイユニットを引き出します。

3 緑色の紙送り用ダイヤルを回して用紙を送り出し、詰まった用紙を引き抜きます。

4 MP トレイユニットを元に戻します。

5 カバー A を開閉します。

以上で終了です。

オートドキュメントフィーダ

オートドキュメントフィーダで原稿が詰まったときは、以下の手順で詰まった原稿を取り除いてください。

1 オートドキュメントフィーダカバーを開けます。

2 紙送りダイヤルを左に回転させて原稿を送り出します。

3 原稿が完全に排出されたら取り除きます。

4 オートドキュメントフィーダカバーを閉じます。

以上で終了です。

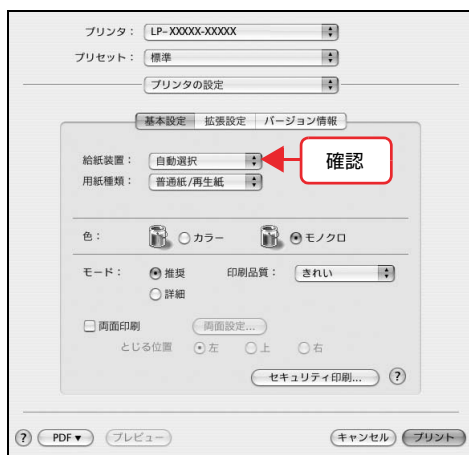
プリンタ部の給排紙トラブル

給紙されない

プリンタドライバで、使用したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバの［給紙装置］の設定を確認してください。

Windows：

Mac OS X：

［給紙装置］に［カセット 2］など（オプションの増設カセットユニット）が表示されないときは、［実装オプション設定］を確認してください。

本書 185 ページ「給紙装置が選択できない」

本製品で印刷可能な用紙を使用していますか？

印刷可能な用紙を使用してください。

本書 14 ページ「印刷できる用紙の種類」

両面印刷時に、両面印刷可能な用紙を使用していますか？

両面印刷で使用できる用紙の詳細は、以下のページを参照してください。

本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」

セットする前に用紙をさばきましたか？

複数枚セットする際に、用紙をさばいてからセットすると給紙時の問題が発生しなくなることがあります。

用紙カセットが本製品に正しくセットされていますか？

標準用紙カセットやオプション増設カセットユニットの用紙カセットを正しくセットしてください。

本書 18 ページ「用紙のセット方法」

給紙ローラが汚れていませんか？

給紙ローラをふいてください。

本書 144 ページ「給紙ローラのクリーニング」

用紙ガイドが正しい位置にセットされていますか？

手差しトレイや用紙カセットの用紙ガイドを、用紙サイズに合わせてセットしてください。

本書 18 ページ「用紙のセット方法」

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

用紙サイズ設定ダイヤルが正しく設定されていますか？

用紙カセットの用紙サイズ設定ダイヤルを、セットした用紙と同じサイズに設定してください。

本書 18 ページ「用紙のセット方法」

用紙が詰まる

プリンタ部をプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？

プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。本製品の設置場所を確認してください。

プリンタ部は水平な場所に設置されていますか？

設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物が挟まれていると正常に給排紙されないことがあります。本製品の設置場所の環境を確認してください。

用紙が二重に送られる

用紙がくっついていませんか？

用紙がくっついて給紙される場合は、用紙をよくさばいてください。特殊紙の場合は、1 枚ずつセットしてください。

本製品に合った用紙を使用していますか？

印刷可能な用紙をお使いください。

本書 14 ページ「印刷できる用紙の種類」

用紙がカールする

正しい印刷面に印刷していますか？
特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を変えて印刷してみてください。

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換することをお勧めします。

排紙サポートを起こしていますか？
排紙された用紙がカールするときは、排紙サポートを起こすとカールしなくなることがあります。
☞ 本書 24 ページ「排紙」

封筒にしわができる

封筒レバーを封筒位置にセットしていますか？
封筒に印刷するときは、封筒レバーを封筒位置にセットしてください。
☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「コンピュータから特殊紙への印刷」―「封筒」

封筒が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい封筒と交換することをお勧めします。

プリンタ内部で用紙が詰まりやすい

定着ローラが汚れている可能性があります。
以下の手順で定着ローラをクリーニングします。
① 詰まった用紙があれば、詰まった用紙を取り除きます。
② [ストップ] ボタンを押して、印刷データをキャンセルします。
③ A4 サイズ 1 ページ分のデータを作成します。
用紙の下半分に数文字程度のテキストが入っているモノクロのデータを作成してください。
④ 本製品に A4 サイズの用紙を 5 枚以上セットします。
⑤ プリンタドライバの設定を以下のようにします。
用紙種類：[厚紙] を選択
用紙サイズ：セットした用紙サイズを選択
部単位印刷：[5] を指定
⑥ ③で作成したデータを印刷します。

上記の作業を行ってもまだ汚れが残るときは、同じ作業を繰り返し行ってください。

紙詰まりエラーが解除されない

詰まった用紙をすべて取り除きましたか？
本製品のカバー付近を確認してください。それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れて本製品内部に残っているかもしれません。このようなときは無理に取り除こうとせずに、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。
☞ 本書裏表紙

異音がする

プリンタ部動作時にガタガタ音がする

定着ユニットをカチッと音がするまで挿入しましたか？
定着ユニットが確実に装着されていないと、プリンタ部動作時（電源投入時、印刷時、節電復帰時）に右側面から異音が発生することがあります。
定着ユニット左右の [PUSH] 部分をカチッと音がするまで挿入して、確実に装着されていることを確認してください。

スキャナ部の給排紙トラブル

原稿が給紙されない / 複数枚給紙される

オートドキュメントフィーダで使用できない用紙または定形外の用紙を使用していませんか？

オートドキュメントフィーダで使用できない用紙または定形外の用紙は正しく給紙できません。以下のページを参照して用紙がオートドキュメントフィーダで使用できるか確認してください。

☞ 本書 25 ページ「セットできる原稿」

オートドキュメントフィーダ内部が汚れていませんか？

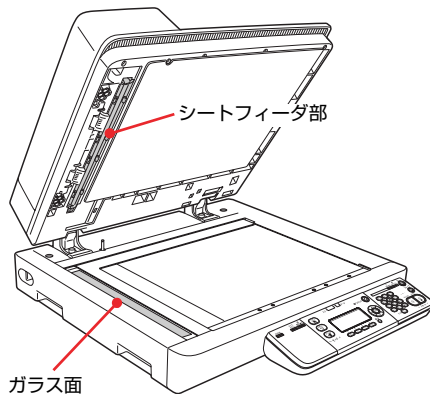
オートドキュメントフィーダのローラ、分離パッドにホコリやゴミが付着していると原稿が複数枚給紙されたり、原稿が給紙されなかったりすることがあります。

以下のページを参照してお手入れをしてください。

☞ 本書 145 ページ「オートドキュメントフィーダのクリーニング」

原稿が汚れる

原稿台左横のガラス面、オートドキュメントフィーダのシートフィーダ部が汚れていませんか？

柔らかい布でからぶきし、ゴミや汚れなどを取り除いてください。

オートドキュメントフィーダ内部が汚れていませんか？

以下のページを参照してお手入れをしてください。

☞ 本書 145 ページ「オートドキュメントフィーダのクリーニング」

スキャナがエラーになり、スキャンできない

ドキュメントフィーダ本体やオートドキュメントフィーダのカバーを開けていませんか？

オートドキュメントフィーダ動作中は、オートドキュメントフィーダ本体を開けたり、オートドキュメントフィーダのカバーを開けたりすると、エラーとなりスキャンできません。

コンピュータとの接続に関するトラブル

コンピュータと通信できない

インターフェイスケーブルが外れていませんか？

本製品側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないかを確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。

インターフェイスケーブルがコンピュータや本製品の仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類や仕様に合ったケーブルか確認します。

☞ 本書214ページ「消耗品／オプション／定期交換部品一覧」

ネットワーク上の設定は正しいですか？

ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、本製品またはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。同梱の『取扱説明書 5 ネットワーク編』（電子 マニュアル）を参照して、ネットワークの設定を確認してください。

USB ケーブルの接続口を変えてみてください。

コンピュータに複数の USB 接続口がある場合は、接続口を変えると正しく動作するようになることがあります。

インターフェイスが使用できない設定になっていませんか？

操作パネルで、特定のインターフェイスが使用できないように設定されていると、そのインターフェイスは使用できません。設定を確認してください。

☞ 本書 224 ページ「操作パネル設定項目一覧」

コンピュータは、本製品の仕様に合っていますか？

システム条件を確認し、適切な環境で本製品を使用してください。

☞ 本書 221 ページ「動作環境」

WindowsがUSBハブを正しく認識していますか？（USB 接続 /Windows）

Windows の［デバイスマネージャ］の<ユニバーサルシリアルバス>の下に、USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピュータの USB ポートから、USB ハブをすべて外してから、本製品の USB コネクタをコンピュータのUSB コネクタに直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、ハブのメーカーにお問い合わせください。

本製品を USB ハブの 1 段目に接続していますか？（USB 接続）

仕様上は、USB ハブを使用して 5 段まで縦列接続できますが、1 段目に接続することをお勧めします。コンピュータに直接接続されたUSBハブの1段目以外に本製品を接続していて正常に動作しないときは、1段目に接続してください。また、別のハブをお持ちの場合は、ハブを替えて接続してみてください。

印刷のトラブル

印刷できない

コピーモードでパネルを操作していませんか？

コピーモードからパネルを操作すると、しばらくの間パネル操作優先状態となります。
コピーモードでパネルを操作したときは、しばらくそのままお待ちください（約 10 秒）。

プリンタドライバが正しくインストールされていますか？

プリンタドライバをインストールし、接続方法に合った設定ができているか確認してください。

☞『取扱説明書 1 セットアップ編』（冊子）－「コンピュータの接続と設定」

プリンタ名を変更していませんか？

ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタ名を選択してください。

パスワード印刷の設定をしていませんか？

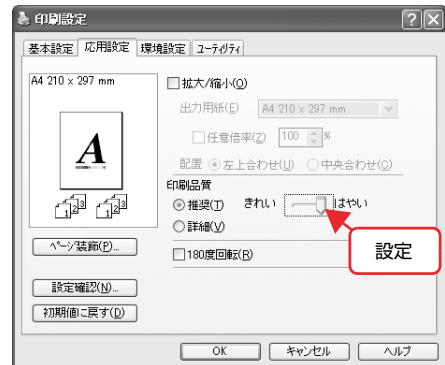
プリンタドライバの［セキュリティ印刷］画面で、パスワード印刷の設定をして印刷を実行すると、印刷データは一旦本製品のメモリ（RAM ディスク）に保存されます。本製品から出力するには、操作パネルでパスワードを入力してください。
パスワード印刷しない場合は、［セキュリティ印刷］画面で［パスワード印刷をする］のチェックを外してから印刷してください。

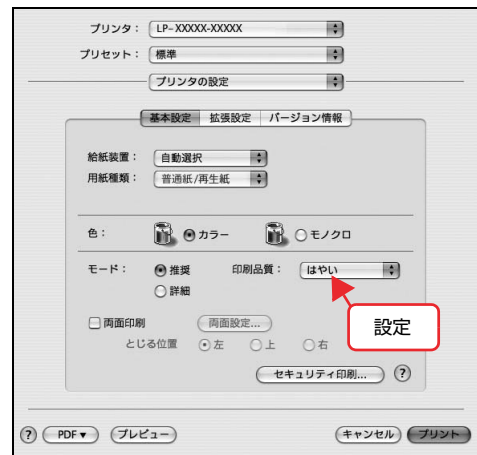
☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「印刷ジョブにパスワードを設定」

［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品が追加されていますか？（Mac OS X）

［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品のプリンタドライバをデフォルトプリンタとして選択するか、［プリント］画面で本製品を選択してください。
本製品が AppleTalk ゾーンを設定したネットワークに接続されている場合は、正しい［AppleTalk Zone］を選択して本製品を追加してください。

容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、コンピュータの CPU やメモリの容量によって、データを処理できないことがあります。コンピュータのメモリを増設するか、プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［きれい］（600dpi）になっている場合は、［はやい］（300dpi）にすると印刷できることがあります。

Windows：

Mac OS X：

通常使うプリンタとして設定されていますか？（Windows）

アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できないことがあります。通常使うプリンタとして設定しておくと、印刷時に自動的に本製品を選択して印刷します。以下の手順に従って確認してください。

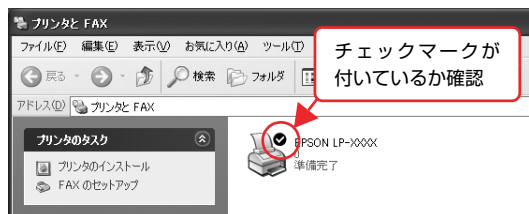
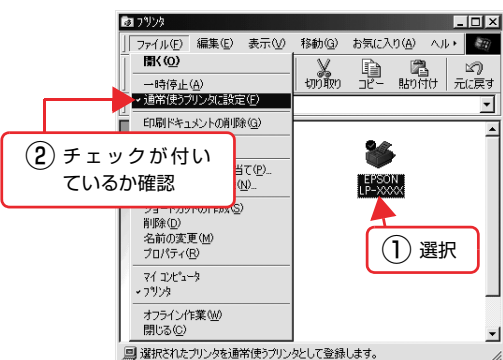
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［ ］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

2 ［通常使うプリンタに設定］になっているか確認します。

Windows 2000 以外：
本製品のアイコンにチェックマークが付いていれば、［通常使うプリンタに設定］の状態になっています。チェックマークが付いていない場合は、使用するプリンタ名を右クリックし、表示されたメニューで［通常使うプリンタに設定］を選択します。

Windows 2000：
本製品のアイコンを選択し、［ファイル］メニューの［通常使うプリンタに設定］が選択されているか確認します。

以上で終了です。

プリンタが一時停止またはオフラインになっていませんか？（Windows）

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリンタまたはプリントマネージャのステータスが「一時停止」になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。

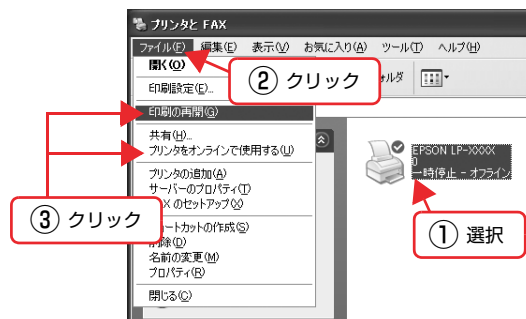
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［ ］―［コントロールパネル］―［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］―［プリンタと FAX］をクリックします。

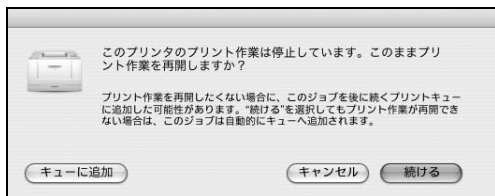
Windows 2000：
［スタート］―［設定］―［プリンタ］をクリックします。

2 本製品のアイコンを選択し、印刷ができる状態に戻します。

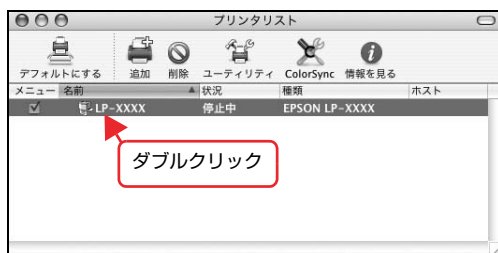
Windows 2000 以外：
［ファイル］メニューを開き、［印刷の再開］または［プリンタをオンラインで使用する］になっている場合は、クリックします。
Windows Vista で［ファイル］メニューが表示されていないときは、タスクメニュー右端の » をクリックして表示させます。

Windows 2000：
［ファイル］メニューを開き、［一時停止］または［プリンタをオフラインで使用する］にチェックが付いている場合は、クリックして外します。

以上で終了です。

プリンタが一時停止になっていませんか？（Mac OS X）

［プリンタ設定ユーティリティ］でプリンタが一時停止なっていると、印刷を実行してもメッセージが表示されてそのままでは印刷できません。

［続ける］をクリックすると、印刷が再開されます。［続ける］をクリックしても印刷が再開されない場合や、［キューに追加］をクリックした場合は、以下の手順に従ってください。

1 ［プリンタ設定ユーティリティ］を開きます（印刷実行時は「Dock」から開けます）。

2 プリンタ名（本製品）をダブルクリックします。

3 ［ジョブを開始］をクリックします。

以上で終了です。

プリンタポートの設定は正しいですか？（USB 接続 /Windows）

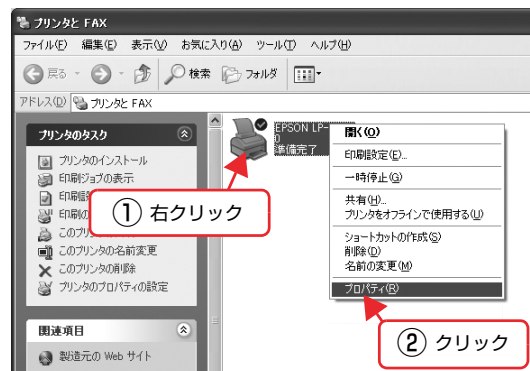
新たに USB 対応プリンタを接続し、ドライバをインストールすると、印刷先のポートの設定が変わることがあります。印刷先のポートの設定を確認してください。

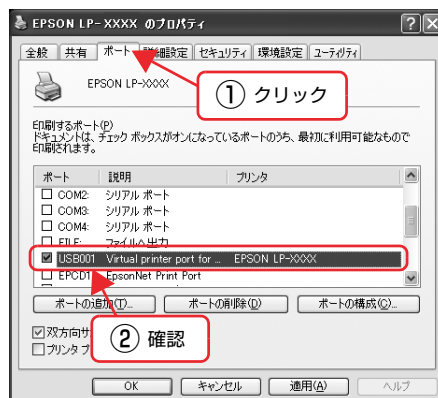
1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：
［ ］ー［コントロールパネル］ー［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：
［スタート］ー［プリンタと FAX］をクリックします。

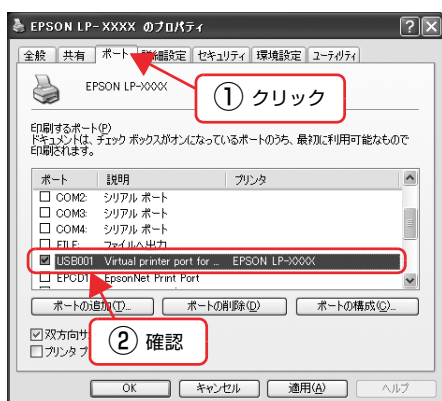
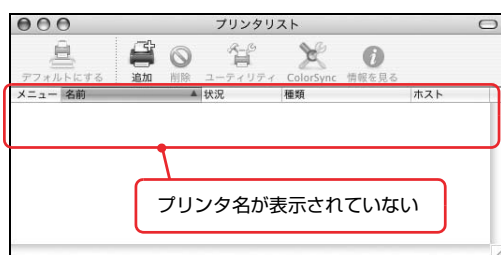
Windows 2000：
［スタート］ー［設定］ー［プリンタ］をクリックします。

2 本製品のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［詳細］/［ポート］タブをクリックして［印刷するポート］/［印刷先のポート］を確認します。

① ［ポート］タブをクリックします。
② ［印刷するポート］で［USBx］が選択されていることを確認します（x はポート番号を表す数字です）。

以上で終了です。

ポートが表示されていますか？（USB 接続）

以下の画面を開いて、ポートが正しく表示されているか確認してください。
表示されていないときは、本製品の電源が入っていることを確認し、USB ケーブルを一旦抜いてから差し直してみてください。Mac OS X は、［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品を追加し直してみてください。

Windows：

Mac OS X：

通信エラーが発生する

EPSON ステータスモニタがインストールされている環境で、「通信エラーが発生しました」と表示されたときは、以下の内容を確認してください。

コンピュータと本製品が正しく接続されていますか？

以下を参照してください。
☞ 本書 180 ページ「印刷できない」

ネットワーク接続で、印刷プロトコルとして IPP、Net BEUI を使用していませんか？

EpsonNet Internet Print使用時は、EPSONステータスモニタがネットワークプリンタを監視できないために印刷を実行すると通信エラーとなる場合があります。エラーが表示されても印刷は正常に終了します。［通知設定］画面内の［印刷中プリンタを監視する］のチェックを外すと、エラーが表示されなくなります。
また、NetBEUI では接続できません。
☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「印刷を始める前に」－「プリンタの監視」

リモートデスクトップ機能で、リダイレクトプリントを実行していませんか？（Windows XP/Windows Vista）

リモートデスクトップ機能を利用している状態で、移動先のコンピュータからそのコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

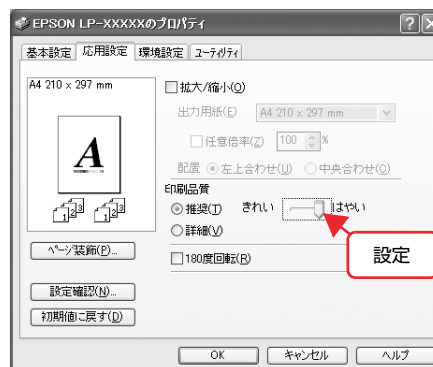
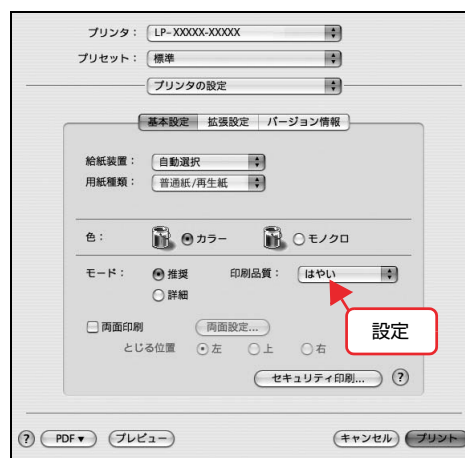
操作パネルにエラーが表示される

操作パネルにエラーメッセージが表示されていませんか？

操作パネルのエラーランプが点灯し、エラーメッセージが表示されているか確認してください。エラーメッセージの説明と対処方法は以下を参照してください。
☞ 本書 156 ページ「エラーメッセージ」

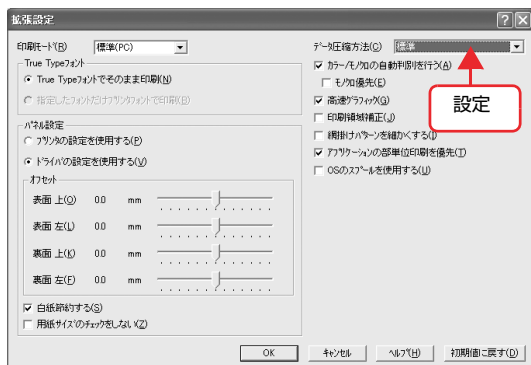
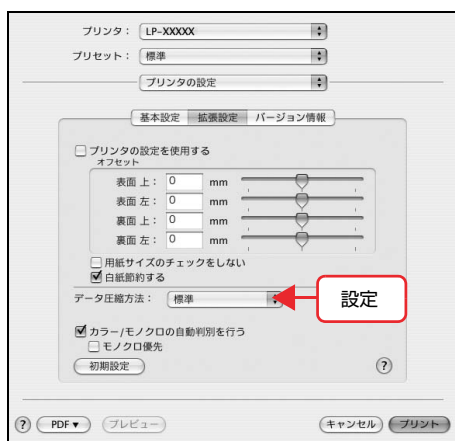
容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、本製品がデータを処理できないことがあります。

- プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［きれい］（600dpi）になっている場合は、［はやい］（300dpi）にすると印刷できることがあります。

Windows：

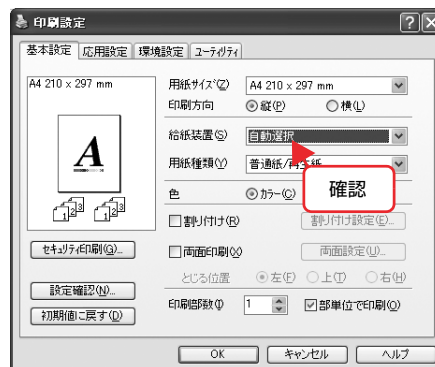
Mac OS X：

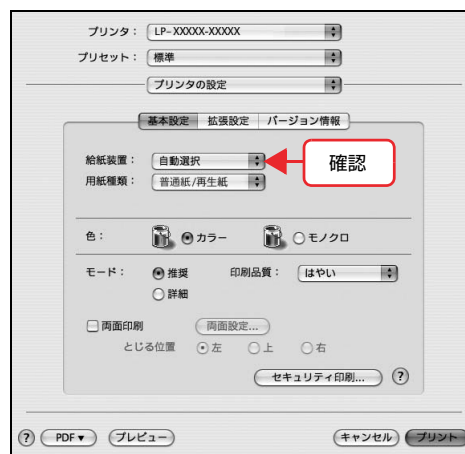
- プリンタドライバの［データ圧縮方法］の設定は、［画質優先］、［標準］、［データサイズ優先］の順にメモリ効率が上がります。より高いメモリ効率の設定にすることで印刷できることがあります。

Windows：

Mac OS X：

- 操作パネルで、使用していないインターフェイスを［使わない］に設定すると印刷できることがあります。
☞ 本書 224 ページ「操作パネル設定項目一覧」
- 容量の大きなデータを印刷するには、本製品にメモリを増設することをお勧めします。
  メモリを増設することにより、コピー / 印刷できるようになります。
  使用できるメモリの詳細については、下記エプソンのホームページから本製品のオプション情報をご覧ください。
  < http://www.epson.jp/ >

給紙されない

プリンタドライバで、使用したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバの［給紙装置］の設定を確認してください。

Windows：

Mac OS X：

Windows で［給紙装置］に［カセット 2］/［カセット 3］/［カセット 4］（オプションの増設カセットユニット）が表示されないときは、実装オプションの設定をしてください。
☞ 本書 185 ページ「給紙装置が選択できない」

給紙装置が選択できない

アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先されることがあります。アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。

セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

ステータスシートまたは操作パネルで、手差しトレイと用紙カセットの用紙サイズの設定を確認してください。

ステータスシートは、操作パネルの［システム情報］－［レポート印刷］メニューから印刷します。

プリンタドライバ（Wondows のみ）からも印刷できます。

☞ 本書 136 ページ「本製品の状態・設定（ステータス）の確認」

用紙サイズの設定を操作パネルで直接確認するには、［給紙装置設定］メニューを確認します。

☞ 本書 94 ページ「プリンタ設定の項目一覧」

用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、プリンタドライバの設定も一致させてください。

プリンタドライバでオプションの給紙装置を設定しましたか？

Windows：

EPSONステータスモニタをインストールしていない場合は、プリンタドライバでオプション情報を設定する必要があります。以下の手順で設定してください。

EPSON ステータスモニタをインストールしている場合は、プリンタのプロパティ画面を開くと自動的に認識されます。

1 Windows の［スタート］メニューから［プリンタと FAX］/［プリンタ］を開きます。

Windows Vista：

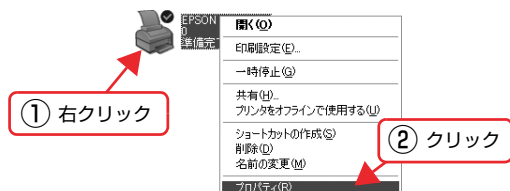
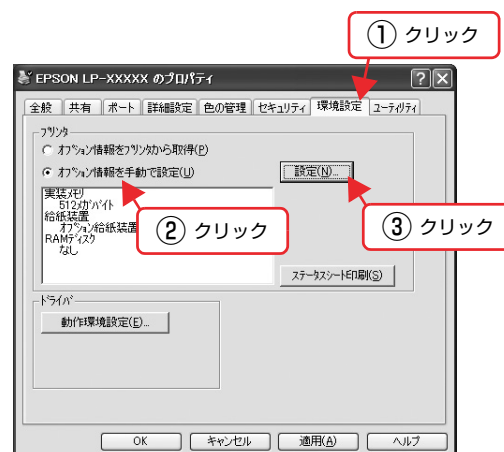
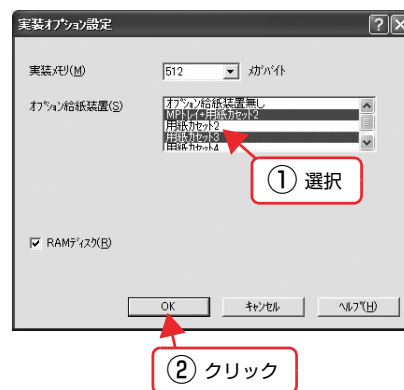
［ ］－［コントロールパネル］－［プリンタ］の順にクリックします。

Windows XP/Windows Server 2003：

［スタート］－［プリンタと FAX］をクリックします。

Windows 2000：

［スタート］－［設定］－［プリンタ］をクリックします。

2 本製品のアイコンを右クリックして、［プロパティ］をクリックします。

3 ［環境設定］画面で［オプション情報を手動で設定］をクリックし、［設定］をクリックします。

4 取り付けた用紙カセットを選択して［OK］をクリックします。

以上で終了です。

Mac OS X：

［プリンタ設定ユーティリティ］で本製品を追加し直すか、EPSON ステータスモニタを起動すると、情報が更新されます。

増設カセットユニットのコネクタが、本製品に確実に接続されていますか？

コネクタが接続されていないと、増設カセットユニットが認識されません。

☞『取扱説明書 1 セットアップ編』（冊子）

印刷が中断する

スリープ / 休止の設定をしていませんか？

印刷中は Windows Vista 上の操作により、スリープ / 休止状態に移行しないでください。

画面表示や設定と印刷結果が異なる

印刷した結果が画面の表示や設定内容と異なるときは、以下の内容を確認してください。

文字や画像が画面表示と異なる

本製品の使用環境に問題はありませんか？

再度印刷してみても同様の現象が発生する場合は、以下の点を確認してください。

- 推奨ケーブルが正しく接続されているか
  本書 221 ページ「動作環境」
- お使いのコンピュータは本製品のシステム条件に合っているか
  本書 221 ページ「動作環境」
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできるか
  本書 136 ページ「本製品の状態・設定（ステータス）の確認」

色合いが画面表示と異なる

画面表示とプリンタの発色方法の違いによって生じます。

画面表示とプリンタでは、以下のように色の表現方法が異なります。

画面に表示する色の仕組み

テレビやコンピュータなどの画面では、赤（R）・緑（G）・青（B）の「光の三原色」を組み合わせてさまざまな色を表現します。どの色も光っていない状態が黒（BK）で、3 色すべてが光っている状態が白（W）になります。

プリンタで印刷する色の仕組み

カラーのグラビア印刷やカラープリンタの印刷は、シアン（C）・イエロー（Y）・マゼンタ（M）の「色の三原色」を組み合わせてさまざまな色を表現します。まったく色を付けないのが白（W）で、3 色を均等に混ぜた状態が黒（K）になります。

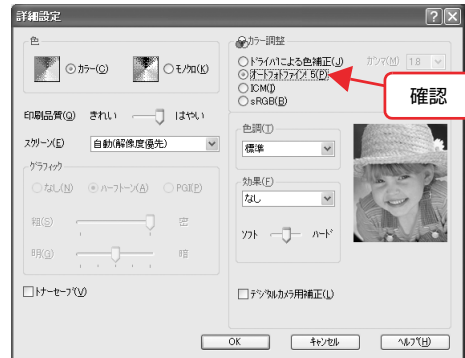
スキャナで読み込んだ画像を印刷するときは、原画（CMY）→ディスプレイ（RGB）→印刷（CMY）と発色方法が変更されるため、完全に色を一致させることはできません。

普通紙にカラー印刷していませんか？

カラー印刷は、使用する用紙によって印刷結果が大きく異なります。最良の印刷結果を得るには、エプソン製上質普通紙の使用をお勧めします。

本書 214 ページ「消耗品／オプション／定期交換部品一覧」

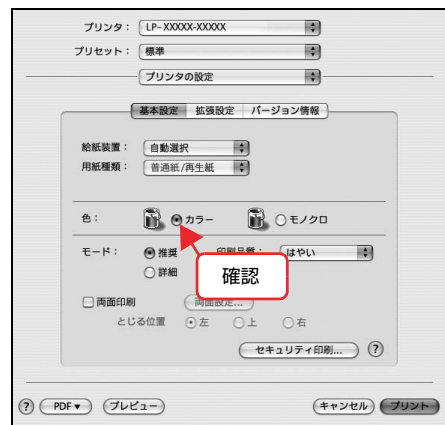
プリンタドライバで［オートフォトファイン!5］を有効にしていませんか？（Windows）

［オートフォトファイン !5］は、コントラストや彩度が適切でないデータに対して最適な補正を加えて鮮明に印刷できるようにする機能です。そのため［オートフォトファイン !5］が有効になっていると、表示画面と色合いが異なることがあります。

カラー印刷ができない

プリンタドライバの［色］の設定が、［カラー］になっていますか？

［色］の設定が［モノクロ］になっているとカラー印刷ができません。

Windows：

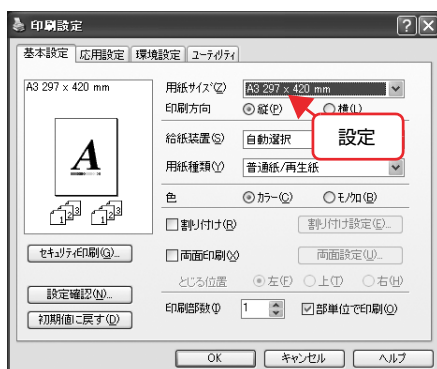
Mac OS X：

アプリケーションソフトの設定がカラーデータになっていますか？

アプリケーションソフトの設定が、カラーデータになっているか確認してください。

ページの左右または片側が切れる

印刷データの横幅は、プリンタドライバで設定した用紙サイズに収まりますか？

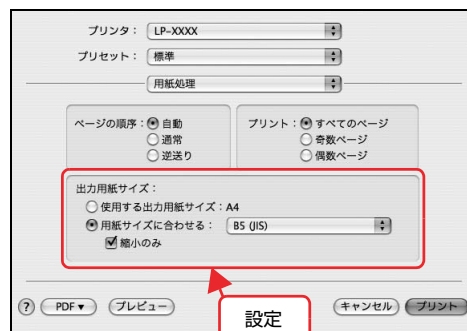
WebブラウザでインターネットのWebサイトを印刷すると、ページの左右で印刷が切れてしまうことがあります。より大きなサイズの用紙に印刷してください。

Windows：

Mac OS X：

より大きなサイズの用紙が利用できないときは、プリンタドライバの［拡大 / 縮小］機能を使用すると、用紙サイズに合わせて印刷データを拡大/縮小して印刷できます。

Windows：

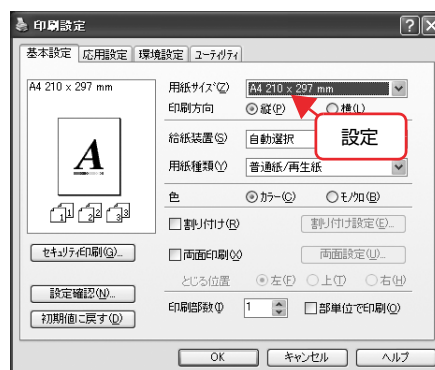
Mac OS X v10.3：

Mac OS X v10.4：

アプリケーションソフトによっては、用紙の余白を設定できるものがあります。例えば、Microsoft Internet Explorer（Web ブラウザ）では、［ファイル］メニューから［ページ設定］を選択して、［余白］の値を小さくして印刷してみてください。なお、本製品では用紙の左右上下とも最低 5mm の余白が必要です。

印刷位置が画面表示と異なる

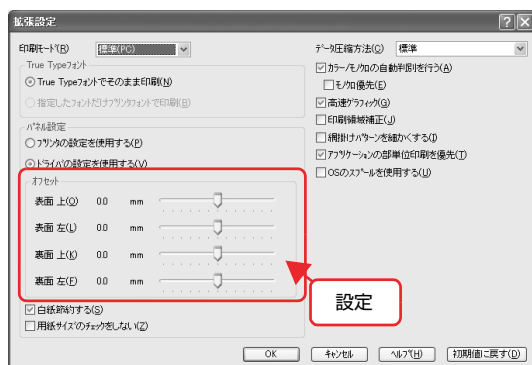
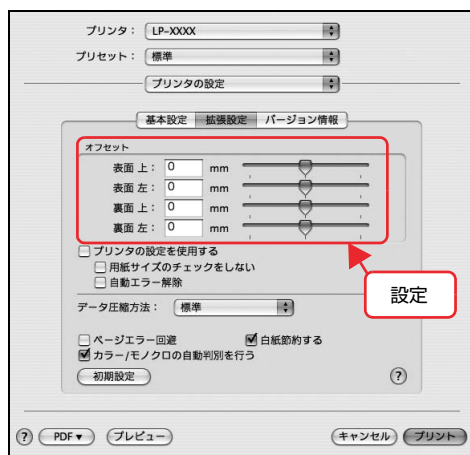
アプリケーションソフトで設定した用紙サイズと、プリンタドライバで設定した［用紙サイズ］が異なっていませんか？

アプリケーションソフトで設定した用紙サイズを、プリンタドライバの［用紙サイズ］で設定してください。

Windows：

Mac OS X：

印刷開始位置を設定しましたか？

アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要です。プリンタドライバの［拡張設定］画面で［オフセット］を調整してください。

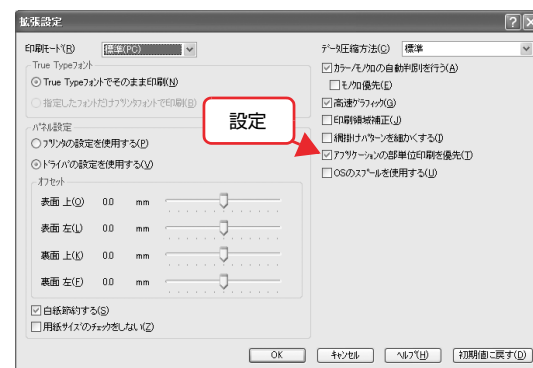
Windows：

Mac OS X：

罫線が切れる / 文字の位置がずれる

アプリケーションソフトで、本製品を使用して印刷する設定になっていますか？

アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、本製品を使用して印刷できるように設定してください。

部単位印刷ができない

アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定していませんか？（Windows）

アプリケーションソフトとプリンタドライバの両方で部単位印刷を設定すると、一部の Windows アプリケーションソフトでは、正しく部単位印刷ができないことがあります。プリンタドライバの［拡張設定］画面で［アプリケーションの部単位印刷を優先］のチェックを外し、アプリケーションソフトではなくプリンタドライバで部単位印刷を設定してください。

設定と印刷結果が異なる

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致していますか？

アプリケーションソフトとプリンタドライバの設定が一致しているか確認してください。印刷条件は、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できますが、各設定の優先順位は、お使いの状況によって異なります。

印刷品質が悪い

画質が悪いなど、印刷品質に問題があるときは、以下の内容を確認してください。

きれいに印刷できない

エプソン製のトナーカートリッジおよび感光体ユニットをお使いですか？

本製品はエプソン製のトナーカートリッジおよび感光体ユニット使用時に最高の印刷品質が得られるように設計されています。エプソン製以外のものをご使用になると、本製品の故障の原因となったり、印刷品質が低下するなど、本製品の性能が発揮できないことがあります。エプソン製のトナーカートリッジおよび感光体ユニットのご使用をお勧めします。また、必ず本製品に合った型番のものをお使いください。

☞ 本書 214 ページ「消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧」

プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

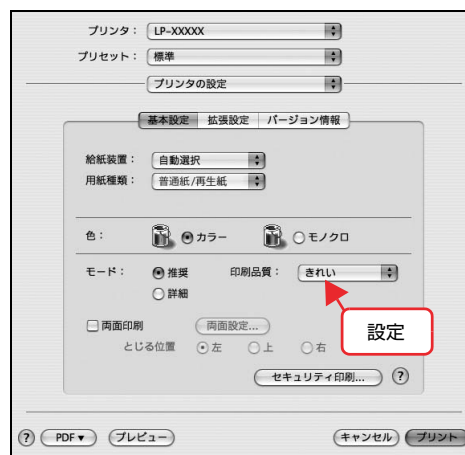
［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。

☞ 本書 134 ページ「トナーセーブ（トナーの節約）」

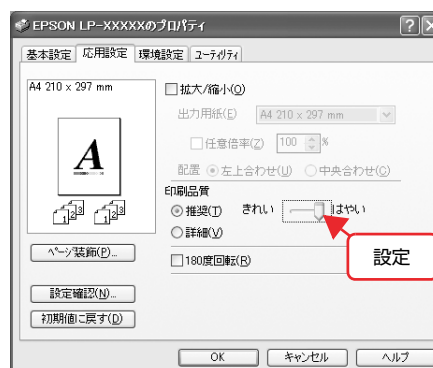
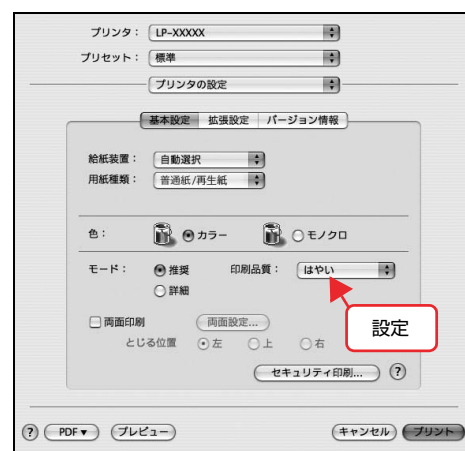
プリンタドライバで［印刷品質］を［きれい］（600dpi）に設定していますか？

きれいに印刷したいときは、［印刷品質］を［はやい］（300dpi）ではなく［きれい］（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データではメモリ不足で印刷できない場合があります。このようなときは、［印刷品質］を［はやい］（300dpi）に戻すか、メモリを増設してください。

Windows：

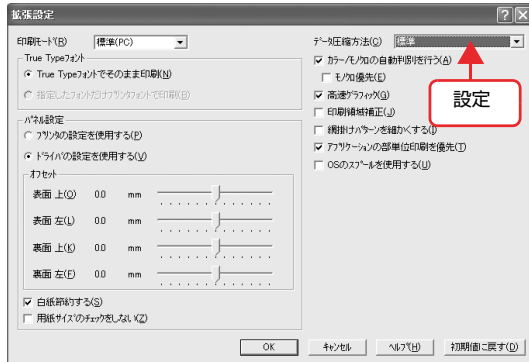
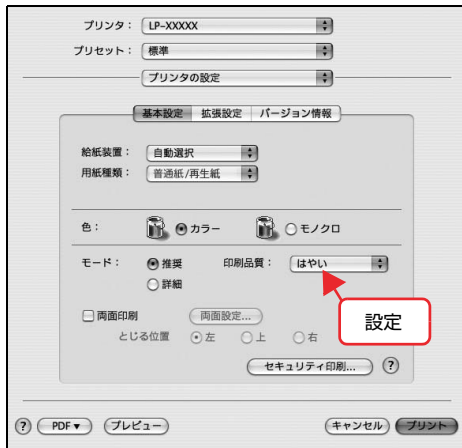
Mac OS X：

操作パネルに「解像度を落として印刷しました」というメッセージが表示されましたか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、本製品がデータを処理できないことがあります。

- プリンタドライバの［印刷品質］の設定が［きれい］（600dpi）になっている場合は、［はやい］（300dpi）にすると印刷できることがあります。

Windows：

Mac OS X：

- プリンタドライバの［データ圧縮方法］の設定を変更すると印刷できることがあります。
［画質優先］にすると、このワーニングメッセージは表示されなくなりますが、メモリ不足のエラーが発生することがあります。

Windows：

Mac OS X：

トナーカートリッジまたは感光体ユニットが、劣化または損傷していませんか？

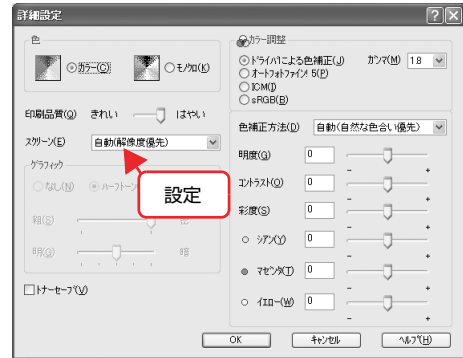
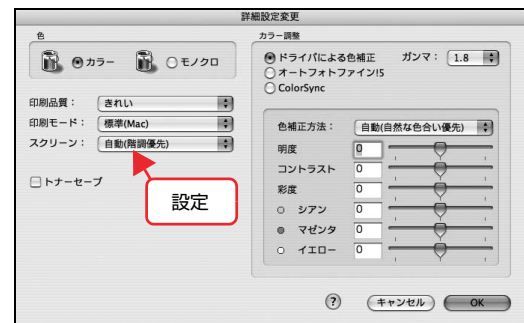
数ページ印刷しても改善されないときは、新しいものに交換してください。

☞ 本書 117 ページ「トナーカートリッジの交換」
☞ 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」

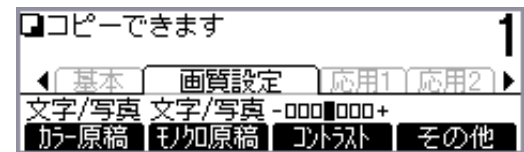
色ムラがある

プリンタドライバで［スクリーン］の設定を確認してください。

カラー印刷時に微妙な色合いを再現するには、［スクリーン］の設定を［階調優先］または［自動（階調優先）］にしてください。

Windows：

Mac OS X：

薄すぎる、濃すぎる

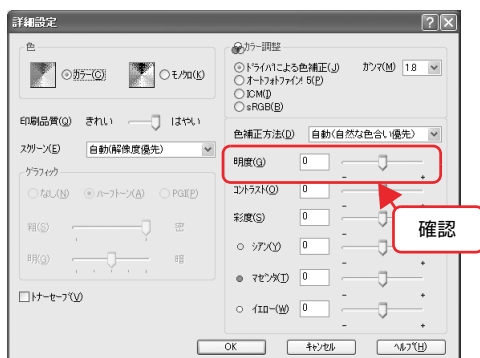
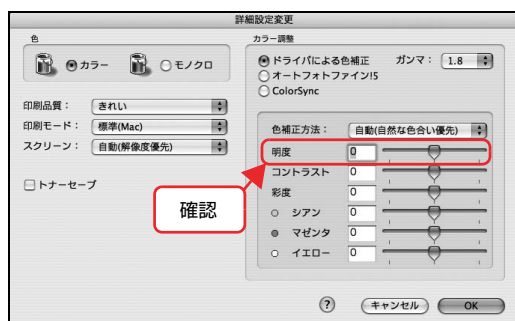
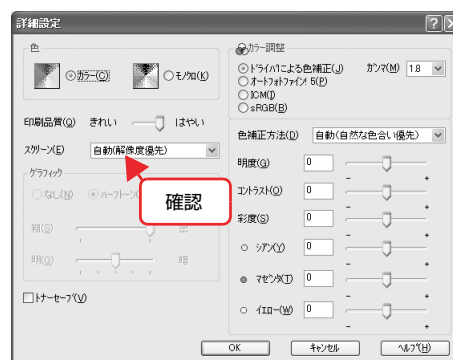
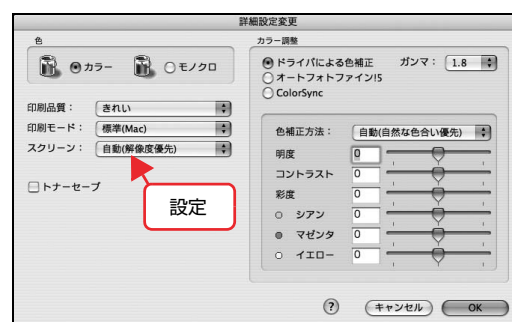
操作パネルの［コントラスト］の設定を確認してください。

操作パネルの［コントラスト］に対応する［F3］ボタンを押して、［コントラスト］を調整してください。

プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？

［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。

☞ 本書 134 ページ「トナーセーブ（トナーの節約）」

プリンタドライバの［明度］の設定を確認してください。

［詳細設定］画面で［明度］を調整してください。

Windows：

Mac OS X：

薄い、かすれる

各給紙装置の用紙タイプの設定を変更してみてください。

操作パネルの各給紙装置で用紙タイプが［普通紙 / 再生紙］になっていたときは、［再生紙 2］または［再生紙 3］に変更してみてください。

それでも改善されないときは、プリンタドライバで［スクリーン］の設定を［自動（階調優先 2）］にしてみてください。ただし解像度が落ちます。

プリンタドライバで［スクリーン］の設定を確認してください。

カラー印刷時に細い線や細かい模様などを再現するには、［スクリーン］の設定を［自動（解像度優先）］または［解像度優先］にしてください。［階調優先］または［自動（階調優先）］に設定すると、中間調の文字や細い線がかすれることがあります。

Windows：

Mac OS X：

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。

新しい用紙と交換することをお勧めします。

トナーの残量は十分ですか？

ステータスシートまたは操作パネルで、トナー残量を確認してください。

☞ 本書 136 ページ「本製品の状態・設定（ステータス）の確認」

トナーが残っていなければ、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 117 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体の寿命は残っていますか？

ステータスシートまたは操作パネルで、感光体ライフ（寿命）を確認してください。

☞ 本書 136 ページ「本製品の状態・設定（ステータス）の確認」

感光体ライフ（寿命）が残っていなければ、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。

☞ 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」

プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？
［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。
☞ 本書 134 ページ「トナーセーブ（トナーの節約）」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？
セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷するなど）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。
☞ 本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」

汚れ（点）が印刷される

適切な用紙を使用していますか？
本製品で印刷できる用紙を使用してください。
☞ 本書 14 ページ「印刷できる用紙の種類」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。
数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」

転写ユニットに紙粉（白い粉）が付着していませんか？
用紙搬送部の透明フィルムに付着した紙粉（白い粉）が影響している可能性がありますので、交換時に必ずクリーニングしてください。
転写ユニットの劣化や損傷を防ぐため、1ヵ月に一度程度、用紙搬送部のクリーニングをしてください。
☞ 本書 143 ページ「用紙搬送部のクリーニング」

周期的に汚れる

本製品内の用紙経路が汚れている可能性があります。
数ページ印刷してください。

トナーカートリッジまたは感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。
数ページ印刷しても改善されないときは、新しいものに交換してください。
☞ 本書 117 ページ「トナーカートリッジの交換」
☞ 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」

指でこすると汚れる

用紙が湿気を含んでいる可能性があります。
新しい用紙と交換することをお勧めします。

適切な用紙を使用していますか？
本製品で印刷できる用紙を使用してください。
☞ 本書 14 ページ「印刷できる用紙の種類」

プリンタドライバの［用紙種類］が正しく設定されていますか？
セットした用紙とプリンタドライバの［用紙種類］の設定が合っていないと（［普通紙］の設定で厚紙に印刷するなど）、最適な印刷結果が得られません。使用する用紙の種類に合わせて、［用紙種類］を設定してください。
☞ 本書 16 ページ「用紙一覧と設定早見表」

白く抜ける（点または周期的に）

適切な用紙を使用していますか？
本製品で印刷できる用紙を使用してください。
☞ 本書 14 ページ「印刷できる用紙の種類」

トナーカートリッジまたは感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。
数ページ印刷しても改善されないときは、新しいものに交換してください。
☞ 本書 117 ページ「トナーカートリッジの交換」
☞ 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」

用紙が湿気を含んでいるか、乾燥しすぎている可能性があります。
新しい用紙と交換することをお勧めします。

プリンタドライバの［トナーセーブ］機能を使用していませんか？
［トナーセーブ］は、印刷品質を問わない場合にトナーを節約して印刷する機能のため、試し印刷などに適しています。［トナーセーブ］機能を使用しない通常の印刷よりも、印刷品質が劣ります。
☞ 本書 134 ページ「トナーセーブ（トナーの節約）」

色抜けする、スジが出る

LED ヘッドが汚れている可能性があります。
LED ヘッドをクリーニングしてください。
☞ 本書 141 ページ「LED ヘッドのクリーニング」

用紙全体が塗りつぶされる / 縦線が印刷される

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。
数ページ印刷しても改善されないときは、新しい感光体ユニットに交換してください。
☞ 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」

何も印刷されない

一度に複数枚の用紙が搬送されている可能性があります。

用紙をよくさばいて、セットし直してください。

トナーの残量は十分ですか？

ステータスシートまたは操作パネルで、トナー残量を確認してください。

☞ 本書 136 ページ「本製品の状態・設定（ステータス）の確認」

トナーが残っていなければ、新しいトナーカートリッジに交換してください。

☞ 本書 117 ページ「トナーカートリッジの交換」

感光体ユニットが、劣化または損傷している可能性があります。

数ページ印刷しても改善されないときは、新しいものに交換してください。

☞ 本書 120 ページ「感光体ユニットの交換」

裏面が汚れる

本製品内の用紙経路が汚れている可能性があります。

数ページ印刷してください。

コピーで使用できる印刷用紙を使用しましたか？

以下のページを参照して、使用できる用紙を確認してください。

☞ 本書 14 ページ「印刷できる用紙」

コピー/ スキャンした画像にスジが入る

原稿台が汚れていませんか？

原稿台の汚れや、オートドキュメントフィーダの長時間使用でスキャンした画像にスジが入ることがあります。乾いた布で原稿台をふいてください。

☞ 本書 141 ページ「外装の清掃」

印刷に時間がかかる

印刷に時間がかかったり、一時停止してしまうときは、以下の内容を確認してください。

節電モードになっていませんか？

節電状態から印刷を実行すると、印刷開始の前にウォームアップしますので、排紙されるまでに時間がかかることがあります。

☞ 本書 133 ページ「待機時の節電」

操作パネル上に「プリンタ調整中」と表示されていませんか？

良好な印刷品質を保つために、印刷の途中で本製品が動作を一時的に停止して内部機能を自動調整することがあります。自動調整が完了すると印刷を自動的に再開しますので、そのままお待ちください。

容量の大きなデータを印刷していませんか？

容量の大きなデータを印刷しようとすると、本製品側でデータを処理できないことがあります。操作パネルで、使用していないインターフェイスを［使わない］に設定してみてください。

☞ 本書 224 ページ「操作パネル設定項目一覧」

問題が解消されないときは、本製品にメモリを増設することをお勧めします。

メモリを増設することにより、コピー/ 印刷できるようになります。

使用できるメモリの詳細については、下記エプソンのホームページから本製品のオプション情報をご覧ください。

< http://www.epson.jp/ >

異音がする

プリンタ部動作時にガタガタ音がする

定着ユニットをカチッと音がするまで挿入しましたか？

定着ユニットが確実に装着されていないと、プリンタ部動作時（電源投入時、印刷時、節電復帰時）に右側面から異音が発生することがあります。

定着ユニット左右の［PUSH］部分をカチッと音がするまで挿入して、確実に装着されていることを確認してください。

Windows Vista の制限事項

Windows Vista をお使いの方は、以下の内容を確認してください。

プリンタドライバの設定内容が使用できない

設定を保存したプリンタ以外の設定内容を使用していませんか？

Windows Vista 環境では、ユーザー定義サイズ、スタンプマーク、プリセットの詳細設定は、インストールしたプリンタ名ごとに保存されます。それぞれに設定が保存されるため、設定を保存したプリンタ以外、設定内容は使用できません。

文字が使用できない

使用できない機能で文字入力をしていませんか？

JIS X 0213:2004で追加された以下の10文字は、下記の機能では使用できません。

倶叱嘘屏痩剥呑姸并繋

- スタンプマーク機能
- プリンタフレンドリ名
- 中間スプールフォルダ設定のフォルダパスの設定
- ヘッダー / フッター設定で印刷するユーザー名
- パスワード印刷のユーザー名やジョブ名
- EPSON ステータスモニタのジョブ情報表示

印刷ができない

スリープ / 休止の設定をしていませんか？

印刷中は Windows Vista 上の操作により、スリープ / 休止状態に移行しないでください。

パスワード印刷の入力画面が表示されない

［OS のスプールを使用する］にチェックを付けていませんか？

プリンタドライバの［環境設定］－［拡張設定］で［OS のスプールを使用する］にチェックを付けてパスワード印刷を実行するときは、Windows Vista の［スタート］－［コントロールパネル］－［管理ツール］－［サービス］の「Interactive Service Detection」を起動状態にしてください。

コピーのトラブル

コピーできない

操作パネルでコピーモードにしていますか？
コピーするときは、操作パネルをコピーモードにしてください。
☞ 本書 40 ページ「基本コピー(カラー/モノクロ)」

オートドキュメントフィーダから連続カラーコピーまたは部単位コピーしていませんか？
オートドキュメントフィーダからの連続カラーコピーまたは部単位コピーで、かつ高精細の場合はデータ処理のために動作が遅くなることがあります。
カラーコピーを数回に分けるか［カラー原稿］を変更する、または本製品にメモリを増設してください。

コピーに時間がかかる

節電モードになっていませんか？
節電状態からコピーを実行すると、動作開始の前にウォームアップしますので、時間がかかることがあります。
☞ 本書 133 ページ「待機時の節電」

オートドキュメントフィーダから連続カラーコピーまたは部単位コピーしていませんか？
オートドキュメントフィーダからの連続カラーコピーまたは部単位コピーで、かつ高精細の場合はデータ処理のために動作が遅くなることがあります。
カラーコピーを数回に分けるか［カラー原稿］を変更する、または本製品にメモリを増設してください。

原稿とコピー結果が異なる

原稿とコピー結果が異なる・読み取り範囲が異なる

セットできる原稿サイズを確認しましたか？
本製品でコピーできる原稿のサイズは、以下の通りです。

- A3 ＜ 297 × 420mm ＞
- B4 ＜ 257 × 364mm ＞
- A4 ＜ 210 × 297mm ＞
- B5 ＜ 182 × 257mm ＞
- A5 ＜ 148 × 210mm ＞
- ハガキ＜ 100 × 148mm ＞

印刷用紙サイズと印刷保証領域を確認しましたか？
用紙全面に印刷されている原稿では、印刷用紙の各端面 4mm はコピーされない場合があります。ただし、［全面コピー］機能を使用することで、全面をコピーできるように縮小して印刷します。
詳細については、以下のページを参照してください。
☞ 本書 15 ページ「印刷できる領域」
☞ 本書 53 ページ「全面コピー」

［原稿タイプ］を選択しましたか？
取り込む原稿のタイプを選択することによって、最適な設定でコピーできます。
☞ 本書 55 ページ「コピー品質の変更」

色合いが異なる

原稿が薄い色で印刷されていませんか？
薄い色の原稿や、文字や写真がかすれていたりする場合、きれいに取り込めない場合があります。
［濃度］の設定を変更することで、きれいに取り込める場合があります。
☞ 本書 55 ページ「コピー品質の変更」

コピーの色合い設定を調整しましたか？
コントラストとRGB カラーバランスを設定することによって、コピーの色合いを調整できます。
☞ 本書 55 ページ「コピー品質の変更」

コピーで使用できる印刷用紙を使用しましたか？
以下のページを参照して、使用できる用紙を確認してください。
☞ 本書 14 ページ「印刷できる用紙」

カラーキャリブレーションしましたか？
カラーキャリブレーションすることで、正確なカラーでコピーされるように調整できます。カラーキャリブレーションの手順は、以下の通りです。
① 操作パネルの［コピー設定］－［カラーキャリブレーション］で［開始］を選択します。
② 画面の指示に従い、用紙をセットしてキャリブレーションパターンを印刷します。
③ 画面の指示に従い、印刷したキャリブレーションパターンをスキャンします。
④ 調整が完了するまで、上の手順②③を繰り返します。

ファクスのトラブル

送受信できない

受信できない

[回線種別] を設定してありますか？
お使いの電話回線に合わせて「PSTN」か「PBX」を選択してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。
☞『取扱説明書 1 セットアップ編』(冊子)－「ファクス機能の初期設定」

[ダイヤル種別] を設定してありますか？
お使いの電話回線に合わせて「トーン」/「10pps」/「20pps」のいずれかを選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。
☞『取扱説明書 1 セットアップ編』(冊子)－「ファクス機能の初期設定」

[受信モード] を確認しましたか？
外付け電話機を一定時間呼び出してから、本製品が応答してファクスデータを受信する [自動切替] と、外付け電話機の呼び出しを行わず、本製品が自動的に応答してファクスデータを受信する [ファクス専用] と、外付け電話機の呼び出し音を鳴らし続ける [電話専用] の着信モードがあります。
[TAM] は、留守番電話の応答中にファクス信号を検出した場合、ファクス受信に切り替えるモードです。
☞ 本書 70 ページ「受信モードについて」

給紙装置に用紙がセットされていますか？
メモリ受信やフォルダ受信の設定にしているときでも、給紙装置に用紙がセットされていないと受信できないことがあります。用紙がセットされているか確認してください。

送信できない

[回線種別] を設定してありますか？
お使いの電話回線に合わせて「PSTN」か「PBX」を選択してあることを確認してください。回線種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。
☞『取扱説明書 1 セットアップ編』(冊子)－「ファクス機能の初期設定」

[ダイヤル種別] を設定してありますか？
お使いの電話回線に合わせて「トーン」/「10pps」/「20pps」のいずれかを選択してあることを確認してください。ダイヤル種別の詳細や設定方法については、以下を参照してください。
☞『取扱説明書 1 セットアップ編』(冊子)－「ファクス機能の初期設定」

操作パネルでファクスモードにしていますか？
ファクスするときは、操作パネルをファクスモードにしてください。
☞ 本書 62 ページ「ファクス送信」

各種設定操作をしていませんか？
各種設定操作中はファクスできません。
設定モードを終了してしばらく待ってから(約10秒)ファクスしてください。

ファクスの受信中またはPC-FAX操作中ではありませんか？
ファクスの受信中または PC-FAX 操作中はファクス送信ができません。受信終了後または PC-FAX 終了後に送信を行ってください。

原稿通りに送受信できない

思った通りに送信できない

送信条件を設定していますか？

送付する際の濃度と画質を指定します。文字などが薄い原稿は、設定値を大きくしてください。また、原稿に合わせて画質を設定してください。

☞ 本書 62 ページ「基本的な送信（自動送信）」

原稿を縦置きにセットして送信していませんか？

ファクスのカラー送信は A4 または B5 原稿を縦置きにセットできません。A4 または B5 原稿は横置きでセットしてください。

☞ 本書 25 ページ「セットできる原稿」

ゴミのようなものが入る

原稿台が汚れていませんか？

原稿台を清掃してください。

☞ 本書 141 ページ「外装の清掃」

印刷用紙が 2 枚に分割される、縮小される

印刷用紙サイズより大きいファクスデータを受信していませんか？

印刷用紙サイズより大きいファクスデータを受信した場合、本製品は 2 枚の印刷用紙に分割、または縮小して 1 枚の用紙に収まるように調整します。

☞ 本書 71 ページ「受信できる原稿サイズ」

日付時刻 / 発信元情報が設定できない

日付時刻表示が設定した数値と違う

長時間（10 日程度）電源を切った状態にしておくと、日付時刻の設定がリセットされます。

操作パネル［各種設定］ボタンで表示するメニューから［共通設定］－［デバイス設定］－［日付時刻設定］で正しい日付と時刻を設定し直してください。

☞ 本書 90 ページ「共通設定の項目一覧」

発信元の情報が印字されない

発信元記録機能がオンになっていますか？

操作パネル［各種設定］ボタンで表示するメニューから［ファクス設定］－［送信設定］－［発信元記録］を［する］に設定してください。

☞ 本書 98 ページ「ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）」

発信元名を登録しましたか？

操作パネル［各種設定］ボタンで表示するメニューから［ファクス設定］－［基本設定］－［自局情報］で発信元情報を登録してください。

☞ 本書 98 ページ「ファクス設定の項目一覧（ファクスモデルのみ）」

EpsonNet Configから宛先が登録できない

ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？

本製品とコンピュータに、それぞれネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

本製品のネットワークインターフェイスが正しく設定されていますか？

本製品のネットワークインターフェイスが正しく設定されていることを確認してください。
☞『取扱説明書 5 ネットワーク編』（電子 マニュアル）

USB 接続していませんか？

EpsonNet Config V3 は USB 接続での設定変更ができません。ネットワーク接続で使用してください。

印刷中またはファクス送受信中ではありませんか？

本製品が印刷中またはファクス送受信中の場合、宛先の登録はできません。印刷が終了してから宛先を登録してください。

スキャンのトラブル

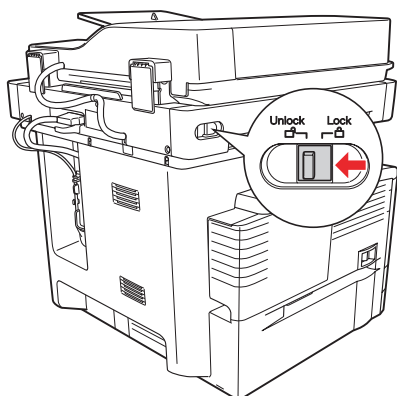
スキャンできない

スキャナ部分が動作しない

操作パネルを操作していませんか？
パネルを操作すると、しばらくの間パネル操作優先状態となります。
パネルを操作したときは、しばらく待ってから（約10秒）スキャンしてください。

各種設定操作をしていませんか？
各種設定操作中はスキャンできません。
設定モードを終了してしばらく待ってから（約10秒）スキャンしてください。

専用ケーブルが外れていませんか？
専用ケーブルが接続されていないと動作しません。本製品背面を確認して、プリンタ部とスキャナ部を接続する専用ケーブルを接続してください。

輸送用ロックが解除されていますか？
スキャンするときは、輸送用ロックが解除されている（🔓の位置にある）必要があります。
輸送用ロックが🔒の位置にあるときは、本製品の電源を切ってから、ロックを🔓の位置に動かしてください。

スキャン中に USB メモリやネットワークケーブル /USB ケーブルを抜きませんでしたか？
スキャン中は USB メモリやネットワークケーブル / USB ケーブルの抜き差しはしないでください。正しくスキャンできないことがあります。

スキャン中に電源を切ったり、電源コードを抜きませんでしたか？
スキャン中は電源を切ったり、電源コードの抜き差しはしないでください。正しくスキャンできないことがあります。

EPSON Scan でスキャンできない

スキャナドライバ（EPSON Scan）は正常にインストールされていますか？
EPSON Scan をインストールして接続方法に合った設定ができているか確認してください。
☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）「スキャンを始める前に」

コンピュータにスキャナが認識されていますか？
EPSON Scan の設定で接続の確認をしてください。
［使用不可］と表示された場合は、アンインストールしてから再度 EPSON Scan をインストールしてください。

コンピュータを再起動してみてください。
コンピュータを再起動すると、スキャンができるようになることがあります。

Mac OS X をお使いの場合、Classic モードが起動していませんか？
Classic モードや Classic 環境が起動していると、画像をスキャンできないことがあります。また、Classic モードで動作していると、一部の機能が正常に動作しません。Mac OS X をお使いの場合は Classic モードを起動しない状態でお使いください。

Intel 社製プロセッサ搭載の Mac をお使いの場合、ほかのエプソン製スキャナドライバがインストールされていませんか？
Intel 社製プロセッサ搭載の Mac 上で、ほかのエプソン製スキャナドライバの Rosetta/PowerPC 版がインストールされていると、本製品のスキャナドライバが正常に動作しません。ほかのドライバを削除（アンインストール）してから本スキャナドライバをインストールしてください。

スキャン中に電源を切ったり、電源コード /USB ケーブルの抜き差しをしたときは、EPSON Scan を終了して、もう一度起動してみてください。
スキャン中は電源を切ったり、電源コード/USB ケーブルの抜き差しはしないでください。正しくスキャンできなかったり、コンピュータが正しく動作しないことがあります。

スキャナドライバ「EPSON Scan」を単独で起動しているときは、EPSON Scan を削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみてください。

EPSON Scan が正常にインストールされていない可能性があります。

一旦、EPSON Scan を削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみてください。

市販の Adobe Photoshop Elements などの TWAIN 対応アプリケーションソフトから EPSON Scan を起動しているときは、TWAIN 対応アプリケーションソフトを削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみてください。

TWAIN 対応アプリケーションソフトが正常にインストールされていない可能性があります。

一旦、TWAIN 対応アプリケーションソフトを削除（アンインストール）して、もう一度インストールしてみてください。

お使いのコンピュータを変えてみてください。

別のコンピュータをお持ちの場合は、コンピュータを変えると正しく動作するようになることがあります。

PDF または Multi-TIFF 形式のスキャンで止まる

原稿をMulti-TIFF形式で大量のページ数スキャンしていませんか？

一旦ファイルを保存し、スキャンを再開してください。

スキャンが中断したときの最終ページは、スキャンされずに排紙されます。スキャンされなかった原稿を再セットして、スキャンし直してください。

ハードディスクの空き容量は十分ですか？

EPSON Scan を利用する場合、保存するハードディスクに十分な空き容量がないと、スキャンが止まってしまうことがあります。

空き容量がないときは、空き容量を増やしてください。

解像度が適切に設定されていますか？

解像度の設定は、スキャン後のデータサイズに影響を与えます。解像度を上げるとスキャン後のデータサイズが大きくなるため、スキャン後の総データサイズの制限を超えてしまうことがあります。適切な解像度の詳細は、『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）を参照してください。

「メモリ不足により実行できません」が表示される

高圧縮 PDF を設定していませんか？

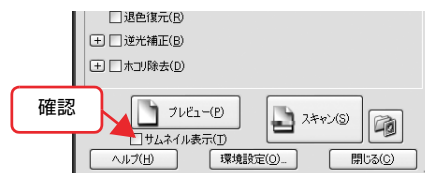
高圧縮 PDF 設定にすると、通常より処理が多くなりメモリが不足することがあります。設定を確認してください。

EPSON Scan でプレビューがうまくできない

プレビューできない

サムネイルプレビューに対応した原稿をセットしていますか？

サムネイルプレビューは、カラーおよびモノクロの写真に対応しています。対応していない原稿をスキャンしても、正常にスキャンできません。

なお、対応の原稿をセットしても、思い通りの結果でスキャンできないことがあります。その場合は、EPSON Scan のオフィスモードまたはプロフェッショナルモードで［サムネイル表示］のチェックを外してプレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。

極端に暗い（または明るい）原稿をセットしていませんか？

以下のような原稿をセットしていると、正常にスキャンできないことがあります。

- 極端に暗い（または明るい）画像
- 露出がアンダー（またはオーバー）気味に撮影された画像

その場合は、EPSON Scan のオフィスモードまたはプロフェッショナルモードのプレビューで［サムネイル表示］のチェックを外してプレビューし、プレビュー画面でスキャンする範囲を指定してください。

スキャン領域のサイズを調整してみてください。

EPSON Scan の［環境設定］画面にある［プレビュー］画面で、［サムネイル取込領域］のスライダーを調整して、サムネイルプレビューのスキャン領域の大きさを調整してください。

原稿が切れる

A4 サイズ（210 × 297mm）など大きな原稿をセットしていませんか？

EPSON Scan で大きな原稿をサムネイルプレビューすると、意図した範囲でプレビューできないことがあります。サムネイルプレビューは画像を判別して自動的に画像範囲を切り取る機能です。画像によっては斜めにスキャンしたり、意図しない場所で切り取られたりします。

そのような場合は、通常表示でプレビュー後、スキャンしたい範囲を指定してからスキャンしてください。

プレビューの向きがおかしい

自動回転されない原稿をセットしていませんか？

EPSON Scan で［サムネイル表示］をチェックしてプレビューすると、上下逆にセットした写真などは、スキャナが写真の向きを判別して自動的に正しい向きでスキャンされます（自動回転）。自動回転は写真にのみ適用されます。以下の原稿は、自動回転されません。

- 雑誌、イラストや文字などの書類原稿
- 1 辺が 5.1cm 以下の写真
- A4 サイズなどの大きな原稿

また以下のような原稿は、自動回転が意図した結果にならない場合があります。

＜例＞

- 人物が写っていない原稿
- 人物が写っていても、乳幼児 / 写真全体に対して小さい人物 / 正面を向いていない人物 / 写真の向きと一致していない人物の原稿
- 空が写っていない原稿
- 空が写っていても、空が写真上部にない/ 空に他のものが写り込んでいる原稿
- 写真上部以外に、太陽光 / 雪など、強く明るい箇所がある原稿

上記以外の原稿でも、原稿の種類や画像によっては意図した結果にならないことがあります。

自動回転が意図した結果にならないときは、オフィスモードまたはプロフェッショナルモードでサムネイルプレビューし、［90 度回転］ボタンで適切な向きに回転するか、通常表示でプレビュー後、スキャンしたい範囲を指定してからスキャンしてください。

自動回転機能を使用しないでスキャンするには、［環境設定］－［プレビュー］画面にある［写真 / フィルムの自動回転］のチェックを外してください。

プレビュー画像の色がおかしい

［環境設定］画面の［高速プレビュー］をチェックしていませんか？

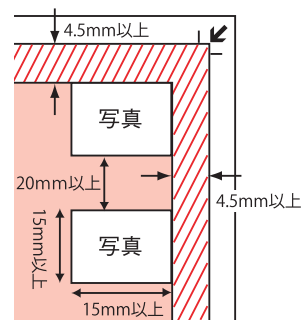
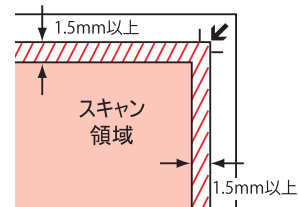
EPSON Scan で［環境設定］画面の［プレビュー］タブで［高速プレビュー］の チェックを外すと、プレビュー画像が高品位になります。

複数の写真の切り出しができない

正しい位置に原稿をセットしていますか？

正しい位置に原稿をセットしていますか？

また、複数の写真を並べてセットするときは、写真と写真の間隔を 20mm 以上空けてセットしてください。

＜サムネイルプレビュー選択時＞

＜上記以外選択時＞

画面表示や設定とスキャン結果が異なる

スキャン範囲がおかしい / 原稿を認識しない

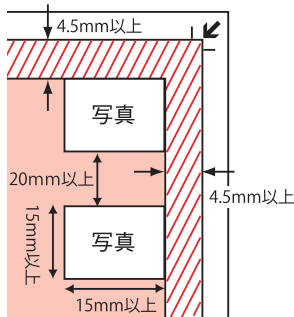
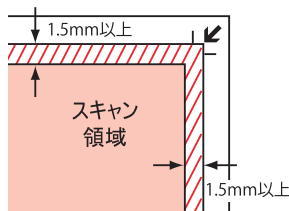
画像が切れたり、隣の画像の一部が一緒にスキャンされたりするなど、正常にスキャンできないときには、以下の項目をご確認ください。

原稿がセットされていますか？

スキャナに原稿がセットされているか確認してください。

原稿が正しくセットされていますか？

原稿台にはスキャンされない範囲があります。以下の図でスキャンされない範囲を確認し、スキャン領域にセットしてください。また、複数の写真を並べてセットするときは、写真と写真の間隔を 20mm 以上空けてセットしてください。
A4 サイズ（210 × 297mm）など大きな原稿をサムネイルプレビューすると、意図した範囲でプレビューできないことがあります。そのような場合は、通常表示でプレビュー後、スキャンしたい範囲を指定してからスキャンしてください。

<サムネイルプレビュー選択時>

<上記以外選択時>

A4 サイズ（210 × 297mm）など大きな原稿をセットしていませんか？

大きな原稿をサムネイルプレビューすると、意図した範囲でプレビューできないことがあります。サムネイルプレビューは画像を判別して自動的に画像範囲を切り取る機能です。画像によっては斜めにスキャンしたり、意図しない場所で切り取られたりします。そのような場合は、通常表示でプレビュー後、スキャンしたい範囲を指定してからスキャンしてください。

原稿台のガラス面にゴミがありませんか？

原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがあると、正常にスキャンできないことがあります。原稿台のガラス面にゴミ、汚れなどがあるときは取り除いてください。

写真の自動回転が意図した結果にならない

自動回転されない原稿をセットしていませんか？

EPSON Scan での自動回転は写真にのみ適用されます。以下の原稿については、自動回転されません。

- 雑誌、イラストや文字などの書類原稿
- 1 辺が 5.1cm 以下の写真
- A4 サイズなどの大きな原稿

また以下のような原稿については、自動回転が意図した結果にならない場合があります。

＜例＞

- 人物が写っていない原稿
- 人物が写っていても、乳幼児 / 写真全体に対して小さい人物 / 正面を向いていない人物 / 写真の向きと一致していない
- 人物の原稿
- 空が写っていない原稿
- 空が写っていても、空が写真上部にない / 空に他のものが写り込んでいる原稿
- 写真上部以外に、太陽光 / 雪など、強く明るい箇所がある原稿

また、オートドキュメントフィーダを使って PDF ファイルでスキャンした場合のみ自動回転するため、上記以外の原稿でも、原稿の種類や画像によっては意図した結果にならないことがあります。
自動回転が意図した結果にならないときは、プロフェッショナルモードでサムネイルプレビューし、［90 度回転］ボタンで適切な向きに回転するか、通常表示でプレビュー後、スキャンしたい範囲を指定してからスキャンしてください。
自動回転機能を使用しないでスキャンするには、［環境設定］－［プレビュー］画面にある［写真 / フィルムの自動回転］のチェックを外してください。

操作パネルからのスキャンで［保存形式］に［TIFF］や［JPEG］を選んでいませんか？

操作パネルからのスキャンで自動回転するのは、オートドキュメントフィーダを使用して、［保存形式］に［PDF］を選択したときのみです 。［TIFF］や［JPEG］では自動回転しません。

☞ 本書 83 ページ「保存形式」

画像が画面に大きく表示される

画像を高解像度でスキャンしていませんか？
通常ディスプレイの解像度は 70 ～ 90dpi くらいしかありません。しかし、アプリケーションソフトによっては、スキャンした画像データの各画素（画像を構成している細かな点の 1 つ 1 つ）を画面の解像度に対応させて表示するものがあります。その場合、高解像度の画像データは大きく表示されますので、アプリケーションソフト上で縮小してご確認いただければ問題ありません。印刷すると原稿と同じ大きさになります。

スキャンデータを保存できない

保存先の共有フォルダが見つからない

保存先のコンピュータは起動していますか？
保存先のコンピュータが起動していることを確認してください。

保存先のコンピュータがネットワーク環境の場合、ネットワークにログオンしていますか？
保存先のコンピュータがネットワークにログオンしていることを確認してください。

ご利用の環境に複数のネットワークが存在していませんか？
ネットワーク環境が複数存在すると、操作パネルにコンピュータの名称が表示されないことがあります。不要なネットワークを［無効］に設定してください。

共有フォルダに保存できない

保存先コンピュータのハードディスクの空き容量は十分ですか？
保存先コンピュータのハードディスクの空き容量を確認してください。

保存先のコンピュータがスリープモード、または電源が切れていませんか？
スキャンデータを保存先のコンピュータに送信するまでに、コンピュータがスリープモード、または電源切れている可能性があります。保存先のコンピュータを確認してください。

保存先のフォルダが正しく設定されていますか？
保存先のフォルダパスを確認してください。IP アドレスで指定する場合は「\\IP アドレス \ フォルダパス」、ドメイン名で指定する場合は「\\ デバイス名＋ドメイン名 \ フォルダパス」になっていることを確認してください。
本書 84 ページ「スキャンデータを共有フォルダに保存」

保存先のユーザー名が正しく設定されていますか？
保存先のユーザー名とパスワードを確認してください。特に、ドメイン名を付加する場合は「ドメイン名 \ ユーザー名」になっていることを確認してください。
本書 84 ページ「スキャンデータを共有フォルダに保存」

DNS サーバが正しく設定されていますか？
保存先をドメイン名で指定する場合は、ネットワーク上に名前解決できる DNS サーバが必要です。
ネットワークの状態を確認してください。

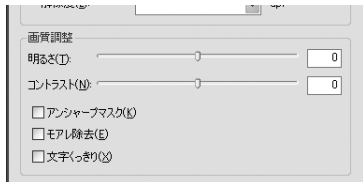
保存先のフォルダへのアクセス権限がありますか？
保存先のフォルダへ書き込み、読み込みできる権限があることを確認してください。

スキャン品質が悪い

画像が暗い

EPSON Scan を使用している場合は、画質調整機能を使ってみてください。

明るさとコントラストを調整してみてください。

<オフィスモード>

<プロフェッショナルモード>

調整の詳細は、『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）を参照してください。

EPSON Scan を使用している場合は、[環境設定] 画面にある [カラー] 画面の設定を確認してください。

EPSON Scan の画面下にある [環境設定] をクリックして、[カラー] タブをクリックし、以下の手順で確認してください。

① [ドライバによる色補正] の [常に自動露出を実行] がチェックされていることを確認してください。チェックが外れていると自動露出の効果がかからず、露出（明暗）が不適切な画像になることがあります。

② [推奨値] をクリックしてください。EPSON Scan の自動露出が正しく機能するようになります。

③ 印刷するときは、[ドライバによる色補正] の [ディスプレイガンマ] を設定してください。
設定はご使用のプリンタドライバの設定と一致させてください。
印刷しないときは、[2.2] に設定してください。
なお、ディスプレイガンマの数値を上げると、自動露出調整後の画像は明るくなります。

ディスプレイの表示設定を確認してください。

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあります。正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。

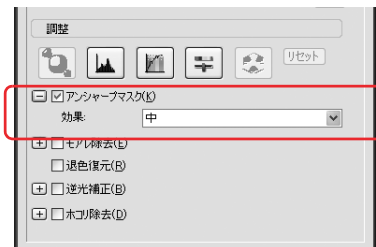
☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）

画像がぼやける

解像度が適切に設定されていますか？

原稿にあった適切な解像度でスキャンしてください。適切な解像度の詳細は、『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）を参照してください。

EPSON Scan を使用している場合は、画質調整機能を使ってみてください。

- EPSON Scan のプロフェッショナルモードで画像をプレビューした後、スキャン範囲を指定してから [自動露出] をクリックしてみてください。
- [アンシャープマスク] 機能を使用してみてください。

なお、[アンシャープマスク] 機能を使用すると、モアレ（網目状の陰影）が生じることがあります。モアレが生じるときは [モアレ除去] 機能を使用してみてください。

画像の色合いがおかしい / 原稿の色と違う

ディスプレイの表示設定を確認してください。

ディスプレイ表示には、ディスプレイやディスプレイアダプタによってクセがあります。正しく調整されていなければ、スキャンした画像が適切な明るさ / 色合いで表示されません。ディスプレイの表示設定を確認してください。

☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）

原稿（印刷物）とディスプレイの色は一致しません。

印刷物の色とディスプレイ表示の色は発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

詳細は『取扱説明書 3　ソフトウェア編』（電子マニュアル）の「色について」を参照してください。

自分が最も気になる部分（肌色など）が合うように、EPSON Scan またはフォトレタッチソフトで調整してみてください。

EPSON Scan を使用している場合は、［イメージタイプ］を正しく設定していますか？

スキャンする原稿の種類や画像の用途に合わせて、［イメージタイプ］を正しく設定してください。

EPSON Scan を使用している場合は、画質調整を使っていませんか？また使っている場合は適切に設定していますか？

明るさ調整など EPSON Scan の画像調整機能を使うと、原稿と色合いが異なることがあります。

アプリケーションソフトと EPSON Scan のカラー設定は一致していますか？

『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）の「原画とディスプレイ表示とプリント結果の色合わせ」－「スキャン時の設定」を参照して「作業用カラースペース（市販の TWAIN 対応アプリケーションソフトの設定）」または「スキャン画像のカラースペース（EPSON Scan の設定）」を確認してください。

裏写りする

裏が透けて見えるほど薄い原稿をセットしていませんか？

原稿の紙が薄いときは、裏面や重ねてある紙の画像が裏写りしてスキャンされることがあります。その場合は、黒い紙や下敷きを原稿の裏側に重ねてスキャンすると改善できることがあります。

スキャン時の設定は原稿に合っていますか？

原稿に合った設定でスキャンしてください。

正しく設定することによって、ハイライト（画像の最も明るい部分）が真っ白になるように調整されるため、裏写りを防止できます。また、背景地の黄色味などの色かぶりを除去できます。

画像にモアレ（網目状の陰影）が出る

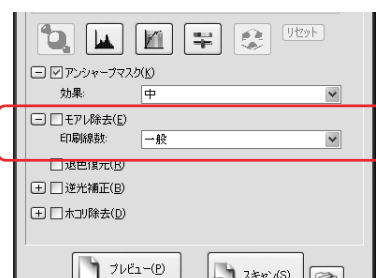
印刷物などは、スクリーン処理がされているため、モアレ（網目状の陰影）が発生しやすくなります。モアレを完全になくすことはできませんが次のいずれかの方法で少なくできます。

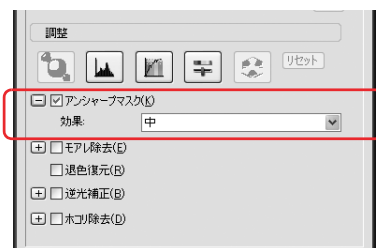
> **参考**
> スクリーン処理された印刷物の画像は、規則的な配列のドット（点）の集まりで構成されています。
> こういった印刷物などをスキャンしたときに、デジタル化で発生したドットのパターンが印刷物を構成するドットの位置に重なることによって、新たなドットのパターンが生じることがあります。これがスキャンで発生するモアレです。

原稿の向きを変えて原稿台にセットし、スキャンしてみてください。

スキャンしたい向きと異なる向きになってしまったら、スキャン後にお使いのアプリケーションソフトで画像を回転させ、正しい向きに直してください。

EPSON Scan を使用している場合は、画質調整機能を使ってみてください。

- ［モアレ除去］機能を使用してみてください。

☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「モアレ（網目状の陰影）を取り除く」

- ［アンシャープマスク］機能を使用している場合は、無効にしてみてください。

☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）－「ぼやけた画像をくっきりさせる」

EPSON Scan を使用している場合は、［プロフェッショナルモード］で［解像度］の設定を少し変更してスキャンしてみてください。

解像度を変更することで、モアレを除去できることがあります。

画像にムラ / シミ / 斑点が出る

原稿台が汚れていませんか？

原稿台の汚れによって、オートドキュメントフィーダからスキャンした画像にスジが入ることがあります。原稿台が汚れている場合は乾いた布で原稿台をふいてください。

☞ 本書 141 ページ「外装の清掃」

スキャンするときに、原稿を強く押さえ付けませんでしたか？

スキャンするときにオートドキュメントフィーダや原稿を強く押さえ付けると、原稿台のガラス面に原稿が貼り付いて、ムラや斑点が出ることがあります。原稿を強く押さえ過ぎないようにしてください。

写真の紙質や表面の加工状態によっても、ムラや斑点が出ることがあります。その場合は、原稿のセット位置をずらすなどしてからスキャンしてみてください。

テキストデータに変換するときの認識率が悪い

原稿が斜めにセットされていませんか？

原稿が斜めにセットされていると認識率が低下します。オートドキュメントフィーダにセットしたときは原稿をまっすぐセットし、エッジガイドを原稿の側面にしっかりと合わせてください。原稿台にセットしたときは原稿をまっすぐセットしてください。また、オートドキュメントフィーダや原稿カバーはセットした原稿がずれないよう、ゆっくり閉じてください。

原稿の品質に問題がありませんか？

文字原稿の認識率は原稿の状態に左右されます。認識できる原稿については、お使いの OCR ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

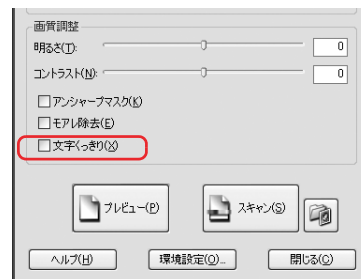
参考

上記のほかに OCR ソフトウェア側の設定を変更することで認識率が上がることがあります。
詳細は市販の OCR ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください。

EPSON Scan を使用している場合は、しきい値を調整してみてください。

［しきい値］機能を調整してみてください。

EPSON Scan を使用している場合は、［オフィスモード］で、［文字くっきり］機能を使用してみてください。

［文字くっきり］機能を使用すると、文字をくっきりさせることができます。

☞『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）―「書類の文字をくっきりさせる」

画像にスジが入る

原稿台が汚れていませんか？

原稿台の汚れによって、オートドキュメントフィーダからスキャンした画像にスジが入ることがあります。原稿台が汚れている場合は乾いた布で原稿台をふいてください。

☞ 本書 141 ページ「外装の清掃」

スキャンに時間がかかる

節電モードになっていませんか？
節電状態からスキャンを実行すると、動作開始の前にウォームアップしますので、時間がかかることがあります。

☞ 本書 133 ページ「待機時の節電」

PDF の高圧縮でスキャンしていませんか？
スキャン画面の［PDF 設定］で［高圧縮］を設定ありにすると、データ量は少なくなりますが、通常より処理に時間がかかります。設定を確認してください。

画像を高解像度でスキャンしていませんか？
画像を高解像度でスキャンする設定にしていると、スキャンに時間がかかります。解像度を下げて画像をスキャンしてください。

適切な解像度の詳細は、『取扱説明書 3 ソフトウェア編』（電子マニュアル）を参照してください。

USB 1.1 を使用してスキャンしていませんか？
お使いの環境が USB2.0 対応になっているかを確認してください。

ケーブルについては、以下のページをご覧ください。

☞ 本書214ページ「消耗品／オプション／定期交換部品一覧」

USB 2.0 に対応している場合、USB 2.0 を使用すると、USB 1.1 と比べて高速に画像をスキャンできます。

USB 2.0 非対応の機器をお使いのときには、USB 1.1 として動作します（USB 2.0 と比較してデータ転送速度が遅くなります）。

ただし、USB 2.0 を使用しても原稿の種類と解像度によっては、スキャンに時間がかかることがあります。または USB 1.1 と比べてもあまり高速な結果が得られないことがあります。

EpsonNet Config から宛先が登録できない

ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？
本製品とコンピュータに、それぞれネットワークケーブルが正しく接続されていることを確認してください。

本製品のネットワークインターフェイスが正しく設定されていますか？
本製品のネットワークインターフェイスが正しく設定されていることを確認してください。

☞『取扱説明書 5 ネットワーク編』（電子マニュアル）

USB 接続していませんか？
EpsonNet Config V3 は USB 接続での設定変更ができません。ネットワーク接続で使用してください。

印刷中またはファクス送受信中ではありませんか？
本製品が印刷中またはファクス送受信中の場合、宛先の登録はできません。印刷が終了してから宛先を登録してください。

9 付録

電子マニュアルの見方

本製品に同梱されているソフトウェア CD-ROM には、PDF 形式の取扱説明書（電子マニュアル）が収録されています。この取扱説明書を見るには、Adobe® Reader® やプレビュー（Mac OS X）などの PDF 閲覧用ソフトウェアが必要です。Adobe® Reader® は、アドビシステムズ社のホームページからダウンロードできます。また、各 OS に対応する Adobe® Reader® のバージョンは、アドビシステムズ社のホームページでご確認ください。

取扱説明書はソフトウェアとともにコンピュータにインストールされます。インストールされた取扱説明書の見方は以下の通りです。

スタートメニューから見る

Windows の場合

1 Windows の［スタート］（または ）－［プログラム］－［EPSON］をクリックします。

2 ご覧になりたい取扱説明書の名称をクリックします。

以上で終了です。

Mac OS X の場合

1 デスクトップ上の取扱説明書のエイリアスを見つけます。

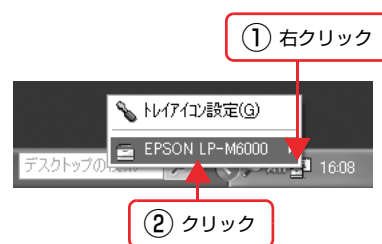
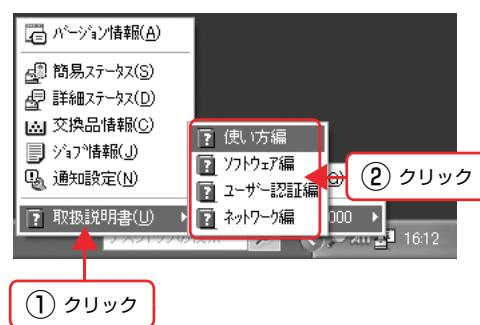
> 参考
> ハードディスクから参照するときは、以下の順にクリックしてフォルダを開いてください。［アプリケーション］－［EPSON］－［TPMANUAL］－［LP-M6000］－［JPN］－［GUIDE］

2 ご覧になりたい取扱説明書の名称をクリックします。

以上で終了です。

EPSON ステータスモニタから見る

Windows のみ

1 タスクトレイの EPSON ステータスモニタのアイコンを右クリックし、［EPSON LP-M6000］をクリックします。

2 ［取扱説明書］から、参照したい取扱説明書をクリックします。

以上で終了です。

電子マニュアルの目次

『ソフトウェア編』の目次

『ユーザー認証編』の目次

『ネットワーク編』の目次

消耗品 / オプション / 定期交換部品一覧

本製品で使用できる消耗品、オプション、定期交換部品は以下の通りです。

2008 年 4 月現在

商品名		型番	備考
消耗品	ET カートリッジ（ブラック）	LPC3T10K	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	ET カートリッジ（ブラック）２本セット	LPC3T10KP	LPC3T10K の２本セット
	ET カートリッジ（シアン）	LPC3T10C	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	ET カートリッジ（シアン）２本セット	LPC3T10CP	LPC3T10C の２本セット
	ET カートリッジ（マゼンタ）	LPC3T10M	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	ET カートリッジ（マゼンタ）２本セット	LPC3T10MP	LPC3T10M の２本セット
	ET カートリッジ（イエロー）	LPC3T10Y	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	ET カートリッジ（イエロー）２本セット	LPC3T10YP	LPC3T10Y の２本セット
	環境推進トナー（ブラック）	LPC3T10KV	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	環境推進トナー（ブラック）２ 本セット	LPC3T10KPV	LPC3T10KV の ２ 本セット
	環境推進トナー（シアン）	LPC3T10CV	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	環境推進トナー（シアン）２ 本セット	LPC3T10CPV	LPC3T10CV の２本セット
	環境推進トナー（マゼンタ）	LPC3T10MV	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	環境推進トナー（マゼンタ）２ 本セット	LPC3T10MPV	LPC3T10MV の２本セット
	環境推進トナー（イエロー）	LPC3T10YV	印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	環境推進トナー（イエロー）２ 本セット	LPC3T10YPV	LPC3T10YV の２本セット
	感光体ユニット（ブラック）	LPC3K10K	感光体ユニットと ET カートリッジのセット 感光体ユニット印刷寿命 *：約 30,000 ページ ET カートリッジ印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	感光体ユニット（シアン）	LPC3K10C	
	感光体ユニット（マゼンタ）	LPC3K10M	
	感光体ユニット（イエロー）	LPC3K10Y	
	感光体ユニット / 環境推進トナーセット（ブラック）	LPC3K10KV	感光体ユニットと環境推進トナーのセット 感光体ユニット印刷寿命 *：約 30,000 ページ 環境推進トナーの印刷寿命 *：約 6,500 ページ
	感光体ユニット / 環境推進トナーセット（シアン）	LPC3K10CV	
	感光体ユニット / 環境推進トナーセット（マゼンタ）	LPC3K10MV	
	感光体ユニット / 環境推進トナーセット（イエロー）	LPC3K10YV	
	廃トナーボックス	LPCA3H6	印刷寿命 *：約 40,000 ページ

商品名		型番	備考
用紙	上質普通紙	LPCPPA3（A3）	普通紙への印刷において最良の印刷品質を得ることができる用紙
		LPCPPA4（A4）	
		LPCPPB4（B4）	
	専用 OHP シート	LPCOHPS1（A4）	エプソン製プリンタ専用の OHP シート
	長尺用紙	LPCCJY1	幅 297mm ×長さ 1200mm の長尺サイズの用紙
接　続ケーブル / カード	USB ケーブル	USBCB2	USB2.0/1.1 対応
	ネットワークインターフェイスカード	PRIFNW7 PRIFNW7U PRIFNW7S	100BASE-TX、10BASE-T 準拠 対応プロトコル：IPX/SPX、TCP/IP、AppleTalk、NetBEUI
給紙装置	増設 1 段カセットユニット	LPA3CZ1CU6	対応用紙サイズ：A3、A4、B4、B5、Letter、Legal、Ledger 容量：550 枚
	MP トレイ付き増設カセットユニット	LPA3CZ1MP1	MP トレイが付いた増設 1 段カセットです。定形用紙のほか、不定形紙や長尺紙をセット可能
台	専用プリンタ台（キャスター付）	CSCBN10B	本製品または増設 1 段カセットユニットの最下段に取り付け可能
	専用キャビネット（キャスター付）	LPCBN7	本製品または増設 1 段カセットユニットの最下段に取り付け可能
記憶媒体	RAM モジュール	ー	容量の大きなデータを印刷するとき、パスワード印刷をするときなどに増設してください。また、大容量の部数印刷などをするときに取り付けると、コンピュータを早く印刷作業から開放することができます。 エプソンのホームページから本製品のオプション情報をご覧ください。 http://www.epson.jp/ 本製品メモリを最大 1024MB まで増設できます。購入時のメモリ容量は標準モデル：256MB、ADF/ファクスモデル：512MB です。
	フォームオーバーレイ ROM モジュール	LPFOLR4M2	EPSON Form!4 で作成したフォームを登録する ROM モジュール 容量：4MB
	拡張 PDF キット	SWPDFROM1	PostScript3 プリンタとして使用する拡張キット

商品名		型番	備考
定期交換部品	転写ユニット	LPCA3TSU1	転写ユニット、転写ローラ、廃トナーボックスのセット ユーザー交換可能な定期交換部品 印刷寿命 *：約 100,000 ページ
	定着ユニット	LPCA3TCU1	ユーザー交換可能な定期交換部品 印刷寿命 *：約 100,000 ページ
	メンテナンスユニット	－	給紙、搬送ローラ類のセット 印刷寿命 *：約 300,000 ページ 本品の交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施します。交換時期を知らせるメッセージが表示されたときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。定期交換に伴う出張基本料、技術料、部品料は保証期間内外を問わず有償となります。
	ADF メンテナンスユニット	－	ピックローラ、フィードローラ類のセット ADF スキャン寿命：約 90,000 ページ（A4 縦換算） 本品の交換は、弊社の認定を受けたサービス実施店のサービスエンジニアまたは弊社のサービスエンジニアが実施します。交換時期を知らせるメッセージが表示されたときは、販売店またはエプソンサービスコールセンターにご連絡ください。定期交換に伴う出張基本料、技術料、部品料は保証期間内外を問わず有償となります。

* A4 5%連続印刷時。ただし、印刷ページ数は目安です。印刷の仕方により、印刷可能ページ数は異なります。間欠印刷（1 回あたりの印刷ページ数が 1 ～数ページ程度の少ない印刷）、用紙サイズ、用紙方向、厚紙印刷、印刷原稿および電源の頻繁な入切などにより印刷可能ページ数は少なくなります。そのため、消耗品の印刷可能ページ数は、お客様の使用条件、使用環境によっては半分以下になる場合があります。

環境推進トナーのご案内

環境推進トナーは、セイコーエプソン株式会社がトナーカートリッジ（容器）の所有権を保有し、「環境推進トナー使用許諾契約」に基づき、お客様に一定期間（1 回のみ）の使用権を許諾する消耗品です。使用後は、環境推進トナーに添付の案内書をご覧いただき、セイコーエプソン株式会社に必ずご返却ください。（送料無料）。

エプソンのホームページでもご確認いただけます。

アドレス　http://www.epson.jp/toner/

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートの一覧

弊社が行っている各種サービス・サポートは以下の通りです。

名称	内容	問い合わせ先／アクセス先など
エプソンインフォメーションセンター	製品に関するご質問やご相談に電話でお答えします。	本書裏表紙
エプソンのホームページ	製品に関する最新情報などをインターネットにて提供しています。	
MyEPSON*	エプソンの会員制情報提供サービスです。「MyEPSON」にご登録いただくと、お客様の登録内容に合わせた専用ホームページを開設してお役に立つ情報や、さまざまなサービスを提供いたします。	
ショールーム	エプソン製品を見て、触れて、操作できます（東京・大阪）。	
消耗品 / オプションの購入	エプソン製の消耗品 / オプション品が、お近くの販売店で入手困難な場合には、エプソンダイレクトの通信販売をご利用ください。	
ソフトウェアダウンロードサービス	プリンタドライバなどのソフトウェアは、バージョンアップを行うことがあります。最新のソフトウェアは、弊社のホームページからダウンロードできます。	エプソンのホームページ
マニュアルダウンロードサービス	製品に添付されている取扱説明書の PDF データをダウンロードできます。取扱説明書を紛失したときなどにご活用ください。	
保守サービス	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくための保守サービスをご用意しております。	本書 217 ページ「保守サービスのご案内」

* 「MyEPSON」登録済みで、「MyEPSON」ID とパスワードをお持ちのお客様は、本製品の「MyEPSON」への機種追加登録をお願いします。追加登録していただくことで、よりお客様の環境に合ったホームページとサービスの提供が可能となります。「MyEPSON」への新規登録や機種追加登録は、同梱の『ソフトウェア CD-ROM』から簡単に行えます。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、あわてずに、まず以下のページをよくお読みください。

本書 149 ページ「困ったときは」

保証書について

保証期間中に、万一故障したときには、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載漏れがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。

保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 6 年間です。

※改良などにより、予告なく外観や仕様などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- エプソンサービスコールセンター
  本書裏表紙

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細については、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターまでお問い合わせください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代 * は無償になるため予算化ができて便利です。 • 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 ＊ 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は保守対象外となります。	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障した製品をお持ち込みできない場合に、ご利用ください。	無償	出張料＋技術料＋部品代 修理完了後そのつどお支払いください。

＊ 交換寿命による定期交換部品の交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
年間保守契約の場合は、定期交換部品代のみ、有償となります（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料についても有償となります）。

＊ 本製品は、輸送の際に専門業者が必要となりますので、持込保守および持込修理はご遠慮願います。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、安心の出張修理サービスと対象製品の取り扱いなどのお問い合わせにお答えする専用ダイヤルをご提供いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的に迅速にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：万一トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣し対応いたします。
- 手続きが簡単：エプソンサービスパック登録書をファクスするだけで契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば、つど修理費用がかからず維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

仕様

総合仕様

基本仕様

ウォームアップ時間	電源 ON 時 スリープからの復帰時	：70 秒以内（温度 23 ℃、湿度 55%、定格電圧にて）*1 ：30 秒以内（温度 23 ℃、湿度 55%、定格電圧にて）
稼働音 （本体のみ、標準条件）*2	レディ時	：約 42dB（A）
	稼働時	：約 58dB（A）

*1 ご使用の環境によって最大 110 秒かかることがあります。

*2 標準条件：手差しトレイを閉めて、用紙カセットから普通紙を給紙したとき。

環境基本仕様

省資源機能	両面印刷機能、割り付け印刷機能、拡大 / 縮小印刷機能を使用することで、印刷用紙の使用枚数を節約できます。
回収リサイクル体制	使用済みトナーカートリッジの回収 資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みのトナーカートリッジの回収にご協力ください。使用済みトナーカートリッジの回収方法については、新しいトナーカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。
修理体制	エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、いくつかの保守サービスをご用意しております。詳細につきましては以下のページを参照してください。 本書 236 ページ「保守サービスのご案内」
補修用性能部品の最低保有期間	製品の製造終了後 6 年

電気関係

		標準モデル	ADF モデル / ファクスモデル
定格電圧		AC100V ± 10%	
定格電流		13.4A	
周波数		50/60Hz ± 3Hz	
消費電力	最大	1212W 以下	1270W 以下
	カラー	平均 573W（原稿台にセットしての連続コピー）	平均 563W（原稿台にセットしての連続コピー）
	モノクロ	平均 590W（原稿台にセットしての連続コピー）	平均 616W（原稿台にセットしての連続コピー）
	レディ時	平均 94W	平均 95W
	スリープモード時	平均 22W	平均 28W
	電源オフ時	0W	0W

オプション含まず

環境条件

		標準モデル	ADF モデル / ファクスモデル
動作時	温度	10 ～ 33℃	
	湿度	20 ～ 80%（ただし結露しないこと）	
	気圧	（高度）767HPa 以上（2300m 以下）	
	水平度	プリンタ部：傾き度 1 度以下、スキャナ部：傾き度 5 度以下	
	照度	3000lx 以下（ただし直射日光を照射させないこと）	
	周囲スペース	設置面より上方 520mm、左側方 100mm、右側方 300mm、前方 780mm、後方 200mm	設置面より上方 550mm、左側方 100mm、右側方 300mm、前方 780mm、後方 200mm
保存・輸送時	温度	0 ～ 35 ℃	
	湿度	20 ～ 80%（ただし結露しないこと）	

コントローラ基本仕様

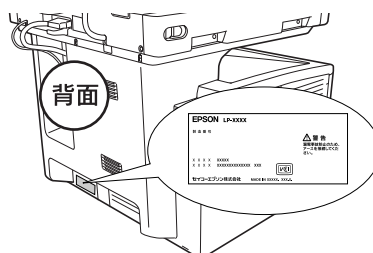
RAM	標準	256MB（標準モデル）、512MB（ADF モデル / ファクスモデル）
	オプション増設時	最大 1024MB（2 ソケット）
インターフェイス	標準	USB2.0、USB1.1、10Base-T/100Base-TX

外形寸法 / 質量

	標準モデル	ADF モデル / ファクスモデル
プリンタ部外形寸法	幅 600mm ×奥行き 640mm ×高さ 481mm（小数点以下四捨五入）	
プリンタ部質量	約 55.8kg（消耗品を含まない）	
スキャナ部外形寸法	幅 625mm ×奥行き 652mm ×高さ 105mm（小数点以下四捨五入）	幅 625mm ×奥行き 652mm ×高さ 200mm（小数点以下四捨五入）
スキャナ部質量	約 18kg	約 24.4kg

オプションの増設カセットユニット外形寸法 / 質量

外形寸法 （小数点以下四捨五入）	増設カセットユニット（型番 LPA3CZ1CU6） 幅 590mm ×奥行き 522mm ×高さ 135mm MP トレイ付き増設カセットユニット（型番 LPA3CZ1MP1）幅 771mm（手差しトレイ格納時）×奥行き 522mm ×高さ 135mm プリンタ台（型番 CSCBN10B） 幅 590mm ×奥行き 522mm ×高さ 130mm キャビネット（型番 LPCBN7） 幅 590mm ×奥行き 522mm ×高さ 400mm
質量	増設カセットユニット（型番 LPA3CZ1CU6） 約 14 kg MP トレイ付き増設カセットユニット（型番 LPA3CZ1MP1）約 22kg プリンタ台（型番 CSCBN10B） 約 9 kg キャビネット（型番 LPCBN7） 約 19 kg

製造番号の表示位置

動作環境

ソフトウェアをインストールし、使用するためのシステム条件は以下の通りです。最新のサポート OS 情報、またはプリンタドライバの制限事項の詳細はエプソンのホームページで確認してください。
アドレス：http://www.epson.jp/support/

サーバ系 OS では、スキャナ用ソフトウェアの動作は保証しておりません。

Windows

OS		Windows 2000 Server Windows 2000 Professional Windows 2000 Advanced Server Windows Server 2003 Standard Edition Windows Server 2003 Enterprise Edition Windows Server 2003 Standard x64Edition Windows Server 2003 Enterprise x64Edition Windows XP Professional Windows XP Home Edition Windows XP Professional x64 Edition *1	Windows Vista HomeBasic Windows Vista HomePremium Windows Vista Business Windows Vista Ultimate Windows Vista Enterprise Windows Vista Home Basic x64 Edition *1 Windows Vista HomePremium x64 Edition *1 Windows Vista Business x64 Edition *1 Windows Vista Ultimate x64 Edition *1 Windows Vista Enterprise x64 Edition *1
CPU*2		Pentium® 233MHz 以上（Celeron® 633MHz 以上を推奨）	
メモリ *2		128MB（256MB 以上を推奨）	
ハードディスク *2		500MB 以上の空き容量	
接続方法	USB	• USB1.1/2.0 に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作確認が保証されているコンピュータ • EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2）を使用します。	
	ネットワーク	市販の LAN インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル(カテゴリ5以上)を使用してください。10Base-Tまたは100Base-TXのどちらでも使えます。 対応プロトコル：TCP/IP、AppleTalk	

*1 マルチスレッド処理に対応した TWAIN 対応アプリケーションソフトでは使用することはできません。詳細は各アプリケーションソフトメーカーへお問い合わせください。

*2 各 OS の必要システム条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

Windows XP/ Windows Vista のリモートデスクトップ機能 * を利用している状態で、移動先のコンピュータに直接接続されたプリンタへ印刷する場合、EPSON ステータスモニタがインストールされていると通信エラーが発生します。ただし、印刷は正常に行われます。

* 移動先のモバイルコンピュータなどからオフィスネットワーク内のコンピュータ上にあるアプリケーションソフトやファイルへアクセスし、操作することができる機能。

Mac OS

OS*1		Mac OS X v10.3 ～ v10.4
CPU*2		• PowerPC G3、G4、または G5 プロセッサ搭載 (G4 500MHz 以上を推奨) • Intel 社製プロセッサ
メモリ *2		128MB 以上（512MB 以上推奨）
ハードディスク *2		100MB 以上の空き容量（1GB 以上を推奨）
接続方法	USB	• USB1.1/2.0 に対応していて、コンピュータメーカーにより USB ポートの動作確認が保証されているコンピュータ • EPSON USB ケーブル（型番：USBCB2）を使用します。
	ネットワーク	市販の LAN インターフェイスケーブル（ストレートケーブル）を使用します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル(カテゴリ5以上)を使用してください。10Base-Tまたは100Base-TXのどちらでも使えます。 対応プロトコル：TCP/IP、AppleTalk

*1 Classic 環境での動作をサポートしておりません。

*2 各 OS の必要システム条件を満たしていること（OS の推奨動作環境以上での使用を推奨）。

プリンタ仕様

プリント方式	LED ヘッド＋乾式一成分電子写真方式
解像度	600dpi *1
プリント速度	30 ページ / 分（A4、モノクロ片面印刷時）*2 24 ページ / 分（A4、カラー片面印刷時）*2
ファーストプリント	モノクロ片面印刷　：8.0 秒（A4）/10.0 秒（A3） モノクロ両面印刷　：15.0 秒（A4）/17.0 秒（A3） カラー片面印刷　：12.0 秒（A4）/14.0 秒（A3） カラー両面印刷　：23.0 秒（A4）/25.0 秒（A3）
耐久性 （製品寿命）	600,000 ページ（A4 連続時、カラー / モノクロの印刷比率は問わず）または 5 年のいずれか短い方

*1 25.4mm｛1 インチ｝あたりのドット数（Dots Per Inch）

*2 印刷中に、良好な画質を得るための画像調整を自動的に行うことがあり、上記の印刷速度が出ない場合があります。また、用紙サイズによっては、定着ユニットの安定性保持のために、印刷を一時停止することがあります。

スキャナ仕様

型式	A3 カラーイメージスキャナモジュール
走査方式	ミラー移動型原稿固定読み取り
センサー	カラー CCD ラインセンサー R/G/B/ モノクロ（4 ライン）
最大有効領域	297 × 432mm（11.7 × 17.0 インチ）
最大有効画素	7020 × 10200 画素（600dpi）
最大原稿サイズ	A3
階調	各色 16bit（入力）、1bit/8bit（出力）
読み取り速度	モノクロ：0.64msec/line（300dpi 時） カラー：1.14msec/line（300dpi 時）
耐久性（製品寿命）	100,000 ページ（A3）または 5 年のいずれか短い方

オートドキュメントフィーダ仕様

方法	自動両面原稿移動読み取り
最大原稿サイズ	A3
最大セット可能原稿枚数	100 枚（80g/m^2 紙）
原稿紙厚（坪量）	52 〜 105g/m^2
原稿紙種	ページプリンタ用紙、インクジェット用紙、普通紙、再生紙など
原稿スタック	フェイスアップ
原稿合わせ	原稿中央合わせ
原稿サイズ検知	A3、B4、A4 横 / 縦、B5 横 / 縦、A5 縦
耐久性（製品寿命）	250,000 ページ（A4 縦）または 5 年のいずれか短い方

コピー仕様

		カラー（A4/300dpi）	モノクロ（A4/300dpi）
ファーストコピー		18.4 秒	13.2 秒
コピー速度	マルチコピー （1 枚の原稿を複数枚コピー）	24 枚 / 分	30 枚 / 分
	連続コピー （オートドキュメントフィーダ使用時） * 2 枚目以降のコピー速度（ファーストコピーは除く）	19 枚 / 分	30 枚 / 分

ファクス仕様（ファクスモデルのみ）

Model		EU-96
対応回線		PSTN（加入電話回線）、PBX（自営構内回線）
通信速度		33600/31200/28800/26400/24000/21600/19200/16800/14400/12000/9600/7200/4800/2400 bps （自動フォールバック）
プロトコル		G3、G3ECM
送受信モード	カラー	RGB 各 8 ビット送受信
	モノクロ	モノクロ 1 ビット送受信
画像圧縮方法	カラー	JPEG
	モノクロ	MH、MR、MMR
送受信走査線密度	カラー	200 × 200［dpi］
	モノクロ	8x15.4、8x7.7、8x3.85［dot/mm］
原稿サイズ	カラー	A3、B4、A4*1、B5*1、A5*2
	モノクロ	
印刷用紙サイズ	カラー	A3、B4、A4、B5
	モノクロ	
設計認証	Ⓣ A04-0646001	

*1 原稿台またはオートドキュメントフィーダ（ADF）に縦長にセットしてカラーで送信するとエラーになります。

*2 オートドキュメントフィーダ（ADF）の給紙口側に短辺が差し込まれるようにセットできません。

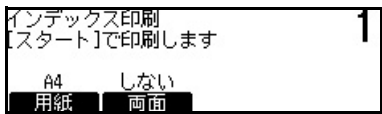
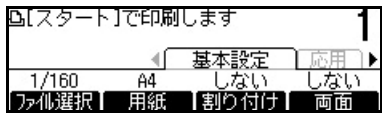
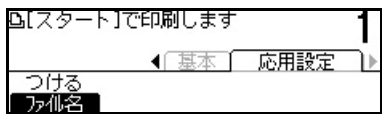
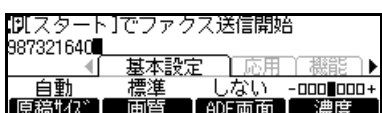
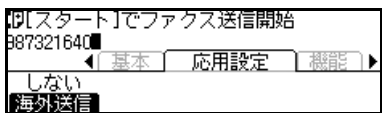
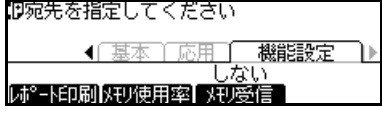
操作パネル設定項目一覧

各モードの設定項目

コピーモードの設定項目

	[F1]	[F2]	[F3]	[F4]
コピーできます 1 基本設定 画質 応用1 応用2 自動 100% しない -000■000+ 用紙 倍率 両面 濃度	用紙	倍率	両面	濃度
コピーできます 1 基本 画質設定 応用1 応用2 文字/写真 文字/写真 -000■000+ カラー原稿 モノクロ原稿 コントラスト その他	カラー原稿	モノクロ原稿	コントラスト	その他（背景除去、モアレ除去、カラーバランス）
コピーできます 1 基本 画質 応用設定1 応用2 しない しない しない しない 割り付け 影消し とじしろ ページ連写	割り付け	影消し	とじしろ	ページ連写
コピーできます 1 基本 画質 応用1 応用設定2 自動 しない しない する 原稿サイズ 全面コピー 原稿混載 ソート	原稿サイズ	全面コピー	原稿混載	ソート

スキャンモードの設定項目

	[F1]	[F2]	[F3]	[F4]
[USB メモリ] 選択時 USBメモリ ファイル名 Epson_0001.pdf 基本設定 ファイル 読取 機能 PDF 300dpi しない 保存形式 解像度 ADF両面	USB メモリ : – PC フォルダ : 保存先 メール : メール設定 *1	保存形式	解像度	ADF 両面 *2
USBメモリ ファイル名 Epson_0001.pdf 基本 ファイル設定 読取 機能 Epson 標準 ファイルヘッダ 圧縮率 PDF設定	ファイルヘッダ	圧縮率	PDF 設定 *3	―
USBメモリ ファイル名 Epson_0001.pdf 基本 ファイル 読取設定 機能 文字 -000■000+ 自動 原稿画質 濃度 原稿サイズ	原稿画質	濃度	原稿サイズ	―
USBメモリ ファイル名 Epson_0001.pdf 基本 ファイル 読取 機能 レポート印刷	レポート印刷 *4	―	―	―

*1 基本設定の［F1］は、選択した機能により異なります。
*2 標準モデルでは非表示になります。
*3 拡張 PDF キット装着時に表示されます。
*4 認証機能を利用している場合は非表示になります。

プリントモードの設定項目

[USB メモリ] − [インデックス] 選択時：	[F1]	[F2]	[F3]	[F4]
インデックス印刷 1 [スタート]で印刷します A4 しない 用紙 両面	用紙	両面		

[USB メモリ] − [画像ファイル] 選択時：	[F1]	[F2]	[F3]	[F4]
[スタート]で印刷します 1 基本設定 応用 1/160 A4 しない しない ファイル選択 用紙 割り付け 両面	ファイル選択	用紙	割り付け	両面
[スタート]で印刷します 1 基本 応用設定 つける ファイル名	ファイル名	−	−	−

[USB メモリ] − [文書ファイル] 選択時：	[F1]	[F2]	[F3]	[F4]
[スタート]で印刷します 1 SD-2050.pdf 自動 しない ファイル選択 用紙 両面	ファイル選択	用紙	両面	

ファクスモードの設定項目（ファクスモデルのみ）

	[F1]	[F2]	[F3]	[F4]
[スタート]でファクス送信開始 987321640 基本設定 応用 機能 自動 標準 しない -000■000+ 原稿サイズ 画質 ADF両面 濃度	原稿サイズ	画質	ADF 両面	濃度
[スタート]でファクス送信開始 987321640 基本 応用設定 機能 しない 海外送信	海外送信	−	−	−
宛先を指定してください 基本 応用 機能設定 しない レポート印刷 メモリ使用率 メモリ受信	レポート印刷	メモリ使用率	メモリ受信 *	−

* [各種設定] − [ファクス設定] − [受信設定] − [メモリ受信] が「する」の場合に表示されます。

各種設定モードの設定項目一覧

次ページへ続く

共通設定		
	デバイス設定	節電時間
		I/F タイムアウト
		給紙口
		MP 優先
		コピー枚数
		両面印刷
		とじ方向
		紙種
		白紙節約
		自動排紙
		用紙サイズフリー
		自動エラー解除
		ページエラー回避
		LCD コントラスト
		白黒反転表示
		音量調整
		RAM ディスク
		日付時刻設定
		日付表示フォーマット
	USB I/F 設定	USB I/F
		USB SPEED
		受信バッファ
	ネットワーク設定	ネットワーク I/F
		IP アドレス設定
		IP
		SM
		GW
		AppleTalk
		Bonjour
		Link Speed
		受信バッファ

次ページへ続く　右の列へ続く

I/F カード設定 *1	I/F カード
	IP アドレス設定
	IP
	SM
	GW
	NetWare*2
	AppleTalk
	MS Network
	Bonjour
	I/F カード初期化
	受信バッファ
USBホスト設定	USB ホスト
メールサーバ設定	認証方式
	認証用アカウント
	認証用パスワード
	送信元アドレス
	SMTP サーバアドレス
	SMTP サーバポート番号
	POP3 サーバアドレス *3
	POP3 サーバポート番号 *3
	接続テスト
リセット	ワーニングクリア
	全ワーニングクリア
	リセット
	リセットオール
	転写ユニットライフリセット
	定着ユニットライフリセット
	廃トナーボックスライフリセット

*1 オプション装着時のみ

*2 オプションが対応しているときのみ

*3 ［認証方法］に［POP before SMTP］が選択されているときのみ

プリンタ設定		
給紙装置設定	MP トレイサイズ *	
	MP カセットサイズ	
	カセット 1 サイズ	
	カセット 2 ～ 4 サイズ *	
	MP トレイタイプ *	
	MP カセットタイプ	
	カセット 1 タイプ	
	カセット 2 ～ 4 タイプ *	
印刷書式設定	ページサイズ	
	用紙方向	
	解像度	
	トナーセーブ	
	縮小	
	イメージ補正	
	上オフセット	
	左オフセット	
	上オフセット B	
	左オフセット B	
プリンタ言語	USB	
	ネットワーク	
	I/F カード *	

* オプション装着時のみ

右の列へ続く

ESC/PS 環境設定	連続紙
	文字コード
	給紙位置
	各国文字
	ゼロ
	用紙位置
	右マージン
	漢字書体
ESC/Page 環境設定	復帰改行
	改ページ
	CR
	LF
	FF
	エラーコード
	フォントタイプ
	フォーム実行 *
	フォーム番号 *
PS3 環境設定 *	PS3 エラーシート
	COLORATION
	IMAGE PROTECT
	BINARY
	TEXT DETECTION
	PDF ページサイズ

コピー設定
高圧縮設定
カラーキャリブレーション
コピー標準値設定
コピー工場出荷時設定

スキャン設定	
ネットワークスキャン	
メール設定	添付ファイル最大サイズ
スキャン標準値設定	
スキャン工場出荷時設定	工場出荷時設定
	キャリッジロック位置設定

次ページへ続く

ファクス設定 *
基本設定
回線種別
ND 回線接続
外線切り替え番号
ダイヤル種別
自局情報
スピーカ音量
ファクスレポート印刷言語
送信設定
オートリダイヤル回数
発信元記録
優先原稿サイズ
PC-FAX 送信機能
受信設定
給紙口
両面印刷
受信モード
外付電話呼出時間
自動縮小
受信ファクス出力先
PC 保存先設定
メール設定
メモリ受信
* ファクスモデルのみ
右の列へ続く
通信管理設定
通信レポート
送信レポート
同報レポート
詳細設定
ポーズ時間
回線特性
トーン時間
トーン間隔
V.34 機能
着信レベル 1
着信レベル 2
送出レベル
通信詳細レポート
ファクス標準値設定
ファクス工場出荷時設定
工場出荷時設定
ファクスバックアップメモリクリア
宛先 / 保存先設定
メールアドレス
メールアドレス
名称
ヨミガナ
保存先フォルダ
フォルダパス
名称
ヨミガナ
認証ユーザー名
認証パスワード
ファクス番号 *
短縮ダイヤル設定
クイックダイヤル設定
宛先設定全削除
* ファクスモデルのみ
管理者設定
パスワード設定
パスワードの変更
パスワード制限範囲
初期モード
ユーザー認証機能 *
ユーザー認証
認証プロキシ IP アドレス
設定初期化
* オプション装着時のみ

索引

ひ

ふ

へ

ほ

み

め

も

ゆ

よ

ら

り

れ

わ

本製品の使用限定について

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただいた上で当社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性·安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

複製が禁止されている印刷物について

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）

刑法第 148 条、第 149 条、第 162 条

通貨及証券模造取締法第 1 条、第 2 条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があっても不可）
- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権について

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCI ルールの限界値を超えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波について

この装置は、高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 に適合しています。

オゾンについて

ページプリンタの印刷原理上、印刷処理中には微量のオゾンが発生します（排気風にオゾン臭を感じることがあります）。印刷中に本機が発生するオゾンは微量であり、通常の作業環境における安全許容値（0.1ppm、0.2mg/m^3）を上回ることはありません。ただし、オゾン濃度はプリンタの設置環境によって変わるため、下記のような条件での使用は避けてください。

- 製品の環境条件外での使用
- 狭い部屋での複数ページプリンタの使用
- 換気が悪い場所での使用
- 上記条件下での長時間連続稼働

長時間使用時や大量印刷時には、換気をするようにしてください。

●エプソンのホームページ　http://www.epson.jp
各種製品情報・ドライバ類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのホームページです。
インターネット FAQ　エプソンなら購入後も安心。皆様からのお問い合わせの多い内容をFAQとしてホームページに掲載しております。ぜひご活用ください。
http://www.epson.jp/faq/

●エプソンサービスコールセンター
修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先

050-3155-8600　【受付時間】9:00〜17:30　月〜金曜日（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-511-2949へお問い合わせください。

●修理品送付・持ち込み依頼先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
お買い上げの販売店様へお持ち込みいただくか、下記修理センターまで送付願います。

拠点名	所在地	TEL
札幌修理センター	〒060-0034 札幌市中央区北4条東1-2-3 札幌フコク生命ビル10F エプソンサービス(株)	011-219-2886
松本修理センター	〒390-1243 松本市神林1563 エプソンサービス(株)	050-3155-7110
東京修理センター	〒191-0012 東京都日野市日野347 エプソンサービス(株)	050-3155-7120
福岡修理センター	〒812-0041 福岡市博多区吉塚8-5-75 初光流通センタービル3F エプソンサービス(株)	050-3155-7130
沖縄修理センター	〒900-0027 那覇市山下町5-21 沖縄通関社ビル2F エプソンサービス(株)	098-852-1420

【受付時間】月曜日〜金曜日　9:00〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
＊ 予告なく住所・連絡先等が変更される場合がございますので、ご了承ください。
＊ 修理について詳しくは、エプソンのホームページ　http://www.epson.jp/support/　でご確認ください。
◎上記電話番号をご利用できない場合は、下記の電話番号へお問い合わせください。
・松本修理センター：0263-86-7660　・東京修理センター：042-584-8070　・福岡修理センター：092-622-8922

●ドアtoドアサービスに関するお問い合わせ先　＊一部対象外機種がございます。詳しくは下記のエプソンのホームページでご確認ください。
ドアtoドアサービスとはお客様のご希望日に、ご指定の場所へ、指定業者が修理品をお引取りにお伺いし、修理完了後弊社からご自宅へお届けする有償サービスです。＊梱包は業者が行います。

ドアtoドアサービス受付電話　050-3155-7150　【受付時間】月〜金曜日9:00〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、0263-86-9995へお問い合わせください。
＊平日の17:30〜20:00および、土日、祝日、弊社指定休日の9:00〜20:00の電話受付は0263-86-9995（365日受付可）にて日通諏訪支店で代行いたします。＊ドアtoドアサービスについて詳しくは、エプソンのホームページ http://www.epson.jp/support/でご確認ください。

●エプソンインフォメーションセンター　製品に関するご質問・ご相談に電話でお答えします。

050-3155-8055　【受付時間】月〜金曜日9:00〜20:00　土日祝日10:00〜17:00（1月1日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8580へお問い合わせください。

●購入ガイドインフォメーション　製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8100　【受付時間】月〜金曜日　9:00〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

◎上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8444へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスKDDI光ダイレクトを利用しています。
上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話（一般回線）からおかけいただくか、各◎印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

●FAXインフォメーション　EPSON製品の最新情報をFAXにてお知らせします。
札幌(011)221-7911　東京(042)585-8500　名古屋(052)202-9532　大阪(06)6397-4359　福岡(092)452-3305

●ショールーム　＊詳細はホームページでもご確認いただけます。 http://www.epson.jp/showroom/
エプソンスクエア新宿　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル1F
【開館時間】 月曜日〜金曜日　9:30〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）
エプソンスクエア御堂筋　〒541-0047　大阪市中央区淡路町3-6-3　NMプラザ御堂筋1F
【開館時間】 月曜日〜金曜日　9:30〜17:30（祝日、弊社指定休日を除く）

● MyEPSON
エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報をお届けしたり、プリンタをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。
さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス！	http://myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて会員登録。

●エプソンディスクサービス
各種ドライバを郵送でお届け致します。お申込方法・料金など、詳しくは上記FAXインフォメーションの資料でご確認ください。

● 消耗品のご購入
お近くのエプソン商品取扱店及びエプソンダイレクト（ホームページアドレス http://www.epson.jp/shop/ または通話料無料 0120-545-101）でお買い求めください。（2007年9月現在）

エプソン販売株式会社　〒160-8324　東京都新宿区西新宿6-24-1　西新宿三井ビル24階
セイコーエプソン株式会社　〒392-8502　長野県諏訪市大和3-3-5

ビジネス(LP)　2007. 12

EPSON　LP-M6000シリーズ　取扱説明書2　使い方編

411145300